

わが国唯一の空飛ぶ円盤専門誌 UFOと宇宙 第22号 昭和52年2月1日発行(第8刷) 第4巻第22号 昭和50年2月28日創刊(特別扱承認番号2170号)

# UFOと宇宙

UFOs & SPACE  
隔月刊・1977・2月号

UFOと宇宙科学

No. 22



◆<sup>本誌取材</sup> UFOは石を食べていた? ◆チベット山中の金星基地 ◆<sup>近接撮影</sup> 金髪の女性宇宙人としてしばしば接触 ◆着陸した円盤に宇宙人の死体が...

世界60ヶ国余に30年の輸出実績！——だから出来るこの価格

☆神秘への開拓者！

# 大口径反射望遠鏡 低価格、高精度で新登場！

〈経緯台シリーズ〉

## ■FYT-200

(¥150,000)  
割引特価 ¥120,000  
荷送料 ¥5,000

このほか  
経緯台シリーズは  
■FYT-114  
(¥30,000)  
割引特価 ¥25,000  
荷送料 ¥2,000  
主鏡口径=114mm  
焦点距離=900mm

■FYT-220  
(¥43,000)  
割引特価 ¥35,000  
荷送料 ¥2,500  
主鏡口径=120mm  
焦点距離=1,000mm

■FYT-230  
(¥50,000)  
割引特価 ¥40,000  
荷送料 ¥2,500  
主鏡口径=130mm  
焦点距離=1,000mm

■FYT-250  
(¥89,000)  
割引特価 ¥69,000  
荷送料 ¥3,500  
主鏡口径=150mm  
焦点距離=1,000mm

カセグレン式

## ■KFT-150

デラックス

(¥160,000)  
割引特価 ¥135,000  
荷送料 ¥5,000



鏡筒長 約500mm  
焦点距離1,800mm

主鏡有効径=152mm  
主鏡焦点=600mm  
口径比:  $F_1=4$   
引伸率:  $n=3.0$   
合成焦点:  $f=1,800mm$   
合成 $N.F.=F=12.0$   
集光力=460×  
分解能=0.8秒  
極限等級=12.7等星  
接眼鏡 H-20 90×  
H-12.5 144×  
H-6 300×  
マウンティング=赤経赤緯微動付赤道儀(目盛環付)  
脚=木製大型二段引伸式三脚 総重量=約16kg  
付属品=ファインダー 6×30、サングラス、ダイアゴナルプリズムほか

## ■KFT-150スタンダード

(¥125,000)  
割引特価 ¥98,000 荷送料 ¥5,000



主鏡口径=202mm  
焦点距離=1,200mm  
集光力=816×  
分解能=0.6秒  
極限等級=13.3等星  
斜鏡=44°  
接眼鏡 H-20 60×  
H-12.5 96×  
H-6 200×  
サングラス付  
ファインダー=6×30  
対物アロマートレンズ、接眼鏡ラックピニオン繰出装置、マウンティング経緯台全周微動装置、上下微動装置、木製二段引伸大型三脚(伸1,500mm)

伸800mm

☆FYT-200に限り  
希望者には、本体と  
脚部を別売いたします。  
詳細は返信用切手(50円)同封の上、  
お問合せください。

## ■FY-28

(¥98,000)  
割引特価 ¥82,000  
荷造送料 ¥2,000



(屈折式)

マウンティング  
赤道儀(経緯台兼用)目盛環付  
付属品  
6×30mmファインダー、天頂  
プリズム、サングラス、エレ  
クティングプリズム、ムーン  
グラス、サンスクリーン、2  
段引伸木製三脚、格納木箱入

対物レンズ	アステロマー	接眼鏡	倍率
レンズ径	80mm	K-22	54×
焦点距離	1200mm	H-M12.5	96×
集光力	131×	H-M 9	138×
分解能	1.4秒	H-M 6	203×
極限等級	11.7等星	QR 4	330×

通信販売  
協会加盟

■パノップ屈折式望遠鏡 パノップ反射式望遠鏡 望遠鏡自作材料一式・部品・レンズ・反射鏡 パノップ顕微鏡 パノップ双眼鏡

株式会社 **パノップ光学** サービスセンターF係  
〒120 東京都足立区宮城町1-23-18 電話03-919-4833・4835

★総合カタログご希望の方は切手250円同封の上お申込み下さい。  
★ご注文は製品代金に送料を加算の上、現金書留でご送金下さい。  
★商品は受注後、遅くとも5日以内に発送いたします。

# この石にキズをつけたのは誰？

UFOのしわざ？ 群馬県箕郷町の石騒動

事件の発見者佐藤琢磨さんがまっ先に見つけたのがこの石のキズ

一夜にして、日ごろ見慣れている庭石のごとくに、金属でえぐりとったような白く生々しいキズが刻まれていた——という怪事件が昨秋、群馬県・伊香保温泉に近い箕郷町で起きた。このあたりは養蚕が盛んで飼料用の桑畑が広がる静かな一帯、都会のけんそうからはほど遠い。ところが、昨年10月下旬から11月上旬にかけてオレンジ色に輝く不気味な物体が同町の上空に現れるようになった。真夜中に“シュー、シュー”という音を聞いた住民が大勢いる。キズのついた庭石——の騒ぎがもちあがったのはそんな最中であつた。キズの犯人はUFOでは？と疑われたのも無理からぬことだった（詳細・本文P10「UFOは石を食べていた？」参照）

キズのついた200余りの石の中で、もっとも激しくキズ跡を残しているのがこの石





▲この桑畑の上をUFOが飛んだ？ 騒ぎの発端となった佐藤琢磨さんの家。遠くに赤城山が望まれる。

▼左・もう一つの謎となった雨に濡れない土。▼右・深さ2センチ、長さ20センチにわたって鋭くえぐられたキズ跡。



▶キズは草のかけの石にもついている。いったい、どのような方法で？

▼岩のカドが金属でえくられたようで痛々しい。

▼▼佐藤琢磨さんの家の庭。事件を聞いてかけつけて来た人が、水をはしく地面を見下ろしている。



石のキズを指さしながら佐藤琢磨二さんはこう話している。「誰がキズつけていったんですかねえ、ひどいことをしますよ。つい半年ほど前に持って来たばかりだったのに。でもやられたのは、私のところだけでなくこの近所一帯の石は全部ですからね。しょうがないと言えはそれまでですけど。それより困ったのは見物に来る人が絶えないんですよ。よわかりました！」



夕暮の編隊飛行

“驚異の近接撮影” 続報到着！

夕暮の太陽を浴びて、形状の異なる二機のUFOが地上低く飛行している。この驚くべき写真は、スイス・チューリッヒに近いヒンウイルでエドアルド・メイヤーさんが撮影したもの。

メイヤーさんはこれらのUFOを目撃・撮影したばかりでなく、着陸したUFOから下りてきた宇宙人と会い、またUFOに同乗するチャンスまで与えられたという。(詳細・本文P22「驚異の近接撮影詳報／金髪の女性宇宙人」としばしば接触“参照”)



### 屈斜路湖付近を飛行する黒い影(上)

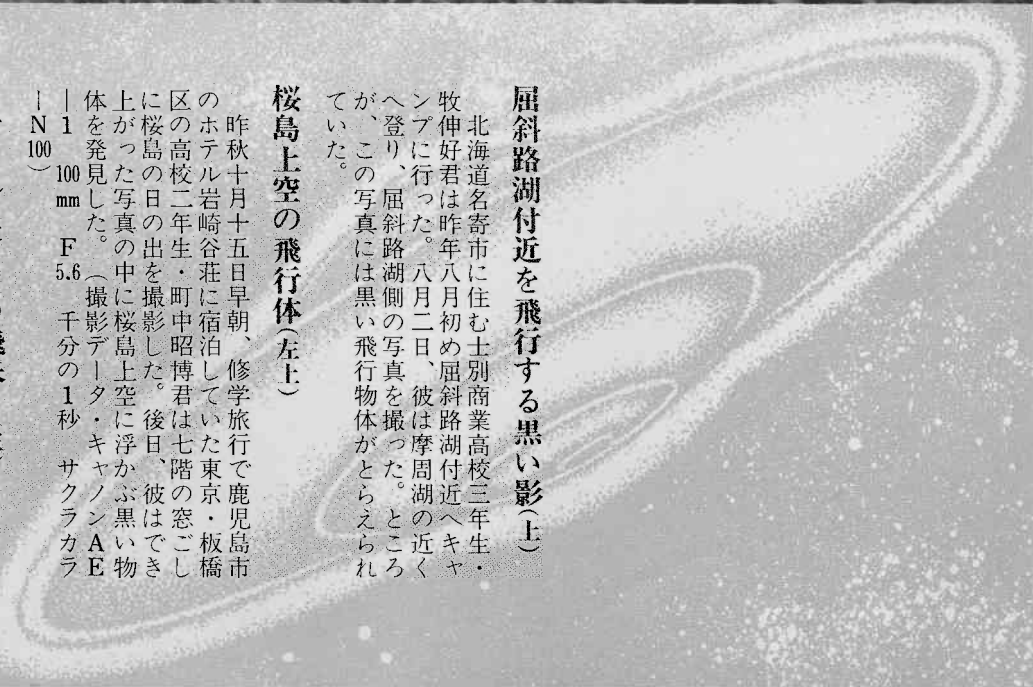
北海道名寄市に住む土別商業高校三年生・牧伸好君は昨年八月初め屈斜路湖付近へキャンプに行った。八月二日、彼は摩周湖の近くへ登り、屈斜路湖側の写真を撮った。ところが、この写真には黒い飛行物体がとらえられていた。

### 桜島上空の飛行体(左上)

昨秋十月十五日早朝、修学旅行で鹿児島市のホテル岩崎谷荘に宿泊していた東京・板橋区の高校二年生・町中昭博君は七階の窓越しに桜島の日の出を撮影した。後日、彼はでき上がった写真の中に桜島上空に浮かぶ黒い物体を発見した。(撮影データ・キャノンAE 1 N 100 F 5.6 千分の1秒 サクラカラ)

### シアトルにUFO飛来?(左)

四十九年一月四日、塚原昇二さん(四十六歳、㈱電通勤務)は十日間の米国旅行でシアトルに滞在していた。夕刻、彼は元オリンピック会場のスチームニードル展望台に立って眼下のワシントンパークを撮影した。バルブ・シャッターを切った直前、ファインダーの





中に何か飛び上がるのを見た。あわててその方向にカメラを向けて二枚撮影、その一枚にオレンジ色の円盤状物体がとらえられていた。(ニコマートFTN 標準F2 開放シャッターB(数秒) サクラカラー)

# 読者アンケート募集中!

あなたに豪華景品が  
当たります



1等

カートンレインジャー10  
市価19,000円



2等

「エニグマ」「UFOと宇宙」  
1年間贈呈(2名)



4等

本誌21号掲載のUFO  
イラスト原画(3名)

3等

本誌21号表紙 UFO  
カラー写真パネル(2名)



- 創刊号より数えて22号「UFOと宇宙」はことさらに読者のご意見を誌面に反映させて躍進を図るべく、つきのようにアンケートを募集します。UFOファンなら見逃せないプレゼントがいっぱい……としっかりと応募ください。
- 官製はがきにあなたの住所・氏名・年齢・職業、そして①お読みになりたい記事/載せてもらいたい企画 ②本誌を購読された動機 ③本誌へのご意見・ご感想をお書きのうえ、左記あてお送りください。抽選で別掲の賞品をプレゼントします。
- 宛先 千川東京都台東区上野5・1-6 ヤマトビル ユニバーサル出版社
- 「UFOと宇宙」編集部/アンケート募集係
- 締切りは2月20日(当日消印有効)。当選者の発表は「UFOと宇宙」23号(3月20日発売)で行います。

# UFO No.22 と宇宙

隔月刊 1977/FEBRUARY 目次

口絵

石にキズをつけたのは誰?..... 1

夕暮れの編隊飛行..... 4

読者のUFO写真..... 6

## 本誌取材

**UFOは石を食べていた!?**..... 10

## 特別情報

**チベット山中の金星人基地** 高坂剋魅..... 14

## 宇宙人事件

□驚異の近接撮影詳報/チューリッヒ郊外のUFO事件(1) 本誌特約ウェンデル・スティープンス

**金髪の女性宇宙人としばしば接触**..... 22

**女性三人を身体検査した巨大UFO**..... 36

**着陸した円盤に宇宙人の死体が...** フランク・スカリー..... 50

海外レポート **大ニューヨークの郊外に円盤着陸** (1)..... 26

**地球人は幼児の心をダメにする** ジョージ・アダムスキー..... 60

**科学者はUFO問題に目覚めつつある** (1)..... 44

**UFO・現実と幻想のはざままで**..... 32

**UFOアメリカ**..... 40

連載科学記事(続) **宇宙・引カ・空飛ぶ円盤** (5) レナード・クラング..... 91

**バックナンバー完全紹介**..... 86

今こそ人類は「マイナスの真理」に目覚めよ/坂本邁..... 66

UFO目撃レポート..... 68

トピックス・カセット..... 20

UFO情報/海外..... 72

UFO情報/国内..... 76

科学ニュース..... 80

声・OPINION..... 102

蚤の市..... 108

豪華景品が当たる..... 8  
UFOアンケート大募集!

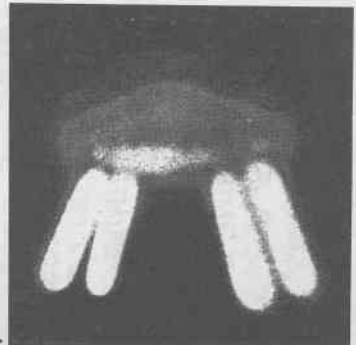
表紙写真

撮影日時/1974年3月23日

撮影場所/フランス・アルピオーズ

撮影者/匿名希望のある博士

表紙デザイン/中村省三+福沢潤  
レイアウト/福田忠雄+Edipro  
カメラ/菅原史崇 イラスト/中  
川恵司+内山洋見+松岡吉樹



追跡— 600メートル四方に渡って傷ついた群馬県の石

# は石を食べていた!?



UFOのしわざか、人のいたずらか、とどき当のつかない奇怪な事件が、群馬県・伊香保温泉にほど近い箕郷田を起す。町中が大騒ぎしている。どにかく家々の庭石はもちろんのこし、石の名のつくものにはかならずといつてよいほど、金属でえぐられたような白い傷跡がついている。ただ、無理由からぬこと。

UFOのしわざなのか？ およそ五キロ四方の、庭石を含めて石という石のほとんどの金属でひっかいたような傷があることが昨年十一月、群馬県箕郷町で見つかり、大騒ぎになった。

前代未聞の奇妙ないたずらを『群馬読売』がいち早くとりあげ、これを知った県内のUFOファンは「これは珍しいUFO事件だ！」とばかり、どつと現地に詰めかけた。そのため事件はエスカレーターして、東京のテレビ局までも事件に乗り出すなど、11月末まで息つく暇もな

く、不思議な物見たさの人たちでごつた返した。

## 奇妙ないたずら!?

傷のついた石に最初に気づいたのは、同町柏木沢本曲の国鉄職員佐藤琢磨さん(31)で、琢磨さんは二日朝、夜勤明けで帰宅したところ、庭石に鋭く金属のようなものでひっかいた傷が、いたるところについているのを見て不思議に思った。家族のものに尋ねてみても、だれも来た形跡はなかったのである。この柏木沢を中心とする一帯は養蚕が盛んで、琢磨さんの家の周りも瓜々と蚕を育てるための桑畑が続いている。そのようなことから、子供がわざわざ遊びに来て、いたずらするようなことは、まずない。

もともと琢磨さんの庭に置いてある石は、最近、家の西側にある田舎道を拡張工事したときに掘り出されたもので、トラック四台分の土砂や石を庭に土盛りしたところ。つい昨日まで庭造りのために、琢磨さんが石を並べていたところだった。

このため一夜にして無数の傷を発見した琢磨さんは、ただのいたずらではないことを知って、早速、叔父の佐藤基さん(55)に話した。話を聞いて駆けつけた基さんは、傷のついた庭石を見て、これまた不審に思い、それではと、西に百メートルほど離れた自分の



話題

# UFO



▲UFOはこの桑畑に着陸したのか？

家に、琢磨さんを連れてもどった。すると、やはり基さん宅の庭石にもかなり多くの傷がついていることがわかった。それも、琢磨さんの家のものより庭石が大きいせいか、傷跡が一層激しく、深さ二センチ、長さ二十センチにわたって鋭くついていた。不思議なことに、傷ついた石の周囲を見渡しても、引っかけ崩された破片らしきものが、どこにも落ちていない。



▲草の葉カゲの石にも傷がある！

さらにおかしなことには、握りこぶし大の小さなものまで、傷がついている。半分ほど土の中に入っているのにも——。人のいたずらなら、傷をつけようとして、どうしても強くたたいたため、埋めている土を崩してしまいうものだが、そのような様子が全くないことが、気にかかる。そこで、「このような傷は、この辺一帯にできているのでは——」と思ひ、

自然現象ではちょっと思い当たらない」と書いている。その後、新聞やテレビで騒がれるようになると、続

いたずらにしては異常に手が込んでいたため、これはたごとではないと考えた基さんは新聞社に連絡。地元警察もかけつけて本格的な調査に乗り出したが、ただただ傷のついた石を見れば、首をひねるばかり。翌日の『群馬読売新聞』も群馬大学教養学部地学専攻の須川明助教授の解説をとり上げて「実際に見てみないと分からないが、ヒョウなどでは石に傷がつかないし、いん石などなら音などですぐわかる。何か人為的な傷ではないかと思う。

でも、ほとんどの石に金属で鋭くひっかいたような傷跡が残っている。特に橋本さん宅のものは、土に埋もれている部分まで、傷がはっきりとついているところがおもしろい。



▲金属で引っかいたような鋭い傷。宇宙人の文字か？

近くに住む会社員橋本博明さん(28)を訪ねた。やはり庭石に傷がついている。ただし、小さな石が多いのか、大きな傷は見当たらないが、それでも、ほとんどの石に金属で鋭くひっかいたような傷跡が残っている。特に橋本さん宅のものは、土に埋もれている部分まで、傷がはっきりとついているところがおもしろい。

ななかでも琢磨さんの家から、三百メートルほど北のところに住んでいる建材業佐藤量二さん(30)の庭石は傷の程度がもっともひどく、ブルドーザーで傷つけたような、見るも無惨な傷跡がくまなく岩肌をえぐっている。

量二さんの庭石は、何トンもあるほどの大きな岩で、土盛りしたものを崩さないために建物の南側から西に面し





▲▲最初に騒ぎの起こった佐藤琢磨さんの家 ▲左から佐藤琢磨さん。同じくふじえさん、量二さん、基さん

てカギ型に30個ほど配置してあった。  
この六月、ここから榛名山しんねに向かっ  
て何キロか登った榛東村しんとうで、地下十メ  
ートルのところから掘り起こしたもので  
ある。もちろん、そのときにはこの  
ような傷はなかったと量二さんは言っ  
ている。

たとえ運搬するときにつけた傷とし  
ても、すでに半年近くたっているし、  
その後の雨、風などによる風化作用で  
このような真新しい傷が残っているこ

とはないはずだ。

一度は、人にいたずらされたのでは  
ないかと考えてはみたが、たとえひと  
つの石に傷をつけるにしても、昼間そ  
んなことをしていればすぐに人目につ  
いてしまう。かといって夜中でも、桑  
畑の広がる人家の少ない物静かなとこ  
ろとあっては、ちよつとした物音にも  
気づかれてしまう。

もちろん、物音もたてずにこんな固  
い石に鋭く傷つけられるような、そん

な新兵器があれば、話は別である。し  
かし、そんなことまでして、他人の庭  
石を傷つけて歩くほどの理由がどこに  
あるのだろうか。

やはり量二さんのところも、基さん  
と同じように大量の岩肌がけずり取ら  
れているにもかかわらず、その破片ら  
しきものすら落ちていない。これほど  
までに巧妙なはずだが、ほかにある  
だろうか。

### 雨に濡れない地面

この事件では、おかしなことがもう  
ひとつある。

傷ついた石のことに同町の人々が夢  
中になっていた最中、最初にこの騒ぎ  
がもち上がった琢磨さんのところか  
ら、またまた奇妙な話が飛び出した。

おりからの雨で、すっかり辺りが濡  
れていたときだった。庭石につけられ  
た傷のことが気がかりになり、庭に出  
てみると、不思議な光景を目にした。  
どういいうわけか周りの地面は雨で濡れ  
ているのに、一辺一・五メートルほど  
の三角形をした部分だけが、雨水に、  
濡れていない。「これは変なことだ。  
最近、この辺りで自動車オイルを漏ら  
した覚えはないはずだが——」と思っ  
て、その部分の土を手の上のせて見  
ると、水玉のように雨水をはじいてし  
まう。

とにかく、この話を聞きつけて集ま

った近所の人たちも、雨に濡れずに白  
くなっている地面を、驚いた様子で見  
るだけであった。

琢磨さんの庭は、地表から十センチ  
下まで、砂の多い土のため、水を十分  
吸うところである。さらにその下は砂  
利がほとんどである。そこで記者は、  
試しにこの土を手のひらにのせ、水道  
の蛇口のところで、水をかけてみた  
が、水玉になってはじいてしまい、一  
向に濡れることがなかった。できるこ  
となら、この土を科学的に分析しても  
らえばいいのだが、いまだに持ち帰っ  
たままである。

その後、二週間ほどして再び取材に  
行ってみると、もう水をはじかなくな  
ってしまい、見物に来た人が、次々と  
研究資料ということで持って帰るた  
め、すっかり荒らされて、下に埋まっ  
ていた砂利が見えてしまっていた。

どうして、この部分の土だけが水を  
はじいてしまったのか、琢磨さんとも  
話し合ってはみたが、これといった原  
因も思いつかないままであった。ただ  
ひとつ、これは推測ではないのか、とい  
うのである。何んでもかでも、この種  
の事件が起こると、原因に困ってUFO  
のせいにしたがる風潮がなくもない  
が、この事件の場合には、それなりの  
根拠がある。

この騒ぎが起こったのは二日の朝。  
その前日の一日の夜十時半頃、琢磨さ

んの母親ふじ江さん(56)が風呂から上がり、自分の部屋にもどると、西側に面した一番左のアルミサッシの上の部分だけが、異常に明るく何かに照らされている。どうも桑畑の方から来ているらしかったが、とても明るい月夜だ、としか思わなかった。

その後、この騒ぎの犯人はということになって、このふじ江さんの目撃が有力となり、UFOということになった。いまにして思えば、明るく照らされたのは、四枚あるサッシのうち、たった一枚だけ、それも上の部分だけという非常に限られていることからしても、奇妙な話である。また、寝床について間もなく、「シュー、シュー」と二回音がしたのを聞いている。たしかに同町では朝と昼に二回、サイレンが鳴る。しかし、夜中に鳴るようなことはこれまでにない。

また、これは二日の夜であるが、同町とは隣り合わせの榛東村に住む津島昭三さんは、帰宅途中に箕郷町に通りがかった際、琢磨さんの家の方から量二さんの家の上空を通過して、栗林の上で消えたオレンジ色に輝く物体を目撃している。

後に聞いたところでは、輝く物体を見たという人は、ほかにも数人いることがわかった。

## 何から何まで謎



▲雨が降ったのに濡れなかったところ。UFOが着陸したのだろうか？

るようなことをしていったのであるうか。

おそらく「彼ら」にとっては何かの意図があったにちがいない。それはなんのためか、石を分析するための資料としてだろうか。あるいは私たちがまだ知らないエネルギーを石の中から吸収していったのだろうか。それとも彼らのメッセージを石にきざみ込んでいったのか？ とすると石の傷は彼らの使用する文字なのかもしれない。まだまだ考えられるが、真相はUFOに聞いてみないことにはわからない。

もっとも、UFOと決まったわけではないのだが。

これまでに、石に刻まれた宇宙人からのメッセージだといわれているものがある。

たとえば、一九五四年サンマルタンという人が、スペインのマドリッド郊外で宇宙人から手渡されたという「サンマルタン・ストーン」。

また、石ではないが、一九五二年アメリカのG・アダムスキーが金星人から与えられたという「金星の文字」などである。そして、これらのものは、一様に文字らしき形をしているのである。

ところが、この事件で傷つけられたものを見ると、まだ文字が書けないでいる子供が釘を手にして訳もなく石の表をひっかきまわしたようで、とても文字といえるような代物ではないのである。

とにかく、この事件では、広範囲に数多くの証拠を残している。にもかかわらず、だれのしわざなのかという疑問や、庭石に傷をつけていった目的は、その方法は——など、どれをとっても謎ばかりである。

さいわい、この事件では被害報告といえるものは出ていないようだ。しいて上げれば、大きな庭石をさんさん傷つけられた佐藤量二さんが、「石の価値が落ちたような気がします」と話してくれたぐらいである。

被害らしいものがなかったことも謎といえるのかもしれない。

その後、佐藤基さんが調べたところによると、傷つけられた石の範囲はさくらに広がり、同町を中心として南に十キロ、北に六キロ、西五キロにおよんでいるという。

東についてはまだわかっていないが、それにしても事件解明までには、いましばらくの時間がかかりそうである。

# チベット山中の 金星人基地

高坂剋魅

理想郷「シャンバラ」に金星人は住んでいるか……

## ● ショッキングな 発表

AA S (古代宇宙飛行士協会) の第三回世界大会が開かれたのは昨年(1977)の六月であった。

ユーゴスラビアでのこの大会は、日本でもおなじみのデニケン(スイスの考古学者)や、アメリカの第一人者ジョン・フィリップス(AAS会長)など多数出席しての実りあるものだった。

この大会で発表された数多くの研究家の中にまじって最も注目を集めたのはオーストラリアのアンドリュース・トマス氏であった。

チベット山中に住むヒマラヤ聖者たちが身につけている衣服と靴は、「金星人オーソン」のものと酷似している。そして彼らが描写した、理想郷「シャンバラ」の聖人の左手には「金星のシンボルマーク」のようなものまで描かれていた……

『太古史の謎』で日本でも広く知られイギリスでは『フライング・ソーサー・レビュー』にすぐれた円盤研究などを発表しているトマス氏は、この大会で『チベットにおける宇宙船』という題の、実にショッキングな研究発表を行ったのである。

くだいて言えば「あのチベットに金星人の宇宙基地がある!!」とでもいうことになるだろうか。ともかく一年まえの自分自身の現地調査をふまえての自信にあふれた研究発表であった。

日本代表のひとつとしてこの大会に参加し直接彼の研究発表を聞き、そして発表後、直接トマス氏の自宅まで招かれて説明をうけた私は、できるだけ



▼AAS第3回世界大会にて。(左からA・トマス、レイモンド・ドレイク、シェベラ、コトニク、ブルムリッヒ、E・V・デニケン)



こまかにトマス氏の説を日本の皆さんに伝えなければならぬ義務があるだろう。

トマス氏の説をおおまかに言えば次のようになる。

①チベットの山中で奇妙な絵画を発見したが、絵には宇宙人のロケット発射台と思われるものがある。

②地底深く存在するといわれる理想郷「ジャンバラ」との関係は？

そこに住むと言われる宇宙人のような超人的聖者とチベットの聖者の相似性――。

③ジョージ・アダムスキー氏が出会ったという金星人オースンの足跡がこのチベットにもあるということが確認された……。

――大まかにあげた以上三つの点を中心に、トマス氏の言う「あのチベットに金星人の宇宙基地があった!!」とする根拠を以下説明してみよう。

### ●宇宙人のロケット発射台

トマス氏はチベット山中で奇妙な絵を発見した。その絵画には、左に人工的に削られた傾斜約六十度の斜面と、右の山中にこうごうしい光背を持つ聖者が描かれている。

この絵に描かれた、山を斜めにスッパリと削るような高級な土木技術は、とうてい現地のチベット人にはできないシロモノではないか、宇宙人のなせ





▲ヒマラヤの“聖者”によって描かれた“ジャンバラの世界”

々。そして超能力を持っているのではないかとすらいわれる、現存するヒマラヤの聖者たちを語るとき、この「ジャンバラ」との結びつき、宇宙人(?)との結びつきをいっさい捨て去ること

はできないのである。  
ヒマラヤには聖者が数多くおり、現代人では想像もつかないような生活をしているという。このことはヒマラヤ

で現地調査したアメリカ人スボルディング氏の記録書『ヒマラヤ聖者の生活探究』という本にもくわしく書かれている。一瞬にしてテレポーターション(人間や物体が地上あるいは宇宙空間の二点間を瞬間移動する)ができたり、心の中で念じると物質化して現れたりすることができると聖者が多くいるというのである。従ってヒマラヤの聖

者は「ジャンバラ」に住むのではないかと言われる宇宙人のとき『高級神人』とでもいうものからの指導、影響、あるいは指示を与えられているのであろうというわけである。

### ●チベットに

### 金星人がいた!?

ところでヒマラヤの聖者と宇宙人、

具体的には金星人とのつながりが、もっと鮮明になってくるのである。

ヒマラヤの聖者たちの根本理念は、「生まれかわり」を宇宙の真理のひとつとみていることだ。だからラマ教の教祖ダライ・ラマが死ぬと、その時刻に出生した赤ん坊をチベット全国から探し出し、ダライ・ラマの生まれかわりと信じて、教祖につかせるという。

このチベット地方の生命観では「靈魂は、死とともに瞬時に転生する」というもので、これはジョージ・アダムスキーが金星人から学んだという「宇宙哲学」と同じである。

「アダムスキーの体験は真実であろう」とトマス氏は私にうなるように言うのであった。そして彼は続ける。

「アダムスキー氏が会見したという金星人オースンは、実は「ジャンバラ」にもいたのだ!」と驚くようなことを言うのである。

金星人オースンは、一九五二年十一月二十日、アダムスキー氏やウイリアムソン夫妻やその友人たちの前に足跡をクッキリと残していったと証言されたが、このときの石膏でとられた金星人オースンの靴底の型ときわめて同じ型のものがトマス氏の極秘調査で明らかにされたというのだ。金星人オースンの足跡の靴と同じようなものを一部のヒマラヤ聖者がはいているということは、「ジャンバラ」に金星人が存在していたのではないかとということ



▲チベット山中で発見された奇妙な絵画。

づけることに他ならない。

金星人オーソンといえ、北欧の美男子のごとき金髪を真ん中から長く分け、服装は手首、足首、首がきつちりしめられ、胴には広い帯が巻かれ、靴はかかとと前が同じ大きさという特色のあるものを身につけていた、とされている。左手の人さし指を宇宙に高くかかげ金星のシンボルマークを持つ、有名なオーソンの肖像画があるが、それを指し示しながらトマス氏は、

「ヒマラヤの聖者も実にこれとよく似た服装をしているではないか」と、自信たっぷりに言うのであった。

ヒマラヤの聖人たちは金星人オーソンと同じような

服装をし、オーソンの残した足跡の靴と同じ型の靴をはいているのだ、としたら、まぎれもなく金星人はチベットの「ジャンバラ」に存在していたことになる！

さらに驚くことに「ジャンバラ」に住んでいると思われる『高級神人』が左手に、金星のシンボルマークを簡略化したようなマークを持っている絵がある。この絵はヒマラヤの聖者によって描かれた、「ジャンバラの世界」を表現したものである。

そしてこれらの事実との関連で決して見すごせないことに、現在もおこのヒマラヤの聖者の服装をまねた遊牧民が「ジャンバラ」のあると思われる地域に広く分布しているということがある。彼らの靴型は、トマスの調査では、金星人オーソンの、そしてヒマラヤの聖人の靴と、きわめて似たものであるということも明らかにされた。「金星人オーソンは「ジャンバラ」の世界に生存し、それからアダムスキー氏等と会見して、重要なメッセージを伝えていたのではないか」

トマス氏はこう推理する。このトマスの推論は、私たちが納得させるのに十分な内容を持っていると言えないだろうか。

## ●チベットに多い!?

### UFO

このトマスの推論に加えて私の若

干の考えをさしはさむことを許していただきたい。

チベットのラマ教の教典のさしえには『ミラレバ』という宇宙船を思わせるものがある。マヤ文明の遺跡、パレンケの神殿に彫刻されている、火炎を勢いよく噴射して飛行するロケットともきわめてよく似ているのである。

私はこの『ミラレバ』に早くから関心を持っていたことから、トマスの言う、「宇宙船(ロケット)発射基地跡」という説に同意できるのである。

ただし、金星人は噴射発進による宇宙機はかなりの太古に克服していると言われているから、『ミラレバ』はアトランチス時代に開発された宇宙船ではないか、と私は思っている。

チベットに伝わる古文書『カンチュワ』には、宇宙人や宇宙船に関することと思われる記録が数多くあるが、まだ百分の一も解読されていない。私は一日も早くこの古文書が解明されることを願っている。このことはまたトマス氏も強い願望として持っておられたようである。

ともあれ、現在でもチベットやヒマラヤ上空でUFOの目撃が多くなされ体験談もときどき伝わってくる。最近でも一九七六年六月(ちょうどAAS世界大会が開かれ、トマスの、ここにあげた「チベットに金星人基地説」が発表されていたころ!)ヒマラヤ山脈のふもとにあるインドのある地方の

河原で、アダムスキー型のUFOが着陸し、インド人多数と、たまたまそこに居合わせた日本人に目撃された、という。

このニュースは昨年秋の「早稲田大学祭」で開かれた「神様と宇宙人と仲よくする会」という集まりに参加した早稲田大学の女子学生が現地での体験として発表したものであるだけに、きわめて信頼性の高いものであると思われる。このような、チベットでのUFO目撃談はこれまでにものけつこう多くなされているのである。このことはトマス氏の言う「チベットに金星人基地」の存在をうなずかせる具体的なひとつの根拠と言うことができるのであるまいか。

## ●金星人が地球の大変動を予言

トマス氏の論にもどろう。

チベットの「ジャンバラ」に金星人の飛行基地があったのではないかと、という彼は、続いて次のような意見を述べた。

「この金星人は、こんご十年間に地球は大変動を起こすだろう、という予言をしている！」

なぜこのようなシークレット情報があるトマス氏に伝えられたのだろうか？

トマス氏は言う。

「ジャンバラ」に住んでいると思われる高貴な聖人が、金星人から伝えられ

たものとしてラマ僧に伝え、そのラマ僧からトマス氏は確認したというのである。

金星人の予言とされる「十年後の地球は大変動する」という内容からすれば一九八六年に何かが起こるといふことになる。

ここでこの「金星人の予言」はきわめて信びよう性が高く、クローズ・アップされてくる。

「地球変動説」はいわゆる予言という形で興味半分にとらえられるのではなく、世界の多くの科学者が数多くのデータを示しながら説いているところである。

エドガー・ケイシー氏は「一九五八年から一九九八年の四十年間に地球の大変動が起こる。恐らく一九九〇年に近いころがそのピークになるのではないかと」すら言う。即ち「ジャンバラの金星人」の予言の時期にほぼ近く、ということができるのである。

なおケイシー氏によれば、この大変動のとき、日本のある部分やヨーロッパ大陸の一部もこの時期に沈むのではないかと、という。これを裏づけるように日本にも変動期を告げる神の警告書がある。その『日月神示』という文献を解読した結果、昭和五十六年前後に大変動があると書かれてあるという。これは一九八一年前後にあたることになる。

これもまた「ジャンバラの金星人」

の予言と一致するのである。

トマス氏は言う。

「チベットに住んでいると思われる金星人が予言する『地球大変動』が具体的にどんな変動なのか、それはまだ今の段階で言うことはできない。私は私なりに科学者の立場としてこの予言を分析し、コトがあるときは冷静に対処するだろう。それはともかく、ラマ僧は「ジャンバラの高級神人」から伝えられたものとして、大変動後には地球上の地形も気象も人類の思想も政治経済体制も一変して、新しい宇宙時代が来るだろうと言っている。その新時代は『マイトレヤー』と呼ばれる神が治める世の中であるということなのだ」

トマス氏は、この予言が金星人が住んでいると思わないでいられない「ジャンバラ」から出されているということに驚きを持っているわけである。

なお「マイトレヤー」とは、日本では「弥勒菩薩」のことであり、前出の『日月神示』ではミロクの神が治める世が来るといつている。はからずも「ジャンバラ」からの伝えと、日本に古くからあった神示の一致を聞いて、私もまた大きな驚きを持たないわけにはいかなかった。

「地球の大変動後に来ると思われる新時代には、『ジャンバラ』の世界の秘密も明らかにされて、いわば宇宙文明との自由な交流がなされ、空飛ぶ円盤などといったのナゾは解き明かされるで

あろう。地球人は高次元に成長し、高級な「神」のような宇宙人に相似してきて、テレパシー通信やテレポート等もできる人々がふえるだろう。「ジャンバラの高級神人」とも言うべき宇宙人のようなものからの指示を受けていると思われるヒヤラヤの高僧たちが、テレパシー通信やテレポートができるということは、先に述べたとおりである」

トマス氏は語るのである。

『チベットにおける宇宙船』と題するこのトマス氏の大胆な発表はたちまち世界の宇宙考古学の第一人者たちを興奮させるに十分なものであった。

「私はこれが全く突飛なものだとは思わない。チベットにあるとされる「ジャンバラ」には宇宙人はいる。そしてそれはおそらく金星人に違いない。これは私が確信を持って言えることである。私はこの根拠をさらに研究していくつもりなのである」

トマス氏は情熱をこめて語ってくれた。本年（七七年）六月に開かれるブラジルはリオ・デ・ジャネイロの第四回大会にはトマス氏のさらに進んだ推論が聞けるかもしれない。そしてまたこのトマス氏の発表を契機に「チベットにおける宇宙人」に関する決定的証拠を発表する研究者が現れるかもしれない。私はそれを大いに期待しているのである。

アンドレア・プハリック博士が、昨年の九月二十五日、マサチューセッツ州アムハーストのユーマス・マハール・オーデイトリアムで超能力をテーマに講演を行っている。一九七六年九月二十九日付の「ヴァレー・アドヴォキート」紙から、その要旨をお伝えしよう。

プハリック博士(58)は科学者、発明家、超心理学者として有名な人で、現代の最も信頼のできる超能力研究者として定評がある。

博士と超常現象とのかかわりは古く、一九四八年にはメイン州で円卓グループを創設している。このグループには、オルダス・ハックスレー、ピーター・フルコス、アイリーン・ギャレットといった有名人がメンバーに加わっていた。このグループでは、電子装置を利用して、「感受性の高い人」たちのESPを高めるという実験を行っていた。

プハリック博士は、その他にも、メキシコで聖なるキノコの研究、ブラジルの心霊治療師アリゴについての研究などを行なって、著書をあらわしている。

しかし、なんといっても、当

時それほど名の知られてなかったユリ・ゲラーをイギリスに招き、プームのキッカケを作ったことで知られている。

この講演でも、主としてユリ・ゲラー現象についての研究が話題となった。

ユリ・ゲラーがTVに出演したあと、その番組を見た子供たちが何千人も急に超能力を発揮しはじめた。いったいなぜだろうか。プハリック博士は、この問題を説明するために、イギリス、カナダ、アメリカ、さらにはブラジルについても、多数

## 若い超能力者たちは新人類の誕生を意味する？ ユリとUFOと「宇宙の子供」

「彼らの母親のほとんどは、避妊薬を服用中に妊娠している。あるいは月経中だったり、何カ月もセックスをしていないのに妊娠している」

これらの子供たちに催眠術をかけ、彼らの精神の奥底を探ってみると、さらに内容的に興味をひくことがわかってきた。催眠術にかかると、どの子供もみんな同じ宗教的過程を経るのである。彼らは必ずある宇宙船に行き、そこで基地への旅の第二段階の準備処置を受ける。

の青少年を対象とした研究を実施した。だが、一般原則といえるものではなく、「私たちは未知の領域にいた」と博士は語っている。

ただ、こうした超能力の影響を受けた人のほとんどが、一四五年以降に生まれていることが分かった。そして、ゲラーのTV番組を見るまで自分の超能力に気づかなかった人が大部分で、ひとたび超能力を持つていることに気づくと、それを意識的にコントロールはできないが家庭でも研究室でもずっとその

催眠術にかかったほとんどの者が経験するもう一つの停止点は、ピラミッド内の状況で、彼らはそこで許可委員会の尋問を受ける。

最後の段階は別の惑星で、そこで子供たちは自分自身へと戻る。そして、自分が誰なのか、自分たちの魂の模範は何か、なぜ地球に送られるのか、特別な使命は何かといったことを、ざっと説明される。彼らは以前の生活を(良かったか、悪かったか)見せられ、地球での使命の

能力を発揮できるようになっている。

これらの子供たちの多くは、目に見えない「指導者」から助言を受けたと言っている。ある者は物品移動を楽々行うし、他の者は物品消失ができる。スプーン曲げのできる者となるとさらである。

プハリック博士によると、彼らはすべて、超能力を持っているという以外の点ではきわめて正常である。しかし、彼らのほとんどが、妊娠時に奇妙な類似性があるという。

## 時間割を告げられる。

プハリック博士は、若者たちすべてが、催眠術によるトランス状態で経験したことを残らず記憶していると語っている。

「その後、彼らは落ち着きを増し、おだやかになる。人生の目的がわかり、緊張や関心がなくなる。その時期は、彼らの人生に組み込まれている」

このときから、プハリック博士はこうした若い超能力者たちを「宇宙の子供」と名づけている。

博士は、地球外生物がこの緑の地球に対してもつ関心を次のように説明する。

「離れたところから、太陽の周りを回るこの小さな実験的球体を見て、興味をひかれたとします。何かしてみたくなるでしょう。もしそうなら、この惑星に新しい遺伝種を作りだすというの、悪くないアイデアです。そして、この新種にいままでにない能力を持たせ、関心を集めなくなるでしょう」

プハリック博士が初めてUFOを知るようになったのは、ブラジルで心霊治療師のアリゴを研究していたときである。博士はUFOをいくつか目撃して写真に撮っている。それ以後集めた証拠をもとに、プハリック博士は、異星人は地球に対するこの奇妙な新しい活動に指図をしていないまでも、影響を及ぼしていることは確かだ、と信じている。博士はこれらの「スペース・キッズ」は新しい種族で、何年か後には歴史の進路を変えることになる遺伝支配だと考えている。

私たちはこの新種族に対して敏感でなければならぬ、と博士は警告する。

「私たちは新人類のための助産婦の役目を果たさなければならぬ。さもないと、魔女裁判の再来になるだろう。これらの子供たちは欲求不満におちいり、彼らの力を私たちに敵対するために使用するようになってしま

うだろう」

多数の「スペース・キッズ」は未解明の知識に関する生きた図書館だ、とブハリック博士は指摘する。

「彼らはテレポーターション、スプーン曲げ、植物の生育助長

について説明をすることができ。彼らは自然界に関する現実を新しいやり方で見ている。

人類は進化の限界に達しており、将来の良心的指導を遺伝的特質を通して譲り渡さねばならない、という考えを抱いたこと

はないだろうか。これは偉大な挑戦である。私たちがどこから来て、どこへ行くのかを見つけだし、より進んだ文明から導きを受けなければならないのだ」

ブハリック博士はスペクトラという情報源と交信を持って

おり、ここ十八カ月以内にUFOの大群が地球に着陸する計画があると語り、聴衆をゾッとさせた。

「異星人は、着陸する前に地球規模のTVを乗っ取って公表するとはつきり言明している」

最近、といつても二年ほど前になるが、著名な宇宙科学者や航空科学者が集まって未確認飛行物体に関するデータ交換を行った。

UFOシンポジウムと名付けられたこの会合は、アメリカ宇宙航空学会(AIAA)の第十三回航空宇宙科学会議の一環として行われたものである。AIAAといえ、航空宇宙関係では最も権威のある団体で、ロケット工学、航空工学、さらには海洋工学などに携わる第一線の科学者や技術者がメンバーになっていること知られている。

また、本誌の古くからの読者なら、AIAAが内部にUFO小委員会を設置していることを記憶かもしれない(本誌第九号を参照)。

さて肝心のUFOシンポジウムであるが、現代のUFO研究

を担う錚々たる人々が出席している。ざっと紹介すると、まず第一にご存じアレン・ハイネック博士。ヒューマンノイド・ケースの科学的分析に初めて取り組んだことで知られる、天体物理学者のジャック・ヴァレ博士。

もとコンドン委員会の主要メンバーで、同委員会の偏向を批判

### 第一線研究者による

## AIAAのUFOシンポジウム

イズ博士は、コンピューターを利用してデータ処理を行い、過去三十年以上にわたって起きていたのは五年サイクルのUFO襲来の波を検討した結果、右のような予測をくだしたのも。ジャック・ヴァレ博士も、同じくデータ処理法を用いてUFO観察の基本パターンを提示した。以下の結論は、五万件の事例から導き出されている。

・全目撃報告の五十七%は、快晴の気候条件で起きている。

・世界中の目撃事件はかなりの時間持続しており、五分間を超えることがしばしばで、二十分近く続くこともまれではない。

・その後、第二の山がくる午前三時までは減少し、また午前六時に低いレベルに戻る。

・他の要因がすべて一定なら、目撃者は地表への近接現象を十回に一回しか目撃していない。したがって、ヴァレのファイルに収められている二千件の接近目撃が得られるには、特定の時間にその研究対象地域で二万八千回も地表付近での現象が

して追放された心理学者のデイヴィッド・サンダース博士。ハイネック博士のUFO研究センターで写真分析に携わっているシカゴ大学のフレッド・ベックマン博士。UFOの着陸痕を専門に研究しているテッド・フィリップス。そしてAIAAのUFO小委員会委員長、ヨアヒム

・ケットナー博士である。彼らの発表のうち、私たちの関心をそそると思われるものをいくつか拾ってみよう。

最後にハイネック博士の発言内容をお伝えしよう。「UFO研究の一番の問題点は雑音から信号を分離することである。ここで雑音とは確認する物体のことで、信号とは確認しえない物体のことである。

UFO問題では、最初信号があるかどうかわからなかったが、私たちが自ら手を汚して原データを扱っていく中から信号の存在がわかってきたのだ。

キューリー夫人の研究も、ピッチブレンドという膨大な雑音からほんのわずかのラジウムという信号を取り出したという点で似ているが、彼女は最初から信号があると知っていたというものが決定的な違いである。私たちもやっとキューリー夫人の出発点に到達したようだ」

★スイス・チューリッヒ現地報告



スイス・チューリッヒ郊外に住む片腕の男エドアルド・メイヤーは自宅付近の草地に着陸した円盤を目撃し、写真撮影したばかりか、中から出てきた宇宙人とたびたび接触したという――

左の二枚の写真は、ある片腕の男がひとりで撮影したものである。使用したカメラは、フアインダーも正確でなくまた焦点調節もできない日本製の小型カメラ、オリンパスCR 35である。

撮影場所は彼の自宅から何マイルか離れており、彼はそこへモペッド(自転車タイプ)の小型バイクで出かけた。この二枚の写真を撮ってから何カ月もの間、同型の物体は現れなかったが、その後また彼は撮影に成功し、妻と子供達がその模様を目撃したばかりではなく、彼らが物体と一緒に写っている写真まである。

彼は更に、同じ飛行物体、あるいは

類似した飛行物体を何度か目撃し、四六機が編隊で飛行しているところさえフィルムにとらえた。

物体が模型ではないかと疑問をささむ人がいるかもしれないが、これらの物体はかなり大きなもので、そばの樹木との比較からもわかるように直径が五メートルもあり、片腕の男が小型バイクで長距離を、それも同型のものをいくつも人目につかずに運べるというようなものではない。

また、片腕の男が小型の模型を空中に投げ上げてカメラで撮影するにしても、あまりに困難が多い。

我々は彼の体験が実際に起きたことであり、また円盤型の物体は本物のU

FOであると考えている。現在、この事件については全面的に調査をすすめており、事態の進展に伴って報告する予定である。

この事件を調査している専門家のうち、少なくとも一人はこれらの写真が偽物であるという立場をとっていることを我々は知っている。しかし、これは、詳細な事実を知らずに性急な判断を下したと思う。そこで、とにかく事実関係をこれから記述しよう。

ブロンドで青い肌の宇宙人は女性だった

一九七五年一月二十八日、スイスのチューリッヒ郊外、ヒンウィル村の農家にギリシャ人の妻、それに子供三人と生活しているエドアルド・メイヤー(38歳)は、テレバシーによって、自分のカメラを持ちバイクで出かけるように指示を受けた。

彼が指示に従って一時間位走っていると、うなり音が聞こえてきた。空を見上げてみると、間もなく雲の中から美しい形をした円盤型の物体がとび出した。

「物体の上部にはゴンドラのような形状の構造物がある。」「その物体は何の音も立てずに静かに降下してきて、草地に停止しました。着陸するまでの間に私は何枚か写真を撮り、着陸してからはもっと近くで撮影するために走って行ったんです。ところが、途中で急に何かの力で私は押しとどめられてしまいました。間もなく円盤の背後から人間のような姿が現れました。宇宙飛行士と同じような灰色のオーバールを着ており、だんだん近づいてくると、それは女でした。ブロンドの長い髪、それに整った鼻立ちで、肌は青くきらめいていました。私がいちばん驚いたのは、耳たぶが長く頬までつながっていたことです」

その後、彼は十回ほど彼女と会い時には遠くからその様子を目撃した人もいた。また、彼は彼女と同じところから来た飛行士にも会い、自分の家族が飛行中の物体を見上げている写真さえ撮影している。

その女はメイヤーに、彼女が「セムジャーゼ」という名で「エラ」と呼ばれる惑星から来たという話をした。彼

驚異の近接撮影詳報!

金髪女性の宇宙人としばしば接触

女はその惑星から持ってきたという石を彼に渡したが、その石はマックス・ブランク研究所でもまだ確認できていない。

最初の出会いはヒンウルの近くの草地であった。その後もすべてヒンウルクアエッテンハウゼンの付近で会っている。彼はすでに一千ページ以上のノート、観察メモ、メッセージを記録している。



型の物体が下りたことを物語っている。草は抜きとられてはいないが、時計の針と逆方向にうずを巻いてつぶれている。ある場所では直径二メートルの三つの円型が三角形の頂点をなすように並んでいた。またほかの場所では、大きな環状の痕跡が二つあり、土が焼けこげていた。メイヤーによると、これは彼がよく見かけていたものとは別の宇宙船によって生じたものだとい

う。メイヤーによればセムジャーゼは彼を何度も宇宙船の飛行に連れ出し、また彼の肋骨の骨折を処置してくれたこともあるという。以前、トラック運転手をしていたメイヤーは片腕を失って失業して以来生活に困窮している。

地図の中の矢印は着陸と撮影の場所を示している。ヒンウルクアエッテンハウゼン付近は広い草地で松林に囲まれているが、その中に円盤着陸の痕跡が明らかに残されている。丈の高い草地には深いくぼみがいくつもあり、底が平面の円

う。メイヤーの友人がこの着陸痕を撮影している。

メイヤーは、同じ宇宙人が操縦する別の二種類の飛行船も撮影している。そのひとつは断面がほぼだ円形で、球体を押しつぶしたような形であった。別のひとつはこれより大型であった。

どの宇宙船も表面は同じように滑らかでつぎ目やすじはなく、ドームの回りに丸い窓があるほかは開口部も突出部もなかった。頂上部にはアンテナのように見える潜望鏡が何かの装置が突き出していた。表面の仕上げは金属的であるが、いくらか透明がかった見えた。

停止中は金色がかった銀色に見えるが、運転中は色が変わるようだった。



私が初めてUFOの存在を意識したのは五歳のときであった。一九四二年六月二日午前九時、チューリッヒに近小さな町ブラックにある自宅の裏の

## エドアルド・メイヤーの手記

くるみの木のそばに私は父と立っていた。私は何かを探し求めるように東の空を眺めていたのだ。なぜそうしていたのか、何を見ようとしていたのか、

太陽光線をキラキラと反射し、表面に塗装や模様などはまったくなかったという。

その時はわからなかった。暖かい夏の日のきれいな空であった。

十分か十五分経って、私の眼は不思議な光景をとらえた。銀色の光が電光のように信じがたいスピードで落下してきて、巨大な金属の矢のように近くの山をとり越え、高さ七十五メートルの教会の尖塔に向かっていったのだ。そして右に方向を変え、私の家の方へ向かってきたかと思うと、驚くべきスピードで上昇し、消滅した。

一瞬だが、その物体がひどく平べったい円盤状で、直径は二五〇〜三〇〇メートルもあるのがわかった。音はまったく聞こえなかった。私の家の上を通ったときは高度二〇〇メートル位だったと思う。まったく奇妙に出現し、そして消えたのである。

私は長い間、ぼう然として空を見上げていた。父は信じられないという表情で頭を振っていた。私があれば何と聞くと、父は考え深げな顔で私を見つめ、第二次世界大戦中であつたから、あれはドイツ軍の新型兵器だろう、という説明を私にした。

しかし、年少ながら、この出現があまりに素晴らしいものであつたので、私には父の説明が信じられなかった。私達はドイツとの国境近くに住んでいたので連合軍の爆撃機やドイツ軍の戦闘機を見慣れていたが、このすばらしい物体とはまったく比べものにもならなかった。その時に見たものとは比較に

ならないほど原始的で無格好であつた。

父は素朴な昔の人間で新しい技術の発達にはまったく気づかなかつたが、子供の私は非常に関心をもっていた。毎日ラジオニュースその他の情報を聞き、昼も夜も重砲の音を聞き、連合軍の爆撃を遠くに目撃していたので、このような残酷な戦争が先刻目撃した円盤と関係があるとは考えられなかつた。

私にはそれが未来からやって来たように思えた。一九四二年のその日、父とくるみの木の下に立ちながら、すでに私は二つの世界の衝突を感じていた。その感じはその後もしばしば経験したものだ。そして、不思議なことだが、あの円盤をもつと以前に、平和でより好ましい状況の中で見たことがあるような気がした。

その時以来、私の思考と、それに一種の虫の知らせのようなものによって私は昼も夜も四六時中空を見上げるようになった。

私はたびたび、非常な高空に何かの「飛行星」を見つけた。その頃、人工衛星はなかつたし、爆撃機や戦闘機は見慣れていたもので、あれほど高い高度を飛行したり急回転したりはできなかった。

この「飛行星」は今でも雲のない夜空を二〇〜四〇キロの高度で飛行している。

## 牧師に助けを求めた

しばらくして、私にとって事態は変わった。ある暖かい夏の午後、私は高空をゆっくり飛行している球型の物体を目撃した。物体はその形状をばつかり見せながら下降して来て、突然音もなく消えた。この日以来、同じような目撃がだんだん多くなつた。

そしてある日、私は奇妙な幻覚を見た。頭の中で何かの音が聞こえ、不思議な光景が見えた。その声と光景は絶えず私に回答を出すよう求めているようであつた。

これは一九四二年の秋で、あと二、三カ月で六歳の誕生日を迎えるところであつたが、私は自分の気が変になるのではないかと思つた。私はしばらくして教会の牧師のところへ行き助けを求めたことにした。

牧師は私をなぐさめ、力になつてくれたばかりでなく、これまで彼と話したことがないにもかかわらず、私の状態をよくわかつているようであつた。

彼はUFOについてよく知っており、ほう大な知識をもっているようであつた。私に、私自身の内部の声、内部の光景、UFOの存在について何もかも説明をした。そして私が内部の声に答えるようにというアドバイスをした。

その時の彼の笑顔とことばを、私は今でも覚えている。「怖がることはない

よ。君が心の中で聞いたり見たりするものはただのテレパシーだ」

牧師は五歳の私にテレパシーやそのほかいろいろなことを話した。私はその当時はよく理解しなかつたが、何年後になつて完全にその意味を理解することができた。

## 宇宙船で空中を飛行

彼が言う通り、私はその声に集中した。そして私の思考がどこかの何かとコンタクトしたような気がした。最初の反応として、私の内部深くで光が見え、そしてかるい笑い声が聞こえてきた。私は静かな幸福感を覚えた。

しかし、間もなくこのような接触は消えて、声も風景もしばらく戻つて来なかつた。

同じ年の十一月、再び奇妙な経験をした。ブラック町に近い森の背後にグライダーの離着陸によく使う広い草地があつた。

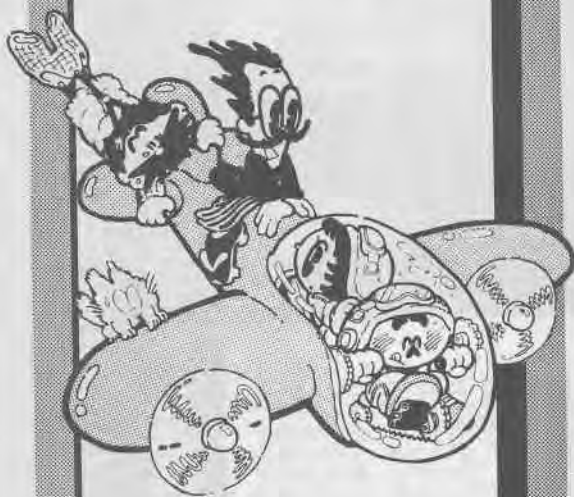
ある曇つた日に西洋梨のような形の物体が突如空から落下してきて着陸した。物体からは年老いた男が現れ、後について来るように私に指示した。彼に従つて物体の中に入り、内部のスクリーンを見ていると空中を飛行していることがわかつた。しかし、すぐに物体は降下して着陸し、私に外へ出るよう指示した。私が外へ出るか出ないうちにその物体は垂直にとび上がって消

# 宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162 東京都新宿区揚場町15セントラル  
・コーポラス207 電話03(268)6312

## 他の惑星からの

### 呼びかけ

その後二年位の間、私は空を観察しつづけた。そして一九四四年二月三日の誕生日に、また恐ろしい事件が発生した。テレパシーについては牧師に聞いていたものの、テレパシーにもいろいろあることは知らなかった。そのた

えてしまった。  
私はこのことを誰かに話すべきかどうか考えながら帰宅した。そして、結局、誰にも話さず自分の胸のうちに閉ざしておくことにした。この日以来、私は秘密をもち、だんだん人と話さないようになった。

め、突然小さな声が聞こえ、私に懸命に勉強し、知識を増やすようにと言った時はとても恐ろしくなった。今度こそほんとうに自分が狂ってしまったのではないかと思った。両親に話しても理解してくれる筈はないし、私の精神異常の兆候ではないかと思っていたこの声をも信じることはできなかった。  
私はもう一度牧師のところへ行き、何から何まで話して相談した。すると彼は、すべて聞いているから心配する必要はない、と暖かい笑顔で話し、そして、私を助けるためにあることを説明しなければならぬと言った。しかし、彼が話したことについて私は何も言うことはできない。彼の仕事とあまりにもかげ離れた内容だったからであ

る。  
彼の任務は、普通の牧師の仕事をしてながら、もう一方で宗教についての真実に、教会員を注意深く導くことであった。牧師の話では、この地域の住民はとても神を怖れ、迷信深いので、この仕事は非常に困難かつ微妙だということだった。  
その当時、私は彼もそして彼の言う意味もよくわからなかった。後になってわかりかけた時には彼のことをほとんど忘れてしまっていた。しかし彼は非常に大事なことを私に教えてくれた。つまり、頭の中から聞こえたあの声は私の狂気の兆候ではなく、どこか他の場所、他の惑星からのテレパシーによる呼びかけだったことがはっきり

したのである。このテレパシーによる交信は無限の距離の間で意志の伝達ができること、そして唯一の障害は、我々の心の中にそれを拒絶するものがあることだということが明白になった。  
私はようやく、テレパシーが人間と人間の間の通常の意識下で意志疎通の手段として使用できることを学んだ。  
そしてさらに、私自身の受信能力が極めて高い周波数に同調しており、地球上の人々から受けるような低周波テレパシーは私に到達しないことを知ったのである。(続く) 訳/アン・テイカス  
(この事件の続報——コンタクトの内容、宇宙人との会話、円盤の図解、そしてさらに驚くべき数枚の写真などを次号でお届けできる予定です。編集部)

深夜のノース・ハドソン公園に土壌サンプルを採取する？宇宙人が目撃された。TVもラジオもこの出来事を報じた。



△目撃者ジョージ・オバースキー

ノース・ハドソン公園は、米ニュージャーシー州ノースバーゲンに位置するハドソン郡の共有地である。ニューヨークのセントラル・パークの西二マイルの場所、広さはセントラル・パークの約四分の一、うす汚い市街地域にある市民の憩いの場所である。この市街地は北のフォートリーから伸びて川べりの断崖の岩層の頂上にそって、十マイル南のジャーシー市まで達している。約五十万の住民がこの突起した人口密集地に住んでおり、断崖とハドソン河により東端で境されている。西の方には未開発の広大なニュージャーシー州の牧草地帯が展開している。

この地域の画期的事件の場所となったのは、ノースバーゲンのケネディ・ブルーバード・イースト八二〇〇にあるストーンヘンジ・アパートメントである。これは風変わりなデザインの近代的な、高級高層建築で、ノースジャーシーでは最高層ビルだといわれている。それはマンハッタンの西八十九番街からみてハドソン河のすぐ向こう側のパリーセード急斜面のふちに不安定に建っている。建物の西側には広い森林地帯と遊び場、それにノース・ハドソン公園を含む湖がある。くつきりと孤立したそのビルは、あたり一帯を見渡しながら堂々とそびえている。ど

# 郊外に円盤着陸

テッド・ブローチャー

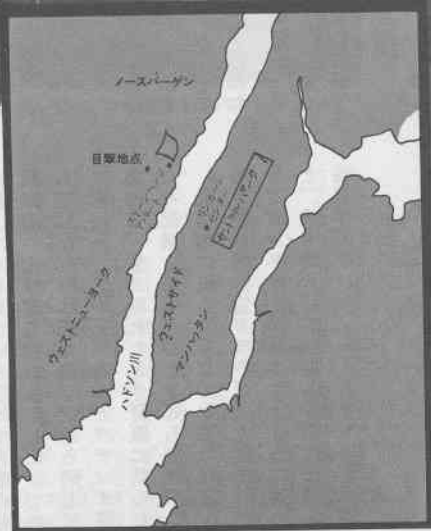
こちら見ても印象的な建築物だ。ストーンヘンジという名称そのものが、過去からの暗い、かすかな不気味な響きを呼び起こす。実際、その現場は一九七五年一月以来、ときどき発生してきた不思議な予期し得ない事件の舞台なのである。その地の住民による個々の報告によれば——。最初の事件は、ほぼ偶然に発生した。

一九七五年十一月二十日の夕方、ニューヨーク市の抽象画家バッド・ホプキンスから電話がかかってきた。私の知らない人である。彼は知人から聞いたという驚くべき話をした。それによると、一個の未確認物体が着陸した光景と標本を集めている乗員を十カ月前に見たという。それはニューヨークの中心街地域から見て、河の真向かいにあるノース・ハドソン公園に投げかけられた早朝のマンハッタン高層ビル群の影の中である。しかも、この異常な事件の目撃者は十五年以上もホプキンスの知っている人で、目撃者としての信頼性は確実に保証されるという。

この近接コンタクト、タイプ3（UFOの近接目撃）の目撃者は、ジョージ・オバースキーという七十二歳の男



# 大ニューヨークの



や、めで、ノースバーゲンに住んでマンハッタンのチェルシー地区に酒店を共同経営し、毎日車で店へ往復するのである。

一九七五年一月の事件のとき、オバースキーはノースバーゲンの自宅で二十歳代の大学生の息子フランクと共にいた(我々の調査中、彼はロードズ奨学金でオックスフォード大学に行っていた)。オバースキーは息子以外の人に自分の体験を話してはいなかった。こんな話は信じてもらえないから、だれにもしゃべるなど息子が忠告していたのである。十カ月間、目撃者は息子の言葉を守り、沈黙を続けていたが、その体験で彼は深く悩み、共鳴して聞いてくれる人に打ち明ける必要を感じて、ついに明るみに出したのである。

バッド・ホプキンスがUFOに興味を持っていることをこの目撃者が事前に知っていたら、この事件は隠されて

はいなかったろう。というのは、オバースキーの酒店の真向かいに住むホブキンズは、彼の顧客の一人としてしょっちゅうオバースキーに会っていたのだが、二人は親友とはいえないにしても、オバースキーはバッドの適度な酒の要求に応じたばかりでなく、個人小切手の換金等のちょっとしたサービスマもしていた。二人の関係はある特殊な興味の範囲に限られていたが、その関係内では友好的だった。ところがあいにくこの事件の話はほぼ偶然に明るみに出たのである。あるきっかけがなかったら、おそらく洩らされなかったことだろう。

しばらくの間、ホブキンズは何かがおバースキーを悩ませていることに気づいていた。「いつも俺が飲む最上のやつかね」と特別なワインをすすめたりするような、いつもの好意的なからかいの言葉をめったに出さなくなったのである(ジョージ・オバースキーは実際には絶対禁酒主義者だった)。こうした折りに、彼は最近わが身にふりかかった数々の「最も忌まわしい出来事」の一つについて「恐ろしくて膝が震える」とつぶやいていたのである。その出来事のなかに「空中から出て来て、彼をすっかりおびえさせた」この事件があったのである。この瞬間的なつぶやきはすぐにホブキンズの注意を引いた。それで彼は詳細を話せと老人にせまった。オバースキーが重要な意

義を帯びた異常な体験を意識していたことは明白だった。その話の始め頃、ホブキンズは言い訳をして、自分のテープレコーダーを取りに道路へ出て行った。そして事件が断片的に洩らされるにつれて、録音することができた。ただしお客さんが出入りするので、たびたび話が中断した。これは一九七五年十一月十九日の夕方である。この告白は明らかに目撃者に対して下剂的な効果を与え、ホブキンズは相手の事件の話にこめられた驚愕と恐怖の力に打たれたのである。

### ■調査の背景

バッド・ホブキンズは私の共通の知人から私の名と電話番号を知り、次の日の夕方、私に電話をかけてきた。そこで私たちは今後の調査についてだちに計画を立てた。十一月二十一日にホブキンズの自宅で会い、目撃者の驚くべき話を録音で聞いたのである。そのあと私たちは道路を横切って行き、初めてジョージ・オバースキーに会った。体験に関する彼の当惑ぶりはまぎれもないものだった。私たちは翌日の土曜日の午後(十一月二十三日)に現場で目撃者に会う手筈をととのえた。そして私はMUFON(相互UFOネットワーク)とUFO研究センターの情報通である研究家、ジェリー・ストーリーに援助してくれと頼んだの

である。

こうして目撃者との現場検証に加え、ホブキンズとストーリーは翌週末(十一月三十日)にふたたび現場で会って、その場所の測定や撮影を行い、特に最初の調査で我々が現場で見つけた地面の痕跡などを調べたが、いずれの機会にも近くのストーンヘンジ・アパートのドアマンにインタビュースし、これらの調査中にそのビルのロビーのガラス窓が割れたことを知ったのである。これはオバースキーのコンタクトと同じ時刻に謎の状況下で発生したものであった。その頃、当番についていたドアマンは、オバースキーの言う物体がその地域に出現したのを目撃するのに都合のよい位置にいたと思われるので、ガラス窓が割れたとき当番についていたドアマンの名前を聞き出してみた。それはウィリアム・パウロウスキーという人だが、もうストーンヘンジで働いておらず、すでにニュージャーシーの海岸部へ移住していた。ややこしい問い合わせを繰り返した結果、我々はいよいよ電話で相手をつかまえることができたのである。

十二月五日にバッド・ホブキンズが電話でパウロウスキーと話し合ったとき、我々の努力は報われた。というのは、このドアマンはガラス窓が割れた夜、たしかに異常な光体を見たことや、この現象はオバースキーの目撃と同じ夜に発生したことが判明したから

である。私は十二月七日の土曜日にニュージャーシー州ブリックタウンのパウロウスキーの自宅でインタビュースする約束をして、私とジェリー・ストーリーはその日に目撃者から詳細な説明を聞いた上、数々のスケッチも描いてもらったが、この情報はジョージ・オバースキーが述べた詳細を裏付けるものだった。この元ドアマンはオバースキーの目撃のことは知らなかったのである。主な目撃者とは現場から十倍も離れていたパウロウスキーは人間の姿などを見なかったし、この距離と、彼が当時屋内にいたという事実は、オバースキーが体験した詳細な観察とは関係ないことになる。

窓ガラスの損傷は公園内の光体の目撃と同時に起こった。何者かの破壊行為かもしれないと考えたパウロウスキーは、警察を呼んだ。ただちに二人の警官が現場へ到着したが、光体はすでに消えていた。そしてパウロウスキーは信じてもらえないと思って自分の目撃については何も言わなかったのである。しかし彼は別な警官である同じビルの住人、アル・デル・ガウディオ警部補に、窓が割れたとき野原に見られた不思議な光体のことを知らせた。

光体の出現に関連して生じた異常な物理的影響は窓ガラスだけではなく、パウロウスキーが語ったところによると、彼が朝八時に当番から離れた同じ朝、ブルーバード・イーストのすぐ向

かい側の公園の中の大きな木も、同じように謎の損傷を受けていることに気づいたのである。その原因は不明である。理由になりそうな嵐はなかったから。

十二月初旬、ホプキンズとストローラーは、目撃時における舞台をもっと正確に知るために、真夜中すぎに現場へ行ってみた。十二月八日、ホプキンズがデル・ガウディオ警部補へ電話をかけると、この警官は、窓ガラスがこわれたとき公園内に一機の光体が「降下」するのをパワロウスキーが報告した事実を認めた。ただしUFO懷疑論者として、彼は二つの事件に関連があるとは思わなかった。十二月九日に、ホプキンズとストローラーはノースバーゲンの警察署へ行って、ドアマンが持ち込んだ苦情に関する事故記録帳を探したが、見つからなかった。十二月十一日にストローラーはまたパワロウスキーに会ったが、今度は現場である。そして最初のインタビューで示されたよりもっと綿密にオバースキーの着陸現場に適合する位置定めに関して、更に有益な情報を入手した。続いて我々の調査は一九七六年に持ち越されたのである。

我々はこの情報源からも資料を入手するように努力した。こわれた窓ガラスを入れ換えたウエスト・ニューヨーク・グラス・カンパニーにも接触して事件に関する資料を入手し、その時刻

の記録も手に入れようと試みたが、これはだめだった。ストーンヘンジの経営者にも会ったが、相手はこちらの調査に関心をもちなかった。ビル管理人にも会い、事故の記録のコピーを要求したけれども、記録はもう入手できないということだった。二月二十四日と三月十九日には、公園管理人フランク・スポールドリーと助手のポップ・アテンポロに、ジェリー・ストローラーがインタビューしたところ、兩名とも木のキズが異常な性質のものであることを確認した。ただしまたも事故記録がなく、二人ともそのキズがいついつのかは知らなかった。

### ■付随事件が明るみに出た

我々がジョージ・オバースキーとビル・パワロウスキーの現場証言をビデオ



△ストーンヘンジ・アパートメント

オテープにとっていた一月十八日、次の事実を知って仰天したのである。ストーンヘンジの二番目のドアマン、ビル・デーリズが、ちょうど三日前（一月十五日）に、アパートの反対側の広場に物体が着陸したのを見たのだ。しかも先の事件と同じ時刻で、全く同じ場所なのである。彼が語ったところによると、二個のタマゴ型物体が互いにわずかに重なり、一つは赤、一つはオレンジ色で、丘の頂上のむこうにいるのを見たという。もっとくわしく見ようと外へ出たとき、物体は一組となつて空中へ急速に上昇した。上昇するにつれて色は暗くなった。一月十八日に語ったところによると、彼は他に見たという人の報告を知らなかったという。我々は一月二十五日に長時間にわたって彼にインタビューした。

この頃、バッド・ホプキンズはマン

ハッタンのリバーサイドドライブ八十六丁目の高層アパートに住む友人たちから次の話を聞いた。隣の家族の息子が、一月二十三日の夜、「丸いビル（ストーンヘンジ）」の付近の河向こうに、オレンジ色の物体を見たというのである。二十五日に我々がビル・デーリズに会っていたとき、ストーンヘンジの管理人アモリー・ペレスが、そのビルの元ドアマンによる別な目撃について話してくれた。ペレスが思い出した限りでは、その目撃は窓ガラスがこわれた事件と同じ頃に起こったという。彼はその男の名前と住所を知らせてくれた。この元ドアマンのフランシスコ・ゴンサレスは、当時ウエスト・ニューヨークからブロンクスへ移住しようとしていた。そこでビル管理人の仕事を見つけたのである。私は一月二十九日に彼に電話をかけて、二月一日にホプキンズとストローラーに会うように手配した。

どうも偶然の一致が多すぎるのだ。一月二十九日に私がゴンサレスへ電話をかけた同じ日に発生した別な目撃が、マンハッタンの九番街二十三丁目の高層アパートに住む一目撃者によって行われた。バッド・ホプキンズの知人であるアン・カー夫人が、数日後にその事件についてホプキンズに話したのである。彼女はノース・ハドソン公園から数マイル南の小さな町、ウィーホークンの方向にあたるハドソン河上

空に静止しているコマ型の光る物体を見たという。この目撃の重要性は高まった。というのは、後になって我々は、それと同じ夕方の同じ時間帯にフエアビュー（ニュージャージー州）の一生徒が、公園内の湖の近くに細長い脚を持つ一機のUFOが着陸したのを見たと言って、恐れおのきながら帰宅したことを知ったからだ。約一カ月後にその地域で別な目撃者たちの話が明るみに出たり、その事件の短い記事が二月二十七日付ハドソン・デイスパッチ紙に出たりするまでは、その少年の話は母親に信じてもらえなかった。

しかしこの少年の名前はわからない。一月末までには、我々ではできるだけ多くの未解決事を元の報告に結びつけてゆき、パッド・ホプキンはニューヨークで広く読まれている週刊新聞ピレッジ・ボイス紙へ記事を送った。この記事は二月中旬の号に掲載されることになっていたが、二週間後の三月一日号にやっと載った。この新聞は二月二十五日、水曜日にニューススタンドで入手できたが、これが出るまでも公園内でもっと異常な事件が発生したのである。

### ■不思議な人間が出現！

一九七六年二月十九日の木曜日、午前二時頃、または別なドアマンが（彼は氏名を聞いてくれるなと言った）、

元の着陸場所から遠くない所で、奇妙な動作で動いている一人の異常な人物を見た。この人間の身長は普通で、作業服のようなものを着ていた。頭部にライトがついて、ぎこちない歩き方をし、地面から何かを拾い上げるかのようにはしゃばる体をかかめるのだ。バッグを持っていろいろの。頭のライトはつけっぱなしのまま、人間がかがみこむと、地面をかすかに照らした。公園の暗い場所だけを歩きまわるのである。人間は約二十分間、ドアマンに目撃された。

ロビーの中とビルの前の車道の両方からである。このときドアマンは事件について何も言わなかった。

翌朝（二月二十日）の同じ時刻頃、別なドアマンのテオフィロ・ロドリゲスが、前夜と同じように行動する、似たような人間を見た。ロドリゲスが言うには、この人間は何かを拾い上げるのか、または地面に何かを置いていくかのよう、絶えずかがんでいた。頭部のライトが体の周囲の地面を照らしたが、前夜と同様、人間は公園の暗い部分から離れなかった。ドアマンはビルの内外から二時間以上も人間をちらちらと見ていた。このときロドリゲスは何も言わなかったが、翌朝、同じ人間がまたも現れたとき、彼はストーンヘンジの保安要員アルベルト・ペレスに知らせた。初めは疑ったペレスは、自分で確かめるためにビルの前の道路

へ出てみようと言いつ出した。そして彼も約百五十メートルむこうの旗竿の近くで動きまわっている人影を見たのである。その人物と奇妙な行動に関する彼の説明は、二人のドアマンのそれとは大体一致したが、ただしペレスの意見では、ライトは頭ではなく、手に持っていたという。彼が言うには、人物は重い長グツをはいているかのようにゆっくりと歩き、繰り返しかがみ込み、地面に何かをねじ込むような動きを示していた。彼は一定時間だけ見ていたのだが、一方ロドリゲスは朝の五時近くまでたびたび人影を見たのである。

ロドリゲスが土曜日の朝、二夜前に人影を見たドアマンと交替したとき彼は事件のことを話し、その人物の最初の出現のことを初めて知ったのである。それから一週間以内の二月二十五日、オバースキーの体験がニューヨークのテレビ五チャンネルの「十時のニュース」で放送されたのを我々がテープに録音した後のことだが、我々はその事件について聞いた。ペレスとロドリゲスは二月二十七日にストーンヘンジでホプキンスとストラーによる長時間のインタビューを受けたが、ペレスはストラーに自分の目撃の詳細な説明をし、三月十四日には私にも話してくれた。この目撃者たちはあの人物の出現に「驚異的な」意義を認めず、二人とも何の役にも立たない「キチガ

### ■白昼、UFOが出現！

イ男」だったにちがいないと言う。

こうした一連の目撃事件は二月二十二日の日曜日にクライマックスに達した。今度は白昼、公園上空にUFOが出現したのである。正午少し前のひどい大雨の際中に、ドアマンのエディー・オバートゥベッセンが静止した円盤型の物体を見た。丸く、平べったくて、クロームのように輝いている。黒雲が急速にかすめ飛ぶあいだ、この変哲のない物体は強風の中に静止しており、速い雲で見えたり隠れたりしている。約二十分間出現した後、渦巻く雲で急に隠されてから消えてしまった。数分後に空が晴れると、もう見えなかった。ドアマンは二番目の目撃者に知らせる余裕があった。これはビルの管理助手ジョージ・ロークで、彼もその物体を見たのである。この目撃は二月二十四日にテレビ番組をテープにとっているときに、わかったのである。

三月五日にオバートゥベッセンが報告したところによると、その週の初めに、ストーンヘンジの公園を見下ろす高層階に住む一婦人が、夜九時三十分頃、自室の窓から外を見ると、小さなきらめく物体が公園の地面近くの空間を矢のように飛んでいるのを見て驚いたという。彼女がドアマンに告げた話によれば、そのとき公園には人影は



## ●二人の研究家の意見交換

# UFO・現実と幻想のはざままで

ウイルバード・フランクリン博士（写真右上）は、イリノイ州立大学物理学准教授、心霊現象の研究でも知られている。

アール・J・ネフ（写真右下）は、インディアナ大学ブルミントン校の教授で、UFOの研究でも知られている。

UFOは実在し、どこから、なぜ来るかが問題だというネフ氏。UFOは未知のもので、人間の心の内部から来るのかもしれないというフランクリン博士。この二人が『プレイン・ディーラー』一九七六年十月三日号の誌上で語り合っ得た結論は？

\*聞き手はカレン・ゴールドマン

## ◇ 心霊現象とUFO

—フランクリン博士、心霊現象をUFOと関係づけながら定義していただけませんか。

フランクリン 私の個人的な定義では、心霊現象とは今日の科学では説明のつかない事柄のことです。

—それがUFOとどういう関係にあるとお考えですか。

フランクリン UFOについての経験を考へてみる必要がありますね。いくつかのことが挙げられます。まず目

で見えるのですから、視覚による観察があります。またUFOの音が聞こえますから、聴覚があります。それに、UFOから物体を与えられたという話を聞いたことがありますから、触覚もあるでしょうね。

—あなたがこれまで観察されてきた心霊現象との類似が認められるような、特定の例を挙げていただけませんか。たとえば、何かを目撃したのにフィルムには全然写っていないかったとか、





あるいは何も見なかったのにフィルムに何かが写っていたというような……  
**フランクリン** ええ。ステラ・ランシングという超能力者がいるのですが、彼女はUFO写真を作ることができません。小さなUFOが時計の文字盤状に並んで見える写真が十枚くらいあるでしょうか。彼女は、それを念力でフィルムに作り出したと言っています。私の研究室でも、同じようなことをやってももらいましたので、私は科学

者としてこれを信じられます。

——前にお話をうかがったとき、UFOを作り出す心霊現象があると信じていらつしやるということでしたが、とくにパーミュニダ・トライアングルにはそれがあるといってお考えだそうですね。

**フランクリン** 信じているかどうかは大した問題ではありません。私たちは証拠を探しているのです。私がUFO現象の分野で目を通した目撃例につ

いて言えば、そのほとんどすべてが、一定の条件のもとですが、心霊現象として起こりうるという証拠がかなり沢山あるのです。

——私たちが地球外文明の訪問を受けているとお信じになりますか。

**フランクリン** それについての信念というものはありません。私はなんの先入観も持っていません。信念という

## ◇ ユリ・ゲラーとUFO

——あなたがたお二人とも、ユリ・ゲラーの撮影したUFO写真をよくご存じですが、それについてご意見をお聞かせねがえませんか。あれは一種の念写なのでしょうか。

**ネフ** ゲラーは、彼が飛行機の中から撮影した3つのUFOが写っている写真をポケットから取り出して、こう言いました。「UFOが機外にいることが分かったんです。外にいるのは分かったけれど、目では見えませんでした。ヒザの上のカメラを取り上げて、写したのです」UFOを目撃してもカメラには写らないということがしばしばありますし、その反対のこともあります。

——これは、まさに外部からのUFO

ことでは、他の惑星にも生命が存在しているということにとどまらず。

**ネフ** 私が多くのことを教わったヘルマン・オーベルト博士という人がいます。有人ロケットの父といわれている人ですが、博士は、はっきりそうだとは言っていませんが、UFOは私たちの太陽系のかなたから来ているのかも知れないと考えておられました。

Oの実例なのでしょうか、おそらくは別次元からの。それとも、フィルムへの念写という思考過程にすぎないのでしょうか。

**フランクリン** 誰にも分からないでしょう。まず第一に、心霊現象というのは別次元なのです。別次元ということがなければ、心霊現象はありえません。

**ネフ** 別次元ということについては、UFOの音が聞こえないこと、しばしばあります。しかし動物は、家畜でも野性のものでも、UFOがいると鼻をならしたり、吠えたりといったさまざまな動作を行います。私たちの視覚、聴覚などは、その範囲がとても狭いのです。

## ◇ バーミュューダのUFO

——フランクリン博士、あなたはこ

の夏、バーミュューダ・トライアングルの

で二週間を過ごされましたが、あなたの冒険について若干お聞かせねがえませんか。

**フランクリン** ええ、私はアレックス・タノウス、エレヌ・フォートソンという二人の超能力者、それにシェリダン・スピアース博士たちと現地へ出かけました。タノウスは、アメリカ超常研究協会(ASPR)のテストを受けたこともあり、霊魂離脱についてはアメリカでも最高の超能力者の一人です。

**パーミュニダ・トライアングル** についてですが、私の意見では世界中の他の場所とそれほど違ったところはありません。ただ、重要かもしれないニュアンスの相違はあるようです。

私は雷雨のときに地上に発生するニューマン共鳴に関心を持っています。これは電磁波で、いつでも地上のいたるところにあります。地球上には、このニューマン共鳴の強度がより高い地域があると思われます。これについて推算している人たちの話では、こういった地域が地球上に十ほどあり、パーミュニダ・トライアングルもその一つだそうです。

——これは、そういった地域で、地球の磁力バランスに影響を及ぼすのですか。

**フランクリン** ええ。人体に対する影響に興味がおありかもしれませんが、振カリフォルニア大学の研究室では、振

動する磁場によって、猿の行動パターンが劇的に変化することを実験で示しました。だから、ある電磁周波数が人間に及ぼす影響についても、ありうると思われるでしょう。これは科学によって説明可能な事柄でして、心霊とは違います。

**パーミュニダ・トライアングル** 地帯で、私たちは磁場を測定しましたが、水深が八キロ以上のプエルトリコ海溝でピークに達しました。このピークを数分間みていて、エレヌ・フォートソンは感情に激烈な変化があったと報告しています。磁場の変化で彼女は抑うつ的な感情をこうむり、磁場が減衰するまで夜中その感情が持続しました。同じ日に、タノウスは霊魂離脱を体験しましたが、これまで最良のものだったと言っています。

——視覚的に分離がある投射の事例がありますね。ある身体が二カ所で目撃されるといふ……

**フランクリン** ええ、別の場所での身体を目撃するということがあります。タノウスはそうではありませんでした。彼の身体が驚くほど変化し、伝導性がほぼゼロまで低下しました。私たちは彼に電磁テストを行ったのです。その後、エレヌ・フォートソンは何かが存在すると感じました。その晩、私たちは写真を撮りました。私たちはポートの舷側から写真を撮ったのです。夜の十一時から午前三時まで。

UFOは見えませんでした。三十六枚の写真のうち十九枚に小さな白い点が写っていました。撮影に使用したのは、NBCスタジオの特別なASA400フィルムです。

**パーミュニダ・トライアングル** で、コンパスの指針が回転して下をさしたことがしばしばありました。ジャイロスコープの具合が悪くなることもありまして、これらは船の方向を保つ手段として、人間が知っている最良のものです。これは飛行機で、そして船で起こっています。磁気障害が原因かどうかの問題です。それとも、心霊的なものなのでしょうか。私の研究室の超能力者の中には、コンパスを回転させる能力を持った者がいますよ。

**ネフ** 国際地球観測年のとき、南極の近くでレンズ状のUFOが上空に出現したことがあります。船の磁気ギアはすべてUFOが出現している間、使用不能になりました。この船には超能力者は乗っておらず、国際地球観測

## シベリアの謎の大爆発

——あなたがたがこうした現象を扱っているパーミュニダ・トライアングルのような領域で、宇宙の穴とか異次元への旅行とか、時間の歪みといった概念についてどうお思いになりますか。

**ネフ** それについては、ソ連がかなり

年の研究スタッフだけでしたが。**フランクリン** それは問題ではありません。この地帯の電磁場は、正常人に二通りの作用を行います。彼に幻覚をもたらしたり、超能力状態をひき起こしたりして、潜在意識の下で超能力者のようなふるまいをさせることができます。自分でそうしていることを知らず、意識的にそうしようと思わずに。だから、この領域で超能力者である必要はないのです。私の意見では、すべての人々が超能力者を持っているのです。

——あなたのおっしゃっているのは、磁気障害が強いと集団の人々に幻覚を見させるという集団超常幻覚の例なのでしょいか。

**フランクリン** うーん。それは面白い問題ですね。集団の誰かが他の人々に見させたのか、それとも、集団の相互作用によるものかということですね。集団のほうが、個人よりもずっと多くのことができるという感じですよ。

りのことをやっています。もちろん、あの一九〇八年六月三十日に、シベリアで爆発したツングース「隕石」のことですが、これは明らかに別の宇宙から飛来したものだと思われています。

——隕石ではないのですか。  
**ネフ** 隕石ではありません。かなり

前、ソ連の科学者たちはその地域の土壌を移して、合金の粒子を発見しました。私の友人は、この爆発が起きたとき、ハンガリーで暮らし、学校に通っていた若者でしたが、数週間後に窓の外を見た時、窓全体が何もかもまっ黄色だったそうです。これは数時間や、数日間ではなく、かなり長い間続きました。ものすごい爆発の結果、微粒子が空中に広がったのです。

カリフォルニアのような遠くかなたにあるアメリカ杉のなかにも、後年切りたおしてみると一九〇八年以降の年輪の成長が変化して、四センチから七センチ離れていました。ツングースカからカリフォルニアまで、木に影響が及んでいるのです。これは核爆発だと思えますね。

私の知るかぎりでは、実際にUFOを撃撃したのは二人の漁師だけです。他の人々はキノコ雲を見ている。しかし二人の漁師は空中にUFOを実際に目撃しています。爆発は地上では起こっていません。漁師たちは船で天然の入り江に入っていたので、あの恐ろしい爆発の衝撃波からも無事でした。当時、その地方でトナカイを飼っていたある男は、井戸にサイフを落としました。彼はそれを取りに井戸の中に入りましたが、戻ってみると、トナカイは全部死んでいたのです。いったい何だったのでしょうか。どうやってUFOはやって来たのでしょうか。

か。

フランクリン それについては、これまでの科学でも、超常現象からも説明はつけないですね。

ネフ まさにそうなのです。——超常現象で起こっていることと、UFO研究者が求めていることとが融合して一つになるようなことがあるとお考えですか。

フランクリン それは疑わしいと思います。超常現象とUFO現象との間の問題点についての論争は、私の生きている間に結着をみないでしょう。融合は起きないで分離が生じると思えます。超心理学者のなかには、UFO現象

## ◇理解できない事件

フランクリン 私がUFOを見たのは、スタンフォード研究所を訪れたユリ・ゲラーと一緒に、夜になって研究所を出たときです。暗くて曇った夜でした。雨は降っていませんでした。視界の限度は百五十〜三百メートルで、駐車場は明るく照らされていました。私とユリ、それにアンドレア・ブハーン博士がUFOを目撃しました。UFOは金星よりも明るく輝いていました。私にとって初めての経験で、口をポカンと開けて立ちつくしました。

私を見せつけて、「君が見せてくれているんだ」と言いました。彼は表情象が超心理学的な出来事で説明できるという者がでてくるでしょう。またその逆のことも起きるでしょう。さつき伺ったツングースカ地域の物語は、まさにUFO現象を実証するものですが、それ以外はすべて超常現象の領域で起きています。それが超常現象であるといっているのはありません。私たちが同じような出来事を見ていると言っているのです。

私はUFO現象を心靈現象の一般的枠組に含めています。私としては、別の空間、別の次元、そしておそらく新しいタイプの力や影響について考慮しなければならぬと思います。

もう故人ですが、カナダのプロジェクト・マグネットに関わっていたウィルバー・スミスのところ、ある晩、一人の男が訪ねてきました。そして、「私についておいて下さい。宇宙船とその乗組員を見せてあげますよ」と言ったのです。そこでスミスは出かけて目にした。宇宙船と生物を。一緒に歩いてきた男に言われて、スミスは小石を拾って宇宙船めがけて投げつけました。小石はぶつかり、ピーンという音がしました。その男が「これから消えるようです」と言うと、スミスの目の前で、船も生物も消えていきました。飛び去ったのではなく、単に消えてしまったのです。

つれの男が「もう一つ石を拾いなさい」と言うので、それとおりに前と同じ場所に投げるとやはり音がします。でも何も見えません。宇宙船と生物は「もう一度でできますよ」と言った通りになり、それから普通の方法で遠ざかって姿を消したということです。

私はこの分野の研究を二十四年間も続けていますが、こんな話を聞いたのは、あとにも先にもありません。

——ネフさん、もしすべてのUFOが心靈現象の結果だと科学的に実証されたら、それをお認めになりますか。

ネフ 何事であれ、証明されればそれを受け入れます。でも今のところは解明されている状態です。分かりませんね。本当に分かりません。

UFOによる誘拐事件がたびたび報告されているアメリカで、またも不可解な事件が報じられた。今度は三人の女性が、乗っていた車ごと無意識状態で誘拐され、身体検査まで受けたあとで解放されたという。宇宙人はいよいよ地球人との接触を深めているのであろうか。

これまでに報告されたUFOコンタクト事件の中でも極めて奇怪な、戦りつづつともいえる事件が発生した。ケンタッキー州の三人の女性が、乗っていた車からひっぱり出され、奇妙な「人間」から拷問に近い身体検査を受けたのである。事件の真実性は警察当局によるウソ発見器テストや有名な大学教授の催眠術によって立証されている。

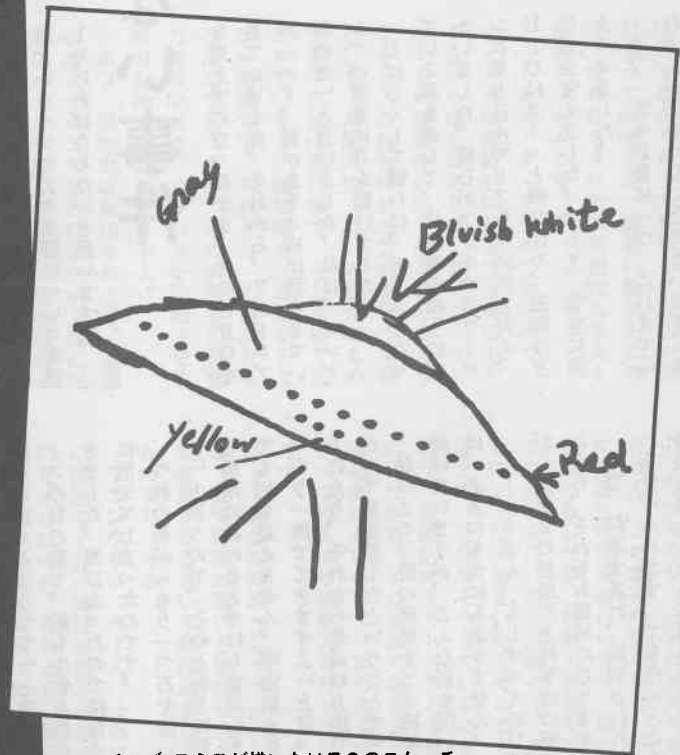
この女性達は三人共熱心な礼拝出席者で、日頃非常に真面目で正直だという評判である。

彼女達の記憶によると三人がいなか道をドライブしている時に、突如巨大な円盤が襲いかかってきた。すると何か恐ろしい力が車に加えられ、車はひとりでに時速八十五マイルで突っ走っていった。

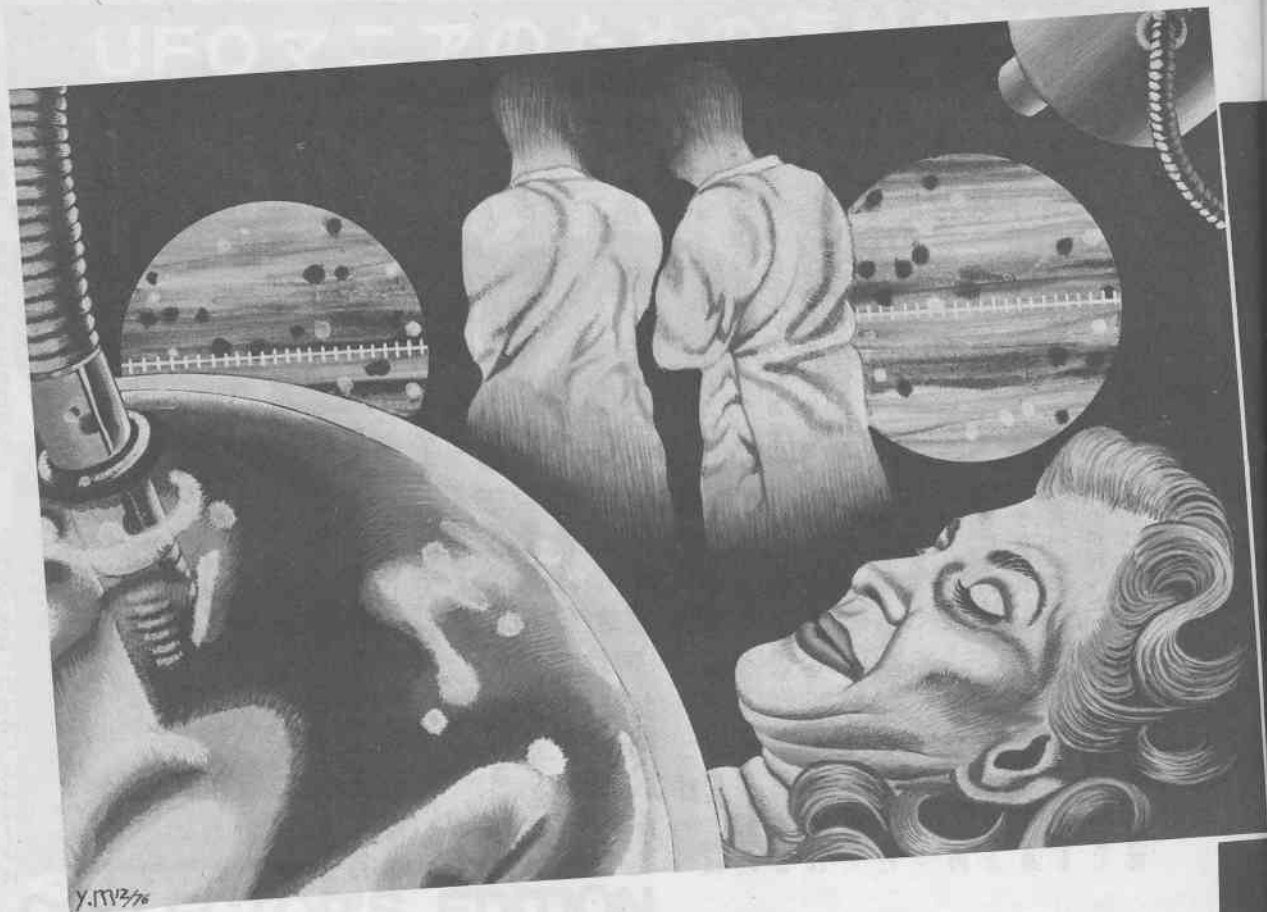
ケンタッキー州スタンフォード

女性二人を身体検査した巨大UFO

ウソ発見器と催眠術で真実性を立証



ルイズ・スミスが描いたUFOのスケッチ



それからの八十分間というものは、彼女達がまったく説明のできない空白状態となった。次に思い出せることといえば、最初に円盤を目撃した場所から八マイル離れた町に向かって運転をしていたということである。

この八十分間の空白の秘密を解くために催眠術が必要となった。ところがこの催眠術によって判明したところによると、彼女達はまったく興味津々たる誘拐事件に巻き込まれたのである。

催眠術にかけられた状態で一人一人の女性が話した内容は、いずれも車からひっぱり出されて奇妙な部屋に閉じ込められ、そして車に連れ戻されるまでの間に、耐えがたいような身体検査をされたということであった。

事件の調査に当たった関係者は、三人の体験を立証する肉体的な証拠を見出した。三人の首に長さ三インチほどの奇妙な火傷のあとがあったのである。

MUFON(相互UFO網)の幹部であり、また有名なUFO研究センターの調査担当でもある専門家レン・スプリングフィールド氏はこの事件について「これまで記録のあるもののうちもつとも説得力をもつ事件のひとつである」と述べている。

また、催眠術を行ったレオ・スプリングル博士も、彼の術にかかった女性達は真実の体験を話した、という確信をもっている。ワイオミング大学で心



理学を教える同教授は「催眠術にかかった状態でウソを言うのは非常にむづかしいのです。彼女達は別々に行われた催眠テストで基本的に同じ内容をしやべっていますので、ウソをついたということがはまったく考えられません」と語っている。

三人の女性の名前はイレース・トーマス(48歳)、ルイズ・スミス(44歳)、モナ・スタップフォード(35歳)。三人共、生まれてから今日まで大半をケンタッキー州リバティの市内ないしは近郊で過している。イレースとルイズには孫がおり、モナ・スタップフォードにも十七歳の子供がいる。

### 車が引き戻された

この悪夢が起きたのは昨年一月六日

午後二時半、場所は彼女達の自宅から二十九マイル離れたスタンフォード市で、彼女達はそこで夕食をとって帰る途中であった。突然彼女達の前に円盤が現れたのはスタンフォードの西一マイルばかりのところであった。

車を運転していたルイズは「円盤はフットボール場ほどありましたが、金属的な灰色で、白く光るドームがあり、中間のところを赤色の光が二列に並び、下部には赤と黄の光が三、四カ所に見えました」と話している。

このUFOは彼女達の目の前に停止した。そして車の後部へぐるりと回ったかと思うと、突然彼女達が乗った車は速度を上げ、ルイズにはどうすることもできなかった。

彼女は「速度計は八十五マイルを示していました。他の二人は、そんなにスピードを出さないといいましたが私の足はアクセルに触れてもいなかったんです」と言う。

それから、車は恐ろしい力で後方に引っぱられ、三人の記憶の空白が始まったのである。次の記憶は、UFO目撃地点から八マイル離れたヒューストンビルの街灯であった。

女性たちは恐怖にふるえながら、リバティー市のルイズの自宅へ行った。夜中の十二時頃着く筈だったが、実際には午前一時二十五分であった。「一時間二十分という時間が消えてしまっていたのですが、その時間の空白

を説明できないのです」とルイズは言う。

彼女は首に痛みを覚え、モナに見てもらった。奇妙な赤い傷がついていた。傷の長さは三インチ、幅は一インチでまだ新しい火傷のようであった。

イレースとモナの首にも同じような傷がついていた。

彼女達は隣家のローウェル・リー氏のところへ行き、ことの次第を話したところ、彼は三人を別々の部屋へ入れて目撃したUFOのスケッチを描かせた。三人が描いたものはいずれもほぼ同じであった。

首の赤い傷は二日後には消えたが、説明のできない一時間二十分の空白が気になった。

## “助けて、お願い”

ナショナル・エンクアイアラー紙は結局七月に彼女達を二度も催眠状態にして、秘密を解いた。この催眠術によって、彼女達は車が後方に引っぱられた時からヒューストンビルに着くまでの間の出来事を思い出すができたのである。

イレース・トーマスの思い出した内容によれば、彼女は早産児保育器のような細長い部屋に寝かされ、そばを身長一・二メートルばかりの黒い生きものが行ったり来たりしながら彼女をじろじろ見ていた。それから彼女は胸部

に丸味のある器具を押しつけられたがこれはかなり苦痛を与えた。彼女の首には得体の知れぬものが巻きつけられ彼女が何かしゃべろうとするたびにのどを締めつけた、という。

イレースは催眠状態で時々そっと泣いた。「何かが私を押ししている。手のようなものが……私の前を影が通る……胸が苦しい。息ができない。逃げられないわ」

ルイズ・スマスは顔に何かかぶせられて暗く暑い部屋にいた。彼女は一度だけ、その「生物」を見ることができたが、目に入るものすべてがあまりにも恐しかったので、彼女はすぐに眼を閉じてしまった。彼女は催眠術にかかっていてもその顔を思い出すことができなかった。

催眠状態の中で彼女はこう言った。

「助けて、お願い。暗くて怖いわ。顔のものをとって。腕をはなしてちょうだい、起きられない」

それから彼女は泣き出し、「お願い、もうこれ以上はやめて。死にたい、さわらないで」と言い、今度は笑顔になって「帰ってもいい？ 明かりが見えるわ、街の明かりが見える」と言うのだった。

モナ・スタップフォードは手術室のような部屋でベッドに横になったのを思い出した。彼女の右手は目に見えない力によって固定され、ベッドの周囲には白衣の人間が三、四人坐っていた。

どんなかたちをしていたかは覚えていない。

モナは自分が拷問されたと信じている。一度は両方の眼球が外にひっぱられるように感じ、また腹部を風船のようにふくらまされたような気がした。

「頭が痛い、眼が痛い、とても……」彼女は言った。「水晶みたいな眼が見えるわ。光の中に広がっていくみたい。私の両手はしばらくはられているみたいわ」「ひっぱっている。私の足をひっぱっている。足をくじいたわ。もう耐えられないわ」

ケンタッキー州レキシントン市のジェームズ・ヤング刑事は三人をウツ発見器にかけた。テストの後、ヤング刑事は「彼女達は実際に宇宙人に出会ったと信じているようです」とコメントした。

彼女達に二度にわたって催眠術をかけたスプリング教授は次のように話している。「この女性達が奇妙な宇宙人に観察され、手荒に扱われたと信じているのは確かです。彼女達がこのような体験談をでっち上げるのは非常に困難な筈です。また空白の八十分に関する感じ方は他のUFOによる誘拐事件体験者と極めて類似しています」

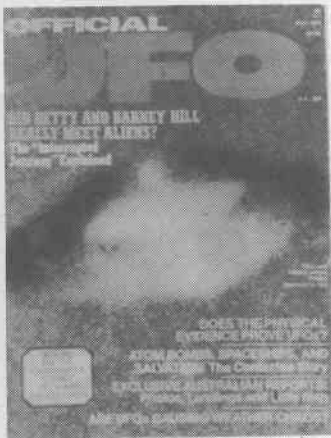
ちなみに、彼女達がUFOを目撃したリンカーン郡の保安官ビル・ノリスによると、この年の一月に同郡内で多数のUFO目撃が報告されたということである。

# UFOマニアのための海外雑誌

マニア必見！世界のUFOに関するコンプリートな情報誌

## OFFICIAL UFO

発売中！  
外国雑誌コーナーのある  
全国主要書店でお求めください



### ●オフィシャル・ユーフォー

年9回刊 定価 650円 (〒120円)

27.5×20.7 cm 約60～70ページ

Countrywide Publications Inc.

UFO目撃談、体験談はもちろんのこと、アメリカを中心に世界中のUFOマニアの動向、さまざまな努力を追跡取材しています。物理学など、科学的なアプローチと共に、『UFOと大統領選挙』といったような、政治的な視点ももっており、マニアならではの興味つきない編集。UFO関係の中の代表誌です。

## COLLECTOR'S EDITION OFFICIAL UFO

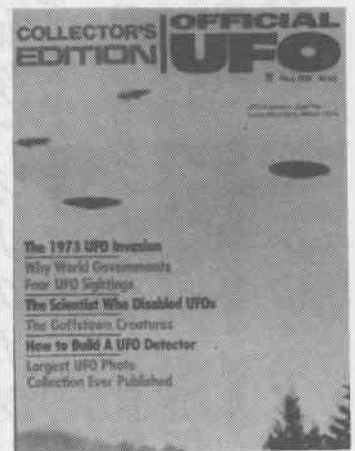
### ●オフィシャル・ユーフォー コレクターズ・エディション

定価 1,370円 (〒160円)

27.5×20.7 cm 146ページ

Countrywide Publications Inc.

《オフィシャル・ユーフォー》の別冊特集号です。現代UFO学の歴史的考察からUFO地球侵入の実績、CIAとUFOの関係、鉄のカーテンの中でのUFO等々、UFOに関する情報の総集編。豊富な写真と図版が、素人にも興味深く、UFO探知機の作り方など、マニアには絶対に見逃せない章もあります。UFO情報の決定版。



洋販が扱う輸入雑誌は、洋雑誌コーナーのある全国主要書店でお求め下さい。品切れの節は、代金と送料を添えて本社事業部宛にお申し込みください。

### ◎ YOHAN (日本洋書販売配給株式会社)

160 東京都新宿区西大久保4-170 TEL 03-208-0181 振替・東京2-95014番

札幌 065札幌市北区北19条西5-20-59 TEL 011-741-7706 大阪 533大阪市東淀川区豊里町925 TEL 06-328-4223

仙台 980仙台市青葉区3-9-14 TEL 0222-23-7307 広島 730広島市竹原町7-9 TEL 0822-44-5705

横浜 231横浜市中区石川町3-104-2 TEL 045-641-2071 福岡 812福岡市博多区隈崎8-22土曜ビル TEL 092-291-6774

名古屋 464名古屋市中区元吉井町3-9カニビル TEL 052-731-7591 沖縄 900那覇市若狭3-1-8 TEL 0968-68-0245



### ギャラップ世論調査

科学は今、火星上に原始生命体を求め、さらにまた、果てしない宇宙のどこかに存在すると思われる知的生物の星を探し当てるための、巨大なラジオテレスコープの無線信号が、この遠い文明の地から天空に向け、送られている。

一方、まさにこの地球上において、大気圏外から高度な知能を持ったある生命体が飛来しているという証拠、しかも豊富な証拠を見つけることは、果たして可能であろうか？

見たところ何百万人ものアメリカ人は、それを信じているようだ。事実、最近のギャラップ世論調査（訳注ⅡG・H・ギャラップ博士主宰による世論調査）によれば大半のアメリカ人は、UFO——未確認飛行物体——は実在し、そしてそれは「空想からひねり出した作り話ではない」と信じている。その上、約一千五百万人のアメリカ人は、実際にUFOを見た、と主張している。



ただ、現段階においては、UFOの出現がある種の異なる知能の存在を意味している、ということを実証に討論することよりも、単なる流行的なものとして取沙汰されているのが、多少の難点ではあるようだが。

### エゼキエル／

#### ケネス・アーノルド

意外にも、奇妙で不思議な物体は、実は、何千年の間、太古の昔から空に見えていたのである。あの預言者エゼキエルでさえも、神に仕える恐ろしい「輪の中の輪」が現れたという天の



異常な光景を、次のように記録している。

『もろもろの輪の形と造りは、光る貴き宝石のようである。四つのもとは同じ形で、その造りはあたかも輪の中に輪があるようである。その行く時、彼らは四方のいずれかに行き、行く時は回らない。四つの輪には輪縁と幅があり、その輪縁の周囲は目をもって満たされていた。生きものが行く時には、輪もその傍らに行き、生きものが地からあ

がる時には、輪もあがる』  
(エゼキエル書一・十六―十九)

エゼキエルが見たものは、何だったのだろうか。単なる神の御使い？ 大勢の天使たちの代表？ それとも、それは？

しかしながら、本格的なUFO時代の幕あけは、第二次世界大戦が終わるまで待たねばならない。

それは一九四七年、アイダホ州の実業家ケネス・アーノルドが、家用機でワシントン州チーハリスからヤキマに向かつて飛行中、編隊を組んだ円盤型物体が、そばをすれすれに通って行くのを目撃したことに始まる。彼は後に、こう語った。

「その形は、ちょうどソーサー（コーヒーの受け皿）のようで、飛び方は、まるで水を横切るかのように、実に軽やかだった」  
このニュースが流れるや、たちまち

## これからUFOを研究する人のために

『ブレイン・トゥルース』誌（アンバサダー・カレッジ刊）より

何千年も前から記録され、今日でも多くの人々に目撃されているUFO。そのUFOをめぐる様々なドラマが展開する。熱心なUFO研究家ハイネック博士、否定論者フィリップ・クラスなどの言葉をはさみながらUFO界の歩みをたどる。

「フライング・ソーサー」の呼び名が流布したのである。そして、この時以来、ユーフォービヤ、ユーフォーリア、ユーフォージストと呼ばれる人々の数がめざましい速度で増えていった。さすがに、ベテランパイロットたちは、その仲間にはならなかったようだが。

### ブルーブック／コンドン報告

しばらくして、空軍基地上空で得体の知れぬ「フライング・ソーサー」が目撃された、というひどくやっかいな報告がなされた。民間からも、ひっきりなしに報告が続くようになり、とうとう米空軍が本格的調査に乗り出すことになった。(訳注Ⅱこれがプロジェクト・ブルーブックである)

二十二年間、米空軍は、UFO報告を細大漏らさず調査し続けた。そして一九六九年のこと、約一万三千件にもなる「現象」の調査を終えた後、米空軍は、

「UFOとは、国家保全、もしくは科学的理由から、不当に正当化されたものであり、もはやこれ以上の調査はで

きない」

と表明し、ブルーブック・プロジェクトを解散させた。この決定には、米空軍後援のもと、コロラド大学の科学者、エドワード・U・コンドン博士の指揮下、二年間の考慮期間があった。

コンドン報告書によれば、目撃報告の約九十パーセントは、飛行機、人工衛星、気球、街灯、標識灯、雲、鳥、または他の自然現象など、普通の事象物に関連したものであることが証明されたという。またこのコンドン報告書は、残るUFO報告、いわゆる未確認飛行物体については「他文明から地球に宇宙船が飛来しているという証拠は何も発見できなかった」という。

「The National Academy of Sciences」は、これに賛同の意を表わした。

「(この結論は)非常に理性にかなったものであり、これからのUFO問題に関する指針となるであろう。また、UFOが大気圏外から来ていると主張することが、いかに根拠のないものであるか、まして、証拠もないのに人を信服させるものではない、というこ

とを認識させてくれるものである」

しかし、米空軍に従い、プロジェクトチームの調査研究に参予したあるUFOサークルは、ひそかに、UFOがまじめに理解されねばならぬ決定的な証拠を探し続けることを決めていたのである。

ノースウェスタン大学の天文学部長であり、熱心なUFO研究者であるJ・アレン・ハイネック博士は、コンドン報告書は結論を急ぎすぎている、と言い、また次のようにも述べている。

「UFO研究は、長い間、道楽的なものとして続けられ、また、そのように思われてきたために、今となっては、UFOを研究すること自体が、空想の過熱によるものだという周囲の人々の先入観を、消し去ることができなくなっている」

(訳注Ⅱのちに、このコンドン報告書は、自分たちの否定論に有利なデータだけを意図的に選んでとりあげ、そしてまとめられたものであることが暴露されている)

### UFO誤認事件

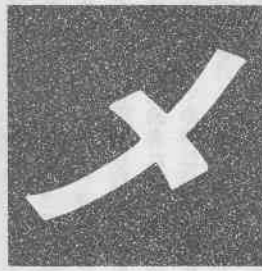
実に、過去わずかの間に数千件にもなるUFO目撃事件があり、また、その存在を信じる人の数は増えていくばかりである。

UFO関係の書籍はベストセラーになり、新聞はこれ見よがしに、UFOの最新記事を書き立てる。少なくとも読者が、派手な見出しにつられて、興味半分で記事を斜め読みすることを責めることは、誰もできないのである。

こういう事件があった。

数年小さな目撃事件などが続いた後一九七三年のこと、ある衝撃的な事件が発生した。文字通り、何百ものUFOが大空を横切るのが目撃されたというのである。それは地方新聞から、たちまち国際的に報道され、各地に波紋を呼び起こすに至った。

ところが、この何百もの不思議な物体、実は気球であった。この地方新聞記者が、発光性のある洗濯袋に水を充填させて飛ばしたのであった。あとには、



「多数の、立派な人格をもった市民が色とりどりに光り輝きながら、猛スピードで飛び去るUFOを見た」という証言と、報道記事が虚しく残されただけであった。

無論、すべてのUFO事件が、こんなに単純で、たわいのないものであると指摘するのは、明らかに早計というものである。

しかしながら、このケースでも明らかのように、正直で誠実な人は、またそうであればあるほど、多分にして、未知の物体を誤認するという事実は、捨て切れないようである。

### いかにしたらオムレッツが作れるか

一九七五年十一月、世界初のみじめなUFO国際コンファレンス(会議)が、アーカンソー州のフォート・スミスで開催された。

例のごとくUFO研究者たちは、UFO目撃報告を抹殺した米空軍と、他の権威者たちを激しく攻撃した。またこの会議には、野次や軽蔑も目立つ中で、UFO否定論者たちを納得させるべく数人の新証言者も出席した。

チャールズ・ヒクスンも、そのうちの一人である。彼は、一九七三年十月十一日、ミシシッピ州パスカグーラ湖畔で同僚と釣りをしていた際、巨大な葉巻き型宇宙船(訳注「原文通り」)に連れ込まれ三人の宇宙人に「examin(検査)」されたという。彼は、その場

で、同じ話をくり返したわけだが、ウソ発見器にかけられることを、用心深く拒絶した。

それでも、この日提出された証拠の数々は、UFO肯定論者たちを大いに力づけさせるものであったのは間違いないようである。

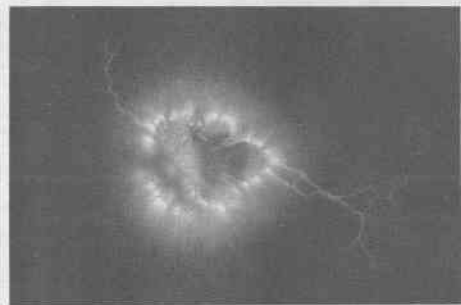
この会議の席上、最近UFO研究センターを設立したばかりのハイネック博士は、次のように述べた。

「我々は、UFOを否定する人々に、何とか理解してもらおうと努力を重ねてきたが、結果としては、すでに過去の膨大な時間がムダに費されてしまった。けれども、今こそ我々は、卵が存在するか否かを議論することはやめなければならぬ。それよりも、いかにしたらオムレッツが作れるか、それを研究すべき時に来ているのです。(訳注「明らかに存在するものの有無を議論することより、その活かし方を研究すべきである、の意」)

オクラホマ州の「International UFO Bureau」の理事であるバイドン・U・ヒューズ氏は、UFOは大気圏外宇宙から来ていると確信している。彼は、当誌(ブレイン・トゥールズ誌)に、こう語る。

「私は十九年間、UFO目撃報告を真剣に検討してきました。そしてようやく我々地球人は、外部宇宙の高等な、しかも慈悲深い、ある知的生物に見守られている、という結論を出すに至り

### キルリアン写真実験セット



キルリアン(KIRLIAN)写真とは、コロナ放電を利用し被写体の発光現象を撮影するものです。指や人体の一部などを撮影すると「生体エネルギー、オーラなどと呼ばれる現象が観察できます。あなたもこのセットで未知の世界を探ってみませんか?

#### ○キルリアン電子写真実験セット

TKP101(装置本体、附属部品共) ¥28,000

カタログのご請求は誌名記入の上下記まで

株式会社 テクノニクス

☎ 326 足利市鹿島町1156 ☎ 0284-62-8073

### ました」

——最近になって、世界中のあちらこちらで頻繁にUFOが目撃されるようになったのは、どういう理由からでしょうか?

「地球人、つまり我々人間の好戦的な精神は、スペース・プログラムにおける地球の、あるべき姿を無視して増え、いき、今や、非常に危険な存在になっています。平和を愛する彼ら生命体は、これを憂い、我々自身に、自らに知らしめようとしているからではないでしょうか」

### 否定論者フィリップ・クラス

しかし、有名なUFO否定論者であ

るフィリップ・クラス氏は、依然として否定論のままである。クラス氏は、何千時間も費してUFO事件を分析した結果、人々が述べるころの奇妙な現象とは、正直者が総じて不認識であったか、歪曲されたセンサー・ナリズムか、徹底的ないたずらか、であるとの結論を下した。

彼はその一つの例証として一九六八年三月三日に起きた事件を引き合いに出す。この事件は多数の人々が「まばゆく照明が輝く四角い十個の大きな窓のある宇宙船」を目撃した、という事件である。実にクラス氏は、この「宇宙から飛来した乗り物」と人々が言うところのものは、ソ連のロケットか、

地球を崩壊させ得るような人工物体であるに違いない、と主張している。

この他、一九七二年十一月二日、キヤンザス州郊外の農家で起きた、有名な「UFO着陸事件」は、クラス氏に言わせれば、その家庭の経済事情の圧迫から、評判をたてるため——金欲しさから——の計画的ないたずらである、ということになっている。

クラス氏は、静かに、こう語る。

「私は、UFOが宇宙から来ているという説が、大人にとっては非常に魅力的なおとぎ話であることは認めます。我々は大人になるにつれ、子供の時に空想にふけて、たとえ醜い蛙が、突然ハンサムな王子様になったりするような、夢のある素晴らしく空想的な話から、どんどんかけ離れてしまします。今日、我々が生活している環境があまりにも夢というものから隔たり索漠としたものに満ち満ちているから、特に、そういうおとぎ話的傾向に陥りやすくなっているのでしょう」

このクラス氏、UFOが宇宙から飛来しているということを、本当に証明できた者には一万ドル（邦貨約三百万円）を提供するまで宣言している。

天体物理学者カール・サガン氏も、同様にUFOの存在に関して、懐疑論的な一人である。サガン氏は、次のように述べる。

「私は、UFOを見たという人に対して、別に反目するつもりはないが、た

だ私がときどき懸念に思うのは、その時目撃したのは彼らだけだ、という点です。人間が信心深く、寛大な精神を持つている限り、また、人間の願望が人間の信念で簡単に決定されてしまう限りは、それはおとぎ話の吐け口や、科学の礼装を借りた言い抜けになってしまおうでしょうから」

だがハイネック博士の見解は違う。「我々は、新科学の誕生を見ているのだと思う。我々の観念で認識しうる物質界というのは、決して、今我々を取り巻いている外界全体の総計ではないはずだ」

### 三つの答

さて、最後に、数々のUFO事件の中でも多分に奇想と思われる話や、簡単に説明のつくケースを除外し、それでもなおかつ残る事件、手のつけようのない困難さを伴うケースについての分析を試みよう。

最後まで残ったざっと三十件ばかりのケースは、やはり、どんな説明を求められたとしても、びくともしないようである。これら特に常識をもってしては理解に苦しむケースに対して、考えられる限り、三つの答えが存在すると思われる。

- 一、それら(UFOと呼ばれるもの。以下同じ)は、科学特有の紋切り型の言葉や、ただ漠として堅苦しいまでに正確な観測データ

などで、説明でき得るものである場合。

この可能性の中には、無数の目撃報告例のうちでも、確実に科学的な説明が当てはまる少数の例に基盤を置く。ただし、秘密軍用航空機や、悪質ないたずらなども含む。

二、それらは、まだ未発見の事象物、あるいは完全に理解されていない単なる自然現象である場合。

この可能性の中には、実際に大気中で発生した奇怪現象、プラズマ、または他の、それに遭遇する大事件なども含まれる。

三、それらは、本当に地球上のものではなく、空間も時間も違う全く別の世界から飛来したものであり、異郷(星)の科学技術と知能によって作られたものである場合。それは恐らく、ほとんど非物理的ですからあり、超自然の「精神生命体」とも言うべきものだろう。

この可能性は、すでにたくさんの人々によって、安易な逃げ道として考えられてきたものであるが、少なくとも、申し立てられた幾つかの、現科学では立証不可能とも言える事件を、十分説明しうるものである。

さて、恐らく、遍在するUFOに対する究極の答えとしては、これら三つ

のすべての可能性に集約されるであろう。

単に、UFOが我々の二十世紀の大気環境における人工物体であると仮定しても、大多数の人々がすでにUFOの存在を堅く信じるようになった今、どの道、UFO目撃報告は、今後も疑いようもなく残存し続け、観察され続けるであろう。 訳/伝法千登里

### 訳者付記

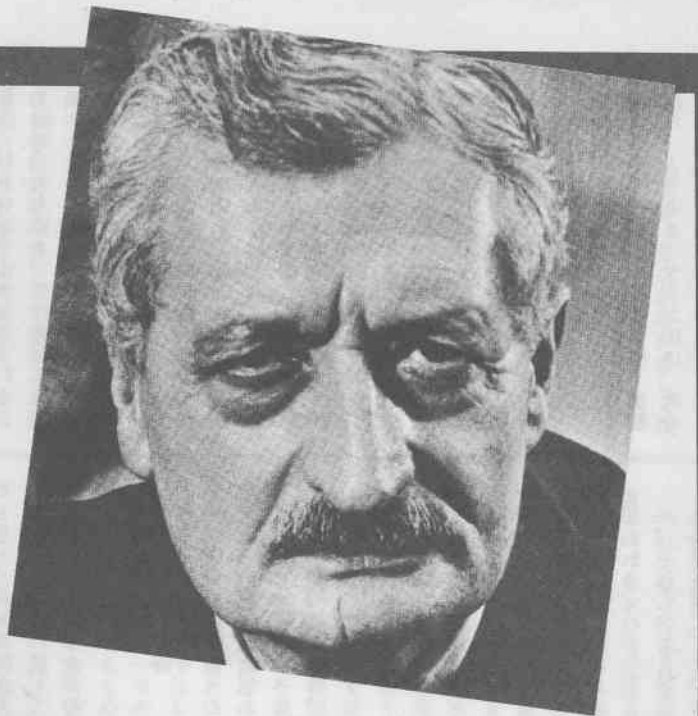
ある科学者が、こう言う。

「(UFO問題について) 利口な科学者なら、全部避けて通る」と。

確かに、現在の科学にコペルニクス的転回を求めるのは無理であるが、科学者が自分から門戸を閉めてしまう例が、あまりにも多すぎるように思う。

いかんせん逃げてばかりいるのでは、本来、次々に生まれ変わっていかねばならぬ科学は、進歩どころか、停滞してしまふ。その意味で、科学者に限らず、一般の人々にも、ハイネック博士の言葉は重く響くはずである。

「我々の観念で認識しうる物質界というものは、決して、今我々を取り巻いている外界全体の総計ではないはずだ」未知数のプラスアルファがあつて初めて物質界の総計になるのである。何かが、我々の認識外のとこに、明らかに「何か」が存在するのは誰にも否定できぬ。この「何か」がプラスアルファなのであろう。



存在しないはずの物体なのだが存在しているUFOの多数者によるその目撃、コンタクト、あるいは、こげた地面やバラバラになった樹木、奇妙な物質など、なまなましい物的証拠の確認報告が、高名な科学者や実業家などの目をUFO現象へと向け始めた。

一流の科学者、宇宙の先駆者たちは、いま、謎の円盤、UFO現象に関する真相を知りたがっている。

●写真/UFO現象に関心の高い宇宙旅行の父ヘルマン・オーベルト(右)とアポロ17号船長ユージン・サーナン。

テイモシー

ベクリー

マスコミのUFO問題に関する効果的な抹殺にもかわらず、UFO目撃事件は増加の一途をたどっている。

世界中から次々と流れ出る目撃報告のために、高名な科学者、教授、実業家たちは、UFO現象に対する関心の高まりを公然と示すようになった。

アポロ17号の宇宙飛行士、民間航空の先駆者、一流の科学者達が謎の円盤に関する真相を知りたがっている。

UFOとは何か? どこから来るのか? どのようにして地球へ到達したのか? UFOを操作している知性体が存在するのか? そうだとすればその知性体はどんな姿をしているのか? そして最も重要な問題だが、彼らは何を望んでいるのか?

こうした疑問が長いあいだまじめな研究者を悩ませてきた。これは現在、円盤の謎を真剣に追求する研究家にとって全くの障害になっている。

一群のUFO信者のなかには、次のような「転向者」がいる。

- ソントン・ページ博士(天文学者)
- ジョン・ノースロップ(航空界の先駆者)
- レオ・スプリング博士(ワイオミング大学の心理学助教授)
- ジェームズ・ハータック(カリフォルニア)

# 科学者は、 UFO問題に目覚めつつある。

# UFO問題レポート

ルニア芸術大学教授)

○ユージン・サーナン (宇宙飛行士、アポロ17号の船長)

○ギャリー・ヘンダーソン博士 (ジェネラル・ダイナミックス社のトップクラス科学者)

○ヘルマン・オーベルト教授 (宇宙旅行の父といわれる科学者)

○バートルド・エリク・シュワルツ博士 (精神科医)

## 有名な天文学者ページ博士はUFO問題を重視している

知的に操作された不思議な物体の数世紀間における目撃は、一般人の感情を刺激し、ときには危機や恐慌をひき起こした。しかし科学者がこの問題をまじめに考えたのは、現代になってか

らではない。

ボストンの天文学者の会合で、ウェスレー大学の有名な天文学者であるソントン・ページ博士は、世界にはUFO関係の謎が存在するので、これは早急に調査解明されねばならないと述べた。

ページ博士のこの声明は、直接に入手した多くの「決定的な」実例にもとづくものである。博士が強調したある報告は、数十名の目撃者のみならず、二名の警官の目撃証言によって裏付けられている。

### デッドウッドの

### 警官による目撃事件

米サウスダコタ州デッドウッドという静かな町に高くそびえる山の頂上



で、ライトを消したパトロールカーの中に座った二人の警官が、真暗闇の空中に音もなく静止している巨大な球体を呆然と見つめていた。

九月二十二日の夜は二人にとって普通が始まったが、午前二時三十分、一人がふと空を見上げて、北東から無音で滑空する球形の物体に気づいたのである。

もつとよく見ようというわけで、二人は国道14号の定期パトロールをやめ

て、その町の高地の眺めのよい地点へ前進した。

車から降りた二人は、停止しているUFOの方向へスポットライトを向けた。光がUFOに当たったとたん、物体は黒いシルエットに変わってしまった。

約二十分後、北西からその大きなUFOめがけて小さな白い物体が接近して来た。突然、また別な物体が南東から矢のように飛んで来て、大きなUF

Oの近くで停止した。しばらくして大きな物体は空中に四角形を描くかのようになり、まず右へ動き、次に下へ、続いて左へ移動してから、また上昇した。この移動中に大きな船体から時折青い光線が地面に照射されて、それが三秒ないし五秒間続いた。

二名の警官は再度その物体にスポットライトを当てたが、またその「母船らしきもの」はシルエットになった。

このスリルに満ちた光景の最中にパトロールカーのラジオがニュースを流したが、それによると近くの各部落の人々もこれと同じ編隊を見たという。

最初に出現してから三十分後、ついに小型の物体（複製）がもと来た方向に急速に飛んだ。しかし大型UFOは更に二十五分間も同じ位置にとどまっていた。そのあと、物体は一秒ごとにスピードを上げながら南東の方向へ飛んで行った。

突然自失の態で警官は山道を降り始めて、デッドウッドの警察本部へ急いだ。そして完全な報告がファイルされたのである。

この目撃以前、二人の警官は円盤については頑固に疑っていたし、数週間同本部に流れ込んできていた目撃報告類を無視していたのである。しかし今度こそは自分たちの見た物や他人が目撃した物を認めた。

以上の物語は、ドラマチックな映画のスクリーンからとったように見えるけ

れども、ページ博士によれば、この事件は真実なのだという。博士や他の似たような背景をもつ人々は、謎のフタがいつに取り払われて、大衆もUFOに関する真相を知らされるべきだと言っている。

### ノースロップ社長もUFOの信者

近年、UFOについて最も積極的な意見の一つが、米国のある民間航空のパイオニアから出されている。カリフォルニア工科大学の学生教授団の前で行われた講演で、ジョン・ノースロップは自己の信念を強調した。円盤は地球のそれよりも一万年も技術的に進歩した人類の製品であるというのだ。現在九十一歳のノースロップは、巨大なロッキード航空機会社の創立者の一人で、ノースロップ航空の社長である。彼は米国における初期の民間航空を成功させた少数者の一人であると言っている。

「私の意見では、空中に見られるUFOを操作している人間は他の世界から来た物理学者で、数世紀にわたって地球の発達を注目してきたのだと思う」と彼は言っている。しかも彼は「この宇宙船は、地球よりもはるかに進歩した、科学的にも洗練された他の世界から来た科学者が飛ばしているのだ」と述べている。

### テストパイロットは見た

ノースロップ自身はUFOをまだ見ないと言いが、UFOは「確実に存在する」と確信している。彼によると、親しい友人の一人とチーフ・パイロットたちが、全く説明のつかない物を目撃したという。

「テストパイロットのマックス・スターレーが当社の飛行機を操縦してテキサスからカリフォルニアへ飛んでいたとき、約八万フィートの高度に奇妙な半透明な物体があるのを目撃した。航空力学のあらゆる原理を無視したような存在で、しかも横向きに飛んでいたのである。」

スターレーが何を見たのかはわからないが、パイロット、レーダー技術者や、天文学者、軍人、警官等、信頼し得る筋からも数百の類似報告が出ている。そのとき、物理学の法則で説明のつかない性質を示した現象が空中に存在したと私は確信する」

と、六十年に及ぶ航空機技術者の経歴をもつノースロップは言っている。数年前、有名になったコンドン報告に関して、これは現代最大の失敗の一つであろうとノースロップは思っている。

「二十世紀のまじめな科学界は、コンドンのごまかしを笑うのをやめるだろうと考えている。コンドン報告は米

国の大衆に対してなされた最大の故意のごまかしの一つであった」

UFOは新奇なものではない。それは二万五千年までさかのぼるのだと、ノースロップは千二百名の学生教授団の前で語った。

彼が次のように話したとき、最も大きな驚きの声が出た。つまり彼は近接目撃が世界的に増加していることに首をひねり、関心を持っていることなのである。信用し得る市民がUFOのすぐ近くまで近づいて、なかには人間の乗員に話しかけたという例もあるというのだ。

たしかにノースロップの講演は、きわめて重大な時期になされたようだ。というのは、現在、あらゆる報告は、我々が新たな目撃ブームのさなかにいることを示しているからだ。そして今度こそ、その結果は大変なものとなるだろう。それはまだ新聞社の十分な注目を引くほどに達しないが、体制側の態度に予期し得ない変化をもたらしたと思われるようなブームである。

### 目撃は四種に分類できる

一九七三年の初めから、ワシントン州シアトルのUFO研究会に流れ込んだ報告類は、四種の特殊なタイプに分けられた。「多数者による目撃」「物的証拠」「低位置の目撃（または近接目撃）」「コンタクト」である。こうした目撃

類のすぐれた一部分は、空中または地上で物体を見た信頼し得る人々から出ている。存在しないはずの物体なのだが、存在しているのだ!

シアトルUFO研究会長ロッド・ダイクは言っている。この団体は現在全米から入って来る数百の情報をつるい分けており、それは結局、この四種類の範疇の一つに入れられるだろうという。

次の事件はこうした基本的タイプを説明するほう大な報告の中からとったものである。

●多数者による目撃

一九七三年一月二日、カリフォルニア州サンタアナの上空に停止している未確認物体を、数十名の市民が目撃した。一女性性は「こんな不思議な物は見たことがない」と言っている。

同市内の各地から「謎の光体」を見たという報告が警察署へ殺到した。その報告のいずれもが、UFOは直径五十フィート以上もある巨大なもので、上半分には丸い帽子型のドームがあったといっている。そして中央の外縁の周囲には多彩な光を放つ円形のリングがあり、物体の中心部の強烈に光るドアーから二本のアンテナが突き出ているという。

目撃者の一人によると、この物体が加速しながら消えて行くにつれて、発電機のような音を聞いたという。

驚くべき多数者目撃がカンザス州ダ

イトンを含む全米から流れ出てきた。

これは一地域における最多UFO目撃者数の記録を誇るもので、なんと一千名以上に及ぶのである!

「我々の町は小さいかもしれないが、UFOに関心を寄せる点では大きな町なのだ」と、その町の警察署長M・R・シェルトンは主張し、ダイトンはUFO大活動の中心となったと言っている。

「一九七三年の初め頃から続いて、過去数カ月間、一千五十名というこの町のほとんどすべての住民は、UFO関係の話をしてきた。だって私でさえも時速百マイルのパトロールカーでUFOを追跡したのだ」。だが物体は簡単に逃げてしまった。

●物的証拠

UFO活動に直接関連した物的証拠を発見しようとして、UFO研究者たちが行った寝ずの番は、最近数カ月で成功したかに思われる。焦げた地面、ばらばらになった樹木、奇妙な物質等の実例が、証拠として残ったものなかにある。

一九七二年十二月十一日、ニュージャージー州ポートエリザベスのウエザバイ道路をドライブしていたチャールズ・ウィリス夫妻は、UFOが地上へ降下するのを見たと言った最初の人である。

「午後九時頃、私たちはドライブしていましたが、そのとき、車の前方の道

路上空を飛んでいる光る物体に気づきました。数秒以内にその球体は樹木の高さあたりまで降下して、短時間、そこに停止したあと、道路の反対側へ横断して、森の中に着陸しました」  
恐れた夫妻は近くの電話ボックスへ走り込み、ノリスバラックスの州警察へ電話をかけた。これに答えた騎馬警官レナード・アンダーソンは、ポート・カンバランド道路から約半マイル東にあたる現場へ到着したが、発見した物に悩まされて、それ以来論議的になっている。

「着陸現場へ着いたとき、その物体が静止したと思われる森林中に、直径二フィートほど何物かがへこませた跡を発見して驚いた。地面のこの部分には

植物や松葉がなく、中心部には直径二インチ、深さ四インチの丸い穴があった。ここは全くの未開地で、上空から来ない限り、何かがそこへ到達できるとは思えない」

ノースキャロライナ州エレンボロのビル・ゴーンも、一九七三年一月五日に一機のUFOが着陸した証拠を見た。その日、奇妙な物体が彼の家の裏庭にちょつと着陸し、すぐに離陸したが、「気味の悪い緑色に見える物質」をあとに残した。これは降ったばかりの雪とまじっていた。

ゴーンはバット・ナニーが自分の高校の生徒活動に関して報告するのを電話で聞いていた。そのとき突然、隣室のラジオが気味悪くガリガリと鳴り

本格的UFO研究団体

日本宇宙現象研究会

JSPS三大機関誌

研究誌 未確認飛行物体

日本UFO研究会の特色として、調査・探求・分格分析……充実した内容でUFO現象の重要論文多数掲載。写真多数掲載。通常50ページ前後、高級オフセット印刷、図版、写真多数掲載。年2〜3回刊、現在7号まで刊行。1500部限定、非売品(会員配布)

情報誌 JSPS's UFO Information

も正確な情報を求めたい。この雑誌は、調査・探求・分格分析……充実した内容でUFO現象の重要論文多数掲載。写真多数掲載。通常8ページ、高級オフセット印刷、図版、写真多数掲載。8月創刊以来月刊ペースで現在5号まで刊行中。1500部限定、非売品(会員配布)

英文誌 Japan UFO Information

この数年の間休刊していた英文誌が、装いも新たに、よりよくなって世界に報道する待望の英文誌。(近日創刊)  
●本誌のみ会員外の方にもおかけします。入手法の詳細は後日発表。

年会費 500円 (マーク入り会員証交付)  
1期2000円 (誌代差引制、約1年分)  
入会金 500円 (お申し込み)  
入会費 500円 (お申し込み)  
希望添えて、振替、書留等でお申し込み

〒150 東京都渋谷区神山町5-2

日本宇宙現象研究会

振替: 東京6-128740 (当会は非営利団体です)

始めた。

「私が台所の窓から外を見ると、その物体が雪のつもった地面から数フィート上をゆっくり動いていました。数分間揺れ動いたあと傾いて、まっすぐに下降し始め、まもなく着陸しました。その物体は高さ約一フットばかりで、直径はその半分位でしょう。丸いというよりもむしろ四角で、端から炎を噴出していました。」

私はバットとの電話を切って、もっとよく見ようと外へ走り出しました。すると物体は約五十フィートまっすぐに上昇し、続いてライフルを発射したような轟音を発したあと、シューッと上昇して林のむこうへ消えました」

その地点を調べたゴードンは興奮した。氷雪の中に三インチの穴があり、その周囲に数個の小さな黒い物が円形に残っていたからだ。しかもその穴は悪臭を放つ緑色の物質ではぼ完全に満たされていた。その物質のサンプルを集めて封をした容器に詰めたゴードンは、分析したい人に提供するつもりでいるが、まだ適当な人が現れない。

円盤研究者が集めている情報の中には、UFOの接近によって電源が切れた例がある。ウェストモントランド郡UFO研究グループの会長スタン・ゴードンは、一九七三年一月二十五日にグレイター・ピッツバーグ空港のリーダー装置に異常を生じさせたのはUFOと思われる有力な証拠がある、と信じ

ている。これは間違いないく、物的証拠の部類に入るといふ。

空港職員はアンテナの障害を呪ったけれども（このために午後一時から二時までと、三時三十分から翌朝一時まで二十機以上のジェット旅客機の着陸が遅れたのである）、スタンのグループは別なふう

に考えている。ゴードンによると、その日は昼夜、空港近辺に住む住民からの電話で多忙をきわめた。翌日、ベンシルバニア州ジャネットの「ニュース・デイスパッチ」紙でゴードンは全地域にわたって多数のUFO目撃があったと述べた。彼が引用した報告によると、五、六機の輝く丸い物体が十分間以上も空港付近の民家の上空に停止し、そのあと二つの編隊に分かれたという。

ゴードンの話を確認したのは、ノース・ハンティントン警察である。警察は午後九時頃見られたUFOに関する電話を二度ほど受けた。その一人はノースウィン上級高校上空にUFOを目撃した。また、ベンシルバニア州デリー付近で、翼のない巨大な葉巻型物体の目撃もあった。

#### ●低位置の目撃と近接目撃

ジェラルド・サミーが円盤に誘拐されたことを恐れて暮らしていると言っている人々がある。彼はどうかや別な惑星から来た不思議な宇宙船に誘拐され、内部へ連れ込まれたのを思い出したという（逆行催眠によって）ニューハ

ンプシャーのバーニー・ヒルとベティ・夫妻について書かれた多くの記事を読んだらしい。

ノースキャロライナ州シャーロットのニュース紙の記者は、ジェラルドがかなり心配していることを認めている。一九七三年一月初旬から、ベンシルバニア州ハリスバーグのこの四十七歳になるトラック運転手は、道路をドライブ中にあとをつけて来た光体に気づいた。数週間にわたって数度、その光体は、ジェラルドがよく見ようと思つて速度をゆるめると、更に接近してひっくり返るだけだった。

仲間の運転手たちはその話を疑っていたが、ニュースカメラマンのトミー・フランクリンと記者のエディス・ロウが自分たちの車でサミーの長距離走行のあとをつけたとき、疑わなくなつた。数マイル走つてから、彼らもハイウェイの横手のずつとむこうに物体が突然出現したのを見たからである。数度二人は双眼鏡で物体を観察し、写真も撮ったが、それには暗い空に映えるぼやけた光の斑点が写っていた。

「我々はその光景に恐怖を感じた。これは絶対に飛行機、気象観測気球、または星などではない。これは確信している」と二人は言っている。

過去二年以上にわたって、ベンシルバニア州ハリスバーグ地域には低空のUFO目撃例が多く報告されている。あるときは、十五機以上のUFOの編

隊が町民によって目撃された。

この数カ月間、低位置目撃が数百、いや数千と行われている。ミシシッピ州ジョージアとフロリダは、一九七三年の夏のあいだ、不可解な目的でUFOから密接に観察された地域だ。

もつと北へ行くと、このブームの時期にニューヨーク市にも円盤目撃があったが、残念ながら、この大都市で行われた目撃はほとんど新聞に出なかった。しかし私の電話はUFOを見た人からの報告で多忙をきわめた。こうした例は、バットという名の若い人にもあった（本人はフルネームを内緒にしてくれと要求した）。彼女は一九七三年六月一日の朝電話をかけてきて、前夜のひどい雷雨中に発生した事件を話してくれた。

「私たち十一人がブルックリンの友人のアパートに座つて窓の外を見ながら大嵐のことを話していました。午後九時頃、気味の悪い光体（複数）が外に浮かんでいる——と言えはびつたりするんじゃないかしら——のに気づき始めたんです。もつとよく見ようとしてみたら、私たちはアパートを離れて屋上へ登りました。みんなが見ていた物は雷光などではないことにすぐ気づいたからです。見上げると、空を覆う雲の中に、黒雲の背後から二つの輝く光が見えるんです。この二つの光は互いに応えあっているかのように明滅していました」

# 未知の宇宙

—そのナゾにいどむ

I.M.リービット著 齊田 博訳

B 5 変型・210頁・カラー48頁 ¥2000千200

7千万度で固体の中性子星、1秒間に30回点滅するパルサー、アスピリン1錠に地球の全人口を詰めこんだブラックホールなど不思議な天体のナゾを独創的な解説でとく。

## 天文観測年表'77

編集委員会編・B 5・192頁・¥1000千160

年表は天体の時刻表として天文ファンに親しまれ、詳しい星の動きは天体観測者にとって、なくてはならない座右のデータです。

## '77天体望遠鏡のすべて

天文と気象編・B 5・190頁・¥1000千160

天体望遠鏡は直販されているので、注文するにも自分の希望する機種をさがすまで、カタログ集めが大変。本書は各メーカーが今売出中の160機を口徑別に写真や性能をまとめて掲載、比較検討しやすくしました。

## 天体望遠鏡入門

太田健太郎著・B 5・128頁・¥800千160

天体望遠鏡の性能をフルに発揮するためにその使い方から一つ一つの部品の役割りを解説した。小中学生にもわかる天体望遠鏡のやさしい手引き書

## 天文手帳'77

天文と気象編・A 6・192頁・¥480千120

「星座早見盤つきの天文ポケット百科」と好評の「天文手帳'77」の増し刷り分が、多少残っています。まだお求めでない方は至急お近くの本屋さんへご注文下さい。

〒112 東京都文京区 後楽1-1-10 地人書館 振替東京 6-1532 ☎03 (815) 4422

このスペクタクルは十時三十分頃まで続いたと言っている。マンハッタン一流広告会社に勤めているこの若い魅力的な目撃者は、約七、八機の飛行機が「騒動」の間中、通過したのを全く不思議に思ったという。それで彼女は飛行機はその現象を観察するために派遣されたのかもしれないと思った。

この目撃の異様な点からみて、私は地方紙へ電話をかけて、だれかが電話で説明してきたかと尋ねてみた。するとブルックリン・ホーム・リポーター紙の編集者は、その特殊な夜、異常な物の報告は受けなかったけれども、一週間ぐらい前に、どうやらおびえてい

●コンタクト  
最近数カ月間にUFO乗員によって行われたコンタクトの報告が多数あったけれども、悪評判のためにほとんど一般には知られなかった。

道路上の円盤と奇妙な「人間」  
サウスキャロライナ州チエロキー郡の一青年がと見えるコンタクトの主張は、付近でUFOを見たという別な目撃者の証言によって有力になっていく。この青年の身元は嘲笑を防ぐために秘してある。

ガフニー・レジャー紙の一九七三年一月二十六日付の一面に出た記事によると、二十四歳の住民がガフニーの南約十五マイルのハイウエー18号線を南

に向かってドライブ中、前方の道路上のひとかたまりにきらめく赤い光(複数)に注意を引かれた。

最初に起こった考えは、その光はスピード違反の車に追いついた警察のパトロールカーのものだということだったが、うんと接近して初めてショックを受けた。自分の車のヘッドライトの光線の中に浮かび上がったのは、道路のドまん中に三本脚で停止しているドームのついた円盤型物体であった。船体の前には、十二名の「人間らしき」生きものがある。船体下部の「何か」を修理しようとしているらしい。

レジャー紙の編集者によると、この青年が語ったところでは、船体周囲の人々はみな白い作業衣に似た服を着ており、その服には種々のバックルやベ

ルトがついていたという。男たちの身長は同じぐらいで、コリーカサス人のような顔をし、同じスタイルの真っ黒な髪を持っていた。手には白手袋のような物をつけていた。

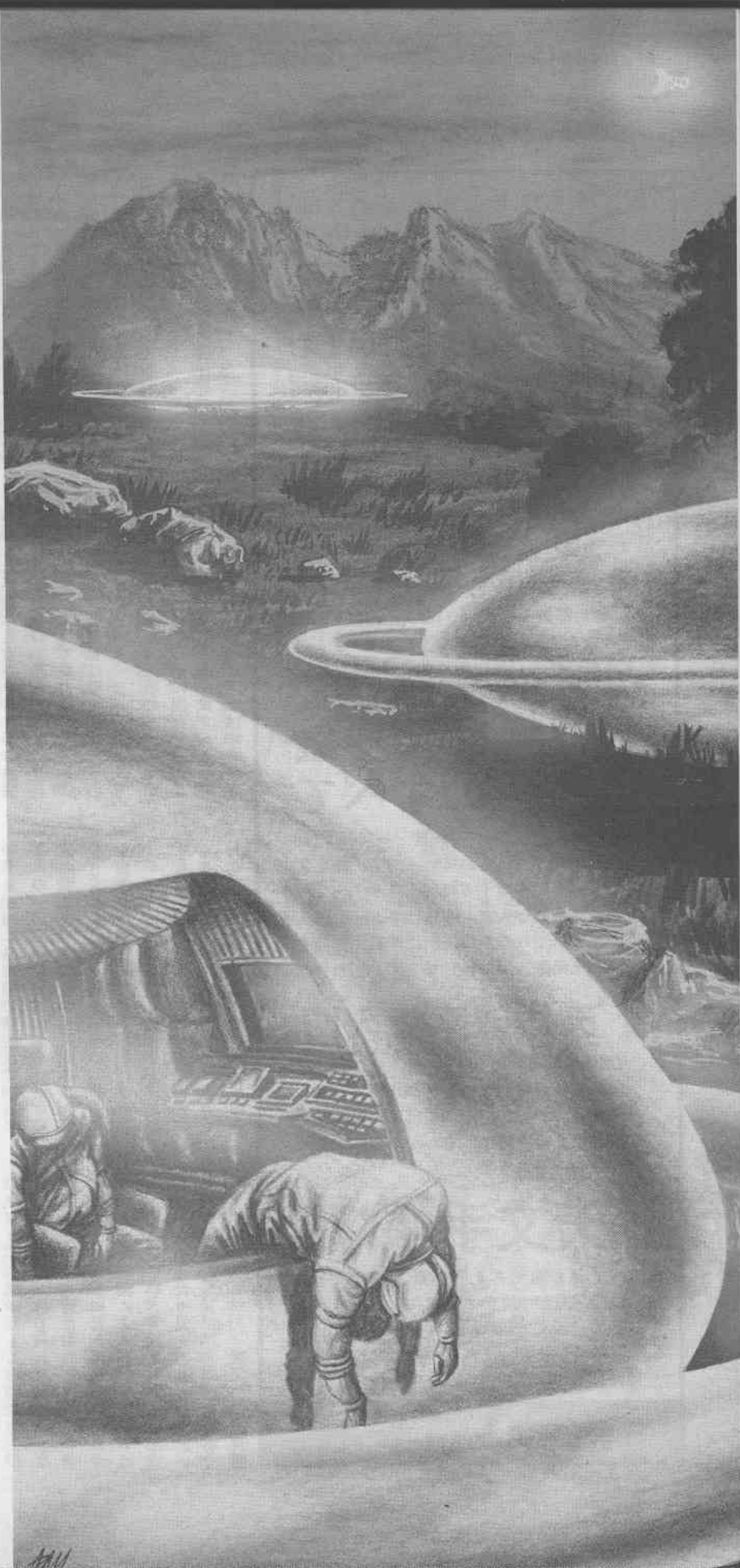
UFO人たちは青年の出現や、彼が相手の行動を見つめていることなどを気にしないようだった。もつと信じがたいのは、青年が編集者のロジャー・ペインターに語ったところによると、彼は自分の眼が信じられなかった。なぜなら、その「男たち」は現れたり消えたりするように見えたからである。彼の正確な言葉によると、生物たちは「毛虫のようにグニャグニャ動いて、視界から消えたり見えたりした」という。

訳/久保田八郎 (以下次号)

# 着陸した円盤に宇宙人の死体が…

初公開！ 26年前に消えた幻の書

フランク・スカリー



# デンバー・ミステリー／謎の講演者

それは一九五〇年三月八日にコロラド州デンバーで発生した。その日の午後十二時三十分デンバー大学の三百五十名の学生は、昼食を抜かしてある内密の科学講演を聴いたのである。この講演は後に新聞が「正体不明の中年の講師」と述べた人によって行われたのだ。

この男はガリレオが「それは動いている！」と違って以来、この地球または他の惑星に関して最もセンセーショナルなと思われる講演をやつてのけたのである。彼は話している場所から八百キロ以内に着陸したという一機の円盤の真相についてすべてを語り、しかもその宇宙船と乗員についてきわめて詳細に話したため、学生や職員たちは頭をひねりながら教室を出て行った。

しかし、人間のゆがめられた好奇心は大きいので、その講演者がだれであるかということが講演の内容よりも大きな関心の的になり始めた。この人間は、学生たちによって最初に解決されねばならないミステリーとなつてしまつた。

数時間後に、この講演者はコロラド州デンバー市に住むジョージ・T・キラーというロッキーマウンテン局の一員に付き添われていたことが一同の頭

に浮かんで来た。その局のコールレターはKMYRである。講演に出席した教職員の話によると、キラーは講演者の名前をだれにも全然紹介しなかつたという。しかし講演者があとで私に説明したところによると、講演者の匿名を守る役目の教授はたしかに本人の氏名を知っていたそうである。

その講演の話題が始まる前に話し手は説明して、ある氏名、日付、場所などは省略する必要があること、またそれらについて質問してはならないことなどを述べた。これは科学者のなかには治安計画に参加している人があり、そのため個人的に調査が行われている

## 講演した科学者は誰？

五十分ほどかかったその講演については、実数で約四十パーセントの聴講者が不思議がっていた。もともとこの講演は世間に公表しないという条件で科学の基礎クラスの学生のために準備されたものである。だが最初は九十名だったものが、次第にうわさが広がって教室一杯になってゆき、天文学や工学の教授・学生が詰め込んだため、立すいの余地もなくなったのである。教職員側と講演者の事前の交渉は数

円盤問題について話せる自由がないからだという。その言葉とともに教授連もノートブックを取り出した。

講演者は用意周到な言葉を用い、時間のとり具合を心得ている教授みたいな話し方をしたので、なぐり書きしていた学生たちも最初の頁のめぐりで落伍するようなことはなかった。彼は意外な事実を一定の間隔をおいて話したので、講演の終わったときは大多数の人が「驚異的なことだ」「センセーショナルだ」「口もきけないほどだ」「まったく感動した」といい、「バカらしい」「信じられない」といったのは少数であった。

## 講演した科学者は誰？

カ月続いている。これは講演者が高く評価されることを望まず、むしろ科学クラスの学生たちが講演を聴くことに百パーセント同意したために、本人が承諾したのである。この学生たちの内八十パーセントは講演が終わったあとで「非常に感動した」といっている。手を上げさせることによって、六十パーセントはその講演者の話が真実で、まったくありそうなことだが他の惑星から来てこの地球上に着陸した宇宙船を

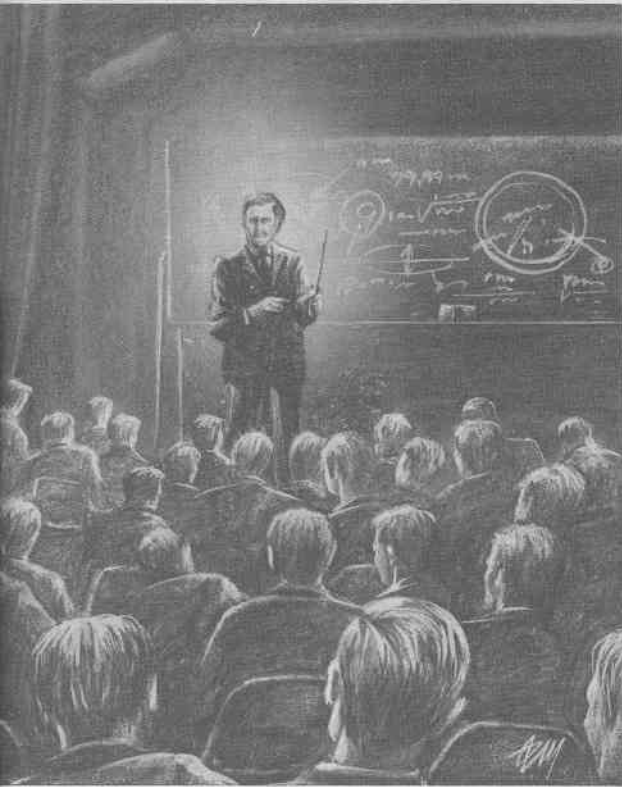
調査している科学者の一団——と彼が述べた——の一人であるらしいと答えたのである。しかも学生たちは、この正体不明の科学者が空飛ぶ円盤の推進力の秘密に対して最上の解答をもっており、それは内燃機関でも噴射推進機関でもないと思じたのだ。

この不思議な科学者が十五分間質問攻めにあつたあと、ジョージ・キラーは叫んだ。「偉大なスコット！ われわれはもうここから出なくちゃいけない。飛行機に乗るまでにあと二十分しかありませんよ！」

この声を聞いた講演者とキラーの二人は急いで建物から出て馬力のある車に乗り込み、走り去つた。

宇宙旅行に関する講演は大変な連鎖反応を起こしたので、一時間以内には教授団、学生、新聞記者、ラジオ解説者たちのあいだで上を下への大騒ぎとなり、二時間以内には今度は彼らが空軍情報部係官から質問されることになつた。

この係官たちが最初に知りがつたのは「講演した人の名は何というのか」である。しかしだれも全然知らない。一人の一年生は、去つて行く直前、講演者がキラーに「偉大なスコット」と呼ばれたことを思い出した。一人の教授は講演者が「シアーズさん」と紹介されて本人から訂正されたことを思い出したが、教授は男が自分の名を何といったかは記憶していない。



「あの人は「ニュートン」または「ニュートンの友達」といったと思います」  
 「デンバー市長のことかね？」  
 「いいえ、デンバー市長でないことはみんなが確信していました」  
 「あんたは一体一人の男が名前を全然知らないでデンバー大学で講演できるというのですかい？」と軍人が尋ねる。  
 教授はまったくそんなつもりでいったのではない。当然のことながら国家に対する忠誠、反国家主義者狩り、大学の自由をうばおうとしている治安上のタブーなどを前にしてそんなことがいえるわけはなく、むしろあの男がキーラーに護衛されていて、結局男は人類が数百年間考えてきた空想的な問題について人に害を与えることなく話

たにすぎないといったのである。  
 「害を与えることなく？」と軍人はくり返して「そんな問題が害を与えないことをどうして知っているのかね？」  
 だれか彼の車のナンバーを覚えていないか？ それともこのホテルへ行くのか立ち聞きした者がいるか？」

## 空軍情報部、正体つかめず

まず情報部がやったのは、三月八日一時三十分からデンバー市外へ出発した旅客機の乗客名簿をかたっぱしから調べることだった。彼らはこれを実施し、かつてプロジェクト・ソーサーに

すると一人の聴講者が、講演者は、二十分したら飛行機に乗らねばならないとキーラーがいったことを思い出し、た。  
 「彼はどこかへ行くといったのか？」  
 「いいえ、でもキーラーは知っていたのでしょ？」

ないかと調査したのである。だがこのマンハントは何の効果もなかった。あの正体不明の科学者は、その日デンバーから飛行機で町を出ていなかったのだ。

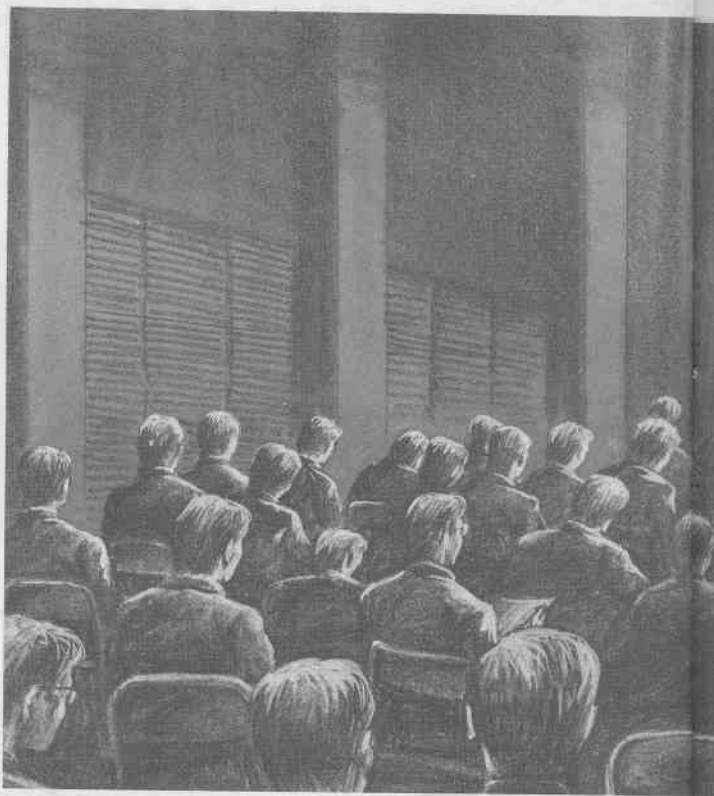
デンバー大学事件の第二段階は、モスクワから来たスパイかもしれない講演者の名を探り出すか、またはその事件を非難する「カモ」を見つけ出すことにあつた。ところがこれが行われていたあいだに、チリーのサンチャゴから一通の報告がはいってきた。チリー南極基地の隊長アウグスト・バルス・オルレゴの指揮下にある数名の隊員が円盤の写真を撮影したというのである。隊長は、レンズのゴースト・イメージの可能性を否定した。その写真は、目撃された物体を確認したというのである。

この報告が明るみに出るや否や今度とは同国の気象台から別な報告が出たがそれによると、「ダ円形の天体（これは円盤を意味する天文学上の俗語であ

る）」が推定五千五百メートルの高度で目撃されたという。それは空中を東から西へ飛んだらしい。海軍の天文専門家によれば、それは午前十時から午後一時まで空中に停滞し、それから消えたが、数千人の人に見られたという。  
 すると三月九日にロスアンゼルスのアパッチ製粉会社の営業部長ロイ・L・ディミックが決定的な円盤騒ぎをひき起こしてしまった。彼はメキシコ市の近くで円盤の残骸が発見され、その中にパイロットの死体があつたと報告したのである。その円盤は径約十四メートル、パイロットの身長は約五十七センチだったという！

「アメリカの軍人たちが不思議な物体を見たんだが、軍部の治安上の理由でこの事件全体が完全に極秘にされてしまったんだ」

翌日ディミックは軍部が「あらかじめ準備された事件」と言っているある出来事について話した。彼は個人的に円盤を見たことはないが二人の重要な人物と話したという。一人はメキシコ人で、もう一人はエクアドル人だが、この二人は円盤を見たのである。前者は円盤の一部分だという金属のかたまりを彼にくれた。それはアルミニウムのように見えたが、この地球で知られている金属ではなかったとディミックはつけ加えた。よくある話である。私もこれに似たような話を扱ったことがある。



「政府は、態度をはっきりさせるべきだ。治安という理由でこうした問題を論じたくないというのなら、なぜその

ように言明しないのだろうか？」とディミックはぼやく。だが、空軍は何も言わなかった。

## 科学者の名前は エドガ・B・デービスだ！

ところでデンバーといえは、一九五〇年三月八日のあのナゾの講演者について騒ぎが広がっていった。あの科学者の講演がテープに録音されたことや、それがキーラーの働いていたKMYR局で隠されたらしいということもだれかがおぼえていた。そしてキーラーの部下がデンバー市の実業家たちにそのテープを聞かせたため、デンバー大学のスパイ行為や逆スパイ行為説の

バカらしさをよく理解できたのである。ラジオ放送を聞いた市民たちのなかに、デンバー・ポスト紙の一記者がいた。彼は大学事件をあらためて日曜版に載せたが、これは陸軍航空隊情報部をふたたび刺激することになった。そこでキーラーはたまりかねて、これ以上拷問の材料を受け入れるわけにはゆかないと言った。「ナゾの科学者の名

前はエドガ・B・デービスだ！」と叫んだのである。

これを聞いた人はみな、どうやらほんとうらしいと思った。しかしエドガ・B・デービスとはだれなのか？

ここで新たにその探索が始まったのである。

デンバー市民が講演のテープ録音を聞いていた、ちょうどその時間に、ハリウッドで数名の人が同じ講演のテープ録音を聞いていた。これはオリジナル録音をコピーしたものである。これはハリウッドのある医師の自宅で聞かれた。その夫人は大学卒の看護婦で、以前は旅客機のホステスであった。この録音テープはある地球物理学者が保管していたもので、私はこの人を長く知っていた。

このテープを聞いた人たちは驚いてしまった。しかもテープの声と地球物理学者の声がほぼ同一であるという事実によけいに驚いたのである。もちろんデンバーとロスアンゼルス間の飛行時間はわずか六時間だから、同じ日に両方の場所にいることは無理なことではない。

ところが三月十七日にデンバー大学教授団、学生たち、新聞社、空軍情報

将校連は、廊下の壁に「初心者のための空飛ぶ円盤講座」と題するポスターを貼らせた例の科学者の正体をつきとめたのである。

四名の学生とタイムライフ社デンバー支局長バロン・ベンチャー（この男は招待状なしに講演会場に押し入った）

は、デンバー・ポスト紙に掲載された写真類から判断して、その科学者はサイラス・メーソン・ニュートンだと確信したのである。この人はニュートン・オイル・カンパニーの社長で、一九四二年度コロラド州アマチュア・ゴルフ選手権保持者、ペイラー大学とエル大学卒、ベルリン大学大学院修了、レンジリー油田の再発見者、美術界の後援者、そして大体に世事にたけた人で、いかなれば科学者で資産家であり、どこにもいるような典型的アメリカ人なのである。

一学生がこの講演者をおぼえていると言い出した。この学生はレックウッドのゴルフ場で何度も彼のキャディーをつとめたことがあったために以前からずっとその正体を知っていたのである。だが評判にはならないことがわかっていたので、それまでは話さなかったのだ。

## 米政府は円盤を調査していた

控え目に行われたことをスキャンダラスに見るようにゆがめられてしま

った一大学内のコップの嵐は、三月十七日の午後、ニューメキシコ州フアー

ミントンから出た大事件によって影が薄れてしまった。その町の空が三日間、空飛ぶ円盤の乱舞場となったのである。特にセント・ペトリック・デーの朝は、その町の半数の人が円盤を見たと言った。

ところがいつのまにかこのファミリーミントンの騒ぎはバカでかい話になってしまっていた。というのはこれが一九四八年の春に起こった円盤着陸騒動と大体に同じ方面にあったからだ。この年の春にデンバー大学の講演者の一同僚がニューメキシコへ飛ぶようにと緊急の要請を受けたのである。この同僚（私はこの人を「ジー博士」と呼ぶことにしよう）は政府の極秘防衛計画に七年間参画しており、陸海空に関して千七百人の科学者を含む三万五千回の実験に一役割を果たしていた。彼はまだそれに関係していたが、仕事にはかなりうんざりしていた。政府の給料が安いからだ。

しかし今度はスリルを感じていやにはならなかった。デンバーから目的地へ飛ぶのに三時間しか必要としない。現地へ行ってから、見たところかすり傷もなく、そっと地面に着陸したかのような一機の円盤を見たが、これがこ

の地球上に最初に着陸した円盤と思われるものであった！

その後まもなく、このことを最初あのデンバー大学の講演者から、次にジー博士自身の口から私は聞いたのである。

「そんなことは全然信じられません。だがもっとくわしく話して下さいよ。どんな物体でした？ どこで見つかったのですか？」

その科学者は話してくれたが、更に他の多くの事柄も話したので、私はその町の名前を忘れてしまった。彼はオレゴン州とモハーベ砂漠の地磁気の断層について説明し、円盤のパイロットたちがそれに関心を持っていたらしいと語り、この関心が円盤の推進力と何かの関係があるかどうかを調べているところだと言う。円盤パイロットたちは地球人の知らないような飛行の秘密をすでにマスターしているのではないかと語る。

私は、数カ月間この話を秘密にしたが、円盤問題をよく知らない連中が円盤についてあちこちで話し始めるや、今が世間に洩らすシオ時だと思った。デンバー・ポスト紙が科学者X氏のことを報道していた夜、私はデンバー

中の人が探していたあの「人」と一緒にハリウッドで食事していた。相手はちょうど長距離電話でデンバーのジョージ・キラーと話し終わったところであった。キラーは彼のために働いており、彼の姪と結婚していた。ファミリーミントンの円盤出現事件の報道はデンバーをわかっているとキラーが伝えたと言う。

「私が君に話したことをおぼえているかね？」とX氏は受話器をおいてから話す。「最初の空飛ぶ円盤がアズテクから二十一キロの牧場で発見されたというのを——」

「ええ、思い出しました」

「ファミリーミントンはその牧場から三十八キロしかない。彼らは（あの円盤の大群は）一年前に仲間の一機が落ちた場所の上空を飛んだのだ」

「なぜその地域の偵察を続けるのですか？ 故郷へ帰りそこなった円盤に對する帯いなのでしょうか、それとも円盤を墜落させた特殊な地磁気の断層を克服したことを示すためでしょうか？」と私は尋ねた。

「そのことはデンバー大学の私の講演の中で話したよ。君は注意を払わなかったのかね？」

## 講演の内容／円盤は実在する

宇宙人とのコンタクトや政界と民間への啓蒙活動をアダムスキーから実質的に引き継いで活躍している米国のグループからの最新情報と、生命の奥にひそむ普遍的真理の探究

空飛ぶ円盤と宇宙人に関する新しい教育誌

# UFO教室

金星人は地球にいる—ロスアンジェルスでのコンタクト—連載—アダムスキーの幻の著書「宇宙のバイオニア—達」月、金星、火星への旅第一回—ケネディー大統領の宇宙開発計画とアダムスキーの関係—官界のUFO報告—アダムスキー以後の宇宙人達との交流に関する著述（古山晴久）—スペース・プログラムの再認識（安斎純夫）—雑誌発行の主旨（菲沢潤一郎）—他。

価360円 送料140円 年二回発行分1000円

アダムスキーの質疑応答集の決定版

進化した宇宙人と  
他の惑星に関する

1965年版 質疑応答集（本邦初訳）

これ以前に出された質疑応答集には内容がゆがめられた所が多かったため、アダムスキー自身の手で旧本を改めて出されたもの  
竹島正訳 価格350円（送料100円）

科学者X氏がデンバー大学の学生たち何と話しかかをもっと正確に伝えたのはデンバーの新聞ではなかった。報道賞はサマーサイド・ジャーナル紙に与えられるべきである。

講演の内容はまことによくまとめであり、三月の午後何が起こったかを読者に理解させるにはこの上ない読物となっていた。

この謎の講演者がデンバー大学で提起した問題は、根本的には次の三つである。(1)空飛ぶ円盤が実在すること、科学は本当に認めたのか。(2)円盤は何で出来ているのか。(3)彼らはどこから来るのか。

このほか彼らの航空力学に関する知識がわれわれのそれよりはるかに深いものでないかということも当然問題となるだろう。

それはさておき、円盤は実在する、というのが彼の話である。そのうえ、空軍はプロジェクト・ソーサーを解散したと発表しながら、実際は解散どころか、おそらく名称を変えていつそ強力に調査を続行している、とも話した。円盤のうち四機はこの地球に実際に着陸した、とも語ったのである。

この四機のうち三機は捕獲され、現在彼と共に地球物理学の研究を行っている人々の手によって調査された、と彼はつけ加えた。三機の円盤が発見されたとき、その内部には、身長九十センチから一メートルばかりの乗員が死

亡して横たわっていた。

地球にはじめて着陸した円盤は、この講演に先立つことわずかに二年足らず前、「デンバー」から八百キロも離れていない地点に「着陸したのである。

円盤がどこから来るのかという疑問はまだ解決されてはいない。金星からという線が非常に強いと彼はつけ加えたが同時に、これは依然として大きな疑問のままであることも強調した。

円盤に使用された金属を研究した結果、地球上では未知の二種類の金属が発見されたと彼は言う。このことから彼もその同僚の科学者たちも円盤が米

## 政府は関心を持っている

サマーサイド・ジャーナル紙の記者によれば、講演者は前置きの中でも自己紹介はしなかった。彼の話はよくねれており、十分に整理されたもので、その話し方も頭のぶい学生さえ理解し、ノートを取ることができくらいつくくりとしていた。

記者が気づくほどの、特に変わった話も言葉使いもなかった。講師は科学用語を駆使して、いかにも種々の科学に精通しているらしい話し方をした。宇宙船に関して行った実験の話をする

ときには、「われわれ」という言葉をさかんに繰り返したが、特にどの実験に関係したという話はしなかった。政府は今でこそ空飛ぶ円盤などに関心は

国やその対抗国で建造されたものではないという確信を深めたのである。

最初の宇宙船の内部からは、磁力線を測定するのではないかとと思われる計器が発見された。これらの計器こそは、彼とその仲間たちが、解決のあかつきには円盤の推進力という問題はすべて解決されると信じ、今なお研究を続けているあるものへの手がかりとなるものだった。光速度飛行の可能なこのような宇宙船なら、最も接近したときでも地球から二億五千万キロもはなれた金星でも一時間足らずで往復できる、と彼は言った。

ないと公式に言明しているが、実際は充分関心を持っているのであって、そのことは遠からず明らかになるだろうと彼は語った。最初に着陸した円盤の直径は三十メートルで船室の高さは一・八メートルであった。二番機の直径は二十一メートル、三番機は十一メートルである。これらの数字は(インチ、フットにすれば)すべて九で割れるがこのことは彼らが地球の度量法を使用したことを示しているのかもしれない。

彼の説明によると、円盤の周囲には回転する金属環があり、その中心に船室がある。静止した船室と円盤とは歯車で連結されているが、その歯車比は

新発売!!

アルファトーン

バイオフィード  
バック装置

アルファトーンを使わない精神統一は、鏡を使わないでお化粧するようなものです。米国でヨガ、坐禅、超能力開発に効果をあげています。詳細は超科学七、八号(各三〇〇円・送共)参照

¥二九、五〇〇円  
¥五〇〇円



ESPカード……¥五〇〇円  
¥140円

橋本電子研究所  
鎌倉市小町一―一五―一七  
☎0467(25)3035

あなたの中に眠る超能力を引き出しすばらしい人生を送るための会

日本超科学会

会員は、右記の品一割引、毎月アルファトーン使用統一会実施

地球ではまだ知られていない数値だったし、潤滑装置はいっさいない。太陽系の惑星をとりまく磁力線を利用して飛行するのではなからうかと彼は考えている。

一番機の外観から見ても、この機体はいかなる方向にでも飛行できるらしいと研究者たちは推定した。ヘリコプターではないがどこへでも着陸できる。最も小さい機体には、着陸装置として、

## 宇宙人三十四名は死んでいた

一番機からは、十六名の乗員の死体が発見された。その年齢は、地球ふうの計算で、若そうな乗員が三十五歳、最年長者が四十歳くらいだと推定された。死体はみな黒褐色に焦げていた。

二番機からも十六名の死者が発見された。しかし彼らには明らかに焦げはなく、皮膚の色はみな白人と同様だった。他の点では一番機の宇宙飛行士たちと同じで背はやはり低かった。

身長以外はわれわれと異なった点はまったくないし、ヒゲものばしてはいなかったが、ある者には桃の実のようなきめのこまかいうぶ毛が生えていた。

三番機にも乗員がいたが、やはり死亡していた。これは直径十一メートルの小型機で、乗員はわずかに二名である。着陸したときには二人ともまだ生きていた、というのは、二人は船室から脱出しようとして死んでいたからで

どの方向にでも回転する三個の金属が、まるで三輪車のようについていた。磁力線を利用して飛行するのではないかという説を受け入れられるなら、これらの円盤は大気中でもほとんど無限に近い高速——すくなくとも秒速約三十万キロ——で航行できるし、重力や風による抵抗のない場所ならどのくらい速く飛べるか見当もつかないと彼は語る。

ある。

乗員は死亡したが、これらの宇宙船は、すべて自己の計器に頼って着陸したのであり、墜落したのではないと研究関係者は信じている。計器飛行で着陸したのかも知れないし、全行程を遠隔操縦されて飛んできたのかもしれない。しかし何らかの故障らしい点が発見されたのは一機だけだし、決して墜落はしなかった。

構造は、地球上で建造された乗物とはまったくちがう。どの機体にも、ピョウもボルトもネジも使用されていない。飛行制御盤には押ボタンがズラリとならんでいる。外皮はアルミニウムのような金属でできているけれども、きわめて固いもので、加熱してもビクともしなかった。

たぶん磁力線を利用して航行するのだろうが、これらの宇宙船の設計者た

ちは、たがいに反発する金星（正の電荷をもつ）と地球（やはり正の電荷をもつ）の間を安全に航行するという問題を解決したのと思われる、という以外には、推進法に関する説明はなかった。

船内には武器らしいものは何もなかった。講師の話では、彼らは自分たちを追跡したりおびやかしたりする物体を分解させる方法を知っていたものと思われる。

講師は船内に積載されていた水と食糧についてはくわしく説明した。一機には、休息・睡眠のための設備があった。壁にかこまれた造りつけの寝台で、ドアを閉じると見えなくなるし、開いたときはカーテンのかげにうまくかくれるようになっていた。

講演の終わり近く、彼は四機目の円盤の話にふれた。彼の研究グループが政府の実験場の近くで偶然見つけたものである。発見されたとき、乗員の姿は見えなかった。

科学者たちはカメラや測定器具とりに車までもどったが、ふたたび宇宙船に近づくと、数人の小人が円盤にかけこみ、機はまるでまぼろしのように消えさってしまった。

講演者は、円盤が研究のため分解された後どうなったかについては全然ふれなかったし、三機の円盤で発見された三十四体の死体の行方についても手がかりとなりそうな話はしなかった。

## 映画と解説の会のご案内

### テーマ

- ① 癌は予防も治療も可能である。
- ② 採血後3日で発癌状況と部位が確定し治療に入る。
- ③ 癌を治せる病院と指導する研究所。

### 目的

現代医学の約50年先を行く純粹に医学的な癌治療理論を多数の完全治癒実例をそえて発表し、この治療法を知らずに殺されて行く人々を一人でも多く救う為。

### 右記を解説するため

- ① 映画「癌とはこれだ」カラ16ミリ30分
  - ② 映画「人癌ウィルスの研究」カラ16ミリ30分
  - ③ スライド「研究施設と研究内容」37枚
  - ④ テープ「癌の療養と治療に付いて」30分
- その他、体験談、資料等

### 参加要領

日時 毎月一回第三日曜  
参加費 五〇〇円

### 参加申し込み

往復ハガキで必ず参加に対してあなたのお意見を記して下さい。

〒115

北区西ヶ丘一丁目四五―一八

松沢 一雄

「彼はただ『円盤は実在します』と述べただけであった」と、サマーサイド

## 円盤の構造は「九の組織」?

・ジャーナル紙の記者は話を結んでい

「彼はただ『円盤は実在します』と述べただけであった」と、サマーサイド

サマーサイド・ジャーナル紙のこの講演要約記事と実際の講演全文とを比較すると、記者は大成をおさめたといわなければならない。講演者は言及したが記者が省略した箇所もある。たとえば、磁力の父ウイリアム・ギルバート(一五四四年—一六〇三)、ニューメキシコ州アラマゴルドで原子力時代の幕が開いた一九四五年七月十六日、マックス・プランクがベルリン大学の教授をしていた一九〇三年に発展させた学説などの、科学史上の画期的な事件がそうだ。しかしそれらは講演の重要部分ではない。これらの出来事を円盤の時代に結びつけることは、講師の前置きの一部だったのである。

講演者は黒板に四種の図を描いた。一つは、円盤の建造に使用されたと思われる「9の組織」である。他の二つは、円盤の側面図と平面図だった。全体の直径は九九九・九九九フィート(約三十メートル) 船室の直径は十八フィート(約五・五メートル)、外縁の上部には操縦者が周囲を見るための隙間があった。外観は、オレゴン州マクミンウィルのポール・トレントが撮影してライフの一九五〇年六月二十六日号に発表された写真によく似ていた。四番

目の図は、太陽から発する磁力線がどんなふうにか感星—特に地球と金星—を結んでいるかを示すものだった。この講演が大変な騒ぎをひきおこしたので、チョークで描かれたこれらの解説図はラッカーをかけて保存されることになった。ラッカーが除去されていないなら、今でも残っているはずである。

記者は、宇宙船には見たところドアも出入口もなかったという事も書き忘れていた。しかし、丸窓はたしかにあった。一個は破損して鉛筆ほどの大きさの穴があいていた。この穴からガスが空気が激しい勢いで噴出し

もう一つ、記者が書き落としたことがある。これは重要な問題だった。トーマス・F・マンテル大尉に何が起こったのかという説明である。この事件は色々あれこれと議論の種になってきたが、マンテル大尉とその愛機にいったい何が起こったのか、納得できそうな説明をした人はだれもいなかった。一九四八年一月七日、ケンタッキー

たため、内部の十六人は黒褐色に焼け焦げてしまったのである。

乗員たちは、身長こそ一メートルくらいはなかったが、決して一寸法師ではなかった。このことは講演者が原稿の中でも私の家での雑談の中でも特に強調した点である。彼らの歯に虫歯はなかったし、充填物も見られなかった。一種の制服を着ていたが、衿にも帽子にも記章のようなものはない。計器のなかには、科学者たちが時計だろうと判断したものが二、三個あった。この計器が一回転するには二十九日を要した。このことが、円盤の推進法と磁力との間に何らかの関係がありそうだと推定する最初の手がかりとなった。というわけは、磁気は二十三時間五十八分であり、磁気月は二十九日であるからである。

## マンテル大尉に何が起こったか

州フォート・ノックスのゴッドマン空軍基地の上空に正体不明の物体が出現して、軍・市民の両方に目撃者があつたという点では、すべての報告が一致している。ゴッドマン基地の管制塔では、付近を飛行中の州航空隊のF51四機にこの物体の調査を命じた。そのうちの三機がまず接近して、金属製で塗方もない大きさだと報告してきた。操縦士の一人は「涙のしずくのように丸

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究者としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP(知らせる運動)組織網の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特異な体験と宇宙的哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに60号まで発行。テレビ番組の講義と練習、研究発表などを行い、宇宙の法則と人間の眞の生き方を探求。月例会終了後は夕食会を開催して会員の親睦を図る等、個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。眞剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期機関誌  
 ●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに関連し他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌  
 「GAPニュースレター」  
 主要記事●暁鐘/連載スペース・ブラザースはなぜ来るのかG・アダムスキー/ルウ・チンシュターク女史との会見記久保田八郎/シンボルマークの意義/その他有益な記事写真満載  
 第59号残部僅少 第60号発行中

入会希望者は50円切手宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」22号で見たと書きそえてまず案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限りません。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区一色町365-818 日本GAP(主宰)久保田八郎

会員募集

日本GAP  
 UFOと宇宙哲学  
 研究グループ

くて液体のようだ」と語った。

マンテル大尉は、ゴッドマン管制塔に、物体は彼の機の半分くらいの速度で前上方を飛行していると報告してきた。「もつとよく見えるように接近中」と彼は送信した。「前方を本機の半分速度で飛行している。金属製らしくてすごい大きさだ。本機と同じ速度で上昇を開始。時速五百八キロ……六千メートルまで上昇しても接近できないようなら、追跡をあきらめます」

マンテル大尉がゴッドマン管制塔と交信したのはこれが最後だった。一九四八年一月七日午後三時十五分のことである。マンテル機の姿が編隊から消えて五分後、残った二機はゴッドマン飛行場にもどってきた。その一機は燃料を補給して酸素を積み込むとふたたび付近百六十キロ四方を飛びまわり、

九千メートルまで上昇したが、何も見できなかった。

その日もおそくなってマンテルの遺体は、フォート・ノックス近くで愛機の残骸の中から発見された。

次は空軍当局の公式見解である。その発表によれば、マンテル大尉は高度六千メートルでたぶん酸素不足のため失神したものであり、彼が追跡して死をまねいた正体不明の物体は、金星であつた、というのだ。

「しかしながら」とその発表は続く。「その後の調査によると、金星と当該物体の高度と方位が時間的に一致しないことが明らかになった」

実際のところこの物体は未だに「正体不明」と考えられているし、知りうる限りでは現在まで空軍から解決したという発表はない。

## マンテル悲劇の真相

だが、デンバー大学の講演者はこの問題に多くの人が満足するような解決を与えたのである。彼はまず、彼のグループのメンバーは一九四二年以来政府の研究に従事していることを説明して、聴衆を納得させた。すくなくとも千七百名の科学者が極秘の計画に関係している。彼らはこの五年間共同研究を続け、磁気に関しては全世界が過去数百年間に知りえたよりもつと多く

彼らが到達した結論は、万物が現在の外形をもつようになったのは磁力線のためであるというのだ。一平方センチあたり千二百五十七本の磁力線が存在する、と彼は語った。地球のある地域には磁力の極端に弱い地点がある。ハッテラス岬の周囲では潮が永遠に引き続けているのと同じように、ここでは噴出が起こっているのである。オレゴン州とニューメキシコ州の周辺ではこのような磁気の欠除した地域がある

ことがわかつている。

もし円盤がこれらの磁力波にそって飛行し、われわれと同様（いやわれわれよりはるかに以上に）磁気を制御する方法を心得ているとすれば、そのような変動のある地域に彼らに関心を示すということは当然ありうるだろう。原爆実験もかなり磁力波を乱したにちがいないし、それが彼らの計器に探知されないはずはないのである。

彼らがホワイト・サンズ実験場などの上空にしばしば姿をあらわすのは、たぶんそのためだろう。そして、ワイオミング州、コロラド州、アリゾナ州、ニューメキシコ州、それにテキサス州などでは空気がどこよりも澄んでいるので、地上から目撃される機会も多いわけである。

彼によれば、訓練された目撃者さえ自分の眼を疑うあの魔法のような離れわざは決して魔法でも何でもないのである。飛行中の宇宙船がやってのけたといわれるいろいろなこと、たとえば

## 円盤の二つはトイレスキ

その他講師が指摘したことで特に興味深いのは、円盤に積まれていた水は地上の飲料水のほとんど二倍の重量があつたということである。これは二個の小さな容器に納められていたが、原爆製造第一号となるためナチがあればどノルウェーから欲しがっていた重水

分裂したとか、しばらくの間空中に停止していたかということは、実験室でも再現できる。マンテル機は、エンジンから翼端まで磁力により外形を保っているのだ。いや、マンテル大尉自身の肉体からしてそうなのである。だから、円盤がマンテル機を空中分解させるにはただ機体の磁気を消去してしまっただけで事足りたと講師は説明した。二本の磁力線が自然に交差することはない。しいて、または思いがけなく交差させられれば、分解と発火が起こる。そのような磁気の乱れを人工的に作りだすことができれば、地上の生物を一瞬のうちに消滅させることも可能である。

これが、マンテル機に何が起こったのかについての専門家の説明である。磁気を制御して飛行している円盤にとつて、追跡してくる大尉は障害の種となりそうだった。ボタンをひと押し、それでマンテルと愛機は存在を停止したのである。

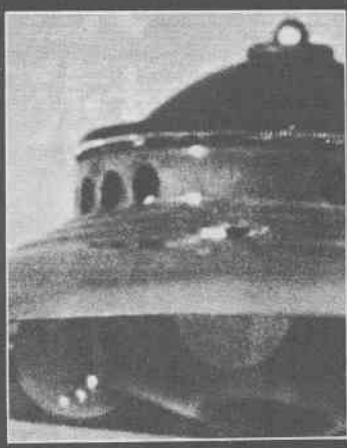
とよく似たものだった。

明らかに食糧と思われる小さいウェハースのようなものがあつたが、強く圧縮されていて、約四リットルの水でもどすとあふれるほどにふくれあがつた。飼料としてモルモットに与えたところ、丸々と太つてよく育つたという。

絶賛発売中!  
定価 **1300**円  
(千160)

● 偉大な惑星人との会見記 ●

● 空飛ぶ円盤は実在する！ 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来…… 壮大な宇宙空間の大スベクタクルと驚異的事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ！



# 宇宙からの訪問者

■米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得!

ジョージ・アダムスキー / 著

久保田 八郎 / 訳

● 「空飛ぶ円盤美見記」 「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い二点の記録書をアダムスキー研究者として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「美見記」のうちアダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル  
☎832-1341~44 振替・東京1-119478

● 書店にない場合は直接本社営業部までご注文ください。

外部から調べたところでは、船室はきわめてよく密封されており、前述の丸窓の穴がなかったら、科学者たちが船内に入るには何カ月もかかったことだろう。しかし、内部から見ると壁にはよく見えるノブがあって、そのノブの上にはもう一つ小さいノブがついていた。この小さいノブを押すとパツクリとドアが開いた。だが、いったんドアがしまると、外部からはまったく見分けがつかなかった。

船内で発見された二種類の物質が何であるかは、今のところまだわからない。非常に強くて軽いが、一万度まで加熱しても溶けなかった。大人が十二人その上に乗っても曲がらない。円盤は二人がかりなら一方の端を持ち上げることもできた。そのくらい軽いのである。

宇宙船の歯車を破壊するために百五十種類以上の実験を試みたが不成功に終わった。この歯車はきわめて固いうえに、ギア比もわれわれが使っているスウェーデン法とはちがう。三対五でなくて三対六であり、潤滑、熱による膨張、遊び、摩擦などに対する余裕の空隙がない。講師の言葉によると、ある円盤は、一千万円相当のダイヤモンド・ドリルを使用したにもかかわらず内部に入ろうとする努力をガンとして受け付けようとしなかった。

七十二フィート(約二十一メートル)

のほうの宇宙船には寝室はおろかトイレまでついていたが、三番目の円盤にはそのどちらもなかった。後者には小人が二人、押しボタンばかりで操作される制御盤の前の折りたたみシートにすわっていたらしい。発見されたとき一人は船室から体を半分のみだし、他の一人はすわったまま頭をガツクリとたれていて、二人とも死んでいた。

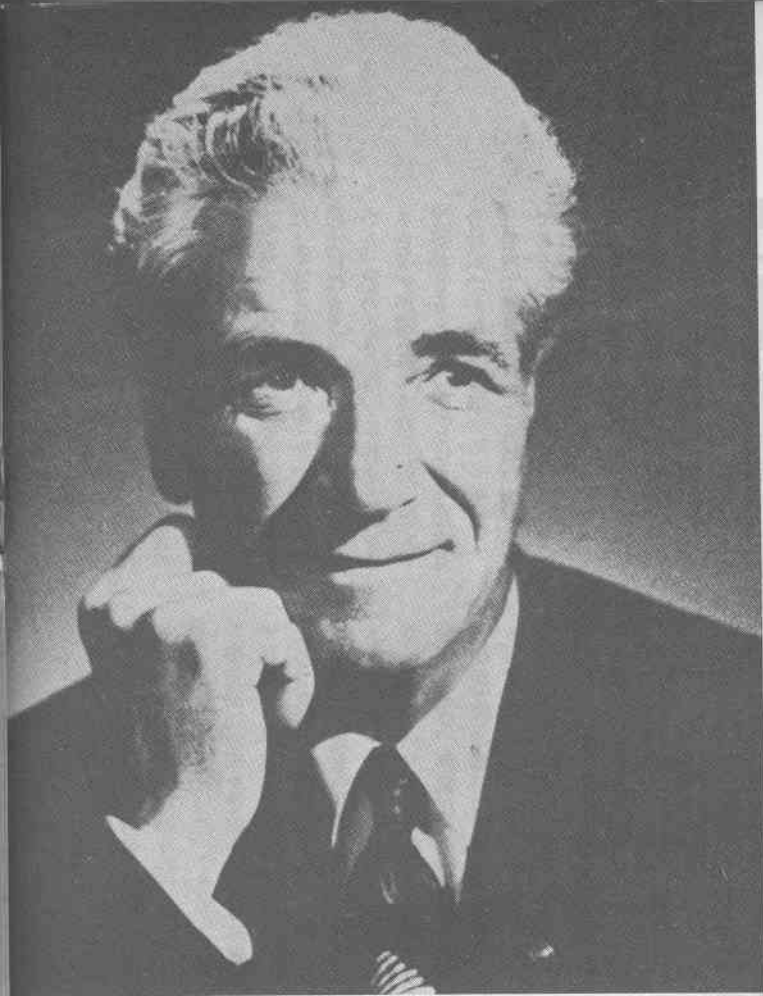
三個の着陸装置をそなえていたのはこの小型機である。移動には車輪ではなく、鋼鉄製のように見える球を使用する。全部の球が同じ方向に回転しているれば、何人かかっても円盤をかたむけることはできない。しかし、鋼鉄球が静止しているときは、子供でも機をか

たむけることができる。このことからも研究者たちは、磁力の法則が何らかの関係ありという確信を深めた。講演者の推測では、この複座機はおそらく新型で、彼らの故郷からの往復飛行をした経験に基づいて建造されたものであり、寝室も化粧台もついていないのは地上の自動車同様、必要がなかったからであろうという。なるほど一時間で金星・地球を往復できる円盤に、寝袋は必要ないにちがいない。

彼らの上衣にボタンを縫いつけた糸も調査されたが、この糸を切断するには約二百キロの重量を要した。

以上が講演者の話であった。

訳 / 久保田八郎・増野一郎



## ジョージ・アダムスキーの講演から

# 地球人は幼児の心を ダメにする

砂漠で他の惑星からやってきた円盤に乗り金星まで往復したという体験をもとに数々の著作を発表したことで知られるジョージ・アダムスキーは、一九五五年五月四日、デトロイトで、あるUFO研究グループのために講演を行った。これは彼の思想の一端をのぞかせるその講演からの抜粋である。

### 他人を裁いて

#### 混乱に直面

**質問** カトリック教会はそのカギを原

罪と結びつけなかったのですか。

**答** ノウ。原罪の観念はそのカギから

出たものではありません。原罪というのは「裁き」のことです。

アダムとイヴはエデンの園に置かれましたが、これが事実であるかどうかは別として、少なくともこれは象徴です。二人は善悪の知恵の木の実を食べるなど命じられましたが——善悪というのは人間が勝手に作り出した知識です——食べました。

何が起ったでしょう。彼らは我々

と同様の普通人なのですがヌードであり、恥を知らませんでした。ヌードと着衣の区別を知らなかったからです。

ところがある日、禁じられた知恵の木の実を食べたためにヌード姿は恥ずべきだ——ということにきめたのです。彼らは自分自身を裁いたわけです。他人が彼らを裁いたわけではありません。

そこで彼らはヤブの中に隠れました。神が二人を呼んでも、ヌードであるために外へ出ようとはしませんでした。神はだれが実を食べよと言ったのかと尋ねましたが、他に言った人はいないので。

だからイエスが教えの中で説いたのです。これはチベットやヒンドゥー教の教えでも同じです。「自分が裁かれないようにするには他人を裁きなさんな」と——。自分が裁かれさえしなければ、他人を裁くこともできないはず

です。これは自然の法則なのですが、人間は毎日これをやっている、その結果、混乱に直面しています。他を裁くことによって人間は兄弟を自分以下だとみなしているのです。

偉大な才能をもつ人がいるとして、古今未曾有の大作を描き上げるとしますと、その才能は生得のものですが絵具の原料になる鉱物を掘り出す才能をもつ人がそれを掘らなくなったら、大画家の才能はむなしくなってしまうと。ところが名声を博している有名

人は掘る人(労働者階級)を軽視し、自分より劣る人間だとみなしていません。掘る人がその才能を發揮しなくなれば大画家もその才能を發揮できません。しかるに他人に対する裁きによって分裂が生じ、そのために人間は兄弟にならず、むしろ互いに未知の存在になっ

ています。先程述べた自然の法則の問題に帰りましょう。この法則の働きを見れば、人間が今日悩みに直面している理由がわかるでしょう。

大衆は別な惑星から来る人々のことを嘲笑していますが、この惑星人たちが現在の偉大なレベルに達したのは、自然の法則の理解によるのです。私たちはある面では彼らを羨望の念で見ますが、別な面では彼らを非難しています。これは彼らの教えを受け入れよう

としないからです。私たちは金星や火星などへ行きたいと思っていますが、そこへ行く宇宙船の作り方を知りません。しかし宇宙人たちは自然の法則を応用して今日の状態にまで発達し、宇宙旅行用の宇宙船を建造する方法を知

っているのです。

人間は習慣の動物です。習慣を身につけるよりもそれを除く方が困難になっています。現代の人間はたしかに、

### 習慣は寄生虫 のようなもの

歩くゾンビ(間抜け)です。真の

自我よりも習慣に支配されています。しかし意志の力によって習慣から逃れることはできるのです。

イエスは言いました。「意志の力を十分に用いるならば、まばたきする間に変化するだろう」と。しかしそのような変化をとげるほどに意志の強い人はいません。

私たちは自分の意識の中に意志を導き入れて、マインド(心)の意志を用いて変化を起こさせる必要があります。これがやれるほどに強くなれば、その状態に達するのに多年を要しません。本人はまばたきする間に達成するでしょう。

ところが具合の悪いことに、私たちは各種の習慣に包まれていますので、もはや自分自身を支配できなくなっています。習慣に支配されているのです。習慣というものはそれ自体の生命を持ちません。それは寄生虫のようなものです。だからそれを除こうと思えば自分の中で戦わねばなりません。自分とその戦いを始める必要があります。

たとえば掃宅してみると家中のものが互いののしり合っています。何が合ったのかわかりませんが、一応その状況に直面します。掃宅した本人がバカな人間ならばその騒ぎに加わるでしょう。そのために騒ぎはおさまりません。しかし本人が状況をよく見て、座り込み、腕を組んで黙ってれば、まもなく他の者は騒ぎをやめて、本人が

騒ぎに加わらないのはどういうわけかと考え始めます。そのようにもやれるのです。

神がやったのは個人としてのイエスです。だからいかなる個人でもそれがやれるはずで。それはすべて自分自身と信念の強さにかかっています。個人こそは結局、あらゆる物事に対して責任があるのです。

### 理解するのは 常に少数者

同時刻に大勢の人が一緒に生まれたにしても、人間はやはりただ一人です。生まれます。立派な親類縁者があつたとしても、人間はやはりただひとりで人生をすごします。苦しいときには親類縁者が同情してくれるでしょうが、しかしあくまでも本人が苦しむのであつて、親類縁者が苦しむのではありません。そして死ぬときもただひとりです。自分でゆきます。

人間はいろいろな物事を解決しなければなりません。それが一人で行わねばなりません。物事を変化させるのは個人なのであつて、多数の群集が変化させるのではないのです。だからイエスが言ったのです。「天国へ入れるのは少数者であつて、多数者ではないのだ」と。多数者が理解する時は決してないでしょう。理解するのは常に少数者だけです。

イエスは言っています。「都市を攻

略する人は偉大であるが、一つの「魂」を救う人はもっと偉大である」と。これは容易ではありません。個人や集団は都市を攻略できません。たとえ私があなたがたに銃を与えて、一名の人には警察へ、他の一人には市役所へ行けと命令し、私は放送局へ行って強引にマイクをつかんで、この都市は占領されたと放送すればよいのです。百万の都市をとることも容易でしょう。しかし一つの「魂」を救うことははるかに困難です。しかし最も困難なのは最初に述べたように四つの感覚器官に「永遠の存在の状態」の真の基礎を認めさせることです。各感覚器官は結果（現象）であり、それらは結果（現象）によって人間を支配していますが、何がそれらを（感覚器官を）創造したかを知りません。

だからギリシャ人は言ったのです。「人間よ、自分自身を知れ。そうすればすべてがわかるだろう」と。しかし人間はまだ自分自身については知っていません。

## 大気がある限り 生きられる

質問 モーゼは神と話し合ったと言っていますが、一方では石板を投げつけるほどに立腹しています。これについて説明できますか。

答 モーゼは非常にすぐれたマジシャンでした。たしかに彼は神と話し合っ

たのですが、これはあなたも毎日やっていることで、ただ気づいていないのです。だれでも神と話し合っています。神なくしては生きられません。しかしそのことに気づいていないのです。これは別な大きな過失です。

神が自身の似姿をした粘土の人形の鼻孔に生命の息（大気）を吹き込んで以来、人間ばかりか虫、鳥、樹木さえもこの空気がなくては生きられませんでした。この空気は人間が創り出したものではありません。大宇宙は人間の家です。だから神——と呼ぼうが何と呼ぼうが——の口からその空気がやって来るのです。それは人間に無料で与えられていますし、どこへ行っても存在します。人間がひとたび呼吸を始めるや、その空気によって生きています。人間の肉体は常に健康であるはずなのですが、もしスモモの実が喉につまんで気管がふさがれたら、空気が肉体内に入らないために間もなく死んでしまいます。空気がある限り人間は知的に生きられるのです。

人間は十分な理解力をもたないために時折過失をおかしますが、それでも知的生物として生きて活動します。人間が話すあらゆる言葉は内部を通じて語る神の言葉です。東洋や西洋のあらゆる教えにおいて人間は神の意志なくして指一本さえも持ち上げることにはできないと教えられています。「自分は終日、神と共に話しているのではな

い」と言わないで下さい。自分が神と共に話していることを知らないからといって、そのことは神と共に話していないという意味ではありません。神が人間に話しかけてこないとするれば、私たちは今ここに存在できないでしょう。

## 人心を攪乱した 神官たち

太古においてエジプトの神官たちは神の力を自分たちの力にすり変えることによって人心を攪乱していました。大昔に電気が発見されましたが、それは奸計に応用されました。多数の人の力をかりなければ開かないような重いドアが全く自然に開いたりしました。当時の聖職者は電気で開いたドアを神が開いたのだと言っていました。それでもなお民衆は神官に盲目的に従って、彼らを偉大な奇蹟の人と信じていました。当時にさかのぼってみますと、神官たちは雲を発生させることができ、トリックを演じては民衆に偉大な力をもつ人だと思込ませています。

私は最近メキシコへ行つて、太陽のピラミッドを見ました。もし現代の富裕な国がそれを建設するとすれば破産するでしょう。そのピラミッド建設の技術をもつ技術者が現代社会にいるかどうかは疑問です。偉大な真理がアステカによって如何にゆがめられたかを

理解できませんか？ このピラミッドの頂上に、彼らは神の知識を得たと称して祭壇を設け、そこで美しい処女たちが殺されたのです。神は絶対にこんな事を意図しませんが、この神官たちは民衆を手なづけるために民衆の恐怖心を持続させたのです。神官たちはすぐに処女たちを殺すほどの慈悲心をもたず、生きているうちに彼女らの肉体を切り裂いて心臓を取り出し、その肉体を下方の岩に投げ落としたのです。

古代において人心を抑制するために人間が如何に真理をゆがめたかがわかれば、人間が虐殺を絶やさなかった理由も容易に理解できるでしょう。私たちは現代において女を犠牲にはしません、他人が持っている最後の一文を奪い取つても相手を飢餓におとしめたりします。

## すべての細胞は 小さな外科医

人間の肉体は三十二兆の細胞から成り立っています。各細胞は本来独立して、他の細胞と完全な調和を保ちながら一つの単位として働いて人体を形成しています。各細胞はそれ自身の独立した心をもっています。かりに人間が階段から落ちて岩で頭を打ち、全く無意識になるとします。すると本人はもう意識的に肉体を支配しませんが、微小な細胞は本人の体の世話をします。たぶん本人の足の爪の端から一

個の細胞が、負傷した部分まででははるど旅をするでしょう。これは世界の端から一人の人間が他の端まで旅をするようなものです。

その細胞は何のために旅をするのか、負傷部分へ到着したときに何をしなければならぬかを知っています。そのうちその細胞は死にますので、かわって他の細胞がそこで生まれます。こんなことを一般人は全く知りません。人間はだれも肉体内で発生している事を知らないのです。人間が高次な自然の知性とどれほど接触するかは私にはわかりませんが、それでも人間は自分の肉体やその機能について何もわからないでしょう。それこそ人間が学び知らなければならぬことなのです！

人間がひとたびその館(肉体)について知ったならば、本人はその内部に入り込んで、いろいろな事実を発見します。イエスはこのことを部下に教えました。どこへ行こうとも自分の肉体に故障のない日はないのです。ちょっとした組織の故障が胃壁や肺に起こることがありますが、本人は気づかず、そのときに痛みを感じません。なぜか？ 本人が正常に生きている限り、その傷はひどく広がらないようになっているのです。するとこれを治す役目をする小さな外科医たち——細胞——が、本人の睡眠中も覚醒中も働きますが、本人はそんなことを全然知りませ

ん。本人が何を考えていようと一切関係はないのです。細胞は自分たちの仕事に従事するだけで、これが自然治療です。肉体内で行われる自然の化学作用こそ人間が作り出した如何なる化学よりも偉大です。

あなたがたは今晩いろいろな物を食べましたね。——ケーキ、パン、ミルク、コーヒー、つげ物、バターとか——それらが化学的に種々の物質の組み合わせであるにしても、みんなおいしく食べました。それらすべて胃の中に落とし込んだあと、何が発生したかを知りません。何者か？ にまかせてしまいます。その何者か？ が面倒をみなければ、数時間後に医者を呼ぶことになるでしょう。その何者か？ が面倒をみれば、あなたがたは明朝気分よくて、昨晚の食事はおいしかったと言うでしょう。しかし一日に少なくとも三度は起こるこのプロセスについて私たちは何も知らないのです。

### 生命の創造について 何も知らない

生きて人体を人工的に作り上げて生きさせる方法を知っている人間は現代に存在しません。科学者も知っていません。しかしそれは行われていて、ここに私たちは存在しますし、私たちが死んだ後も別な人々が出現するでしょう。

自然の働きの真のプロセスを思い浮かべてごらん下さい。それはトウモロコシを取って地面に落とすと似ています。ほうつておけば数日してから母なる大地より小さな緑の芽が出て来ます。芽は茎になり、茎は成長して穂軸を出します。そうするとまた穂軸を引き抜いて食べます。どのようにして成長したかがわかりますか？

あなたがたが知っているのは、種子を地面に置いて水をやり、成長してから食べたという、それだけのことで、それがどのようにして成長するかをだれも知りませんし、孔子、モハメッド、イエスその他の偉人にもわかりません。この人々が偉大であったにしても完全な法則までは理解できなかったのです。彼らが確実に知らなかったということになれば、現代の指導者も知らないはずで、彼らほどの理解力をもたないのですから——。

種子がまかれて一フォームとなり、その後子供になる場合、何が起こるかを知っている人はいません。母親でさえも知りません。数カ月後に体内で小さな胎児が動くとき母親は驚きます。胎児の創造に関して秘密を熟知しているならば驚かないでしょう。したがって、生命が創造される秘密について人間は何一つ知っていないという事実を正直に認めようではありませんか。

ところが、生命の創造に際して「どうしたらよいか」を知っている何者

か？ が存在するのです。できれば顕微鏡なしには見られないような微小な種子を想像して、次に網状組織が作られて非常に微妙なボタンになってゆく光景を描いてごらん下さい。

これは次第にクモの巣のような一定のボタンになってゆきます。小さな線はやがて形成されるフォームの骨になる部分です。もつと細かい組織の線は各部(エネルギーを供給する神経になります。このボタンは青写真真味たいに描かれるのですが、あらゆる線は互いに分離しています。それからついに、いわゆるエクトプラズム形成の過程が始まります。構造が明確になり始めて統一化が起こります。神経間の絶縁物であるエクトプラズムが入ってきます。神経組織はさまざまの力をもちますので、それが互いに交差しすすどい痛みが起こります。肉体内の痛みは二本の熱いワイヤーが互いに交叉するのと同じで、接点でエネルギーを燃焼させます。

これらすべての事が起こっているのですが、母親はこれについて何一つ知りません。胎児を作り上げて「人」は、死というプロセスによってそこを離れるまで、その中に住んでいる「人」です。なぜ彼は自分が生まれた後に、自分が自分の肉体を作ったということを知らないのでしょうか？ これは前にも話しましたように、四つの感覚器官のためです。眼はその肉体と共に生ま

れますが、それ以前に出生した経験はありません。今回が初めてで、他の口、鼻、耳も同様です。肉体の心も初めて出生したのです。

肉体を建設した「人」はただちに結果（現象）の世界に従うか、または無理やりに結果（現象）を認めさせられますが、これはその両親が結果（現象）に従って生きているからです。両親はその子に対して結果（現象）だけを見よ、数百年続いてきた伝統と因襲という毛布で自身を包め、と主張します。この哀れな「人」は十八歳、二十歳、または三十歳頃になったとき、やっと目覚めて、すべてが間違っていたことを悟ります。すべてはその「人」が自身の内部で感じているボタンに適合していないのです。しかしまだ克服しようとする「何か」があります。

その人が作った家（肉体）は、その家の中で本人自身を表現させようとはせず、家はあくまでも自分自身を（家自体を）表現しています。ついに主人は家（肉体）と一体化し始めます。そして伝統・因襲・習慣等の重荷を負い始めます。これは大きなあがきです。本人が生命の真の意義などをくわぜかに悟り出すまでは、今生の生活を終えようとしており、肉体を放棄せざるを得ない時に達しています。

## 地球人は幼児の心を

ダメにする

金星ではこういう事をしません。彼ら金星人は生まれた幼児から学び取るのです。幼児というものは原初的段階を表現しているからです。あなたがたも正しく調和するならば多くの物事を学ぶことができます。というのは、新たに生まれ出るものはすべて、完全に新鮮な状態で生まれて出るからです。ところが地球人は幼児を無視し、彼らの心をたわごとで満たしてしまします。石盤（訳注：昔流行した小型の黒板みたいな物）にたわごとがいっぱい書かれてあれば、こんなものから学び取ることはできないと常識は訴えます。赤ん坊の心は何も書かれていない石盤のようなものですが、地球人はそれをナンセンスな物事で満たしてしまします。地球人は自分が如何に多くの物事を知っているかを自慢しがりますが、実際に知らねばならない事柄に比べれば実は何も知っていないのです。

私は海軍から要請を受けて以来、円盤研究を続けてきました。それ以前は天文学と科学と哲学とのコンビネーションを研究していました。これらの分野に深入りすればするほど、自分が何も知っていないことに気づくのです。しかるに、この世界では一夜にして円盤の専門家になった人たちがいます。学べば学ぶほど自分がほとんど何も知っていないことに気づくはずで、前途に多くの未知の事柄が横たわって

いるのです。真理を把握するのに自分の意識を高揚させることができない人は、赤外線ビームを放射して宇宙人とコンタクトすることなどはできないでしょう。宇宙人はそんな事をやらないからです（訳注：かつて各国UFO研究グループ間で赤外線ビームを放射して各種の符号などで宇宙船にメッセージを送ろうとする方法が流行したことがある）。宇宙人は符号を応用しません。将来、電子工学の分野で通信システムが発達して、現在よりもはるかに超短波になれば、他の惑星から直接に話しかけてくる声を聴けるようになるかもしれません。符号による通信は来ないでしょう。

## 眼に見える物は

一時的な実在

質問 私たちが肉眼で見える物は実在するものなのですか、それとも不可視な物の投影なのですか。

答 人間が肉眼で見える物は全く実在する物なのですが、実在物のエッセンスまたは純粋な源泉ではありません。それは実在物の結果にすぎません。肉眼で見えない物が永遠に実在する物です。眼に見える物も実在するのです。それは一時的な実在または結果です。人生というものが実在物というよりもむしろ夢のように思われることが何度もあるでしょう。それはあなたが「夢見ている」からであって、「生き

て」いないからです。あなたが真に生きていなければ、あらゆる疑惑は消えて、自分が真実に生きていることを「悟り」始めます。人間はまだ自分自身の何たるかを悟るほどに眼覚めていません。それが聖書で言う「復活」であって、従来教えられてきた復活とは意味が違います。自分が何であるかを知るときこそ復活なのです。人間はまだ生きてはいません。だからこそスペース・ブラザーズ（他の惑星の人々）は私たちとは異なるのです。彼らは自分の何たるかを知っているのです。彼らは宇宙を旅して彼らの「家」を楽しんでいます。地球人は未来にそれを楽しむことを期待しているだけです。地球人はそれを「夢見ている」にすぎません。

## 起こらない物事を心配してすこす

質問 地球人は幸福ではないというのに、なぜ彼らは戦い争うのですか。

答 だれかがこの十年來横腹に痛みを持っていて、あなたがそれを取り除いてやろうとした場合、もし相手がその痛みを楽しんでいたとすれば、よけいな事をするなど食ってかかるでしょう。そのことに気づきませんか。

質問 その場合どうすればよいのですか。

答 先程お話ししたように、ケンカを起している人々の所へやって来た人のよ

うにやればよいのです。これについては日本の一青年のすばらしい話があります。彼は金持ちの一人息子でイエスの教え方を礼賛し、イエスのような生き方をしたいと思っていました。家族の反対を振り切ってあらゆる物を捨ててしまい、衣をまとって善行を積みに出かけました。その高徳と堅固な信念のために有名になったのです。ある日、司令官が、暴動の発生している軍の営倉へ行ってくれと要請しました。そこで彼は囚人たちが騒いでいる室内へ入って行き、約五分間、腕組みをしたまま無言で立っていたのです。するとやがて騒ぎがおさまって、静寂そのものになりました。そこで彼が一言だけ発言したのです。「静けさというものはすばらしいではありませんか」。そして歩いて出て行きました。

二人の人間が何のために争っているのかわからずにケンカをしている場所へあなたが割り込んで行きますと、逆に鼻へパンチを食らうでしょう。しかしケンカがすんだ後、相手二人が互いに誤解し合っているにすぎないことを指摘してやりますと、相手は同意するでしょう。現代の世の中はそんなものです。

質問 これは「不安定」という一語であらわせませんか。

答 なぜ不安になるんです？

質問 人間がそんなふうで育てられたからです。

答 よろしい。その線に沿って説明しましょう。だが答は簡単です。私たちは人間の悩みというものは、全然起こりもしない物事を心配しながら生涯を過ごすことにあります。もし何かの難事が起こったとすれば、それは本人の誤った考え方がそれを引き起こしたにすぎません。人間は多くの誤った物事を促進して、それに直面しています。創造主が人間を地上に創造したということは、すでに創造主が人間にとって必要な物を準備しているからだということ、なぜ人間は信じないのでしょうか？ 最悪の父親すらも子供たちを餓えさせないでしょう。人間を地上へもたらした創造主の何たるかを理解もしないで、人間は創造主を礼拝します。しかし実際は理解しないために、人間は創造主を信じていません。信じていないために人間は互いに喉を切り合っていますが、それは創造主よりも人間（肉体人間）の方を信じているからでしょう。そして人間を信じている限り「安定」はありませんが、創造主を信じていれば「安定」があるのです。

質問 それなら「安定」は人間の内部から起こるのですか。

答 そのとおりです。内部に神が存在するからです。

### 他人を理解すれば

#### 自分も理解できる

質問 土星に行くのに何時間かかるの

ですか。土星はこの太陽系の王座ですか。

答 金星へ行くよりも少し長く、約十八時間です。金星までは約十四時間で、土星は法廷惑星で、太陽系のバランスとなっています。地球は発達段階において火星の低位にあります。火星は全くの技術惑星で、またきわめて知的ですが、その行政システムは宇宙的です。そして地球がこれから応用し始めようとしている分配システムを持っていきます。地球の国連は世界の物資の平等利用と世界政府を提唱していますが、これは火星の段階に従うもので、一方、火星は更に高度な惑星に従っています。

学校の進級制度と同じようなものです。金星は愛の惑星で、万物を等しく尊敬する意味での愛です。だからイエスが金星から地球へ来て愛の法則を説いたのです。愛（慈悲）はあらゆる法則を完成させるのです。モーゼは報復の法則を教えました。これは民衆がそれ以上の高度な法則を受け入れる状態になかったからです。実際彼は次のように言っています。「行って、互いの喉を切り裂け」。

私たちは理解力が欠乏しています。ひとたび他人を理解するならば自分をも理解することになります。また、自分を理解するならば、他人をも理解するので、もはや他人を傷つけたくなるでしょう。

### あらゆる国が

#### 貢献

私たちは物事を分類するのに過失をおかしています。各国を強弱に分類しています。個人ばかりか国家間にも一種のカースト制度を作っているのです。そして全人類を統合した世界国家を設立しようとはしません。他の諸惑星の人々はこれをやっているのです。

たとえばドイツは物事の「芽」をあらわした国ですが、これはドイツ人がかつて可能と考えられた以上に物事を発明しているからです。別なある国は哲学や文学などを特色としており、それがやがて全人類の所産になります。あらゆる国家がヒューマニティーのために貢献しているのです。

米国はかつてのアトランティス人を象徴しています。このままでゆけばアトランティスの破壊の二の舞いを演じることになるでしょう。ソ連は米国、英国その他と大差ありません。みなダイナミートを持って遊んでいます。

一八八八年にフランスの科学者団がアフリカの領地へ行ったとき、厚さ四インチもあるガラスが数百マイルも敷かれた床を見ました。なぜそんな所にガラスが存在したのか？ 米国がハワイトサンズで最初の原爆を爆発させたとき、同じようなガラス状物質ができました。太古の文明も原爆で自滅したのです。

今こそ人類は、

# 「マイナスの真理」に目覚めよ！

坂元 邁

## ★小久保氏の反論に対して

「宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか？」と題する小生の小論文(本誌19号)に対する反論を寄せられた小久保秀之氏、および氏の反論を掲載(本誌20号)された編集部に敬意を表します。反対意見なくしてなにごとも進歩はないと言うものです。

ここに改めて小久保氏の反論をふまえて、私の考えを明らかにしておきたいと思う次第です。

「マイナスの科学は未知の真理を人類の福祉に今すぐ利用できる特徴をもっている」について、小久保氏は「これは別にマイナスの科学に限らない」と述べておられる。これは私も理解できているが、私の論点はそこにあるのではなく、プラスの科学(いわゆる見える科学)だけで物事を見るのではなく、マ

イナスの科学(見えない科学)でも物事を判断しなければならない、ということなのである。水俣病裁判が、患者の体内の水銀と窒素工場の廃水の水銀とが指紋の照合のように(決定論的に)実証できないときは、疫学の『蓋然性』(真実として認められる確実さの度合い、多分そうなるであろうという可能性の程度)というマイナス科学に軍配をあげたという、その判決が何よりもそのことの必要性を証明していると思う。決定論的証明(いわばプラス科学)と蓋然性(いわばマイナス科学)の証明は内容は違っても、有効性という点では科学的にも社会的にも等価であることを認めたことになるのである。

最初にデータのでてくる科学(生態学、疫学、心理学、行動科学)ではそのデータを信じて受け入れる所から始まるのに、科学の定義では「どうしてこのようなデータが出たのか」という発想でなければ科学ではないと決めている。これを改めてほしい、と私は言うのである。

「現在の科学的認識の根底にある客観性が、実はそうではないという点に地球人類が未だに真理の半分しか理解していないことの意味があるのではないか」と小久保氏も述べておられる。私が言いたかったのも実はそのことなので、小久保氏と早晚、認識を同じくすることができると思っている。

## ★高度な文明は地球以外に

地球の文明は何か重大な欠陥を持っている。地球の科学観(科学ではなくが間違っていたために宇宙文明と違って地球にはプラスの科学しか生まれなかった。高度な文明とは地球上の延長線上にあるのではなく、全宇宙を包んだところに存在するはずだ——というのが私が長年考えてきたことである。

ニュートンの宇宙観では無限の空間と無限の時間があるから、これ以上宇宙観が広がるはずがない、と置いていたのに相対性理論で広がったところがある。これは広がり方の性質が違っていたわけである。地球の科学は全ての真理を含むから、これ以上、科学の広がりがやがたないと思っている。マイナスの科学は広がり方の性質が違っているのである。こういう点を考えれば私は、宇宙人が地球人と接触をもとめるとき、どうして今のような「本当かウソか疑われるような現れ方」をすのだからかという疑問に対する答え

が出てくると思うのである。  
地球上の科学が科学のすべてであるかのように考え、広い心をもたずにごうまん地球人のウヌボレこそ猛省しなくてはならないことだろう。

### ★マイナスの科学を知る

「疑問をもって始まるのが科学であり信じて始まるのが宗教である」というまちがった神話が今でも通用している。もう一度科学と宗教を整理して科学観を反省してみる必要がある。

科学とはまず事実に対し、疑問をもち、それを測定実証するという方法で解明していく。

宗教とはまず事実を信じる発想からそれを情念に訴えて説明していく。

そこで私はこれをまとめて次のような表にしてみる。

疑問をもつ	科学	測定実証	情念に訴える
信じる	マイナスの科学	プラスの宗教	宗教

(科学) (非科学)

科学と非科学の区別は「測定実証する」か「情念に訴える」かで区別することができる。つまり科学の反対側

あるのはマイナスの科学であり、非科学はそれ同士で宗教の反対側にはプラスの宗教があるということが出来る。

そして科学とは測定実証をベースとして疑問をもって始まるプラス科学と、実態としてある事実を受け入れる

(信じる) マイナス科学とがあるわけである。従って今までのようにプラスの発想は科学で、マイナスの発想は非科学というのは誤りなのである。つまりひとくちに科学ということが、実は科学というものの半分であるということに気がつかなければならぬということである。

鳥の渡りが「どうしてできるのか」という疑問を解くためには、鳥を解剖して方向探知器や時計にあたるしくみを見つけねばならない。それが発見できないときは「鳥の渡りができるはずがない」となる。しかし渡りの事実があまりにもはっきりしているので、渡りの「事実」を信じることが優先して「科学がまだ発達していないからであって、いつかは発見できるはずだ」ということになる。これが「動物行動学」である。これはマイナスの発想、マイナス科学である。

科学が「疑」から始まったか「信」から始まったかは、事実を内へ追究し

ていったか、事実を外へ集積していったかをみればわかる。即ち「信」から始まる科学とは、確率論の蓋然性(前出)で証明される科学であることがわかる。いわばマイナスの科学である。

前述の水俣病裁判の因果関係をめぐる判決、あるいは今評判の「ガンの特効薬」(といわれる)『丸山ワクチン』なども同じようにマイナスの発想のなせるものであって、これは「科学では裏づけされない」といつて一しゅうすることはできないのである。

「科学の目的は仕組みや因果関係を明らかにすることだ」と思っている科学者が多い。これは誤解である。科学の目的は人類の福祉に貢献することである。仕組みや因果関係はその手段にすぎないのである。

「それでは科学する余地はないではないか」と考える方もあろう。しかしそうではなくて、データを多く集める。データが集まるから蓋然性が証明できる。これがマイナスの科学の始まりとなるのである。指圧とか東洋医学とかといったものを例に出すまでもないだろう。

### ★精神のルネッサンスが――

物質文明は科学が扱ってきた領域の

真理究明の成果である。では精神文明を生み出してきた物理的原因は科学としてとり扱ってきたか? これが真理のマイナス領域ではないのか、と私は考えている。

物質・破壊・肉体をプラス領域であるとすれば、マイナス領域は精神・創造・生命であると言うことができよう。そしてマイナス領域の精神文明を觀念論だとして、科学の対象からは許さないことである。

A・トインビーが二十一世紀はアジア主導型文明となり「精神のルネッサンス」が起ると説いているが、この「人類史の変革」とは、真理のマイナス領域の発見と、マイナス科学の全人類の合意で始まる。それに成功したとき、人類社会は飛躍的進化を遂げる。そのときになって過去の人類史とは真の文明に目覚める以前の亜人類に過ぎなかったことを知るだろう。

クロアゼが透視を成功させても、電通大で、超能力による金属歪が確認されても、インチキ呼ばわりする科学者は、亜人類から真人類への進化を妨げ、人類の滅亡に手を貸している――オーパーに言えばこうも言えるのではないかとすら思うのである。

# UFO 目撃 レポート

☆目撃日時 1975年7月28日。

☆目撃継続時間 午後7時30分ごろから、およそ1分間。

☆目撃地点 自宅前の路上。

☆同時目撃者 中谷善範(兄、18歳)

小林範子(いとこ、17歳)

☆天候 晴れ。

☆観測方法 肉眼。

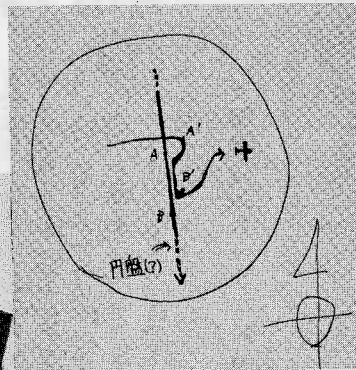
☆物体について 大きな星のようだったが、あまり高くて形までは見えなかった。色は、白に近いだいたい色で、とても強い光(星の感じに少し似ていた)。

☆飛行状態・その他 その日は近くの神社の夏祭りの日であった。友人と2人で行く約束をしていたので、自宅前の路上で待っていた。しばらくして、お祭りに行っていた子供が「空飛ぶ円盤だ！」と騒いでいたので、空を見上げてみると明らかにそれは赤と緑のランプをつけた飛行機であった。そして一応、それは飛行機だということ、その場はおさまった。

## ●夜空をあかるく強い光で南下する物体を飛行機が追跡し始めた

●岡山県立林野高校1年(16歳)

中谷 かおり



その夜はよく晴れわたった星空だった。星があまりにも美しかったので、私はちょっと見とれてしまった。すると、なにやら強く光る星のようなものを北の空に見たのである。初めは流れ星かと思い、また、人工衛星かとも思ったが、それはいつまでたっても消えることなく、異常にあかるく強い光で南下するではないか！ あっけにとられて眺めていると、それがちょうど真上くらいにきたとき、先ほど子供たちが見た飛行機(東に向かって飛んでいた)が、その物体に気づいたのか、急に飛行方向を変えてその物体を追跡(?)

しだしたのである。

(私はここでやっとわれにかえり、急いで家に入って、兄といとこにこのことを告げた。そしてまた路上に出て、ふたたび、見つけたのだった)

しかし、異常に速いその物体は、飛行機をグングン離し、南へ南へと飛び去り、ついには消えて見えなくなってしまったのである。

追跡していた飛行機は、もう無駄なことだと思っただけで、途中で進路をかえ東へと飛び去ってしまった。このあたりには航空路はないので、その飛行機がどのものかはわからない(自衛隊の日本原演習場が県北にあるので、そのものかもしれない)。

よほど、問いあわせでもしてどこの飛行機か聞きだし、操縦していた人にくわしく聞こうかとは思ったものの、どこに問いあわせていいかわからないので、そのままである。操縦士に聞けば、おそらくもっとくわしい情報がえられるのではないだろうか。

なお、音についてつけくわえると、飛行機の爆音らしきものは、かすかに聞こえたような気もするのだが、その物体のほうの音は、べつに聞こえなかったようだ。

(〒707 岡山県英田郡美作町北山898)

# UFO 目撃 レポート

● ジェット機よりも速く、爆音も聞こえず、静かに一直線に、吸いこまれるように黒い雲のかわたへ…

● 会社員(28歳)  
首藤 秀敏

☆目撃日時 昭和51年11月27日午後5時45分。

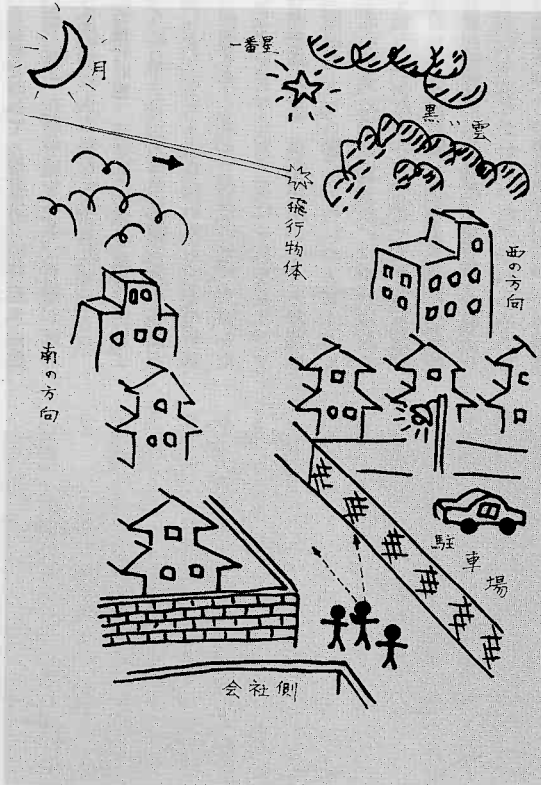
☆目撃地点 北九州市小倉区砂津の勤務先の会社の路地裏。

☆同時目撃者 同僚2名は確認不能。☆目撃継続時間 約5秒ほど。

☆飛行状態 仕事も終わり、友人2名といっしょに裏手の道を帰ろうとして、友人が「明日の日曜日は、良い天気になりそうだなあ」と言うので、私も夕暮れの空を見上げながら歩いていると、急に南の方向から西の方向にむけて猛スピードで飛ぶ物体を発見しました。月も出始め、一番星、たぶん金星だと思えますが1つだけ輝く星と、夕暮れとはいえ久しぶりの透きとおるようなコバルト色の空を、白銀色した物体が、白い尾を長く引いて低空で通過していくのを、肉眼で追いました。「アアッ……あれあれ」としか声が出ず友人2名も「どこどこ」と私の指さ

す方向をキョロキョロと見ましたが、すごいスピードで飛んで行く物体をとらえることができず、結局、見たのは私ひとりだけでした。

私はよく夜釣りで夜空の流れ星を見



ましたが、あんな低空で、しかも明るく輝く夕暮れの空を流れる星は、見たことがありません。ジェット機よりも速く、爆音も聞こえず、静かに一直線に西の黒い雲のなかに吸いこまれて行きました。人工衛星の反射光なら、もっとゆっくりの管だし、雲より低い流れ星なんて聞いたこともない。どう考えてもUFOとしか言いようのない一瞬でした。

(〒804 福岡県北九州市戸畑区浅生 3・6・9)

# UFO 目撃 レポート

● 大声をだして兄を呼んだら、兄はそれを見てアッと叫んだ

● 横須賀市立明浜小学校6年(12歳) 田口 誠

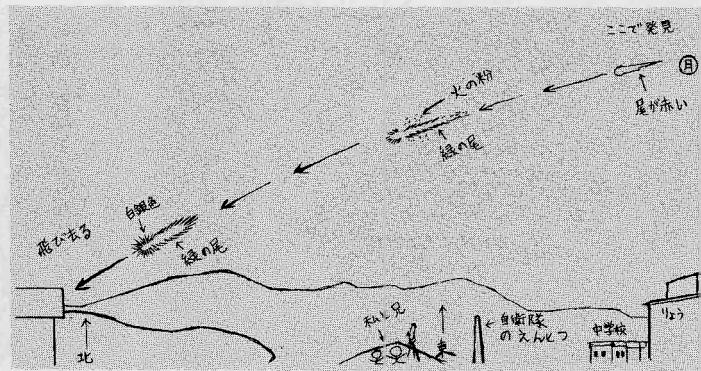
- ☆目撃日時 1976年9月5日、午後6時56分。
- ☆目撃地点 自宅の屋根のうえ。
- ☆天候 晴れ。
- ☆目撃継続時間 約7秒間。
- ☆同時目撃者 高校生の兄。
- ☆観測方法 肉眼。二人とも両眼2.0。

☆物体について 彗星状で核状部が白銀色。光った緑の尾をひき、目撃が終わる直前に火の粉をちらした。

☆飛行状態 高度はあまり高くはないように見えた。天体望遠鏡で月の観測をしようとして上を向いたら、その物体が音もなく飛んでいたので、大声をだして兄を呼んだ。兄はそれを見て、アッと叫んだ。手を伸ばして、1秒間に指が10センチ動くくらいのスピードで北の方角に飛び去った。「あれはなんだったんだろう!?!」と二人で話した。

翌日、毎日新聞をひらくと、私たちの見た時刻と同じ頃に、東京でも見えたということがわかった。だからあれは決して、目の錯覚ではない。天体望遠鏡で確認する余裕のなかったのが、惜しかった。

(〒239 神奈川県横須賀市久里浜 2・30・8)



# UFO 目撃 レポート

● 無数のきれいな十字の光が りんかくのなかを埋めた...

● 会社員(41歳) 高野あい子

- ☆目撃日時 昭和51年9月25日、午前4時30分。
- ☆目撃地点 静岡県磐田原台地上空。
- ☆天候 晴れ。

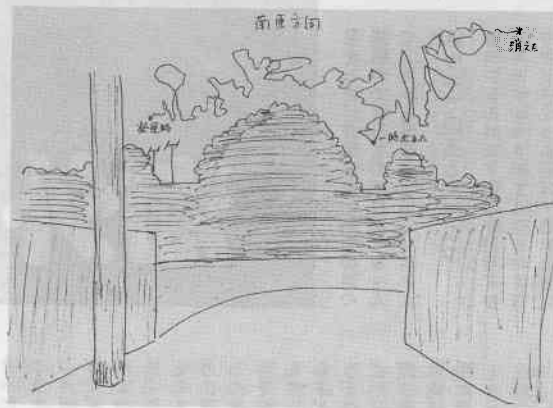
☆目撃継続時間 約5秒ぐらい。

☆同時目撃者 高野茂雄(43歳、運転手。いなづまのような光をみた)。

☆観測方法 肉眼。

☆物体について 黄色い色をしており、りんかくがはつきりして、なかに十字の光が無数に見えた。これも黄色

# UFO 目撃 レポート



ではっきりしてとてもきれい。  
 ☆飛行状態その他 4時半頃、私在家の外にてふと外を見ると、どこからともなくりんかくが現れ、そのあと無数の十字の光がなかを埋めた。5秒くらい見えていきれいだなあと思っているうちに消えた。そのあと家に入ってから夫に話したところ、夫も見たいといっ外を見てみると、こんどは遠くにい

## ●南東方向・仰角20度、かなりあかるいオレンジ色の光が点滅しながらジグザグ飛行

●主婦(43歳)  
 岡田 美智子

つともっている2つの家のあかりの上空に、大小の雲があつて、右側の小さい雲のなから、いなづまのような光が垂直に降りていった。これが3分おきぐらいにでて合計5回見た。そうこうしているうちに、あたりがあかるくなった。  
 (千438 静岡県磐田市市匂坂中81の12)

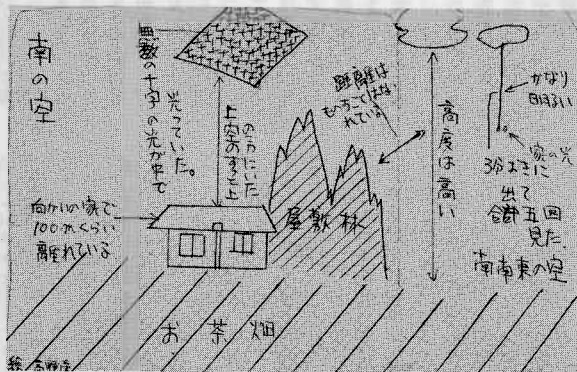
☆目撃日時 1976年11月8日、午後5時30分頃。

☆同時目撃者 発見者の鈴木暢子(綾南小4年)をはじめ、岡田薫(同)、西川千寿(同)、横山美奈子(同)、渋沢先生(エレクトーン教師)、それに私の、計6名で目撃しました。

☆目撃継続時間 約5分。

☆天候 うす曇り。

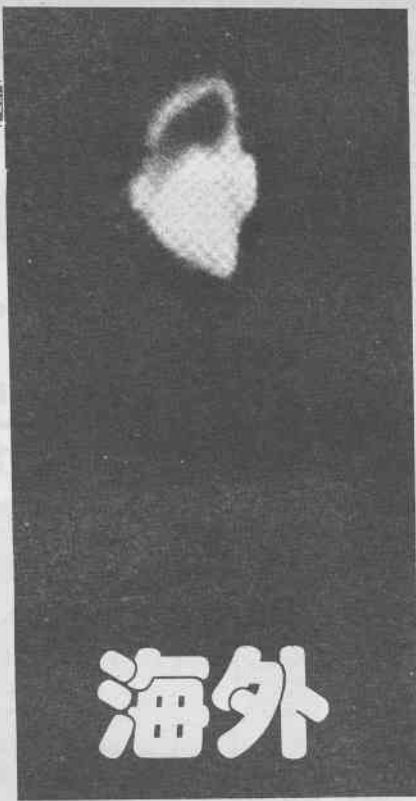
☆観測方法 肉眼。発見者の知らせで娘が見に行きましたが、すぐにひきかえしてきて真剣にうながすので、居合わせたエレクトーンの先生と半信半疑で現場まで行ってみますと、南東方向仰角20度、かなり明かるいオレンジ色の星状の光が、点滅しながらジグザ



グ、円、三角など不規則な運動をしているのが見えました。非常に早いスピードで動くためか飛跡が空に残り、イルミネーションを見ているようでした。

音はまったくなく、飛行機の飛び方ともぜんぜん違うものでした。近所に厚木飛行場があり、毎日のように飛行機のライトは見慣れていきますので見間違ふことはありません。あのように特殊な動きをする物体を見たのは初めてで、とても不思議な体験でした。

(千252 神奈川県高座郡綾瀬町上土棚



# 海外

## アメリカ

夕陽に照らされて  
銀色に輝く2つの物体

### ●ロッキードのUFO

ニューヨークのロッキードと  
ブトナム両郡で、大勢の人がUFO  
を目撃した。目撃者はビジネス  
マン、警官、教師、主婦とさまざ  
まである。

そのうちの1人、弁護士のワレ  
ン・パービットさんによると、ス  
ープ皿をさかさまにしたような形  
の物体が2つ、ラポボ・マウンテ  
ンの山なみの上を浮揚していたと  
いう。その物体は沈む夕陽に照ら  
されて、金属のように銀色に光つ  
た。そして、片方は静止したまま  
だったが、もう一方は徐々に傾い  
て垂直になったそうである。

パービットさんはニューヨーク  
タイムズの記者に対して、自分  
は「そんなにヒステリックな性格  
ではなく、かなり客観的だ」と語  
ったうえで、「確かにはっきりと

見ました。自然現象とかその他の  
説明のできるものではありません  
でした」と証言している。

### ●ホウキで殴ると真つ二つ

ペンシルバニアの超小型UFO  
『スカイルック』1976年2月  
号で、ペンシルバニアUFO研究  
センターのスタン・ゴードン氏が  
奇妙で面白い事件を報告してい  
る。

事件の起きたのは1975年の  
9月20日午後9時頃。ペンシルバ  
ニア州パンクサトニーの近くで  
自分たちの移動住宅を掃除してい  
た夫婦のうち、妻のほうが目撃形  
をした直径20cmの奇妙な「クモの  
巣」を見つけた。それは裏口から  
60cmほど離れた地上1・8mのと  
ころにあった。2人が数秒間見つ  
めてみると、その奇妙なものは横  
に回転して空中に1・2mほど飛  
び上がった。

それはすぐ元の位置に戻り、同  
じことを繰り返した。それから、  
トレイラーの上空で静かに停止し

た。妻がホウキで殴りつけると、  
なんと、それは真つ二つに割れて  
それぞれ反対方向に飛び去ってし  
まったのである。

また10月2日には、同じくペン  
シルバニア州グリーンズバーグ郊  
外で、やはり小型のUFOが主婦  
によって目撃されている。午後4  
時半に寝室のカーテンを下ろそう  
としていたその主婦は、窓のすぐ  
外に球形の金属物体が浮かんでい  
るのを見つけてギョッとした。

その物体は茶色がかった緑色を  
していて、表面のいたるところか  
らトゲが生えていた。主婦はちよ  
うど目の高さで物体を見ていたの  
だが、それはゆっくりと回転して  
開口部のようなものを主婦のほう  
に向けた。それから、UFOは空  
中に舞い上がり、見えなくなっ  
てしまったそうである。

### やぶにらみで

#### 耳の下にはエラが……

●ラスベガス近郊に宇宙人  
1976年1月29日、ネバダ州  
ラスベガスの南西22kmのところを  
ドライブしていたカントリー・ウ  
ェスタンのミネーシヤン、ジョ  
ニー・サンズさんは、空中から明  
るく輝く物体が降りてくるのを目  
撃した。

近づくにつれ、その物体は葉巻  
型をしていることがわかった。両  
端で光が点滅し、胴体にはドーナ  
ツ状の暗いリングがあった。

突然、自動車の調子がおかしく  
なり、サンズさんはエンジンを調  
べに外に出た。その間にUFOは  
上空300mに静止し、直径3m  
の丸窓と、船体周囲のリング上の

閃光するライトとが見えた。

そして、サンズさんは60m向  
うから近づいてくる2人の男に気  
がついた。最初は追いはぎの一味  
かと恐かったが、よく見ると彼ら  
は銀と黒の光沢のあるユニフォー  
ムを着ていた。身長167cmほど  
で目はやぶにらみ、青ざめた顔色  
をしていた。しかし何よりも驚い  
たのは、彼らの耳の下にエラがあ  
ったことである。彼らは追いはぎ  
ではなかった。それどころか人間  
でもなかったのである。

サンズさんは車に入ってカギを  
かけ、中にとじこもりたいたいと思  
ったが、なぜかそれができなかった  
という。

彼らのうちの1人が「ここで何  
をしているのか」と尋ねた。それ  
は声を出して話したのではなく、  
テレパシーで意思伝達を行ったも  
のようだった。

その宇宙人は他にもいくつかの  
質問を行った。サンズさんは、し  
まいに腹が立って、言っている意  
味が分からないと文句をいった。

2人の宇宙人はお互いに見つめ  
合っていたが、質問をしていた方  
がサンズさんに向かって、また会  
おう、ずっと監視しているから、  
この出会いについては誰にも話さ  
ないようにと告げた。サンズさん  
の受けた印象では、彼が黙ってい  
ると期待しているふうでもなく、  
それについて危害を加えそうにも  
なかったそうである。

2人の宇宙人はやってきた方向  
に歩み去り、やがて姿を消した。  
サンズさんは、この話を『ラス  
ベガス・サン』紙の記者に語り、  
1月31日付の同紙に掲載されたが

その記事では、サンズさんと同じ  
日にやはり葉巻型のUFOを目撃  
した人々に触れている。

それによると、1月29日の午後  
8時半、スプリング・マウンテン  
・レンジから西方へすいこいスピ  
ードで飛行する物体を、ラスベガス  
・パレーのあちこちで多数の人々  
が目撃しているのである。

目撃者たちの話によると、その  
大きな葉巻型UFOは急角度の方  
向転換してからチャールストン  
山の上を飛び去ったということだ  
ある。その物体の色は、日没後の  
太陽の反射光のせいかもしれない  
が、鉄サビ色をしていたと報告さ  
れている。

### ●追いかける、輝くUFO

フロリダで副保安官が追跡  
フロリダのレクシントンで副保  
安官たちがUFOを目撃、そのあ  
とを追いかけた。

1976年2月10日の午後11  
時、UFO目撃報告を受けて現場  
に駆けつけた副保安官たちは、上  
空500〜600mのところから、  
「まるでガラスのドームを底から  
見たようにまばゆい色彩」のUFO  
を目撃した。彼らの1人は「こ  
の目で実際に見るまで信じられな  
かった」と語っている。

### ●毛むくじゃらの怪物は UFOの搭乗員?

●モンタナ州にしばしば出現  
1976年2月22日、モンタナ  
州ウルムに近いハイウェイのそば  
でレナード・ヘーゲルさん一家4  
人が、直立して歩く毛むくじゃら  
の怪物を目撃した。

# UFO情報

ヘーゲルさん(29)は車から飛び降り、ピストルを片手にあとを追ったが、怪物がふり返ったら恐ろしくなりひき返したという。

また、ヘーゲルさんは800m離れたところの上空30mに、灰色の楕円形をした物体が浮かんでいるのを目撃している。

30分後に現場に到着したウォルバート保安官によると、暴風が吹き荒れていたため痕跡は見つからなかったそうである。また同保安官は、グレートフォールズ国際空港からUFOは見えたとはいえない、ヘーゲルさんの家族以外に誰もUFOを目撃していないのは不思議だと語っている。

しかし、グレートフォールズ付近では、このところUFOや毛むくじらの怪物を目撃したという報告が続出している。これは、UFOと怪物との間になんらかの関係があることを示唆するものではないだろうか。

## UFOが宇宙船と信じるのは3分の2

●知能指数の高い人々の調査結果  
アメリカの大衆週刊紙「ナショナル・エンクワイアラー」は、1976年6月1日号で、知能指数130以上の人々の集まりである国際MENS A機関のメンバーを対象にした意見調査の結果を発表している。

それによると、グループのほぼ3分の2がUFOは「他の惑星からの宇宙船」とであると信じており、「その乗組員が敵対的に見えなければ引きに応じてUFOに乗り込む」と語っている。また51%

がUFOは「搭乗員を乗せており、彼らは私たちの行動を研究している」と信じている。実際にUFOを見たのは16%である。

## UFOの決定的証拠に賞金100万ドル

### ●米の大衆週刊新聞が提供

1976年7月5日に「ナショナル・エンクワイアラー」紙は、UFOが自然現象でなく、宇宙からの飛来物であると実証した最初の人物に対し、100万ドルの賞金を提供すると発表した。

同紙では1972年に賞金5万ドルでこの企画をスタート、75年度に賞金を10万ドルに増額したばかりだった。

寄せられた報告は、予備審査の後、トップ科学者で構成されるUFOブルーリボン委員会で検討され、委員全員がその証拠を認めれば、賞金が支払われる。

ただしこの申し出は「米国の軍事機密を漏洩するようにそのかすものではない」というのである。

エンクワイアラー紙では、決定的な証拠に対する賞金のはかに、その年の「UFOに関する科学的に最も価値ある証拠」についても5千ドルを提供していたが、この金額も1万ドルに増額した。

なお、1975年度は、アリゾナで起きたトラビス・ウォルトン事件の関係者7名に5千ドルの賞金が支払われている。

## 再燃するUFO論争

●アメリカ物理学会の雑誌が舞台  
一時は下火だったUFO論争がこんどはアメリカ物理学会の発行

する『フィジックス・トゥデイ』の誌上で再燃している。

論争の発端は、ジャック・エプスタインさんが編集部に宛てて出した一通の手紙。その中でエプスタインさんはUFOを研究するように熱心に勧め、「最近、UFOの目撃が多くなってきていることからみて、空飛ぶ円盤」として報告されている現象のうちのいくつかは、宇宙から飛来した反物質の粒子を目撃したものと考えてみる価値があるのではないか」と言っている。

その後、マサチューセッツ大学のハロルド・ヒートン博士が、反物質理論には同意したが、UFOについてさらに研究すべきだということには賛成であるという主旨の手紙を寄せた。

「パイロットや警官のように、専門的な訓練を受けた人たちの目撃報告の数多くあり、その大半は繰り返し調査が行われたにもかかわらず説明がつかないままである。UFOには、真面目に科学的関心を払う価値がある。この問題に取り組んでいる科学者を、オロカ者扱いすべきではない」という内容である。

これに対して、マサチューセッツ州ケンブリッジの天体物理学者メンゼル博士は、「フィジックス・トゥデイ」がUFOに関する記事を載せるのは大きな間違いだ、と反論した。メンゼル博士は、長年にわたりUFO目撃報告の調査をしてきた人物である。

メンゼル博士は、UFO調査委員会の委員長だった有名なコンド博士の言葉を引用して、UFO

研究は、時間の浪費である」と述べ、「UFOのようなものに我々の財源や能力をつぎ込むのは大へんな間違いだ。もっと研究すべき重要な科学的分野は他にたくさんある」としている。

科学者がUFOのような「非科学的」なものを研究すべきかどうか。この論争は、おそらく科学者が存在するかぎり、また不思議な物体が都市や町に出現しつづけるかぎり、終わることなく続けられるであろう。

科学者も目撃している  
未知の空中現象

## ●AIAAがアンケートを実施

UFOの目撃報告は、ほとんどが専門的知識のない素人によるものだ。このために、科学者たちがあまりにも突拍子もない報告に対して不信の念を抱き、懐疑的になるのだらう。

こう考えたスタンフォード大学の宇宙科学・天体物理学教授ピーター・スタロック博士は、科学者や技術者のUFO体験についての調査を試みている。

この調査は、回答者の氏名を絶対に明らかにしないという保証付きで、スタロック教授もメンバーになっているアメリカ航空宇宙学会(AIAA)サンフランシスコ支部の会員1175名を対象に、1973年4月に実施された。

調査は質問紙法によって行われ確認し得ない空中現象をこれまで目撃したことがあるか。もしそうなら、その目撃の詳細はどんなものか。また、その出来事に関係当局に報告したか。目撃者の科学的

的素養は、という内容であった。その結果、全体の36%に当たる423通の回答が寄せられた。そのなかには、自分の見たものがおそらくロケットの航跡や聖エルモの火などだったろうという者もいたが、こうした科学的訓練を受けた人々による未知の空中現象の目撃報告の大部分は、素人のUFO目撃報告と酷似していた。

この調査結果を掲載したAIAA会報で、スタロック教授は次のように要約している。

「科学者は、ひょっとしたらUFO現象と関係があるかもしれない、自分に説明のつかない、奇妙な現象を目撃した場合、どんなことがあってもそれを公表しないものである。だから、もし科学者がUFOを見たかどうか知りたかったら、おそらく匿名にすると保証したうえで、彼らに尋ねる必要があるということがこの調査からわかる」

そして「この調査は、主要な目的を達成したといえる。すなわち科学的訓練を受けた人々の空中現象目撃側が、いわゆるUFO目撃報告と似かよっていることが示された」と結論を下している。

## 宇宙人が地球を訪れている証拠は圧倒的

### ●フリードマン博士の講演

核物理学者のスタントン・フリードマン博士は、昨年10月6日に開かれたケネディ政治連合主催の講演会で、地球に宇宙人が訪れていると語った。

「11年間の研究から、宇宙人の乗物であるUFOが地球を訪れてい



が目撃された。

8月14日の午後9時すぎ、地中海に面したレストランで、大勢の人が空中を飛んでいる、白く光る丸い物体を目撃した。

目撃者であるウエイトレスの1人によるとその物体は満月くらい大きさで、蜜蜂のような音をたてていたという。そして、物体の後部に突然緑のライトがついたかと思うと、アジャクシオの方向にあったという間に飛び去ってしまった。

もう1人のウエイトレスは、その物体が45度の角度で上昇していったと話している。航跡はなかったが、山を背景にしてくっきりと見えたそうである。

彼女たちは、多くのお客がその物体を見たけれど、誰も興味を持たなかったようだと語っている。

### 幅270m近い 巨大なUFOが出現

●10人近くの人々が目撃  
1975年の9日に、フランスで10人近くの人々が巨大なUFOを目撃した。

9月26日の午後9時30分、ノール県アセヴァンで、目撃者たちの前方450m、上空18mのところに幅270m近い巨大なUFOが出現した。人々が見ているなかでUFO中央のドームから円錐形の物体が離れて上昇し、再び元に戻ったという。UFOが出現していたのは5分程度だが、そのあいだは自動車のエンジン、ヘッドライト、カーラジオなどがすべて作動しなかった。UFOが消えたあとには、何の痕跡も残っていないか

ったそうである。

### 帰り道を後から つけてきた葉巻UFO

●帰宅してから父親も目撃  
1975年9月29日の午前4時30分頃、フランスのヴォージュ県でUFOが目撃されている。

目撃者はI・L・ジロルさん。ラ・クロワ・オー・ミンの自宅に帰る途中、一定の高度を保ちながら後をつけてくる物体に気づいたという。その物体は葉巻形で、赤と白の光を点滅させ、ドームがついていた。

帰宅したジロルさんは、さっそく父親を起こした。父親が外を見ると、その物体はサデスの小村の上空にいつてしまっていた。

### その他の国々

#### まばゆく輝く物体が フワフワと

●オーストラリアでの怪事件

タスマニアUFO調査センターの伝えるところによると、同地でもいくつかのUFO目撃事件が起きていくようである。そのうちから1つを紹介する。

1974年9月22日の午後、タスマニアのタイエンに住む、W夫人は、路上に駐車して親戚を待っていた。周囲には霧がたちこめて、雨が降っていた。

カーラジオが5時20分を知らせた時、周囲がバツと明るくなったかと思うと、車内にまで光がさし込んできた。ラジオからはピーッとカン高い音がした。W夫人がラジオを消そうとかがみ込んだ

時、オレンジと銀色のまばゆく輝く物体が、そばの山の木々の間から道路へとフワフワ降りてきたのである。大きな自動車ほどのサイズがあり、地面から15mほど上に浮かんでいた。

パニックに襲われたW夫人は、ギアをリバースに入れて自動車を後退させた。UFOは車の屋根の高さになり、車のフードと2〜3mの間隔を保って追いかけてきた。

自動車は90mほどバックしてから、スカルミにはまって動かなくなってしまう。するとUFOも停止し、60秒ほどそのままの状態を保った後、急に谷の方向に飛び去っていった。

最初にUFOを目撃してから2〜3分間の出来事である。

W夫人は車を飛び出して、2km近い道を走って家に帰った。自動車は、夫と息子が後日牽引してきたが、どこいって故障はなかった。ただ、カーラジオの音が非常に悪くなったのと、泥とホコリにまみれた車の正面だけが磨いたように奇麗になっていたが、実に奇妙であった。

### レニングラード上空に 巨大なUFO出現

●数千人の人々が目撃

タス通信によると、1976年2月13日の夜間、ソ連のレニング

ラード上空に巨大な未確認飛行物体が出現し、ゆっくりした速度で低空を飛び回った。数千人の人々が10〜12秒ほど、この奇妙な飛行物体を目撃している。

しかしながらソ連の科学者たちはこの事件が本当かどうか疑問を持ち、タス通信とは意見を異にしているということである。

### ルーマニアに UFOの着陸痕

●10人の子供がUFOを目撃

1976年3月29日の午後7時15分、ルーマニアのスカイェニで10人の子供たちが1時間ほどUFOを目撃した。

このUFOは奇妙な複数の光で西の地平線から姿を現し、大空をあちこち動き回った。それから丘(高さ5000m)の上、50mに静止した。光はオレンジ色で、音はしなかった。

その後、UFOは丘のうしろに降り、2分後に再び同じ位置に姿を現した。そして、ジグザグに動きながら南の方に去っていった。

子供たちから話を聞いた教師が4月3日に現場にむいて調べると、丘の中腹に直径約1・5mの奇妙な丸い焦げ跡が見つかった。円形の草はすべて焼けて、地面が見えていた。教師が焦げ跡内の土を手にとったが、1時間後に手の平が赤くふくれ、日焼けしたような状態になったという。

### デンマークの夏空に 3つのUFO

●お互いに信号を交わし合う?

北欧のUFO研究団体「スカン

ジナビアンUFOインフォメーション」によると、1976年夏のデンマークは、連日36度を超す猛暑に加えて、UFOもおしよせてきたとのことである。

8月5日の午後11時15分、モーターバイクに友人を乗せ、ユトランド北部を走っていた青年が上空に3つのUFOを目撃した。彼は友人と2人で観察したが、真中の1つが大きく、両側の2つは小型だった。真中の大きなUFOは満月のように明るく輝いていて、周囲には緑から紫の間で様々に色が変化する環があった。

青年たちから連絡を受けて警官が現場に訪むき、肉眼と双眼鏡でUFOを確認した。警官の話ではUFOは上空を南西から北東へ向けて20秒ほどで飛び去ったそうである。

目撃者たちは、3つのUFOがお互いに信号を発しているように見えたといっている。小さなUFOは、それぞれ側面で緑と赤のライトを点滅させていた。大型のUFOは緑の光には同じ色のライトで応答したが、赤の光に対しては反応しなかったという。

### ◆訂正

本誌21号の海外情報カコミ欄(81ページ)で、「第3人類との密接な出会い」とあるのは、「第三種接近目撃」の誤りでした。これは、ハイネック博士によるUFOのパターン別分類法の1つで、搭乗者が認められるケースをさすものです。お詫びして訂正いたします。

# 国内

## 北海道

### 急上昇、急降下

●恐らく円盤だろう…

〔釧路郡〕円盤？…。一九七六年9月29日夜、釧路郡釧路村遠矢の道道で「円盤では…」という不思議な発光体を目撃した兄弟がいる。釧路村遠矢床丹、村上修さん（24歳）贈答品店千歳屋勤務と、晃三さん（19歳）商業高校2人で、タバコを買おうと自宅から釧路方面へ車を走らせていたときという。この時、弟の晃三さんも同席していた。時間は午後6時を少し回ったところ。何気なく見やった右手横にフツと浮かび上がったのが、この不思議な光。「色はオレンジ色だった。時折り点滅していた」と村上さんは当時の模様を語る。しかし、これだけのことなら別段、気にもしないで済むが、突然、この光は急上昇したかと思うと、次の瞬間に急降下、というのだから兄

弟はビックリ。

「ものすごいスピードだった。45度の角度でVの字型に急上昇や急降下を繰り返していた。あれは普通の光ではない。恐らく円盤だろう」と、その時思った」と語る村上さんは、いまだ興奮覚めやらぬ、といった様子。

その後、2人は、この光を追って来たところ、光は1度、市街地へ向かい、それから、また湿原へ戻るように帯広市愛国町の方向へ消え去った、という。「あれは間違いない円盤だ、と思う」と口を揃える村上さん兄弟。あなたは存在を信じますか…。

（一九七六年10月3日付、釧路新聞）

### フィルム見たら

#### ナゾの物体

●撮影した自衛隊員、首ヒネる

〔宮城〕航空自衛隊松島基地（宮城県桃生郡矢本町）の広報班員が練習機を撮影したカラーフィルムを見た時、その1枚にナゾの飛行物体が写っていた。さてはUFO

か？

写したのは昨年（一九七六年）9月7日。国内では初めて同基地に配備された国産ジェット練習機T-12（左端）を撮ろうと、滑走路北側から海側に向けてシャッターを切った10枚のうち1枚に収まっていた。

当時、基地周辺では該当するようなジェット機は飛んでおらず、正体不明の物体という。撮影した隊員は「全然気づかずにシャッターを切ったんですがね」と首をヒネっている。

（一九七六年10月6日付、河北新報）

## 東北

### あれはUFOだったんだ！

●山形の少年連続撮影に成功

〔山形〕「やっぱり、あれはUFOだったんだ！」。少年の胸はときめいた。あの時、夢中でシャッターを切った。現像、焼き付けしてみた。空を飛ぶ円盤が鮮明に出ている。しかも6コマ全部に。正体はなんだろう。宇宙への空想は果てしない。

UFO？の撮影に成功したのは、山形県最上郡真室川町の千川原洋君（12歳）釜淵小6年（一九七六年）6月。両親に話し、写真を現像してくれと頼んでも「テレビの見すぎだ」と信じてもらえない。フィルムがだいぶ残っていたのでそのままにしていた。このほ

ど他のスナップ写真を焼き付けるため、山形県新庄市内のカメラ

店に頼んだ。まだ先生にも友達にも教えていない。洋君のとっておきの秘密だからだ。父親の惣太郎さん食料品店経営も写真を見て、半信半疑。

UFO？出現のありさまを洋君の記憶から再現してみよう。洋君の家は奥羽本線釜淵駅のすぐ西側にある。近所の黒井晃一君（11歳）釜淵小5年と自宅前の広場でキャッチボールをしていた。時間は夕方5時すぎ、ふと見ると尾根越しの上空になにやら光るものが…。家に飛び込みカメラを持ち出す。それは銀色に光り、上方にはまるい突起がある。ジグザグしたり、上下したりしてゆっくり西から東の空へ、よく撮ろうと近くの陸橋にかけ上がった。6回シャッターを切る。時間にして1分ぐらいい。東の空でフツと消えた。

さて、その真実性だが「現像、焼き付けしたカメラ店では「合成やフィルムのキズ、光などで写ったものではない。6枚の連続写真だからなんとも不思議だ」と首をかしげるが、洋君は信じきっている。2年生の時と昨年2月にも変な物体を見た。二度目は学校帰りで、青色に光ってすぐに消えた。小さい時から天体に興味を持っていて。星空が好きだ。UFOの記事が出ていた雑誌やテレビは欠かさない。宇宙を描いたマンガにも目がない。洋君の空想力は、撮影成功で大きく広がった。

果たして、釜淵の上空に現れた飛行物体はなんだろう？あなたは、宇宙からの使者、を信じますか…。

（一九七六年10月22日付、山形新聞）

### 聞夕刊

#### 青、赤、白の光を発して雲間を旋回

●会社員が4分間目撃する

〔青森〕津軽の上空にUFO？一九七六年10月27日夜、青森県弘前市の上空を円盤型の物体が飛んでいるのを目撃した人がいる。「大ききや飛び方から、流星や飛行機とは違う。音も全く聞こえなかったし」と、まるでナゾの物体。ひょっとしたらUFOの出現では…。

目撃したのは、同市常盤坂の上村省三さん（34歳）弘前燃料配達センター勤務と奥さんのウメさん（28歳）。午後7時ごろ、上村さん夫婦が夕飯を済ませ、近所へ出かけようとしたとき、りんご公園と若木山の間の上空を飛んでいる円盤型の物体を発見した。上村さんの話によると、その物体は、お盆ぐらゐの大きさ。外側と内側に青、赤、白などの光を発しながら、雲間を旋回。止まったり、動いたりしながら、約4分間飛んでいたが、やがて南西の方向にスッと消えていったという。上村さんは「今まで、あんな飛行物体は見たことない。うわさに聞いているUFOでは…」と首をかしげている。

（一九七六年10月29日付、陸奥新聞）

## 関東

### 黒っぽい長円形物体

●小学生よく知らってパチリ

〔千葉〕UFO(未確認飛行物体)に興味を持つ小学生が、「空を飛ぶ長円形の物体」をカメラに納めた。カメラ屋さんで現像、引き伸ばしたら、2枚のフィルムに空の雲をバックにその物体がはっきり写っていた。「これは間違いなくUFOだ」「少し疑問な点がある」などと、町のUFO研究グループの間で、いま話題になっている。

千葉県館山市下真倉、国鉄職員佐久間登さんの長男、館山小4年登君(10歳)は、昨年(一九七六年)の夏休みも終わりに近い8月21日午後4時20分ごろ、自宅の裏の空き地で姉のカメラを借りて遊んでいるとき、西の空から黒っぽい長円形の物体が飛んでいるのを見つけた。よくねらってシャッターを2枚切った。

そのときの模様を登君は「黒っぽい長円形で、割合ゆっくり『木の葉落とし』型で飛行してきた」と、UFO知識をひらめかす。

登君は2年生ごろから宇宙やUFOに興味を持ち、関係雑誌など読みあさっている。UFO少年。この写真を市内の同好者で、国内の権威ある研究グループ会員らに見せ、その世話で東京の隔月刊雑誌『UFOと宇宙』を出版している出版社の専門家に紹介してもらった。各方面に鑑定を頼んでいる。(一九七六年10月30日付、朝日新聞千葉版)

### 朝起きてみたら

#### 百個の石にひっつき傷

●UFOのしわざか?  
〔群馬〕朝、起きてみたら庭石の

ほとんどに鉄のツメでひっかいたような傷がついていた。—こんなSFまがいのできごとが群馬県箕郷町であつた。傷つけられた石は大、小あわせて100個余り。これだけの石を一晚のうちに傷つける音に家人が全く気付かなかつたなどからUFO説も出るなど話題になっている。

この事件に気づいたのは同町柏木沢の国鉄職員、佐藤琢磨さん(31歳)。一九七六年11月2日の朝、琢磨さんが夜勤明けで帰宅したところ、自宅の駐車場わきの石がきの石のほとんどにひっかいたような傷がついていた。調べてみると、この傷は他の庭石にもおよび、3センチほどの小さな石から50センチを超える大きな石にもくつきりとツメ跡がついていた。

琢磨さんが、母親のふじ江さん(56歳)や近所に住む伯父、佐藤基さん(55歳)に保護司に話したところ、ふじ江さんは1日午後10時半から11時の間、床につこうとしてふと窓を見ると庭の方がポイントと明るくなり、キーンという金属音を聞いたと、騒ぎが大きくなった。このため基さんが自宅の庭石を調べたとのこと、ここにも不思議なツメ跡が残っていた。

この傷跡は、付近の家の庭石にもついているが、両佐藤さん宅のもののがひどく、「どうして私たちの家だけ!」と琢磨さんと基さんは気味悪がっている。

問題のツメ跡は、2本〜3本の鋭いツメでひっかいたような傷。比較的やわらかい石についているが、中には幅3センチ、長さ20センチにわたり1センチほどえぐり

取られているような大きな傷もある。

ツメ跡がつけられた石は両家とも6月末、近くの工事現場から庭の土盛りのために運びこんだ土に入っていた。このため、工事のさい、シベルカーでつけられた傷ともみられるが、それにしても傷が新しく、評判になっている。

(一九七六年11月4日付、上毛新聞)

## 北陸

### 変なもの見た

●気象台と新聞社に電話相次ぐ  
〔新潟〕またまたUFO(未確認飛行物体)が出現。9月5日午後7時過ぎ、新潟地方気象台に「おかしな飛行物体を見た」との電話が次から次にかかってきた。

「現れた」とみられる時間の午後7時から7時半までの間に新潟日報本社編集局にも「変なものを見た」電話が5本。

「花火みたいな青と赤の火の玉が南の空を走った」(新潟市・サラリーマン)、「花火みたいなものがすうすうと飛んでいた。空の半分ぐらいを占める大きさで...」(新潟県十日町市・商店主)、「月より大きい光でねえ」(新潟市小針の住人)...

共通点は東から西に向けて「飛んでいた」ことと、色は「赤と青だった」こと。

「うちでは観測できなかったが、流れ星の大きなやつじゃないですか。そう見えます」—気象台観測課は、こう解説しているが、新潟市天神尾の会社社員は、「真横に

動いていたし、二階屋根の高さのところを飛んでいた。私は流れ星だったとは思えませんが...」(一九七六年9月6日付、新潟日報)

### 細長の赤い発光体

●双眼鏡で観察、確認  
〔福井〕一九七六年11月3日午後5時10分ごろ福井県鯖江市内の鯖江大橋付近の日野川堤防で、乗用車を運転していた同市住吉町一丁目、めがね製造業、手賀昭一さん(32歳)が、日没直後の越前海岸の山並み上空を赤い発光体が飛んでいるのを発見。持っていた双眼鏡で観察したところ、約2分間にわたり、ゆっくりと飛んでいるのを確認した。同乗の手賀さんの奥さんも確認しており「UFOではないか」と福井新聞社に連絡があった。

越前海岸付近では、七六年夏もキャンプ中の海水浴客、さらに磯釣り中の県民からも「なぞの発光体を見た」との連絡があった。また同年夏、鯖江大橋付近で西空に夕方発光体を見た人も出ている。手賀さんは「ダ円形よりもっと細長の赤い発光体を見ました。七六年春から山登りを始めた関係で、よく山をながめているのですが、この日も日没の山のシルエットに目をやっていたら、赤い発光体に気がついた。北の方へ飛んでいた」と話している。

なお福井地方気象台では「最近時々、UFOを見たという届け出があるけれど、調べようがありません」と話している。

(一九七六年11月4日付、福井新聞)

### 石川にもオレンジ物体

●野球練習中の会社員見ると「石川」オレンジ色に輝く怪物体が飛んでいるのを目撃した。との手紙が、このほど石川県小松市粟津町の会社社員・河越弘さん(36歳)から同市園町、北陸中日新聞小松支局へ寄せられた。

同手紙によると一九七六年11月3日午後4時40分ごろ同市南部中学校グラウンドで同僚らと野球練習をしていたとき、西方の空にこの物体が現れた。大きさはかなり離れていたのに直径2〜3センチにしか見えなかったが、オレンジ色に輝くダ円形の物体だった。初め30秒余で消え、また10秒後に姿を見せ、約5分間ゆっくり飛びながら、さらに西方へ飛んで見えなくなったというもので、河越さんは、最近東京でもこのような物体が晴れた日の午後4時40分から同45分にかけて現れたのを目撃した人がかなりあったというのを聞いており、同一物体では...と同僚たちと話題にしている。

(一九七六年11月10日付、北陸中日新聞)

## 中部

### 名鉄職員「怪光」を目撃

●「飛行機と見誤ることはない」  
〔名古屋〕一九七六年9月5日午後6時50分ごろ、名古屋市北区の上空に明るい空色をしたほろほろ星状の光が5秒ほど走って消えた、

と同区の名鉄瀬戸線大曾根駅勤務  
竹内重信さん(50)が朝日新聞名  
古屋本社社会部へ知らせて来た。

竹内さんの話だと「怪光」は航  
空路に近い空を着陸姿勢に入った  
機体ほどの大ききで東南から北西  
の方向へ真横に走ったという。こ  
の「怪光」、名古屋地方気象台や小  
牧市の名古屋空港事務所でも、  
「全く心当たりがない」とのこと  
で、文字通りのUFO(未確認飛  
行物体)。

竹内さんらは「UFOだなんて  
即断はしない。でも、飛行機なら  
毎日見ているから見誤ることはない  
だ。いったいあれはなんだったん  
だ?」マニアの胸騒ぎを誘い、そ  
うな秋の夕のミステリーだった。  
(一九七六年9月6日付、朝日新  
聞名古屋版)

特別な光なんです

●長野の女性、新聞社に電話する  
「長野」今ごろ長野市の南々西  
上空を飛ぶ飛行機がありますか」  
——。9月24日午後7時半すぎ、  
信濃毎日本社に市内稲葉の女性が  
緊張した声で電話をかけてきた。

内容は「7時33分、星の高さか  
らスーッと動き出した。星の色と  
は違う。赤味がかって。特別な光  
りなんです」「主人がカメラを持  
って飛んで出したときは遅く、長野  
大橋上空あたりきたら消えまし  
た。先月の26日も同じようなの  
をみました。目撃者も3〜4人い  
ます」と、現場の興奮が手にとる  
よう。UFO(未確認飛行物体)  
の信州入りではないかというわけ  
だ。  
長野地方気象台に聞くと、「最

近、この種の問い合わせはふえて  
いますが、天文の分野は専門外。  
それにきょうは問い合わせも一件  
もありません。松本空港事務所  
は、「発着時間は夕方5時まで。  
ひよっとすればミグ25輸送で、警  
戒のための自衛隊機じゃないです  
か。亡命機不時着の6日の夜も見  
えました」。確認できない点  
がまさにUFOなのだが、さて正  
体は……。  
(一九七六年9月25日付、信濃毎  
日新聞夕刊)

私は約30回見て  
写真撮影も成功した

●いっしょに見てみませんか  
(愛知)各地の空に現れて、「円  
盤」「宇宙人の偵察」と話題が尽  
きないUFO(未確認飛行物体)  
を、愛知県尾西市市民会館主事・尾  
崎泰明さん(36)が愛知県一宮市  
でも目撃した。それも、一昨年  
(一九七五)の夏から延べ約30回。  
昨年3月には写真撮影にも。成  
功。同僚たちはUFOの目撃を  
信じない様子だが、尾崎さんはこ  
れまでの経験から、「秋の晴れた  
夜空によく現れる」という。

初めて見たのは一昨年の8月3  
日。尾西市起の木曾川堤防で家族  
らと一緒に夏祭りの打ち上げ花火  
を楽しんでいた。午後9時近く、  
濃尾大橋の上空を赤と白の光3点  
がゆっくりと移動する。「飛行機  
だろう」。そんな思いで見えていた  
が、一カ所ではしばらく止まるな  
ど、奇妙な動き方だった。そして  
間もなく、木立の陰にかくれた。  
2回目も偶然だった。10月9日  
午後8時ごろ、自宅2階の雨戸を

くろうとしていたら、南西の空を  
銀白色の光が横切った。距離はか  
なりあったが、高さ2〜300メ  
ートル。ほぼ水平に南から西へ飛  
んだ。尾崎さんはこの2回の体験  
でUFOを信じざるを得なくなっ  
たそうだ。

望遠鏡を買い込み、カメラを構  
え、専門雑誌を定期購読するほど  
のマニアになった。2階にある小  
学3年生の長女の勉強部屋で決ま  
って夜空をにらんだ。努力が実ま  
ったが、11月にかけて毎晩のよう  
に目撃できた。何度も失敗を重ね  
たが、昨年の3月3日には135  
ミリの望遠レンズで撮影もした。

最近、尾崎さん宅の2階から午  
後6時半ごろ、晴れた空に西南西  
の方角でダイダイ色の「星」が遠  
方の山頂へ向かって降下し、山の  
後方に姿を消す。「一直線に下が  
る飛行機なんてない」と尾崎さん。  
さらに南西の方角から南へ移る物  
体も。「ふしぎですよ。いっしょ  
に見てみませんか。きつとまた現  
れますよ」と、尾崎さんはUFO  
の存在を信じて空を見上げる。  
(一九七六年9月29日付、朝日新  
聞尾張版)

近畿

葉巻型のUFO見ました

●もう疑うこと出来ませんわ  
「神戸」神戸・灘、主婦(28) 〓  
(一九七六年)9月28日の夕方6  
時ごろ、はっきりと空飛んでるU  
FOというの、見たんですよ。西の  
空が夕焼けで明るかったところに  
ダイダイ色の葉巻型の相当に大き

そうながはつきり見えました。  
止まってるのかしらと思うぐら  
い動かなくなったけど、結局30分ぐら  
いで小さくなって消えました。あ  
れほどはつきりしてるの見たら、  
もうUFOを疑うこと出来ません  
わ。写真に撮ったけど、うまく写  
ってたらいいのに……。  
(一九七六年9月30日付、神戸新  
聞)

あれ、私らも見た

●きれいかつたよ  
「神戸」神戸・灘、中1女 〓  
「葉巻型のUFO」いうて出てた  
でしょう。あれ、私らも見たよ。  
9月28日の午後6時ごろやっ  
たけど、クラが終って後片付けし  
てる上に、葉巻型のUFOがあるの  
ん、顧問の先生が見つけてん。  
「UFOや」いうから、みんな見  
てんけど、葉巻が銀色でね、ぐる  
りがすごくきれいなオレンジ色に  
光ってんねん。「飛行機雲や」い  
う子もいたけど、よう見たらやっ  
ぱり飛行機なんかと違うねん。ゆ  
っつきり、ゆっつきり小そうなん  
つたけど、きれいかつたよ。  
(一九七六年10月2日付、神戸新  
聞)

親子で目撃

●信じるつもりはないが……  
「兵庫」UFOを信じるつもり  
はないが、はたしてあの物体は」  
と首をかき上げるのは、兵庫県三木  
市末広の真鍋美代子さん(39歳)  
と長男の三樹小6年・泰三君(12  
歳)。  
一九七六年11月1日午後6時

ぎ、買い物帰りの美代子さんが、  
三樹小裏の路上で、北西の空に星  
の何倍もある青白い光を放つ飛行  
物体を見つけた。目の前へ迫った  
り遠くなったりの繰り返りで、自  
宅へ帰り、泰三君と二人で確認し  
た。物体はいったん西へ移動した  
のち同6時30分ごろ、北の空へ遠  
ざかり、オレンジ色の光に変わ  
って姿を消した。通りかかった主婦  
に話したところ、その人は「10月  
31日にはもっと大きい飛行物体が  
真上に見えた。気味が悪いので見  
ないようにしている」といい、小  
走りに立ち去った。このほか、目  
撃者の中には、三木署員もおり、  
ひよっとすると……。  
(一九七六年11月8日付、読売新  
聞神戸版)

ボク、とうとう見ました!

●あれはおまえ、星だよ  
「名古屋」〓「こちら名タイ(名  
古屋タイムズ)スタジオ」より 〓  
UFO、つまり未確認飛行物体  
でありますね。すでにブームは去  
ったと思っていたのに、いやいや  
未だ人気が根強いようでござんす  
ねえ。小学生はもとより、オトナ  
の中にもかなりの「信者」がいる  
ようです。

テレビ局つてもまた、UFO  
が好きで、中京「木曜スペシャル」  
などでは相変わらず、この得体の  
知らないヤツを追っかけるとのデ  
ス。信じる信じないはとにかく、  
視聴率はバッチリ稼げるってこと  
でしょう。ところが、名タイにも  
実は、UFOの目撃者が現れまし  
て……。  
名タイでUFOを目撃したとい

# UFO情報

うのは、テレビ・ラジオの番組表を書いている、学生アルバイトの道上クン。写真部の加藤静男カメラマンと、休みに上高地へ行って発見、「見ましたよ、UFO、ボク、とうとう見ました！」と「名タイ・スタジオ」にかけ込んで来ました。

加藤カメラマン撮影の写真には確かにそれらしきものが写ってマス。もともと加藤チャンは「あれはおまえ、星だよ」と一蹴したのですが、道上クンもさるもの「いや絶対にUFOデス！あの光り方は星じゃない。第一、ボクらが位置を変えると、アレも動いてたじゃないですか！」というふうにゆずりません。

てなわけで今、名タイでは、UFO論争が華ばなく起こっているのでありマス。

UFOか、それとも星か——まあ、判断はみなさんにまかせましよう。

(DJ・寺田繁)  
(一九七六年11月8日付、名古屋タイムズ)

## 九州

### 現像したら「空飛ぶ円盤」が写った

●みんなでワイワイガヤガヤ

〔鹿児島〕鹿児島県始良郡霧島町養魚場経営・上松瀬一男さんの長女まち子さん(17) 高校2年が、このほど佐世保市の実兄のところに旅行したとき、港を撮影したカラーフィルムを現像したところ空飛ぶ円盤？がうつっていた。

形はコマのようでもあり、人工衛星のようでもある。

まちさんは実兄の正秋さんの海上自衛隊の卒業式に参加、そのとき(8月17日午後零時半ごろ)港内をパチリとやったものだが、「撮影のときは気づかなかった」という。近所の人や養魚場に来るお客さんたちに見せているが「空飛ぶ円盤だ。いや現像のときのフィルムのゴミのいたずらだ」とワイワイガヤガヤ。でも珍しい写真だという点ではみんなの意見が一致。

(一九七六年9月13日付、南日本)

## 新聞

### 初めて見た

●一家5人で確認してます

〔福岡〕大牟田市、主婦(57) 昨年(一九七六年)10月8日の午前5時過ぎ、西の空にUFOを見ました。写真撮ってないのが残念ですが、一家5人で確認しています。

最初主人が発見し、家族を起こして見たもので、まず月を半分ぐらいにした円盤が、それより光の薄い円盤2つを左右に伴って西の空にかかっていたが、間もなく消

えて行き、つぎに上空から北西に3つ固まった星のような物が点滅しながら飛びました。その後明るい金色の、葉巻のような物が3分ぐらい光りながら、西の空を動いて行きました。話には聞いていたが、見たのは最初です。

### 有明海上空に6個の物体

●大きな物体がそれらを吸い込む

〔福岡〕福岡県大牟田市中友町、塾経営・石橋晃さん(48歳)は昨年(一九七六年)11月8日早朝、

自宅近くの有明海上空に強い金色の光を放つ円形の飛行物体6個が浮いているのを目撃。長男の啓志さん(26歳) 大牟田市役所勤務 Ⅱらを起こし、一家5人で見つめていたところ「15分後、さらに同じような光を放つ平面体の大きな物体が現れ、6個の物体を次々吸い込むとすぐ消えた」という。

## UFOブーム

●だれでも参加できるのが大きな魅力

「ユメをこわす科学から、ユメを育てる科学へ」というのがUFO研究者たち。またぞろ、UFOブームである。

UFO(未確認飛行物体)は、俗に空飛ぶ円盤と呼ばれるものとほとんど同義語。

ヒマラヤの雪男、ネス湖の怪獣ネッシーと並んで世界各国でファンを拡大、アメリカでは2人が実在を信じ、目撃者は成人人口の11%に達した(ギャラップ世論調査)という。

このUFO、地球上で最初の目撃者はアメリカの実業家ケネス・アノルド氏。ワシントン州のレイニア山上空を飛行中「サラのような」物体9個を見た。それが一九四七年(昭和22年)6月24日だから、UFOの歴史も、すでに30年になる。

日本で知られるのは昭和40年3月18日午後7時6分、東亜国内航空の大阪発広島行きコンベア240型機を目撃例だ。姫路市の南西約25キロ、家島群島の上空2千メートル地点で稲葉義晴機長が左前方60度の方

角に三角形の発光体を発見。その高度2千7百メートル、コンベア機めがけて下降するのを機長のとっさの判断で大きく右へ旋回。ぶつかるか、という瞬間、そいつはピタリと停止。コンベア機に寄り添うように3分間追跡したあと、ふっと消えた。その間、無線は交信不能。機体は小さくピッチングを続けた——という。

これには副操縦士の証言もあり、人命にかかわる大事件だけに論議を呼んだが、いまだにナゾ。

なにして、このUFOたるや形態はサラ型、ドーム型、半球型、だ円球形、球形、三角型、葉巻型、十字型、円すい型と多様なうえ、色彩も飛行パターンもさまざま。ちよいと異様な発光体が空に見える、「見たア！」と電話が飛び交い、気象台から新聞社、放送局を悩ませた。

「ウーン、確かに見たんでしょーし、正体がわからないうちは、未確認、飛行物体ですから、UFOに違いないんですが、多いですねえ」(神戸海洋気象台予報官)だが、一九七六年7月15日午後6時半、警察庁鑑識課員7人が皇居上空で見た、U

FOも、糸の切れた風船説が濃厚なように、正体がわかってしまえば、「ナアーンダ」というのがほとんど。

そんな中で書店にはUFO関係の本がズラリ。満を持していたテレビも昨年から本格的なUFOドラマを登場させた。

「この問題、結論がないから、だれでも参加できる、すべての分野にオープンティー(権威)がいる中で、フリーにものがいえるのは魅力だらうな。もっとも、インテキ大学の文科系といった安直きも感じるけれど……」(新聞記者・35歳)

そういうえば、キリストは宇宙人だった、イースター島の巨石頭像も、ゴブリン、コロポックルなど伝説の小人も宇宙人だったという「学説」がまかり通るあたり、空想の奔放な展開がある。また、テレビシーで宇宙人と会話した人、言語学的に宇宙語を勉強する主婦グループなど、まさに地球の常識を拒否する「宇宙人的」な言域だといえるだろう。そんな中で、未知の領域だからこそ謙虚に科学的な関心を持つと、いうマジメなUFO研究団体もいくつかある。

(一九七六年8月12日付、神戸新聞)



# 科学ニュース

日本にも

肉食恐竜はいた!?

北海道で化石発見

中世代の肉食恐竜の化石がこのほど北海道で確認された。もちろん日本では初めてで、これにより日本にもかつて肉食恐竜が生存していたことがわかった。

これは、北海道三笠市郷土資料室担当研究員村本喜久雄さんが昨年六月、同市の川べりでみつけたもの。

国立科学博物館の小島郁生古生物第三研究室長に検討してもらった結果、中世代白亜紀後期サントニアン階(約八千万年前)に生存していた肉食恐竜、ティラノサウルス科のものではない

わせが殺到しているそうなの。

知的生物を求めて

NASAが本格的調査

「地球以外に必ず知的生物がいる」という自信を持っているのは米航空宇宙局(NASA)のエームズ研究センター(カリフォルニア州モヘットフィールド)の地球外文明研究部長ジョン・ピリンガム博士。火星探査バイキング計画でも生物らしいものはまったく見つからなかったNASAにして、この確信は揺るがないのである。

NASAの調べでは知的生物がいるとみられる天体は、銀河系約二千億個の中だけでも一億個はあるだろうという。地球の年齢は四十四億と四十七億年である。ところが銀河系宇宙が誕生してからすでに百二十億年はたっているとみられる。こう考えれば、宇宙には地球人以上の文明社会が存在していると考えてもおかしくはないのである。「それらの宇宙に住むものたちと私たちは交信することができるようになるでしょう」とピリンガム博士。NASAはいま、地球外知的生物との交信ができるように、

## トピックス



新型UFO?

いやいやタダの雲でして

●新しい型のUFOか? と期待をもたせたのがこの写真。なんと奇妙な、それにしてもみごとな雲なのであろうか。(▶写真/UPIサン) アメリカはカリフォルニア州・サンタモニカ海岸。避暑地にやってきたカメラマンが、のんびり心でついイタズラっ気まる出しに撮影したものだという。サンタモニカでは、暑く乾燥した日が続く、このようなレンズ状の雲がよく出るといふ。『雲のじゅうたん』といった様子で、なんとも楽しい気分になってくる。UFOファンの方、ザンネンでした。

ネッシーはやっぱりいない!?

アメリカの調査団が結論

交信システムの完成をめざしている。

米・スタンフォード大学で開かれたシンポジウムでも、ノーベル賞受賞者ジョシュア・レダーバーグ教授は、「適当な惑星があればその数%に生物が

## みごとな皆既日食

昨年十一月二十三日、アフリカやオーストラリアで観測された皆既日食は、陸地から見える皆既日食としては今世紀最後といわれるものであった。

タンザニアのザンジバル島での観測には、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカなどから集まった観測陣が四百人以上。イギリス

いるだろうと思う。知的生物が生存している可能性は十分ある」といつているのである。

神秘的な宇宙人の正体が、やがてNASAの手で、科学的に明らかにされるに違いない。

（『読売新聞』から）

## 中国でハリ麻酔による

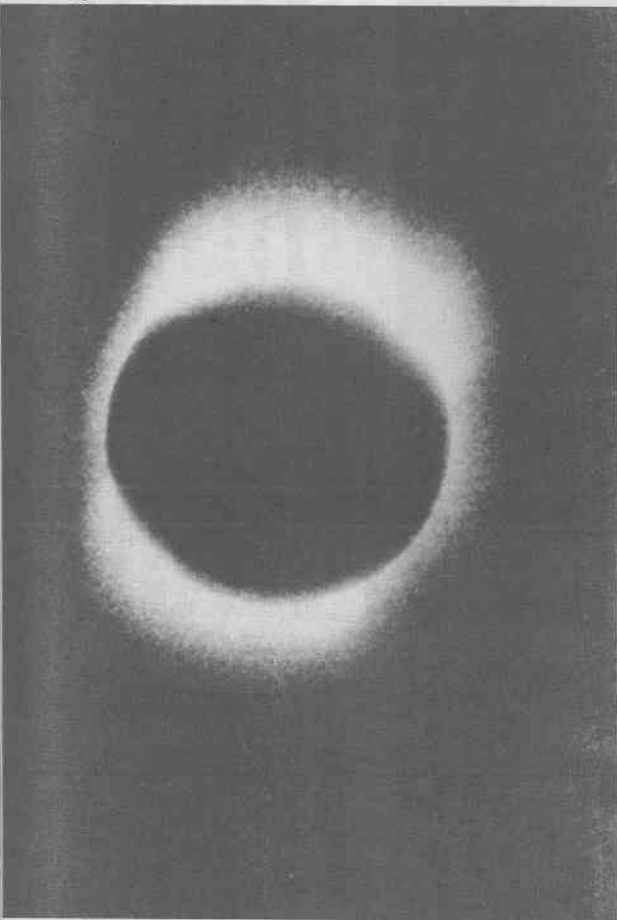
### 心臓病手術成功

世界で初めて、ハリ麻酔を使った人工心肺装置による人工弁置換手術が行われ、手術は成功していることが、このほど明らか

## 今世紀陸地で最後

のリバプール天文学会のデイビッド・マギー博士は、「すばらしい日食を観測できた」と大喜び。日食は早朝にアフリカ中央部の上空から始まり、タンザニアのザンジバル島上空からインド洋を横切ってオーストラリア、ニュージーランド上空へと移動しなんと五時間以上も続いたとい

（写真/UPIサン）



## TOPICS

● いる？ いない。出る？ 出ない。ネス湖の怪獣ネッシーは、果たして生存しているのか。「ことしもついに会えなかった。ザンネンきわまりない。でもまだまだ絶望というわけではない。怪獣の存在は全面否定はできない」

アメリカ・ボストンの応用科学アカデミー会長ロバート・H・ラインズ博士は、ことば少々に語っている。同アカデミーはニューヨーク・タイムス紙の後援で昨年六月から秋まで現地調査をしていたものである。この調査に加わったのはアメリカ、カナダ、イギリスの科学者たち。水中カメラや音響探知機、赤外線探知機などを使い、泥で濁った湖水の中を調べたが、怪獣の存在を示すものはなにひとつ得られなかった、という。

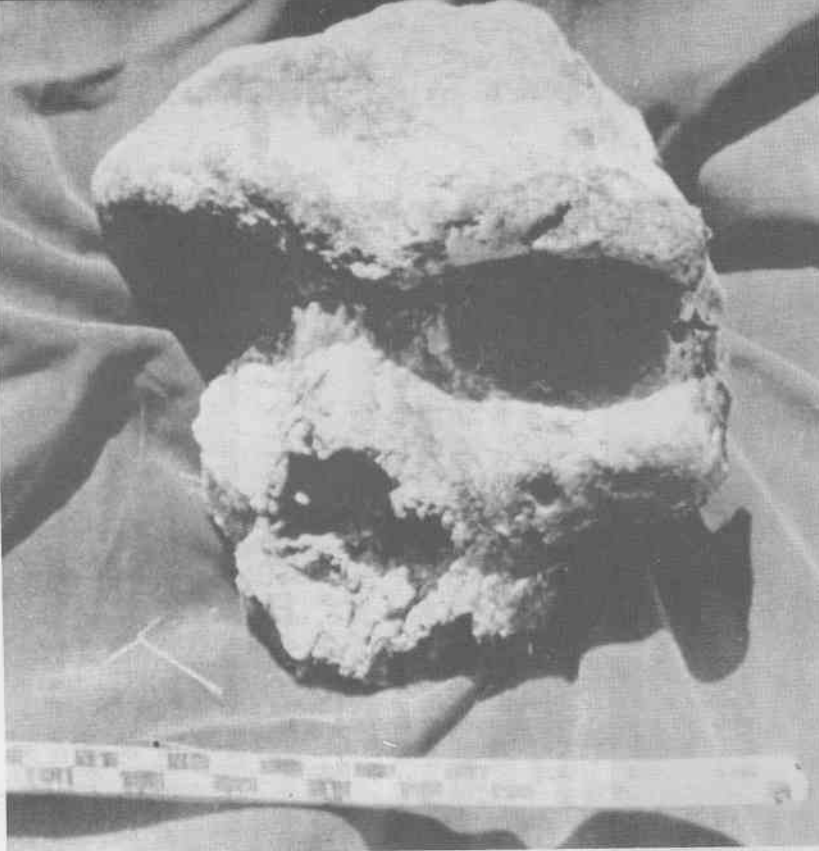
「だがあきらめてはいない。音響探知機の前に大きなものがやってきてスピードを落とし、しばらく休んでいったようなことが二度ぐらいある。これは何だったのか。まだまだ調査は続けるよ」とロバート博士。

### ガリレオの

#### ピサの斜塔の実験はウソ!?

● 物理学の新原理といわれるガリレオの「ピサの斜塔」の実験——落下する物体の速度はその重さにまったく影響されない——というのはウソではないか、と発表した人たちがいる。

アメリカ・カロライナ大学の物理学者・アブラー博士たちによるもので、同大学の寮の屋上から（高さ三十七層）五メートル以上ある砲丸と同じ形で四十層のゴムボールを落として実験したところ、砲丸の方が七・五層も早く着地したとい



かになった。

中国・広東省の心臓血管研究グループによるもので、患者は人民公社員の張建中さん(22)。張さんは大動脈弁不全症にかかり、三年前ほどから病状がさらに悪化し、働くことは勿論、歩くことさえ十分ではなかった、という。

手術は困難を極め、ハリ麻酔が十分に働かず、患者は激痛にみまわれ血圧は上がり脈は乱れるという危険な状態だったが、医師団の不屈の努力が実を結んだという。張さんは退院してから半年になるというが、心臓はほぼ正常に動き、元気に歩くこともできるようになっていると

いう。ハリ麻酔の医学上に果たす役割は次々と世界を驚かせているが、ついに心臓病の手術にまでその力を発揮してきたというところ。

### 50万年前の

#### 原人の頭がい骨

#### エチオピアで発掘

アメリカのサザン・メソジスト大学人類学調査団が、アフリカはエチオピアの遊牧民ダナキル族の住む低地で発見したのがこの50万年以上まえの原人の頭がい骨。もとの形を残しており、人類学研究に新しい材料を提供することになった。発掘された頭がい骨は、発掘された地域の名にちなんで「ボド原人」という名称がつけられた。

一八九〇年代にジャワの中部で発見されたのが、原人発掘の最初だったが、原人の骨が集団で最も多く見つかったのは北京郊外で一九二七年のこと。このときは七十五体が発掘された。しかし今度の「ボド原人」の頭がい骨は完全な形で見つかった原人の顔としては初めてのものとみられている。

(▲写真/UPIサン)

「魔の三角水域」をめ  
ぐってソ連内部で大論争

## トピックス

う。

「ガリレオはほとんど同時に着地するといっているけれど、真空状態ならいざ知らず、実際は空気抵抗があるはずだよ。ガリレオのいう原理自体はまちがいないけれど、彼は実験をしていないのではないだろうか」とはアドラー博士の弁。

同グループはスローモーション映画を示してこの伝説を破る新しい説を、全米物理学会で発表した。

ガリレオさん、今ごろ地下で何と言っていることだろう。

### ソドムとゴモラは

実際にあった!

●旧約聖書に記載されている「ソドム」と「ゴモラ」。悪がはびこったため神が天上から地獄の炎を放って焼いてしまったという犯罪都市。それがほんとうにあったものかどうか、考古学や歴史学では論争が続いているが、このほど、その実在が証明された。

昨年十一月末開かれた「世界宗教学会」の年次会議の講演でローマ大学の考古学専攻ジョバンニ・ペティナート教授が明らかにしたもの。十年以上にわたってシリア北西部のテルマルディ地方で古代エブラ王国の遺跡発掘を続けているのが、同遺跡内の王宮の廃墟跡から約一万七千枚にのぼる粘土板を見つけ、その中に、ソドムとゴモラの名前が記してあったというものだ。

この遺跡は旧約聖書より一千数百年も古いことがわかっていてから、粘土板の記載は、旧約聖書に出てくる「ソドム」と「ゴモラ」の実在を証明するものとして有力な証拠とされている。

世界の七不思議——は、どこの国の人々にとっても興味つきぬものらしい。この「七不思議」をめぐって、ソ連ではいま、おきたいことで有名な言論界を二分して、激しい論争が展開されている。ソ連を代表する新聞『ラウダ』（ソ連共産党機関紙）と『イズベスチャ』（政府機関紙）の論争だから、コトは重大な様相を呈している。

発端はこうである。『イズベスチャ』の科学記事が、「魔の三角水域」の新説を紹介したことにはじまる。

タス通信でも伝えられた飛行機や船の遭難場所として有名な「魔のバミューダ三角水域」の「遭難事故は月が地球に接近したときに起こる」という「新説」である。これはモスクワ技術建築大学のA・エリキン物理学博士のたてた仮説で、同博士は過去の例を研究した結果、地球と太陽及び月との関係が深い結びつきがあるとしている。このいわば神秘的な力が重大な影響を及ぼしている、と『イズベスチャ』は報じたわけである。

これに対して、翌日の『ラウダ』は『イズベスチャ』の説を頭から否定する見解を掲載したからモスクワ市民はびっく

り。これはソ連科学アカデミーのL・ブレホフスキフ海洋学委員長の論文で「問題の水域で事故が多いのは、飛行機や船の航行量が圧倒的に多いためであり、暖かいメキシコ湾流の影響で気象条件が複雑なことも一役買っている」としている。「常に科学的基礎に基づいて取り扱おうとせず、時としてエセ科学が雑誌や新聞のページを埋めることがある」とまで述べて、明らかに『イズベスチャ』の記事の中傷じみたことまで述べている。

「販売部数を伸ばすため、根拠のない神話をあおりたてる資本主義国の新聞と同じ記事を掲載した」とまで述べるに至って、『イズベスチャ』はカリカリ。

世界の七不思議のひとつをめぐるソ連内部の論争、どういう結末をつくるのか、世界じゅうが見守っている。

**世界でも二例め!?**

**旧石器時代の土偶発掘**

「一万二、三千年から一万六、七千年前の旧石器時代のものに「違いがない」といわれる土偶が宮城県玉造郡岩出山町の座散乱木（さざらぎ）遺跡で発見された。土偶は動物の形をしたもので、

長さ約三・五センチ、厚さ約三ミリ、高さ約二センチという小さいもの。犬の顔のようで、両眼のような穴があいているほか小さな耳もついており、首からは折れた跡があった。

旧石器時代の土偶はチエコスロバキアに一例しかなく、アジアの中でも今まで発見されたこととはなく、これが事実とすれば日本の考古学は勿論、世界の考古学の常識をくつがえす画期的なものになるだろうという。

東北大学の芦沢長介教授も、「考古学の歴史をくつがえす一大発掘であった」と喜んでい

る。なお同じところで、石刃など三十点、さらに旧石器時代人が動物の皮をなめすときに使ったと思われる掘器（そうき）も出土した。

**男もおっぱいは**

**出る!? アメリカ**

**の学者、新説発表**

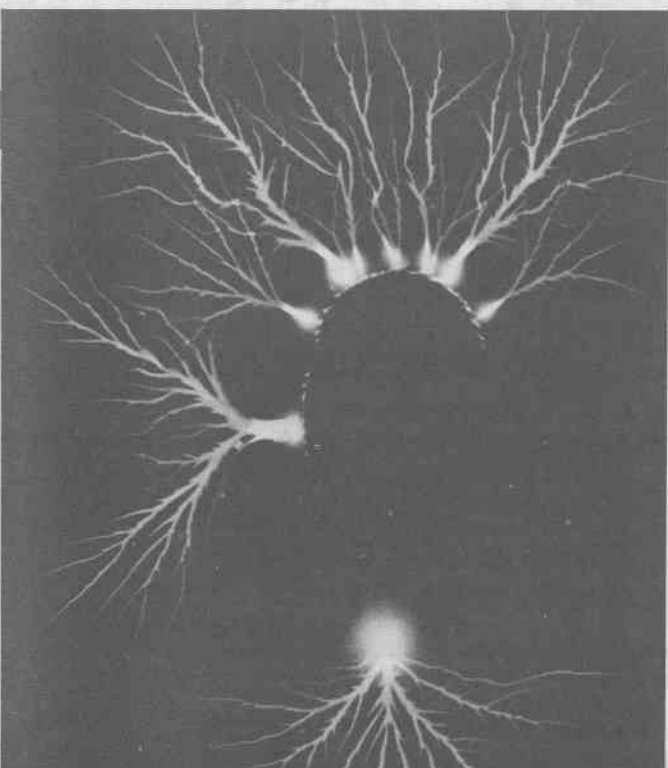
「男にも子育てができないわけではない。男女平等に子育ての義務を!!」などとウー・マン・リップの女性は叫ぶ。このほどそんな人々を喜ばせるような発表がなされた。

「生物学的に言えば、男に

**「オーラ」はただの水!?**  
**アメリカの大学で発表**

人間の生命力を示す「生氣」とか「靈氣」とかいわれて、神秘的ナゾに包まれている「青白い炎」——オーラ。心霊学者や超心理学者はその正体を人間存在の根本などと言うが、このほどその実体をつかんだ、という発表がなされた。

（◀写真/AP）  
アメリカ・フィラデルフィア州ドレクセル大学科学研究室が発表したもので「オーラは物体の周囲に生まれる電界の放電現象によるもので、その強弱は人体の皮膚面にある水分の量的



も授乳は可能である」というものだ。これはアメリカ・ジョージア州アトランタ医科大学のグリーンブラット教授が、婦人科学会で発表したものである。

乳房に十分な刺激を与えるとたとえ男性でも母乳ならぬ「父乳」が出てくるということが実験で証明されたという。ふつうは出産することによって母乳が出てくるといわれているが「父乳」の出を早める薬まで開発が進んでいるとのこと。

生物学的な概念をひっくり返すような「新説」だが、はたして実際のものとなるかどうかはまだ先の話。それにしてもついに男性が赤ん坊に乳房をくわえさせる時代の到来か!?

### アメリカで奇病続発、死者あいつぐ

昨年夏開かれたフィラデルフィアの在郷軍人州大会。参加者は軍人や家族約一万人。それらの中で二十九人が即日あるいは翌日ぐらいに次々と原因不明の病気で倒れ死亡し、入院者が百五十人も出る騒ぎになったというのである。焼けつくような高熱、熱食事も通らない状態。病院の診断は腸チフスカペラチフスではないかということであ

った。

集団伝染病!? アメリカ防疫センターは疫学者のチームを現地に急ぎよ派遣し、原因究明にのりだした。

ところが多くの患者を調査しているうちにビールスなど関係なく、腸チフスでもペラチフスでもなく、毒物による被害ではないかと分析したのだという。

毒物といってもいろいろあるが、必死の究明によって「ニッケル・カルボニル」がいちばん疑わしいということになった。これはニッケルと一酸化炭素との化合物で、プラスチックやゴム製品に広く使われている無色透明・無臭の有毒ガスである。

そうこうしているうちに、同じフィラデルフィアで約百万人の信者が集まって開かれたカトリック世界大会の出席者にまで広がっていったのである。参加していた司祭と音楽家が死亡、その他六人が発熱して倒れたのである。

原因不明のまま、「何者かによる陰謀説まで出るに及んで、ますますミステリーじみしてきた。

今までに例のない「ナゾの現象」にアメリカの保健当局も思案投げ首だという――。

## トピックス

変化によって生まれる」というもの。人間の指のオーラの写真撮影に成功し、手の水分の量次第でコロナ状の光が微妙に変わることを発見したというものである。

「神秘的な炎は」ただの水」という冷たい発表だが、はたしてこの実験結果がまちがいないものなのかどうか。議論はまだまだ続きそうである。

### 人工竜巻で発電!? アメリカで航空技師が開発

●アメリカ大陸と言えは竜巻というぐらいで毎年、強大な竜巻に悩まされていることは有名な話。

この竜巻のエネルギーに注目して、人工的に竜巻を作り、電気を起こそうという実験にとりくんでいる人々がいる。アメリカ・グラマン航空会社で流動体力学を研究しているジェームス・エン技師のグループ。ニューヨークで開かれた全国エネルギー会議で発表された内容は、竜巻発電所はらせん状のシリンドラー装置の底から取り入れた空気を、ローターで回転させ、内部で強力な人工竜巻を起し、この竜巻のエネルギーをローターと直結した発電機に導き、電気を作るといふしくみ。高さ三十五センチのアクリル樹脂製のミニ装置を用いて、すでに十分の一ワットの発電に成功しているという。

向こう十年以内、風速四十四・四呎(秒速)の竜巻をつくり、竜巻発電所を実用化したいとしている。原子力発電所の環境汚染がうるさく言われている折、未来の新しいエネルギー供給源のひとつとして注目され、アメリカ連邦政府はこの研究に二十万ドル(約六千万円)の補助金を支出、援助しているという。



重力研究所  
〒798 宇和島市宮下甲 519

### 宇宙艇 隔月刊 B5判 空飛ぶ円盤の科学研究誌

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作  
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部品を頒布します (カタログは、宇宙艇巻末にあり)。

年会費 A) 4,000円 (大学生及び社会人)

B) 3,500円 (高校生以下)

振替 徳島 28986 (又は、現金書留にて) (切手は不可)

☆ 超相対性理論 (原著) 定価 3,000円

〒 200円

(同じく切手は不可) 発売中

# になろう!!



日本全国・世界各地の仲間が  
キミの電波を待っている……

JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県是那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいたします。どうぞ……』

## 楽しさバツグンのHAM

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県是那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいたします。どうぞ……』

### HAMになるのはカンタン

『電話級HAM免許』は〇×式(四者択一式)のやさしい試験で取れる国家資格で、小中学生の合格者もたくさんいます。ラジオ、模型、BCLなどの好きな方なら、短期間の準備でOK。  
▶HAMをを目指す初心者のための通信講座『充実した指導と実績の普及会』で、あなたも今すぐ免許を取ろう。



HAMガイド集 無料贈呈中!!

——こんなふうに《電波の声》で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるHAM(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごく人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が大空をかけ一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)

にとどいて、楽しい交信が始まります。

「HAMガイド」送れ  
〒番・住所  
氏名・年齢

〒158 東京玉川局  
CQアマチュア無線  
普及会 F77係  
20円 私書箱19号

### 楽しみつけないHAMの世界

●語外交信で外国の友達もたくさんできるし●ローカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●まだ学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQSL(交信)カードあつめの楽しさはBCファンなら見逃せないところ●HAMコンテストやフォックスハンティング等各種の性も盛り●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!



↑クルマとHAMを結びつけた《カー無線》は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。

●HAM受験から開局までの総合指導システム



CQアマチュア無線普及会

Q.T.H. 東京都世田谷区尾山台3-9-7

[CQ/HAMサービス 03・704・4986]

# UFOと宇宙

## バックナンバー完全紹介

「UFOと宇宙」（創刊号より9号までは「コスモ」）は創刊以来22号を重ねてきました。本誌は一般の雑誌と異なり研究誌的性格をそなえているため、バックナンバーもUFO研究の資料的価値が大きいという特色があります。そこで希望者のために各号の表紙と目次をここに紹介します。

なお、創刊号から7号まではすでに売

り切れとなり、また8号は在庫が僅かになっております。

お申し込みは振替・現金書留・小為替・低額切手などで当社営業部宛直接ご注文ください。代金はすべて前払いをお願いします。最近、注文品名・宛名などの不完全なお申し込みが増えております。文字は楷書で、また必要事項は記入もれのないようにお願いします。

第8号（1974年9月号） ¥330



〈口絵〉

大気圏外のUFO! / 千葉県松戸市のUFO / 銚子市のUFO / 阿蘇山のUFO群 / 焼津市の葉巻型UFO? / 関門橋上空に出現したUFO

マンテル大尉の悲劇 荒井欣一

他の天体からの信号 イアン・リドパース

イタリアの不思議な小人出現事件

セルジオ・コンティ

千葉県に出現した大型円盤! 本誌特別調査

ネス湖における悪魔ばらいの儀式とUFOの着陸

F・W・ホリディ

またもライトニング・ライツ?!

天体オーラと宇宙電界の謎 内田秀男

宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3) レナード・クランプ

科学トピックス / 国内UFO目撃報告 / 読者の声 OPINIONS

第9号（1974年11月号） ¥400



〈口絵〉

また千葉県に円盤が出現! / 横浜市上空のUFO? / 東京狛江市の弾丸型UFO / 岡崎市の3機編隊UFO / UFO - 清水で撮影 / 小野川湖上空の細長く黒い物体 / 十和田湖上に円盤出現

スペインに出現した円盤と乗員 J・マンアス

ジ・ジ・アダムスキーはまだ影を投げかけている

ゴードン・クレイトン

UFOは人類を宇宙へ導いている 中山真理

仏典の中にもあった天空人の地球来訪 志田行賢

大気圏内のUFOの速度 アイリーン・グランチ

狛江市で撮影されたUFO

東京で「宇宙人特別講演会」開催

地震の鍵をにぎるマントル対流! 竹内均

宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4) レナード・クランプ

久保田社長、熱海でUFO講演

UFO情報 / 科学トピックス / 国内UFO目撃報告 / 読者の声 OPINIONS

第10号 (1975年1月号) ¥360



〈口絵〉

ワシントン市上空のUFO大編隊／霧ヶ峰で写った奇妙な棒状物体／北海道岩見沢市のUFO／三宅島の怪光体

銀色の服を着た宇宙人 高梨純一  
科学を曲げる男ユリ・ゲラー

ゴードン・クレイトン

月世界の謎の現象を探る 宮本正太郎

NASAの活動とその未来 中村政雄

木星の最近の素顔(写真)

パイオニア十一号木星の電波信号を探る

宮崎県のUFO現象を分析する 松田三男

UFOの推進法について 伊知地充

鹿児島県で撮影されたUFO

宇宙・引力・空飛ぶ円盤(5) レナード・クランプ

科学ニュース/UFO情報/UFO目撃レポート/声  
OPINIONS

第11号 (1975年3月号) ¥360



〈口絵〉

オーストリアのUFO/阿蘇のUFO群/和歌山県の怪飛行物体/山形県のUFO編隊-母船から発射?/アダムスキー型円盤尾道市に出現

月面は円盤の中継基地か 葦沢潤一郎  
ニューヨーク州の着陸事件

テッド・ブリーチャー

ブラジルのUFO残骸? UFO研究と語学

一九八〇年代の宇宙連絡船-河島信樹

原子・銀河系・理解(1) ダニエル・フライ

東北・南関東をよぎったUFOの大編隊?

アダムスキー型円盤尾道市に出現!

反重力モーターで宇宙飛行が可能

ソ連の宇宙飛行士、米ソ共同計画の成功を確信

東京を騒がせたUFO誤認事件

宇宙・引力・空飛ぶ円盤(元) レナード・クランプ

UFO情報/UFO目撃レポート/科学ニュース/声  
OPINIONS

第12号 (1975年5月号) ¥360



〈口絵〉

東京上空のUFO/円盤-帯広市に出現! / 埼玉嵐山町で発生した怪現象-謎の飛行物体を撮影/埼玉県入間市に現れた二機のUFO/茨城県竜ヶ崎市の高校生が目撃、撮影

甲府市にUFO着陸! 本誌特別取材  
オーストリアの光るカタツムリ状物体

エルンスト・ベルガー

古代の天空人 エーリッヒ・フォン・デニケン

北海道で撮影されたUFO

円盤またも千葉県に出現

長野県に落下した小型円盤!

私は宇宙人?を見た 中川友也

重力波とは何か 千葉二郎

原子・銀河系・理解(2) ダニエル・フライ

私のUFO目撃記録 松岡正憲

シベリアの謎の大爆発 イオン・ホバナ他

UFO情報/UFO目撃レポート/科学ニュース/声  
OPINIONS

## 第13号 (1975年7月号) ¥360



### 〈口絵〉

円盤、都内に出現? / 群馬県のUFO / 新宿にも奇妙な物体が / 続・嵐山町の謎の飛行物体 / 千葉市にソンプレロ型円盤出現!

千葉市にアダムスキー型円盤出現! 本誌取材

円盤に乗った宇宙人を見た!

炎をふく不思議な物体!!

UFOの来る町 / UFOに挑む

撮影された棒状物体はUFOか?

宇宙交信のためのテレバシー通信 市村俊彦

原子・銀河系・理解(3) ダニエル・フライ

円盤現象を解釈するために欠かせない「アインシュタイン」の三つの基本事項 山下晴朗

中学生にもわかる微分積分(1) 三好要市

宇宙人をこがるる歌 李福基訳

ルーマニアのUFO出現事件 イオン・ホバナ他

UFO情報 / UFO目撃レポート / 科学ニュース / ある意見 / OPINIONS

## 第14号 (1975年9月号) ¥390



### 〈口絵〉

5月18日のUFO / 西の羽曳野市と東の岩槻市で出現! / 館山市の奇妙な光跡 / UFO鎌倉市に出現! / 東京上空で乱舞する神秘の円盤! / またも東京上空に金色のUFO (8ミリフィルムにキャッチ)

円盤をよく見る人 本誌特別取材

一八九七年の謎の飛行船 ジェローム・クラーク

円盤と人体保護装置 ジム・エンツミンガー

私は金星文字を解読した! バン・デン・バーグ

マルセル・オム教授の不思議な発見物 常岡理太郎

世界最古のUFO写真 / フランスの大臣UFOを語る / 大気圏外生命体とのコンタクト? / 原子・

銀河系・理解(4) ダニエル・フライ / 実在する超感

覚と念力関秀男 / 中学生にもわかる微分積分 / ユー

ーゴスラビアのUFO出現騒動 イオン・ホバナ他

UFO情報 / UFO目撃レポート / 科学ニュース / 声 OPINIONS

## 第15号 (1975年11月号) ¥390



### 〈口絵〉

南部川村でまた撮影された分裂する光体 / UFO / OそれともIFO? / 美女平上空のUFO / 松戸市に出現した怪光体 / アダムスキー型円盤豊田市に出現

ステラ・ランシング夫人の不思議な写真

パートルド・シュワルツ

ドラギニヤンの怪事件 J・シャセーニュ

ワルストンの奇怪なロボット G・クレイトン

館山市で飛んだ世にも奇妙な飛行体!

聖書の予言とスペースプログラム(1)

キャロル・ハニー

原子・銀河系・理解(完) ダニエル・フライ

原子エネルギーの秘密 柏木弘

中学生にもわかる微分積分(3) 三好要市

(続)ルーマニアのUFO出現事件

UFO情報 / 科学ニュース / 声 OPINIONS

第16号 (1976年1月号) 390



〈口絵〉

富士中腹の怪物体／深夜の光体をキャッチ／運動会を観戦するUFO?／黒い影昭和山から急上昇／函館の夜空をとぶ「火の玉」／ファントム戦闘機とUFO／発光体指宿上空をジグザグ飛行

三原市の驚異コンタクト事件本誌取材／テレポーションとテレバシー／平野威馬雄／名古屋市上空に円盤大挙出現／聖書の予言とスペースプログラムキャロル・ハニー／UFOと日本列島構造線／宇宙交流時代／UFOシンポジウム／作図によるアダムスキー型円盤解析の試み高橋洋一／球型コンデンサーと回転磁場藤井信之／金星は生きている／中学生にもわかる微分積分(2元)／X博士の怪UFO事件エーメ・ミンチュル

UFO情報／UFO目撃レポート／科学ニュース／声 OPINIONS

第17号 (1976年3月号) 390



〈口絵〉

月面の謎(アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開) 表紙／アポロ飛行士の頭上にUFO

巨大円盤横須賀に出現! 本誌特別取材

ロジャーズ声明の真相

UFOは地球の救済に来るのか O・ワインダーアポロの飛行士は月で地球外文明を見た?

中津要二

井原西鶴の作品に現れるUFO 篠田弘史

中国上空のアダムスキー型円盤 田島敏

三朝町のUFO出現騒ぎ 梶川満

奇蹟を起こす法(宇宙人とコンタクトするには) テッド・オーウェン

超光速粒子タキオンは存在するか 狩野幽遠

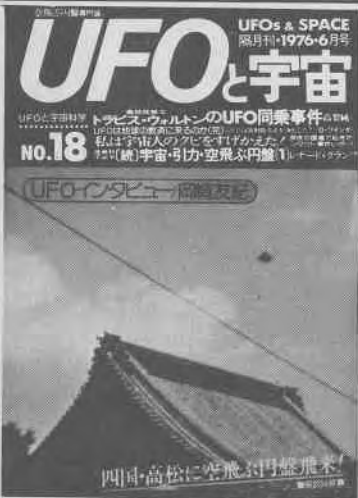
人体極性と重力場エンジン 唐沢宏之

ピーター・フルコスの驚異的大発見

B・アン・スレート

UFO目撃レポート／UFO情報／科学ニュース／声 OPINIONS

第18号 (1976年5月号) 390



〈口絵〉

金剛山にUFO出現つづく／雲間から強烈な光跡キャッチ／青葉山から垂直に上昇／突如星が動き出した／金閣寺上空にオレンジ色の物体

トラビス・ウォルトンのUFO同乗事件

高梨純一

UFOは地球の救済に来るのか(完) ワインダー

UFOインタビュー／岡崎友紀さんの巻

アダムスキー型円盤が大接近 本誌

私は宇宙人のクビをすげかえた! 本誌

アポロ飛行士とNASA謎の交信 荻沢潤一郎

UFOアンケート(UFOの飛行目的は地球観測と観光旅行?)

地軸が傾き大変動がやってくる 石井順造

墨田公園でのおかしな体験

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)

レナード・クランプ

UFO目撃レポート／UFO情報／科学ニュース／声 OPINIONS

第19号 (1976年7月号) ￥390



〈口絵〉  
玄海灘にサラ状物体飛来／飛行機の窓からUFOキャッチ／星図にない天体が／長楕円形の光体が移動／日本の宇宙開発

私はUFOを何度も見た(横尾忠則) 本誌取材スタンフォード大学での地球外文明共同研究  
チャールズ・ムーディ軍曹砂漠で円盤に誘拐される 中津要二  
UFOのスポークスマン? O・ワインダー  
世界の十二の「魔の墓場」 I・サンダーソン  
宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか坂元邁  
大地震は予知できるか 内田秀男  
UFO、日本書紀に出現! 伝法千登里  
火星生物発見の旅 宮本正太郎  
(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(2)  
レナード・クランプ

UFO目撃レポート/UFO情報/科学ニュース/声  
OPINIONS

第20号 (1976年9月号) ￥430



〈口絵〉  
誌上初公開NHKカメラの快挙/クローズアップ火星の大地/トラビス・ウォルトン事件現地カラー報告

現地完全報告・トラビス・ウォルトン事件の真相 富川正弘  
東北地方UFO事件特別取材  
フタ付きドンブリ型円盤蔵王山麓に出現  
UFO大接近、自動車四台急停止!  
巡回する三機のUFOを連続撮影  
UFOインタビュール/久里洋二  
月世界はUFOの中継基地か(1) D・ウィルソン  
韓国上空のUFO風 ロナルド・ドラッカー  
マイナス科学は存在するか 小久保秀三  
イオンクラフト浮上実験成功! 菊地喜之  
(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3)  
レナード・クランプ

UFO目撃レポート/UFO情報/科学ニュース/声  
OPINIONS/蚤の市/モニター発表

第21号 (1976年11月号) ￥430



〈口絵〉  
ピレネーの怪/驚異の近接撮影/急上昇/第五回航空宇宙ショー開催

〔特集・UFO研究の現状と展望〕  
いまこそ本格的科学研究を 高梨純一  
日本資料センター設立を計画 並木伸一郎  
UFO研究は人間研究 久保田八郎  
〔UFO科学〕空飛ぶ円盤の推進原理を探る  
四次元航法の仮説 橋本健  
複素重力場機関 清家新一  
〔UFO資料〕  
UFO事件完全年譜/精密UFO大図鑑  
デニケンの先史宇宙飛行士説考察/月世界はUFOの中継基地か(完)/アルゼンチン沖合の海底にUFO基地?/私は宇宙人に身体検査をされた  
(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4)  
レナード・クランプ

UFO目撃レポート/UFO情報(国内・海外)/科学ニュース/声OPINIONS/蚤の市

連載科学記事

続

# 宇宙・引力・空飛ぶ円盤

レナード・クランプ

5

## 【レーダーと重力場の諸効果】

レーダーにとらえられた円盤の像、円盤の周囲にみられるリングといったUFOの光学的効果は、重力場理論でどう説明できるだろうか。光の屈折、偏光から考察を行うと…

翻訳出版権獲得

# レーダーと重力場の諸効果

これまで、肉眼で目撃されてもレーダースクリーンに捕えられなかったUFO事件をすでにいくつか引用した。

しかし、別のいくつかの事件ではその物体がレーダーに捕えられたことがわかっていて、事実、非常に多数の未確認の目標物がレーダーに発見されており、レーダー観測員はそれらを特別の名で、つまりレーダー・エンジェルズという呼称で呼んでいる。

そのうちいくつかは満足のいく説明がつけられているが、大部分は未確認のままである。

一九五二年のアメリカにおける一連のUFO観測報告には、地上および機上の観測員によるレーダー報告が多数含まれている。

レーダー・肉眼同時観測例は、レーダーを超えるが、その最初の例は、六月十九日深夜、ラブラドル半島（北アメリカ太平洋岸）のグース湾で起きた。

一つの赤い発光体が途中で白色に変わったが、しばらく空中に漂い、揺動してから急速に飛び去った。

不思議なことは、発光体が揺動した

ときにレーダー・スクリーンの像がパツと輝き、もとの大きさに戻ってから消えたことである。

一九五六年十二月、極東。米空軍のジェットパイロット二名が相互に対地上レーダー位置かく乱訓練を行っていた。一方の機が離れている間に、妨害側のパイロットが約三十キロの距離に説明のつかない大きなレーダー映像を発見した。

パイロットは地上管制所へ未確認映像に相当する標的の有無を問い合わせたが否定的な返事を受けとつたため、レーダー反射源の確認許可を申請してOKをとつた。彼は時速千キロ以上で接近し、十三キロまで接近した時に円形の物体を見つけた。彼はその未確認物体がB-29爆撃機位の大きさか、あるいは別の表現でいうと、風防ガラス上に大きさを示せば消しゴム位の大きさ、と推測した。専門家はノースアメリカン航空会社の数値を使用してこのUFOの大きさを約百五メートルと算定した。

パイロットはレーダーを「ロックオ

ン」（レーダー反射源に機を自動的に誘導する装置）にすることができた。

しかし、彼が接近すると、突然レーダーが強い干渉により妨害を受けたため妨害排除処置をとり、周波数を切りかえた。この処置は不可解な妨害を十秒間ほど消したが、また始まった。しかし、発射されているパルスがロックオンを破るほど強力ではなかったため、ジェット機はその進路を保っていた。

パイロットはUFOから八キロまで接近したが、それ以上は近づけなかった。UFOが傾いた時、パイロットはUFOが円形で黄金色であるように思った。レーダーのスピードチェックは離脱速度が時速三千二百キロ以上であることを示していた。

現在では無線妨害は比較的理解しやすいが、この件についてレーダー技師達と話し合ってみると、レーダー妨害ではなかったようである。

## 重力場による光の屈折

レーダーの発するパルスは電磁波で

ある。そして論理的に考えてみると、UFOはこれと同様のトリックを光線についても行うことが可能であることが予言できる。事実、いくつかの観測がこれを証拠づけているのを前々から我々は見えてきた。

強力な重力場が光に対してもちうる効果に二つの主要なものがある。一つは直接的重力効果であり、二つ目は、その重力場によって大気中に生ずる屈折効果である。この順序で検討してみよう。

まず始めに、光線は静止質量0の光子（フォトン）から成っていることが知られている。しかし、光の速度を考えると、それは測定可能な質量をもっている。したがって、重力場に対して反応するはずである。これはアインシュタインによって量的に予言されている。また測定が非常に困難なのですべての結果が満足すべきものではないが、一九一九年の日食の際にも確認されている。

図1は、太陽に近いところを通過して来る遠方の星からの光は、太陽の強

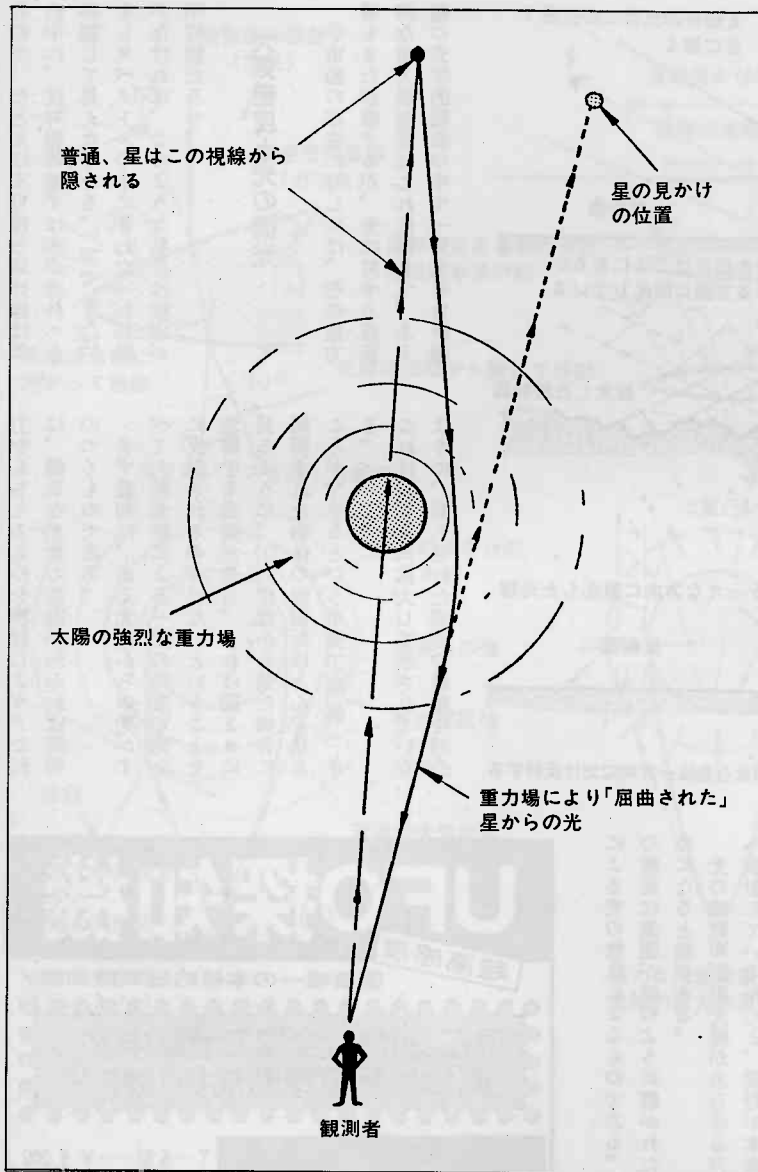


図1 光線は強力な重力場に向かって引き寄せられる

力な重力場によって偏向または屈曲することを図解的に示している。  
太陽に対する偏向の角度  
 $= \frac{1.7 \times \text{弧の断面}}{r}$

ここで、 $r$ は光線が太陽の中心からどの位置にあるかを示す太陽の半径の倍数である。それゆえに、宇宙船が作り出した強力な重力のポイント・ソースは、光を偏向させるが、何らかの意味を持つなど表面に現れることはあ

るまいといえる。

次に、光線が強い重力場によって偏向させられたとしても、それが太陽のような発光体の場合には、光はそれから逃れるため重力場に対して作用するに違いない。これは全くそのようになることが証明されている。

その効果は、次のように概括的に説明される。太陽の表面で外部へ放射された特定の波長の放射線量子は一定量のエネルギーを伴って出て行くが、そ

の一部は、太陽の重力場からの離脱をやめてしまう。その結果、物理的原理に従って、その波長はいく分か増大する。これらの量もすべて計算に入れると、赤色端に向かって吸収線も含めてスペクトルの全部分に転位がある。この転位の大きさは太陽の質量に比例し、その半径に反比例して変わる。それは次式で与えられる。

$$\text{屈曲波長} = \frac{V_0 - V}{C^2 R} = \frac{KM}{C^2 R}$$

$K = \text{シュwarzschildの重力定数}$

$M = \text{星の質量}$

$R = \text{星の半径}$

$V_0 - V = \text{屈曲波数差}$

$V = \text{屈曲波数}$

$C = \text{光の速度}$

太陽の場合、転位の量は、スペクトルの赤色端の方向に  $10^{-2} \sim 1$  となる。

( $\lambda = \text{波長}$ )

太陽は比較的大きいため、転位は検出がむずかしい。これに反して、事実上太陽と同じ質量だが半径はその三十六分の一でしかないシリウス星の伴星では、どの線の転位も太陽より三十六倍もある。これは、一九二四年にアダムスによって観測された。

これを遠い銀河系の後退の速度と同様にしてはならない。これは、単純に重力による転位なのだ。

次に、この計算に従えば、質量は大きく半径が小さい場合、赤色端へ向かって転位による著しいスペクトル脱離があるだろう。

後段で次のようなことがわかるはずである。つまり、重力場発生過程の中では、同時発生的な放射線が可視光線をも含めて放射される。これもまた転位を受けるが、場によって出されるスペクトルが連続的ならば、場の強さがどうであれ、同じように見えるに違いない。

この放射線はすべて同じ転位を受け

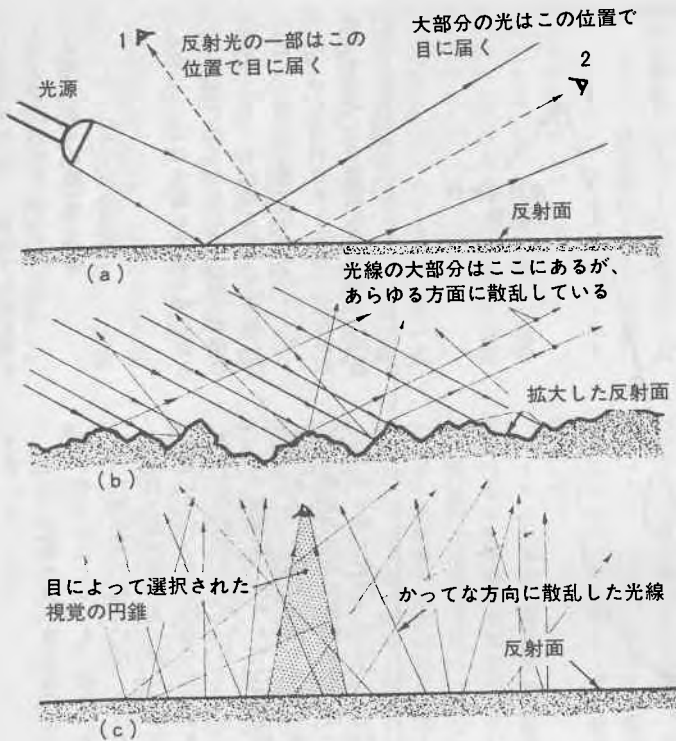


図2 ほとんどの反射面は凸凹。完全な平面なら光は一方方向にだけ反射する

### 大気密度と光の偏光

宇宙船の存在に対しては、その重力場もまた影響するが、光に対する直接的な重力場効果はこれ位にして、ある種の光学的現象の中で一層大きな影響

るので、たとえば不可視の紫外線は紫の中に、反対側の端では赤が赤外へと移動して見えなくなる。一言でいえば、もしスペクトルの中にきわ立った特徴がなければ、このような転位は検出が不可能だろう。

力もちうるものを検討しよう。これは、簡単な光学の基礎がわかれば説明のつくものである。  
まず最初に、ある光源からの光がすべて入射光線による一定の角度で完全に反射されるのではないということを理解する必要がある。これは図2aに見るように、(1)の位置から見た場合に照明された物体の表面をほとんど見ることができるという事実で理解できる。これは図2bに拡大して示されているように、照らされた表面の微細な凹凸

による光の散乱によるものである。この散乱は表面が鏡のように磨かれたものになると減少する。  
光の無数の反射光線があらゆる方向へ放射しているため、視野が本来円錐形であることにより、目は自動的に、図2cにあるように、光線の多様性に対しては完全にそれに焦点を合わせられるように作られており、他のすべての光線は通り過ぎて行く。  
しかも、どの光線にも、それと正確に平行に走る他の無数の光線がある。事実、まったく『創造の一体性説』における創造的光線と同様である。  
次に、光線はある密度の媒体を出て異なった媒体に入る時は、法線に対し

て、一定の角度で屈折するという。このことは、図3aに示してある。入射光線の入射点に直角に引いた線により表現されている。  
これを支配する光学的法則は次の通りである。『光線は、密度の低い媒体(たとえば空気)を出て法線に対してある角度で、密度のより高い媒体(ガラス)に入る場合は法線の方向に傾くが、高密度の媒体から低密度へ入る時は、法線から離れて傾く。』  
これはプリズム、レンズ、水、空気等にあてはまる。したがって、図3bのように、視野の円錐を二重凸レンズでさえぎったとしたら、本来の光線は目の前方で焦点を結び、したがって目

# UFO探知機

**超高感度** 国産唯一の本格的磁気探知機!

現在230台が全国で活躍中!!  
既にUFO探知成功18件!!

左からT-5・T-3a・T-3b型

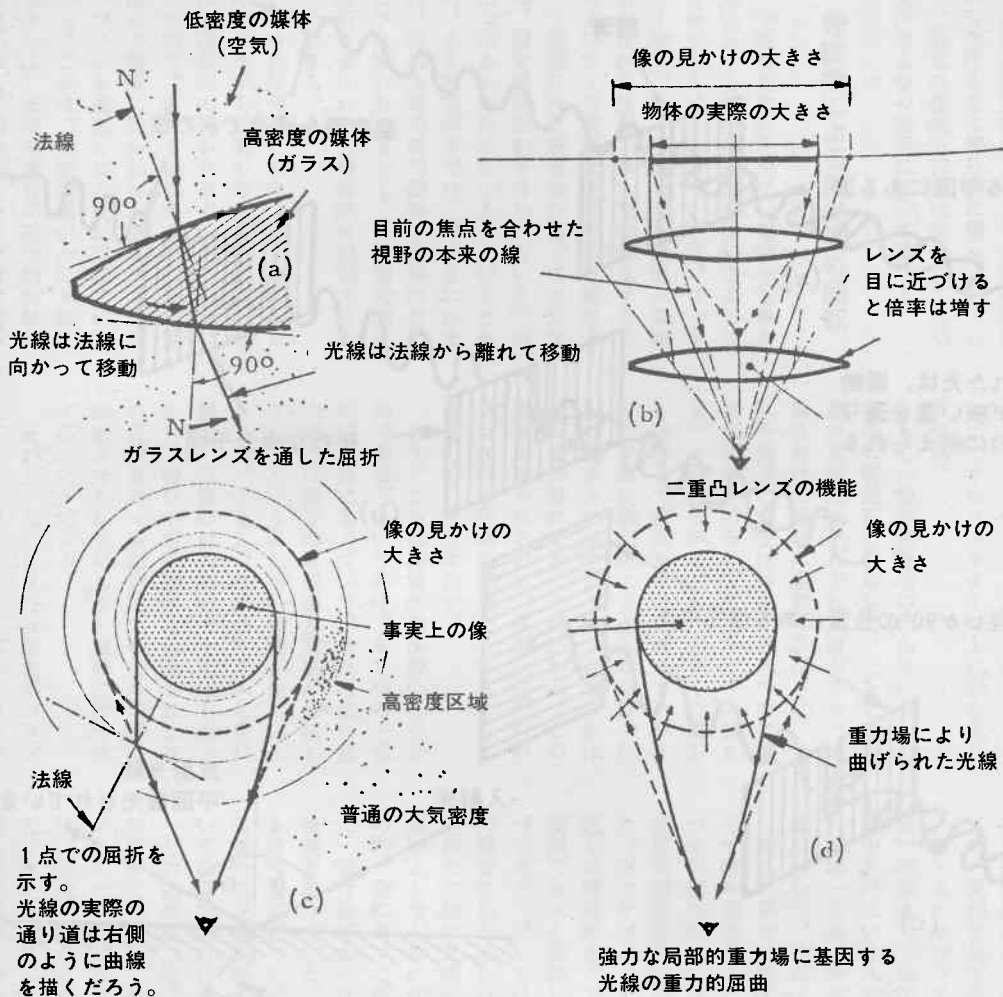
T-5型……¥9,000  
T-3a型……¥18,000  
T-3b型……¥19,000

\*\*\*\*\*

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先: 〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606  
**折田 至**  
Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。



局所的な重力場による密度の増加に基づく大気レンズの形成

図3 強力な重力場によって起こりうるいくつかの光学的効果

通常の光線は、あらゆる平面内で交差する波動運動をしているが、偏光された光線は、ただ一つの平面でのみ振動するとされている。

この視線、または視野の円錐を延長すれば、我々の目に物体はより大きく見える。レンズをなおも目に近づければ、倍率は一層増大する。球形の金魚鉢は、効果は劣るがそうしたレンズである。中の金魚は決して納得が行くように大きくなったわけではない。同様にして、強力な重力場のポイント・ソイスは、局所的に空気の密度を濃くして、いわば大気レンズを生成し、それが場効果によって多少増大し、円盤の付近に光学的現象を生ずるものと考えられるだろう。(図3cおよびd)

しかし、すでに見たように、露点(大気中の水蒸気が冷却して凝結しはじめる温度)以下におけるこのような大気密度の増加は、ほとんど間違いなく霧を生ずる。そのため、重力場タイプの宇宙船の付近には霧またはその他の光学的現象を見出すことを期待できるといえる。このような宇宙船の場の視覚的效果が多種多様であってもなお、UFO探知の可能な手段として特に一つをとり上げれば、偏光平面の使用であろう。

には届かないが、そのかわり、物体を離れた平行光線がレンズによって焦点を結び、目に到達するのに気付くだろう。

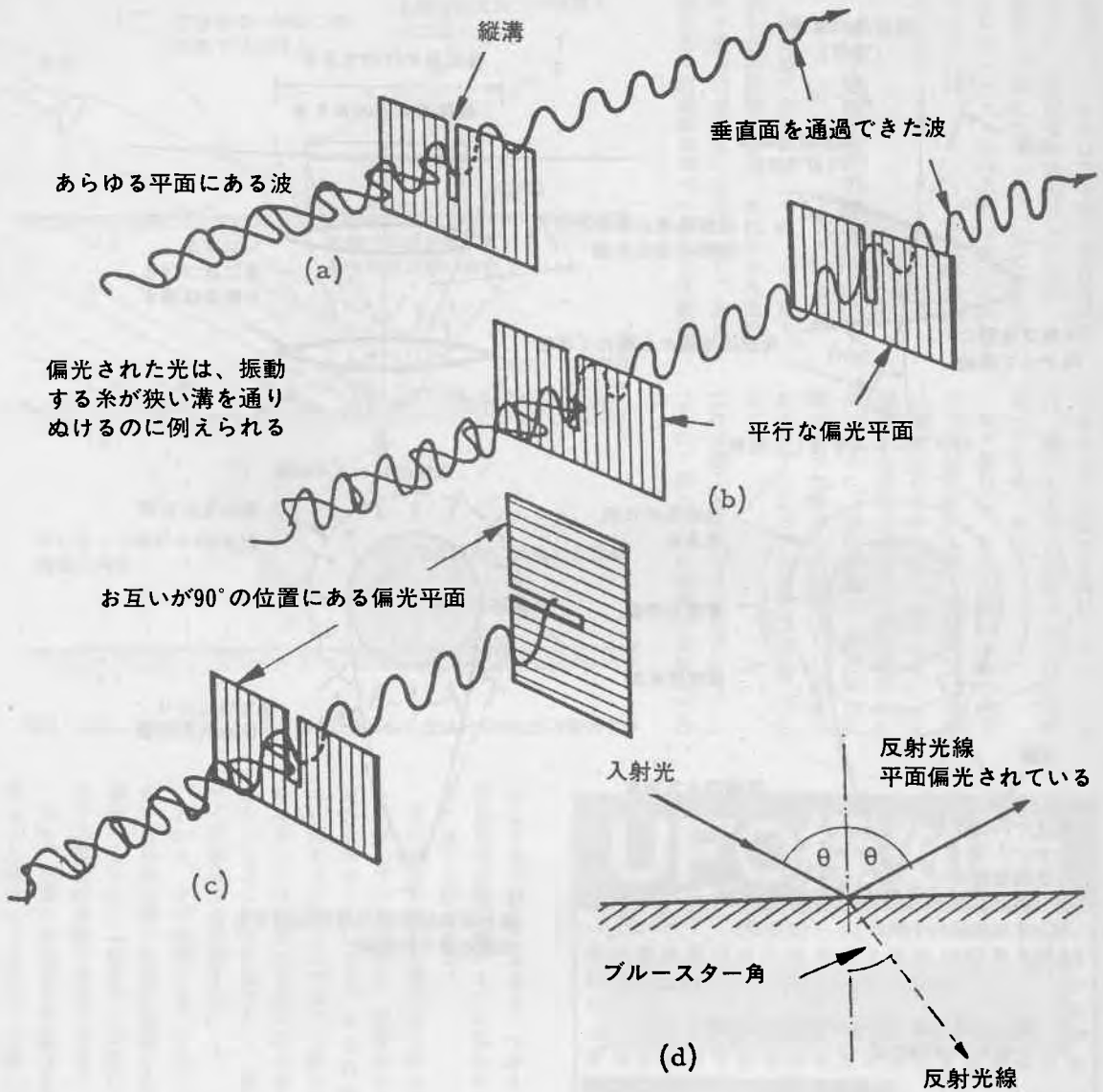


図4 光の偏光

波が、ある糸に沿って伝わるとする。この糸を、一枚のカードに切りこまれたせまいミゾに通すと、糸が行いける唯一の運動は垂直運動だけである。したがって、カードの手前で糸がどの方向に運動していても、カードの向こう側では必ず垂直平面に対してのみ運動するのである。(図4a)

これとまったく同様に、通常あらゆる平面内で振動している光は偏光物質のシートに入ることにより平面的に偏光する。それゆえ、偏光質の二枚のシートを、それらの偏光面を平行にして前後に並べて置けば、最初のシートを通過して偏光した光線は、図4bに示すように、二番目のスクリーンには妨げられないだろう。

しかし、二枚のシートの偏光面が90度ずれていると、図4cに見るように、光は二番目のスクリーンで止められてしまう。

事実、これはお互いに直角に向けた二つの格子に運動する糸を導いたときに停止するのと、まったく同じことである。

次に光は、異なった物質から、ブルースター角として知られている一定の臨界角で反射された場合にも偏光する。だから、例えばガラス片のように屈折指数が分かっているならば、光がブルースター角でそのガラス上に落ちるよう配置して、反射光線を偏光面とすることができる。

同様に、光が大気中に浮かぶ微小な塵によって散乱されたり、あるいは空気や水の分子のために散乱された場合でさえ、偏光は生じる。このため大空から受ける光は部分的に偏光していて、偏光の程度と方向は主としてその光が来る空の場所によって異なる。

### 電磁場による偏光面の回転

一定の条件の下では、磁場や電場を用いて、光線の偏光面を回転させることができる。これについては、フアラデー効果、カーの磁気光学効果(電磁石の極から反射された光は偏光する)、およびカーの電気光学効果(電場によって飽和された誘電体を通ってきた光は、偏光面が回転させられている)の三つがよく知られている。このことから、ある環境の下では、偏光された光は、強力な重力場の磁場と電場の合わさった強い力によって、その偏光面を回転させられると理論的に仮定することができる。

この具体例としては、図5aに示したフアラデー効果を考えるのが、いちばん視覚的にわかりやすいであろう。この図で、偏光された光線の面は、電磁石の極間に置かれた「重ガラス」のブロックを通過したときに回転されている。これは、光線の幅がかなり広い場合には、光の大部分が磁氣的回転をまぬがれて、初めのものと平行に置か

れた第二スクリーンを自由に通過できるということである。しかし、磁極のすぐそばを通る一部の光線は、回転されて二番目のフィルターを通過できないのでそのフィルターの上に影を生じさせる。

もし一個の電磁石の代わりにもっと多くの電磁石を使用して、たとえば八个の電磁石にそれぞれ「重ガラス」を取り付けて環状に配置するならば、それを通過した光は対応する八つの付随的な影を生じることになる。図5b)このことから、もっと多くの磁石を使用して隙間をすべて埋めてソレノイドや環状磁石のようなものを作ったら、図5c)に示すように、生じる影はほぼ環の形になることがわかる。この効果が得られるのは、視線が磁石の「コア」と同軸の場合だということに注意していただきたい。

さて、これは非常に興味深いことなのである。というのは、もし空の一部が偏光面になっていて、また円盤の重力場には強度の電磁場と電場が付随しているという私たちの仮定が正しいとしよう。すると、UFOを下から見た場合、円盤の重力場のすぐそばを通ったり、場の中を通過する偏光された空の反射光の一定部分についても同様に回転させられるだろうと論理的に推測することができる。

その上、もしUFO目撃者がポラロイド・スクリーン・タイプのサンングラ

スを着用していれば、幸運にもこのような効果を見ることができよう。

これで疑い深い人もこうした事例の技術的実証価値を納得しただろうか。さて、実例を見てみよう。

W・A・ウェップ氏は『新天地、火星』の著者で、化学者として重要な業績をあげている人である。

彼は一九五三年五月五日のUFO目撃について、次のように語っている。

晴れた朝で、時間は九時四十五分から十時の間であった。ウェップは、スペイン飛行場から程遠からぬ、ユーマ空軍戦闘機隊基地の北方約一・五キロの、ヴァキューム・クリング社工場近くの野原に立っていた。彼は、短い間隔で次々と離陸しては頭の真上を通過して北方へ飛んで行くジェット戦闘機の騒音に気を取られていた。西の空を一わたり眺めた時に、彼は小さな白い雲のようなものに注意をひかれた。その時、空にあった雲はそれだけだった。彼は緑がかった色調のポラロイド眼鏡をかけていた。それは雲を研究する時の習慣だった。彼はポラロイドの有無の効果を比較するために、間を置いて眼鏡を着けたり外したりした。

その物体は、地平面に長軸が平行な長円形であった。約四十五度の仰角に浮かんでいた。五分間位の間に、物体はほぼ三十度ほど東に向かって進んだ。次いで突然に向きを変え、北方へ進んだ。同時にその長円形の形状が円

断面に変わった。円形になると、それは遠のいて行くかのように、小さくなって行った。後退して行く間も物体は、注意をひくほどその明るさを失わなかった。それから三十秒ほどの中に、あまりに小さくなって見えなくなってしまった。

初めのうち彼は、ポラロイド眼鏡を着けたり外したりしていたので、長円形の変化にもその周辺に見える区域にも注意していなかった。しかし、それに続いて、今や円形となった物体の周りに、幾つかの間隔の同じ円が現れた。その円は、銀色の円盤を包むはつきりした、暗い幾つかの輪であった。

これらの輪の中の最大のもの、恐らく、中心の円盤の六倍はあった。彼が偏光眼鏡を外すと、銀色の円盤は残ったが同心のリングは消えた。眼鏡を掛けるとリングは再び現れた。数回くり返して見たが、毎回同じ結果だった。

これらのリングは、眼鏡を掛けていても、円盤が見えないほど小さくなる前に薄くなって見えなくなった。

目撃者は、物体が長円形であった時、すなわち側方又は角の方から見た時は、リング効果を見ていないのに注意してほしい。しかしその時彼は「次いで突然に向きを変え、北方へ進んだ。同時にその長円形の形状が円断面に変わった」と言っている。目撃者から離れて、前方飛行をする為に傾いたのだ。なぜなら、彼は続けて、「円形

### UFOの光学的効果

になると、それは遠のくかのように、小さくなって行った」と語っている。故に彼は物体を、推進する場と非常に同軸に近い位置で見えていたのだ。事実、偏光効果態勢にいたのである。

さて読者は、目撃者がその時に北の空を眺めていたということに注意を払ったであろうか？ 朝には空の特殊な一部分が偏光面であると言うことを、私は読者に語ったであろうか？ それは太陽に対して直角になった時に起こる。したがって朝なら真南、又は真北になるのである。

話しを進めよう。あちこちから、一見矛盾するような報告を多数集めていくと、多くの情報が集まるにつれて徐々に、ジグソー・パズルの小片はその場所へはまっていく。しかし、これは普通のジグソー・パズルではなく、込み入った、そして多くの異なった様相で仮装されたものであって、単にチャンスのみでは決してそう完全には合わないだろう。だからこそ我々にとっては、ゲームは一層刺激的である。

さあ、さらに幾つかの手掛りを吟味してみよう。我々は幾つかのUFOの光学的効果を検討してきたが、まだ他にもある。これらの幾つかをも、重力場理論によって説明できるかどうか見てみよう。例えば、真珠母雲に似た円

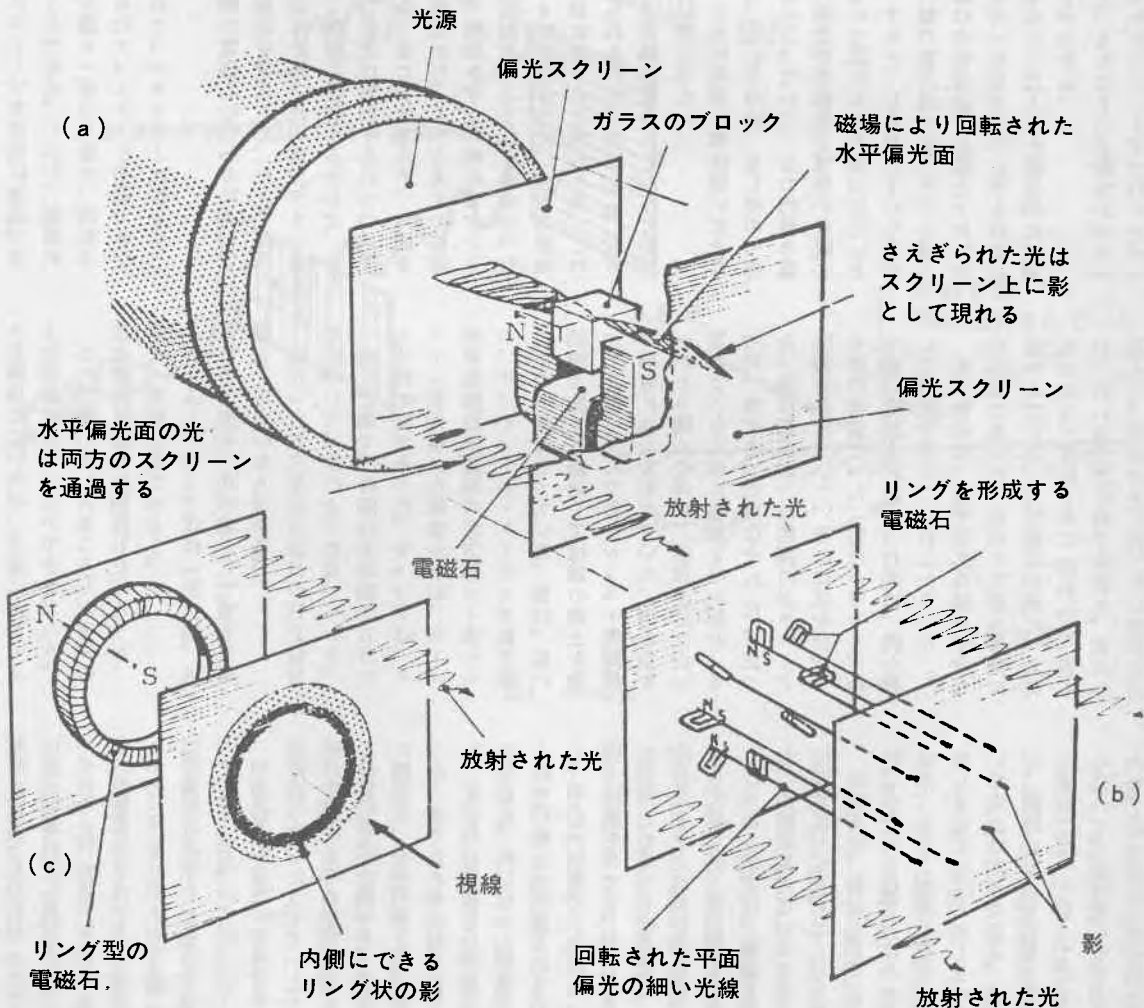


図5 偏光面の回転による磁場の照明

PSI研究の大宝典 ついに完訳!

# PSI(超常現象)HANDBOOK 実験四次元科学

S・オストランダー  
L・シユロウダー 共著

各1300円 千160円

植物におけるESP  
オーラ直視法・キル  
リアン装置の作製・  
テレフラッシュ増  
幅機・探知機一覽他  
ピラミッドパワー実  
験法・PK鍛練法・  
各種超能力発生器・  
霊界ラジオと死後生  
存説・古い棒実験他

アダムスキーの

## 宇宙哲学

久保田八郎 訳 750円 千160円

あなたにもできる

## 大地震予知法

木越保光 著 890円 千160円

## 宇宙文明の夜明け

宇宙人とのテレパーシー対話

高橋田一 著 950円 千160円

## 応用心霊学入門

幸福をもたらす霊能力

横山公実 著 1300円 千160円

エドガーケイシーの  
秘密シリーズ

## 転生の秘密

輪廻思想の実証 1300円

## 超能力の秘密

霊能開発の原理 1200円

## 夢予知の秘密

夢による未来予知 1300円

(各千160円)

たま出版

162 東京都新宿区納戸町33

電話03・260・4367 振替東京3-94804

盤と、目くらむ閃光を発するタイプ、輝く金属円盤、それに暗いシルエットの UFO を合致させることができらるだろうか？ これらはどれも昼の光の条件下で見られる日中円盤体である。さらに進んでそれらを、夜間に見られる赤、オレンジ、緑その他の色をした物体と関係づけることができるだろうか？

私はここでもつばら光学的効果について関わっているのであって、その根本原因には多くは触れないことをはっきり言っておきたい。それについては後章で解析しよう。私はこれらの効果を、その様な解析で期待できることの一部となるように、そして空飛ぶ円盤の立証に矛盾することなく、これらの検討がそれを助けるように解説できると思う。これらの視覚効果の幾つかを、広い意味での重力場概念で検討してみよう。

最初に、真珠母又は乳白色の UFO は、昼間に見られる。既に見てきたように、この効果は、重力場によって生じた雲、エンゼル・ヘアの堆積、あるいはその両方が、太陽の光線を反射する乳白色ガラスの球のように作用することが原因である。大気状態がこれらの現象のいずれかの形成に不相当であったなら、円盤そのものが見えたであろう。重力場の強度が低ければ、宇宙船の磨かれた表面が通常の飛行機の場合のように見られたであろう。しかし重力場の強度が非常に高い場合には、大気的なもの、重力的なもの、および電気力学的なものの一緒になった場の効果は、幻惑する様な光学的現象の展開を生み出すであろう。そのかぎりにおいて、宇宙船は閃光し、脈動するように見えるであろう。

もっと詳しく言えば、表面の反射力は、その滑らかさに関係する。磨かれたガラスの一片でさえも、顕微鏡的に調べれば微少な凹凸をもっている。尚

一層表面を研磨すれば、凹凸は減らせるが、機械的に得ることのできる平滑度には、完成度の度合に限度がある。しかし、本体を取り囲む光線が焦点を結ぶことができたら、そして強力な場によって反射されたとしたらどうなるであろう？ そのような表面は、無限の反射力をもつ鏡となるであろう。全く、この段階を超えると、効果を生じていた本体は、消滅した様にさえ見えるであろう。

これに反して、宇宙船がかなり低空を低い場強度で飛行していたとしたらそして、適正な光線条件に正しく合った角度にいたら、我々は、再び普通の飛行機の場合と同様に、単に輝いている金属表面あるいは、むしろさえない灰色の形を見るであろう。そうであっても、宇宙船は光を放ち、それがぼんやり見えている時でさえも、その使用している動力に由来する光の放射は常時あるのだ。

私が例解したい全く単純な説明がある。我々は皆、火掻棒が焼かれて明るいチェリー・レッド色になっても、屋外の光の中で見ると、全く、くすんで見えるのを知っている。さて、明らかにこれは、単にそれが冷えたからではなくて、周囲の光の作用である。そして私は、この点を例解するために行った実験を述べて見たい。

皿形の電気ヒーターを、赤い光を放射している円盤に似せて吊した。これを夜間屋外で撮影したものが、写真1aである。同じヒーターを、スイッチを入れたままで、日中と同じ角度から写真に撮った。見られるように、それは空に対して単に暗いシルエットを見せているだけである(写真1b)。同じことが白色光についても行える。それは、暗闇では目にまぶしいが、明るい空に対して見た場合はかなり光が落ちる。

宇宙船が高い場強度で動いていると

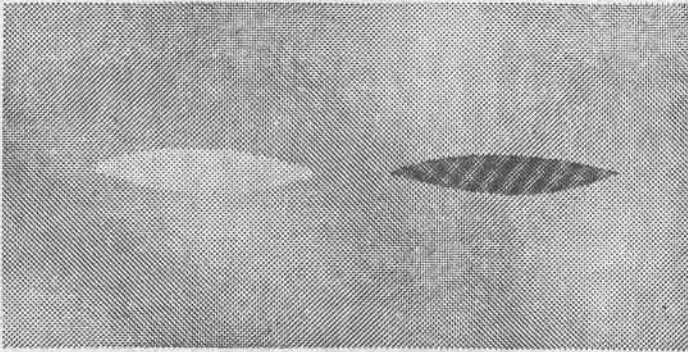
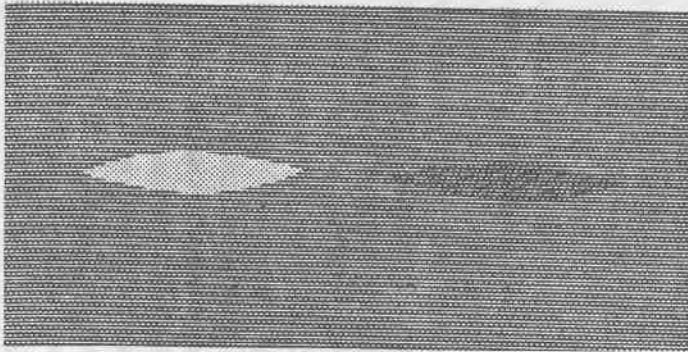


図6 様々な輝度やシルエットは、重力場効果に加え、周囲の大気条件によっても誇張される。

したら、それは黄色または白色の光の放射に加えて、雲を生ずることも十分可能である。そしてその雲に放射した光が反射して、再び全般的な効果を、目のくらむ様な輝きの一種にまで増幅するのである。加えるに、空それ自体の有力な条件が、ある種のUFOの視覚的效果に寄与する(図6参照)。

一方、目の感度は、可視スペクトル上の異なった波動に対しては、等しくないことが知られている。例えば、同じ明るさの条件の下で、五千五百五十オングストロームで放射している黄緑

が、昼光下ではほとんどの人に最も明るく見えるだろう。しかし、夕暮や乏しい光の時は、その隣りの五千五十オングストロームの、緑又は青緑に対して最も感度が強くなる。

これらのすべての要因、およびもっと多くのものが、UFOの形状と色の多様さとして、目撃者たちの記述の多様性を助長しているのである。

訳 / 吉田東吾



写真1b 昼間電流を流して写真に撮った皿形電気ヒーター。下面の反射光はヒーターエレメントによるものではない。



写真1a 夜間と同じ距離から写真に撮った電気ヒーター





投稿歓迎 編集部「声」係宛  
匿名可但し、住所、本名明記のこ

●版上清久(画) 茨城県土浦市

### 高知市介良に現れた小型UFOは、宇宙人が作ったラジコン機?

萩原光子  
東京都港区高輪

私の意見を聞いて下さい。これは推理と言いましょか。ちよつとした思いつきなのですが。

それはほかでもありません。1972年8月、四国は高知市介良に起こった小型UFO捕獲事件のことなのです。みなさんも十分ご存じの事件だと思えますが、地元の中学生5人が直径20センチたらずの小型UFOをつかまえました。ところが、家に持って帰ったところ、突然、消えてしまったり、翌日、また現れたりするといった事件でした。結局、そのUFOは、どこかへ飛び去ってしまったようですが。

このとき、このUFOについていろいろな推理がされて、偵察用UFOだとか、昆虫が乗っていたのではないか、などと言われました。しかし、私が推理したのは、小型UFO

が他の地点からリモートコントロールされていたのではないかと、いうことです。もちろん宇宙人によって。私たち地球人は、自動車とか飛行機の模型を作ってリモートコントロールしているのですから、宇宙人も自分たちの乗物であるUFOの模型をコントロールして楽しんでいたと考えるのも決して不思議はないと思うのです。地球人がやるのですから宇宙人も当然やっているでしょう。

私の考えでは、介良の事件の場合、地球人が馬鹿にされたのです。それが宇宙人の遊びだったのかも知れません。ですから、小型UFOをコントロールしていた宇宙人が、どこかにいたのです。一体、どこにいたのでしょうか。インベーターとして地球上にいたのかもしれない。または、地球から遠く離れた星にいたのかもしれない。たとえば火星などには?

彼ら宇宙人はUFOに乗って、どこへでも飛び回ることが出来るくらいですから、UFOの形をした模型を作っても、当然、不思議ではないと、私は考えているのです。

### UFO写真に賞金をかけるのは、やめよう。UFOは清潔なんだ!

森本宏治 <17>  
兵庫県神戸市東灘区

いま、某テレビ局が「UFO賞」と称してUFO写真を募集しています。その賞金額が最高30万円だそうです。

この某テレビ局の企画に、ぼくは大反対です。政治でも何でもそうですが、金がからむとその分野が汚れるからです。本当にUFOを信じている人ならば、そんなことはいらないと思いますが、そうでない人たちが、30万円の賞金ほしさにトリックのUFO写真を作り、テレビ局に応募します。これがテレビで放映されるならば、視聴者などによってトリックであることがわかってしまったら、私たちUFOファンにとって大ショックであるばかりでなく、一般人々はUFOを信じなくなります。そして、本当のUFO事件でさえも疑うようになるでしょう。

## UFOはどこから来るのか

「UFOと宇宙」編集部では、読者のみな様に、より一層「声」の欄を活用していただくために、右記のテーマを設けました。これに対するご意見をお寄せください。お寄せいただきました原稿は、3月20日に発売されます「UFOと宇宙」23号に一挙掲載致します。

●原稿は縦書き16字×40行以内にとり、2月10日までにお寄せください。

〒110 東京都台東区上野五十一 六 ヤマトビル ユニバース出版社編集部「声」係  
ですから、金に汚れた地球上で、UFOに関してだけは清潔であってほしいのです。

そこでUFO現象、予言、聖書などに関心をもたれる方、お手紙下さい。

### UFO否定論者の意見も、この欄にのせて下さい。

竹之内つぎえ <高3>  
群馬県利根郡昭和村川額1006

こんにちは、毎号「UFOと宇宙」をたのしく読んでいますが、いつも気になることがひとつあります。それはこの本にUFO否定論者の意見がのっていないことです。もっとも、この雑誌はUFOの実在を前提として出版されているので、UFOが、この雑誌を読んでいると、UFO教などというものが読者のあいだに、でさうがってしまいうように感じます。UFOの実在を信じている者どうしの意見交換も大切でしょうが、否定する人たち(盲目的に否定する人は別として)の意見などもお寄せたほうが、より充実すると私は思うのですが。

### UFO見つけようとしていたら、100円玉を見つけたら。

古川喜啓 <15>  
〒383 長野県須坂市春木町団地31-30

UFOに興味を持ってから2年になります。今までは勉強に忙しくて、夜空をながめている時間がありませんでした。先日、下校中に道を歩きながらUFOが出ないかなあ、などと空を見ていたら、ふつと空を道に落ちていた100円玉を見つけた。これはもうけたというところで、あせってポケットに入れた帰りました。

ぼくは、UFOを目撃したくて空を観測することは好きではありません。それより偶然に空を見上げると、「あつ、UFOだ」と言っていて驚いた方が感激も一層に増すと思います。こんなことを言いなから勉強にガ

ン張っているようですが、読者のみなさんも勉強は大切でしょうけど、「UFOと宇宙」などを読んで、心の広い人間になってください。  
また、UFO、心霊に興味のある中学生の方、お手紙をください。

### 太陽は冷たい天体ではなく、たしかに熱を宇宙空間に放射している

大久保勝美  
〒441-01 札幌市白石区原別西2-12

本誌21号の「声」で斉藤真君が述べていた、太陽は冷たい天体だという意見を興味深く読みました。そこで、それに対しての私の意見を話してみたいと思います。まず、結論から言いますと、太陽は熱を放射しているはずですから、私は斉藤君の意見には賛成できません。

第1の理由として、太陽の表面温度が6KCという高温にもかかわらず、磁場があるのはおかしいと、斉藤君はいつていますが、もちろん永久磁石を熱すれば、磁気作用は失われますが、電磁石を熱しても磁気作用は失われないうです。このことから太陽磁場は電氣的な作用で成り立っていると考えられるのです。

第2の理由は、太陽から熱が放射されていることです。物理学的に説明しますと、スペクトル分析の結果、太陽にはヘリウムが存在していることが確認されています。ヘリウムができるには、ウランに硫酸を混ぜて高温で熱しないためなのです。そのほかスペクトル分析によって太陽の温度を推測することができます。このような事実を否定できないので、太陽はたしかに熱を放出している、といえるのです。

私の考えに、意見なり感想のある方、ご連絡して下さい。

全国のUFO研究会にお願い。国内にどのくらい団体があるのか調査したいと思っております。団体名、代表者名、所在地、人数、研究内容などを記入の上、お知らせください。

私たちのUFOグループ発行の天文雑誌「宇宙」(B5判30ページ)を一般の方々にもおわけします。現在、4、5号が残っており、ご希望の方は一部送料込み、切手200円分を同封の上、お送りください。

### UFOは、核爆発で狂い出した地球を上空から観測しているのだ!

伊藤重信(21)  
北海道札幌市中央区

最近、某週刊誌に非常にショッキングな記事が掲載されていた。その内容は我が国に関心をお願いしているUFO現象とはちょっと関係がないかもしれない。しかし、私なりに直感的にUFOと結びつく部分があると感じたので、その概要をお知らせします。まず、ことわってお知らせします。一般に週刊誌の記事を他のものに転載するのは都合が悪い(つまり禁じられている)ことなので、ややぼかして書きます。

この記事で驚いたことは、世界各地で1年間に何回となく行われる核実験のために、異常現象が発生して



●松田燕子(画) 千葉県鴨川市

地球人てドジだね

いる、ということ。核爆発は大気圏の温度を極端に上昇させ、気圧配置を変えて異常気象を引き起こします。さらに驚かされたことに、核爆発の力による急激な作用によって地球の極の位置をずらしてしまっています。つまり地球の自転周期を狂わしてしまっているのです。これは大地震発生の原因にもなります。

たかが核実験のために? などと考えるかもしれませんが、これまで調査によるデータは核実験のたびに我々の足下がゆらいでいることを示しているのです。

ここでUFOとの関係について話すと、1945年に日本の広島、長崎に原爆が投下されて以来、UFOの出現が激増しています。これは、UFOに乗って飛来する人々が、核爆発によって自滅的崩壊に直進している地球の様子を調査し始めたのではないのでしょうか。

### 宇宙人を理想化するのにはやめよう! UFO飛来の目的を知ろう。

増田忠幸(17)  
〒475-23 兵庫県加西市畑町95

ぼくたちの地球に初めて宇宙人がやって来たのはいつ頃のことか。この質問に答えられる人がいますか。でもひとつたしかなのは、地球が誕生してからなアーンだ、そんなことわりきっているよ、と言われるかもしれません、この事は非常に大切で重要なことなのです。

地球誕生の歴史なんて宇宙全体に比べたら短いものです。地球が存在した以前に、すでにほかの天体も数多く存在していたでしょうし、人類がいて、高度の文明をもっていたのもあったでしょう。

ここで、ぼくが言いたいのは、何十億年という長い歴史をもっている他の天体の人々が、地球上に現れて私たちにに対して身体検査をしたりするのでしょうか。宇宙人に捕われて身体検査された、という事件がいくつか報告されていますが、はたしてそんなことをする宇宙人がいるのでしょうか。

たしかに私たちは、カエルの構造を知るために解剖したりしました。しかし、いまになってカエルの構造を解明するために、改めて研究する人がいるのでしょうか(学校の理科実験は別です)。このようなことから宇宙人が私たちを身体検査するなんて考えられないと思うのです。

とにかく世界各地にUFOが現れているし、おそらく遠い所からやって来るのでしょから、何かの目的があるはず。それは何でしょうか。地球を征服するつもりなら、基

地を造っているでしょうし、すでに征服されていなければおかしい。また、友好のためなら、そのような態度を示すはず。みなさんの中には宇宙人を理想化する人がいますが、宇宙人も私たちと同じ生物であることをよく考えに入れて、現在の現象だけを見つめるのではなく、もっと長い歴史の中でUFOを考えて、私たちの態度をきめたいと思います。

### 本誌20号の「声」に載っていた小川智章君の意見に反対です。

坂井修一(16)  
〒740 岡山県岡山市西市区668-127

小川君は、本誌19号の口絵写真「玄海灘にサラ状物体飛来」のUFOはトリックであるといつていますが、そう考えるのはちよつとはやいと思えます。小川君は、この物体が2枚の写真にとられる間に、かなり移動しているにもかかわらず、物体そのものの形が全く同じなのでおかしい、といっています。たしかに物体の大きさ、形は同じなのですが、物体の背景を見ると、トリミングされている写真の方が拡大されているのです。ですから、2枚の写真の背景の大きさが変わります。また、形についても、撮影したときにどのくらいカメラを傾けたかわかりませんが、形が同じように見えるのは、物体との距離が遠いためか、UFO特有のフォース・フィールドによるも

のと思われず。  
小学校6年生の少年がトリック写真を作るのに、2枚の写真に写す物体の遠近感を出すため、UFOの大きさを考えに入れて写すことができるでしょう。  
小学生が写した写真だとすると、これはトリックをしていないと思います。見比べるのにもう1枚写真を載せてくれれば、もっとはっきりと



1977年は蛇年なのである

●阪上清久 (画) 茨城県土浦市

断定できるのですが。  
いろいろ言いましたが、ぼくに意見のある方は、手紙をどうぞ。  
月は太古の人工宇宙船  
そして、私たちを乗せるノアの箱舟かも？  
磯 久美子 (18)  
栃木県宇都宮市

本誌20号に掲載された「月世界はUFOの中継基地か」を読んで下さる感動し、また驚嘆しました。  
みなさんは月をどのように考えているのでしょうか。NASAのアポロ11号が初の月面着陸を成し遂げて以来、私たちは、またひとつ大きなものが自分たちにとって身近な物、すべて調べつくされた物のように、月について興味があわなくなってきたのではないのでしょうか。私には謎が多すぎるからです。この中でソ連科学アカデミーのトップクラスの科学者2人が、一月は地球の天然の衛星でなく、科学技術の高度に進歩した文明人によって作られた空洞の惑星で、これを宇宙船にして遠い昔、地球を回る軌道に導入した」と説いています。みなさんの大多数の人はこれを否定すると思えますが、私は信じています。理由は幾つもあります。地球の年齢は約45億年です。ところが月ではそれ以上古い岩石が発見されたのです。アポロ12号が採取した2個の岩石は、なんと200億年前のものでした。このことから、これまでいわれてきた月が地球の誕生のさいに地球から分裂してできたものでないことが確実となります。さらに土の標本は、月の地上に散乱していた岩石よりも10億年も古いことから、月の表面がいん石などの直撃によって永遠の時代を通じて砕かれた

砂、石などから成る粗石の堆積であると考えられます。これほど多量の粗石が堆積したのは、無数のいん石が月にぶつかったことを意味します。そうすると、月はかなりのスピードでしかも長い期間をかけて、宇宙空間を飛んでいたのです。はたして地球の周囲を回転するだけであのようになるのでしょうか。宇宙の法則からみても、月が地球の周りの軌道を回るはずがないそうです。  
それにクレーターについても謎があります。月には巨大なクレーターが数多くありますが、大きさがおそろしく巨大であるにもかかわらず、不思議と底が浅いのです。ソ連で行われた科学実験から、月のクレーターの深さは、本来、数倍も深いはずだということ。ではなぜ浅いのでしょうか。理由は、もし月が太古の宇宙船で、内部をおおっていた殻が装甲鉄板のようなものだとすると、月面に撃突したいん石は、月面の土をえぐりつつ、その装甲鉄板にさざぎられたということが考えられます。また、多数の大クレーターの底は凹状でなく凸状であることも理由になります。  
そして月の内部が空洞であるということについて、地球は平均密度1.5センチ立方メートルあたり5.5グラムに對し月は3.3グラムです。この数値からも月の内部が空洞であることが考えられます。

以上のことから、月は天体ではなく、まさに人工的な太古の宇宙船で、少なくとも10億年は宇宙の旅をしてきたともいえるのです。宙かする月とは、知的生物のための1種の「ノアの箱舟」であったかもしれせん。大昔、スペース・プログラムとして多くの惑星から、利己主義者たちを地球に送って来たときに宇宙

船として月を使ったのではないでしょう。もしかしたら宇宙人は、近将来地球に起こる大変動を予知して、仲間である私たちを見殺しにできなくて、ひそかに助けてくれるのかもしれない。その援助の手段として、地球脱出のため、太古の宇宙船である月、つまり「ノアの箱舟」を整備しているのかもしれない。それでは月にはUFO基地があるのです。

イオンクラフト成功！  
ぼくの部屋には、UFOが飛んでいます  
黒田豊年  
〒510-13三重県三重郡菟野町小島 6310

本誌20号の「イオンクラフト浮上実験成功」を読んで非常に興味をそそられ、イオンクラフトを試作してみました。いつも愛用している中古のカラテレビから電源をとるために裏フタを外した中はホコリだらけ。もし失敗したら好きなテレビ番組も見られなくなるかと心配しつつ高圧コードを引っ張り出し、次にアルミホイルを切って25個輪を作り接着剤でくっつける。支柱を立てて針電極をとりつけて電源からつるすだけという実にてきぱきと……いっちは簡単なんですけれども、実際にやってみると、ぼくは不器用でして3時間程かかりました。さて、わくわくしながらテレビのスイッチON。真空管式でして時間がかかる。やがてジューッといいたかと思うとパチパチと紫色の放電が2、3本走りまわって恐れおののいてスイッチを切りました。今度は電極間の距離をはなして実験。ならん飛ぶ気配なし。バカバカしくてやめようか

と思っただけ、2号機を作製。この度は1号機とちがって支柱やアルミの幅を狭くして減量ははかった。するとサーッとという音と共に浮き上がったかと思うとグルグル飛び回り、ぼくは狂喜乱舞しました。  
みなさんもよかつたら試してみてください。材料は家庭用のアルミホイール、角材、リード線、アンテナ線(5C2A)といって電気屋さんにある、接着剤だけ。作り方は本誌8号か20号に載っている。ぼくは幾度となく感電したことが、しつこく生きて下さい。感電にだけは十分注意して下さい。また、放電してもテレビがこわれることもありません。  
世間の目は冷たく、ぼくの友人たちはイオンクラフトをみても「子供のおもちゃ」ぐらいにしか思っていない。いまにみても。もっと改良して、それに乗って大空へ飛びたつのだ。全国のキチガイさん。お手紙をください。

アダムスキー支援者をよそおい、デマを流す者がいる。  
匿名希望  
愛知県名古屋市中昭和区

最近、気づいた事ですが、この「声」の欄に掲載された人たちに、アダムスキー支援者をよそおって、デマや得体の知れない宣伝をする人がいるようです。  
そのような事をする人にも、それなりの考えがあるようですが、私にはどうしても納得がいきません。アダムスキーを支援する皆さん、そのようなものに惑わされぬようにこ

れからも頑張りますよ。



**U** FOについて研究しています  
が、なにしろ未熟者で、もつと  
全国のみなさんと話し合ってみたい  
と思います。お便り待っています。  
米谷仁志  
(〒638 兵庫県神戸市東灘区住吉町小  
林 1787 プライムハイツ406)

**大** 阪の公立高校における UFO 研  
究の調査をしたところ、UFO  
の研究団体がひとつもありません  
でした。そこで、ぼくが加入している  
天文部に超心理学研究班近畿 UFO  
調査研究会をつくりました。いまは  
一人で活動しています。文化祭には  
研究発表をしようかと思っています  
。全国のみなさん、意見がありま  
したら聞かせて下さい。  
高瀬 浩  
(〒333 大阪府大阪市東淀川区下新庄町  
2丁目193)

**名** 曲『希望』の替え歌。  
『UFO』作詩・根本 哲

UFOという名の あなたをたずね  
て 寒い夜ふけも 星空をにらむ  
UFOと宇宙が わたしの情報  
となりの席に カメラをおいて  
あなたが来れば 写してやるのよ  
私は信じる あなたのこと  
いつか地球と 仲よくなるまで  
私たちは やらねばならない

**名** 古屋市にお住みの方、UFO、  
超能力、そして人生について語  
り合える友達を求めています。性別  
年齢は不問。私は女の子です。

川西 敏  
(〒466 愛知県名古屋市中区天白町島  
田西上郷1847)

**U** FOを目撃した方、情報を提供  
してください。テレビ番組によ  
って見た方は、そのときの状況をく  
わしくお知らせください。  
清水誠司  
(〒203-21 岐阜県不破郡垂井町東町2  
269-18)

松原寿子(15)  
(〒399-41 長野県駒ヶ根市赤穂7-1  
48)



●黒田豊年(画)三重県三重郡

**私** は、UFOに興味をもちはじめ  
たばかりの高校1年の女の子で  
す。興味だけで本当はUFOについ  
て何ひとつ知らないのです。です  
からUFOのいろはについて最初から  
教えていただきたいのです。どなた  
でも結構ですから。また、私と文通  
してくださいの方がおられましたら、  
是非お願いします。  
松原寿子(15)

**地** 上の異常現象を自分なりに、た  
しかめ、原因を追求したいと思  
っています。この分野は、まだまだ  
ローカルなか仲間がいません。ど  
なたか勇敢な人、ぼくと一緒に  
活動しませんか。  
三上 等(24)  
(〒210 神奈川県川崎市幸区小向西町2  
146)

長谷川 正(17)  
(〒031 青森県八戸市湊町新井田道4)

**私** と同じ物理の好きな高3の人、  
文通してください。  
長谷川 正(17)

**去** 年の夏、UFOらしきものを数  
回目撃してから、UFOの存在  
を信じるようになりました。  
どなたかUFOやESPに興味を  
おもちで、私の相談相手になつてく  
ださる方、またG・アダムスキーの  
考え方に興味のある方もお紙くだ  
さい。  
手塚太子(19)  
(〒466 愛知県名古屋市中区山手町2  
127 近藤幸夫方)

**聞** いてください。みなさん。私は  
UFOについて、いろいろな本  
を読んでいます。そこで、ある  
日、私の父にUFOの話をしました。  
けれど私の説明不足なのか、「U  
FOなんて、宇宙人なんているわけ  
がない」と言うのです。お願いしま  
す。みなさん。父に説明してください。  
それから、UFOに関すること、  
体験談、UFO写真がありましたら  
図々しいとは思いますが、タダでく  
ださい。お手紙まっます。  
小林優子(15)

**本** 誌17号でぼくたちのJRESに  
会員を募集してもらったところ  
、たくさんのお手紙をいただきました  
。ところが、ぼくが高校入学の時  
期にあたってしまったので暇がな  
く、ご返事がなかなか出せません  
した。……どうもすみません。そん  
な訳でお手紙をくださった方には、  
ご迷惑をおかけしましたが、必ず返  
事を書きます。

**夢** では何度か円盤を見ましたが、  
本物の円盤は見たことがありま  
せん。けれど、私は信じています。  
みなさん、私にどうかお手紙くだ  
さい。UFOについての意見、知つて  
いることでも何でも結構です。  
田沢明夫  
(〒949-74 新潟県北魚沼郡堀之内町下  
稲倉2223)

**文** 通してください。女の子に。  
また、UFO研究会の会員にな  
りたいので資料を送ってください。  
元木 栄(15)

(〒031 青森県八戸市大字類家字中条前  
1)

**工** ドガー・ケイシーの日本沈没に  
関する予言を知っている人は、  
本誌19号「声」に載った秋田市の北  
島秀樹君に教えてやってください。  
ぼくは、北島君に手紙を出したの  
ですが、ケイシーの予言を知らなく  
て書けなかったのです。  
また、UFO研究会を作りました  
が、ぼくの名前が本に載らないため、  
全然会員が集まりません。よろしく、  
しつこいようですが、本誌11、  
4、6を譲って下さい。タダでお願  
いしたいのです。そのかわりUFO探  
知機の配線図ならお貸しできます。  
もうひとつ、UFO関係の本も。  
渡辺勝彦  
(〒321-02 栃木県鹿沼市上久我357)

長谷川 正(17)  
(〒031 青森県八戸市湊町新井田道4)

**私** と同じ物理の好きな高3の人、  
文通してください。  
長谷川 正(17)

**去** 年の夏、UFOらしきものを数  
回目撃してから、UFOの存在  
を信じるようになりました。  
どなたかUFOやESPに興味を  
おもちで、私の相談相手になつてく  
ださる方、またG・アダムスキーの  
考え方に興味のある方もお紙くだ  
さい。  
手塚太子(19)  
(〒466 愛知県名古屋市中区山手町2  
127 近藤幸夫方)

**聞** いてください。みなさん。私は  
UFOについて、いろいろな本  
を読んでいます。そこで、ある  
日、私の父にUFOの話をしました。  
けれど私の説明不足なのか、「U  
FOなんて、宇宙人なんているわけ  
がない」と言うのです。お願いしま  
す。みなさん。父に説明してください。  
それから、UFOに関すること、  
体験談、UFO写真がありましたら  
図々しいとは思いますが、タダでく  
ださい。お手紙まっます。  
小林優子(15)

**本** 誌17号でぼくたちのJRESに  
会員を募集してもらったところ  
、たくさんのお手紙をいただきました  
。ところが、ぼくが高校入学の時  
期にあたってしまったので暇がな  
く、ご返事がなかなか出せません  
した。……どうもすみません。そん  
な訳でお手紙をくださった方には、  
ご迷惑をおかけしましたが、必ず返  
事を書きます。

**夢** では何度か円盤を見ましたが、  
本物の円盤は見たことがありま  
せん。けれど、私は信じています。  
みなさん、私にどうかお手紙くだ  
さい。UFOについての意見、知つて  
いることでも何でも結構です。  
田沢明夫  
(〒949-74 新潟県北魚沼郡堀之内町下  
稲倉2223)

**文** 通してください。女の子に。  
また、UFO研究会の会員にな  
りたいので資料を送ってください。  
元木 栄(15)

(〒011-03 秋田県仙北郡角館町細越町)

だ 確か、文通して、UFOや宇宙天体のこと教えてください。

自分や宇宙人だと思う人。また、グループなどで活動している人。なるべく16〜19歳の方。顔やスタイルは問いません。お手紙待っています。

阿部洋子(16) (〒999-35 山形県西村山郡大字新吉田988)

小 学校3年のとき、UFOらしき物体を見てから興味をもちました。そのときは他の人に話してもだれも信じてくれませんでした。でも私はそれを信じて、再び見ようと努力を重ねて来ました。そして、やっと見たんです。UFOを、1回だけトホホ。どなたか、私の忍耐力とあなたの知識と一緒に研究しませんか。なるべくなら茨城県の方で、会って話し合え、私より年上の方の男性の方がいましたら是非ご連絡ください。ヨロシクネ、TELはPM7〜8時まで、日曜日はまだめ。弓削典子(16)

(〒300-06 茨城県稲敷郡東村幸田255 38-11 電話02997976746)

会 員を募集していたUFOサークルに応募しましたが、返事が来ません。この「声」の欄に載った以上、責任をもって欲しいのです。遠藤朱美(静岡県富士市)

U FOフアンのみなさん、お教えください。①瞑想用ビラミッドと、ビラミッドパワー発生機の製作方法②キリアン夫妻のオーラ撮影機の製作方法③静岡市の異色画家・海後人五郎氏の住所以上のことをご存じの方は、どうか小生に教えて

ください。 勝間康博

(〒072 兵庫県姫路市飾磨区妻鹿850)

滋 賀県内および近郊の方で遊重力機関の試作、研究されている人またはイオンクラフト、円盤模型の共同製作、研究してみたい人はお便りください。 井岡昌三 (〒520-33 滋賀県甲賀郡甲南町寺庄410)

中 野UFOクラブは、ここに活動を中止することを宣言します。規約書第11条にもあるように、今年4月より新しく活動を始める予定で、会費は、そのまま休管すること

全 国にある100人以下のUFO研究会の名簿を作りたいと思います。そこで各研究会の代表の方は

を保証し、次回の活動に使用します。また、会員登録書はクラブの方でファイルして保管しますので活動中止中に必ず提出してください。なお、活動中止中にE.F.O. Inc. 番外編を出す予定です。 さて、4月からの活動開始にあたり、活動内容に多少の変更があります。短かい間でしたが、ありがとうございました。また活動が開始しましたら、ご協力をお願いします。 並木通夫 (〒164 東京都中野区沼袋3-27-12)

平均年齢、研究項目を記入して私のところまで送ってください。機会に全日本超自然現象小規模グループ総合ネットワーク(仮の名)なるものをつくって全国の研究会が協力し合おうです。これによって全国の情報収集が容易ですし、各会の研究も充実します。研究会の代表の方は、ぜひ入会してください。ご連絡は切手50円を同封の上、私のところまで、 岸本久行(超自然現象研究会会長) (〒383 千葉県君津)

文通しよう

市和台383)

II (2011) 全国のUFOフアンのみなさん。このたびが輩はUFO研究団体を作りました。活動内容はUFOの研究を中心としてESP、心霊、古代大陸などを研究します。なるべく小学校4年生以上。性別は不問。他の研究会の所属も可。入団を希望する人はいまずぐ手紙をください。 宮崎昌昭 (〒291-11 千葉県君津市八重原社宅B11119)

U RCは宇宙のミステリー、超常現象など、この世の奇怪千万なことを解明するために結成された私たちのクラブです。今後、クラブ発展のために各地方の研究グループなど、情報交換をいたしたいと思いますので、よろしく願います。なお、情報を送ってくださる場合はなるべく真実性の高いものを望みます。協力し合いましよう。 清野行正 (U.R.C.中央情報局) (〒031-35 青森県北津軽郡鶴田町宇生松16214)

U FO研究会を結成いたしました。ただいま、会員を募集しています。活動内容は心霊なども研究しますが、会員数はあくまで2名ですが、意欲的に活動しています。入会希望の方は返信用切手同封の上封書で連絡を(中学生に限る)。 佐藤善夫(中2) (〒314 福島県いわき市金山町朝日台132)

U FOに興味をもっている人たちがぼくと一緒に夜空をおいで、遠い宇宙に思いをよせてみませんか。はじめに研究してくださる方に。 杉本剛志(井原UFO研究会) (〒715 岡山県井原市西原町13225 電話086661213389 杉本工業所内)

神 奈川UFO団体連絡会(愛称・クワガ)が、1976年6月13日に神奈川県に次の目的をもって結成されましたので詳細をお知らせします。

際超自然現象調査局なるものを設立させました。会員を募集していますので、興味のある方は、返信用切手同封の上、ご連絡ください。ただし、遊び半分の方、最後までやりとおす自信のない方はご遠慮ください。 磯野剛直 (〒239-21 千葉県八日市場市81736)

小 さなUFOクラブで研究しています。UFOに興味のある方やUFOを目撃した方は、お手数ですが、私たちのクラブにお手紙ください。よろしく願います。 田代茂樹(14) (〒165 東京都中野区沼袋3-27-15)



(1877年) あけましておめでとう(1977年)

●阪上清久(画) 茨城県土浦市

お初の  
お目見え  
です。

でも  
もう5冊目  
なんですヨ。

日本最初のアエーション専門誌  
季刊 **ファンタジー**

A4判10月号・68ページ・定価500円  
本号好評発売中!!  
特集 森康二の世界

イラスト・スケッチ・写真……  
TV・劇場・CF・PR  
向き作品をばいばい  
する限りの情報と  
海千山千  
載!!  
77年に  
白く多い  
1本の矢を射  
るのは、お迷。  
ファンタジー  
です。

お話し合せ  
50円切手同封の上、編集部  
UFOfree関係  
まる、どうぞ。

〒211 神奈川県横浜市神奈川区平川町  
3-3 杉村白葉寮内

●本誌を書店にない場合は直接お申し込み下さい。〒101 千代田区外神田1-9-15 8057 ルネージュ・アインマン・ファンタジー編集部 電話 4-63063

- ▽県内の情報徹底的に集約
  - ▽団体どうしお互いに連絡をとり、運営していく上での諸問題を解決する。
  - ▽県内団体の交流・交友を密に。
  - ▽UFO問題の一般普及。
  - ▽県内団体の研究促進および研究発表。
- 以上を目的達成のため、あわせて次のことを実行する。
- 定期的に各団体の幹部会および集会を開催する。
  - 研究発表会
  - 会報作成・配布
  - UFO情報の信ぴょう性向上のため情報網をひく。

①UFO情報について、国内の統計をとる

②UFO出現の情報を把握し、国内の統計をとる

③UFO事件については可能な限り現地におもむき調査する

④他の研究会とのUFO情報交換会費は無料。小学生からお年寄りまで性別を問わず会員になれます。

また、UFO目撃報告書とUFO形態分類表を無料で差し上げます。50円切手同封の上、ご連絡ください。後藤克幸

〒870 大分県大分町田六組 0997  
5169-1373

UFO調査研究会を結成しました。入会希望の方は次の所まで手紙で連絡してください。入会資格は12歳以下の人に限る。くわしくは手紙で連絡します。

〒174 東京都板橋区清水町92-1-71 303 市川辰也

UFOクラブ会員募集ノ、年齢、性別不問。他のクラブの方もどうぞ。50円切手同封の上、連絡してください。資料を急送します。

また、全国のクラブのみなさん。会報を交換して情報、交流をはかりませんか。

半田浩二

〒816 福岡県福岡市博多区竹下1-5-3 18 興産アパート202

UFO研究会を結成している全国の若者に、ここで各県にあるUFO団体をひとつにまとめて全国的なUFO・超自然現象研究会を結成したらどうでしょうか。こうすれば、資金不足に頭をかかえずにすむし、全国の情報がかかえすにすむ。この案に賛成してくれる方は、連絡してください。

宮本哲男

〒878-14 北海道上川郡愛別町字北町3区 01658615854

松井清正(高2)

〒920-02 石川県河北郡内灘町アカン7-1-103

心 霊研究会を一昨年、結成ノところ。心霊写真、UFO写真、ESPを研究しています。私の会と一緒に研究しませんか。また、文通しませんか。

土橋新一

〒889-33 北海道中川郡本別町栄町01562113422

泉 超常現象研究会では入会者を1名募集しています。また、研究資料として不思議な体験をされた方は、お手紙ください。

相木和浩

〒921 石川県金沢市白菊町8-2-1 07621441902



▼本誌別冊「UFO写真集①」を1300円(送料共、以下同)、高文社高梨純一著「空飛ぶ円盤実在の証拠」800円、大陸書房並木伸一郎著「UFO入門」900円。連絡は往復はがきで。後藤幸彦(〒470 愛知県碧南市善明町二一三三)刊。

▼本誌刊号No.17まで。TEL明記のうえ、はがきでご連絡ください。

▲鳥居敏弥(〒996 山形県新庄市新松本二六六一四)刊。

▼本誌刊号No.17+UFO写真集①を送料共11000円で(ペラ売り不可)。

▲松井 弘(〒744 広島市皆実町一〇九一六井実町第四アパート八〇六号)刊。

▼本誌No.13、16、4冊まとめて7000円(送料別)で。

▲大森雅人(〒689-23 兵庫県多紀郡篠山町乾新町)刊。

▼アマチュア無線の教科書3冊に、問題集と解答、SWLの手引き、ガイドブック、コール、SWLなどをつけて8000円で。希望者にはサラ・ブックスの「世界のUFO」を進呈いたします。

▲伊藤正美(〒915 福井県武生市広瀬町一六一一五二 馬塚住宅A一三)刊。

▼本誌No.16、17(各3500円)、「UFOの正体」「超能力ひみつくれん」(各5000円)、「円盤と宇宙人」(4500円)、いずれも送料別。連絡は往復はがきで。

▲平野幸夫(〒330 埼玉県大宮市土屋五八二)刊。

▼本誌No.2、4を1冊3000円で(できれば札幌市の方)。また、UFOに関する写真をお譲りください。

▲伊藤重信(〒060 北海道札幌市中央区大通東五丁目)刊。

▼本誌刊号No.17を20000円以上で(ペラ不可)。お買いあげの方に、UFOの新聞切り抜き記事と「UFO入門」「UFO発見法」「円盤について」のマジメな話「宇宙人謎の遺産」「UFO」「地球内部からの円盤」「先史への宇宙船」を差しあげます。連絡は往復はがきで。

▲松本幸雄(〒299-24 千葉県安房郡富浦町南無谷三三九)刊。

▼本誌No.13、15、16、17を1冊送料共2500円で。4冊まとめてくださる方には送料共5000円で譲ります。はがきで。

▲吉田 律(〒174 東京都練馬区上石神井一〇二七) 神井公園団地(四〇八)刊。

▼本誌No.5、17(ペラも可)を希望価格で。「UFO写真集①」は定価で、「空飛ぶ円盤同乗記」「空飛ぶ円盤実見記」も定価で(2冊まとめれば20000円)。送料は当方負担。はがきで連絡を。

▲林 公仁(〒035 北海道釧路市宮本一丁目四一〇二)刊。

▼「四次元図鑑」、多少書き込みあり、25000円で。または本誌刊号No.10のうちどれか3冊(なるべくきれいなもの)と交換も可(無料はなお可)。

▲千田孝一(〒021 岩手県一関市青葉一丁目一〇九)刊。

▼「UFO海底基地説」「宇宙人大襲撃」「UFO旋風」「宇宙の使者」を各5000円で。「宇宙人謎の遺産」「ネッシーの謎」を各3000円で。全部まとめてなら22000円で。また、ユーロロジストクラブや日本空飛ぶ円盤研究会の会誌をお持ちの方はご連絡ください。

▲熊谷 妥(〒311 青森県上北郡野辺町字笹館三二)刊。

▼本誌No.12、13を各4500円(送料共)で。連絡はがきで。

▲藤本真也(〒111 東京都府中市小倉町蓮池一五一四四)刊。

▼本誌No.11、13、14を適価で。「UFO入門」「日本のUFO」「ブラックホール」を買ってくださる方に50年8月3日豊田市に出現したアダムスキー、葉巻型UFOのカラ写真をお譲りあげます。

▲倉町良次(〒470-03 愛知県豊田市八草町向田一〇四)刊。

▼本誌刊号No.8(汚れあり)を希望価格を往復はがきで(高価歓迎)。

▲永屋隆久(〒501-05 岐阜県掛妻郡大野町箱宮七三五一)刊。

▼ルース・モンゴメリー著「水晶の中の未来」ジェス・スター著「予言」長田幹彦著「霊界」(旧版)、いずれも絶版です。手渡しての方に適価で。

▲志水一夫(〒101 東京都杉並区南荻窪一四三三七 TEL03-3333-16805)刊。

▼本誌刊号No.11をなるべくまとめで手渡し望む。往復はがきで連絡を。

▲芳賀道保(〒134 東京都世田谷区弦巻四一五一一二二三方)刊。

▼本誌No.5、7、8、11、13を適価で。また、「世界のUFO」「私は宇宙人を見た」「幽霊の話」「幽霊を科学する」「世界の怪奇スリラー」「世界のモンスター」を20000円で(ペラも可)。顕微鏡レンズ付、プレバート5枚、薬品3本、30000円前後。はがきで。

▲大田和徳(〒232 横浜市中区山崎町五一〇二二通産者住宅一五〇二)刊。

▼「空飛ぶ円盤同乗記」「テレパシー」「生命の科学」「宇宙哲学」のいずれかを無料で。希望の書名をはがきで。抽選もれの場合は悪しからず。

▲川谷定義(〒182 東京都調布市上石原三二五〇一 N.E.F.S.調布寮)刊。

▼本誌刊号No.12を一括安価に。希望価格をご連絡ください(送料当方負担)。

▲大前俊昭(〒670 兵庫県姫路市伊伝居小山崎七八一三)刊。

▼本誌No.4、17、一括ご希望の価格で。その他、高文社の「空飛ぶ円盤」シリーズ全巻あり。「私は宇宙人を見た」統一統。私は宇宙人を見た」「宇宙哲学」などは本誌お買いあげの方に無料で(送料当方負担)差しあげます。

▲五十嵐穂(〒018-36 秋田県北秋田郡田代町岩瀬字赤沼六一三)刊。

▼本誌刊号No.17を一括120000円で。世界のUFO写真41枚、10000円のホルダー付40000円で。高文社「UFOシリーズ」130000円。「四次元図鑑」13000円。「ソ連圏の四次元科学」(上・下2冊)13000円。「空飛ぶ円盤を追って」「日本のUFO」(なぜ空飛ぶ円盤は来るのか)をまとめて13000円。「先史への宇宙船」「密教の念写」「UFOの正体」の全部を10000円で。「念力強化法」「PSI入門」「四次元99の謎」を全部で10000円。「ユリ・ゲラー」わが超能力「超能力者」リゲラー「日本怪談集」を10000円。

▲岡田憲昌(〒335 埼玉県蕨市北町四一〇一四三)刊。

▼「宇宙の四次元世界」未知なる惑星「宇宙重合飛来」「超感覚ESPの世界」「超能力の原点」「オカルト大予言」「秘法ヨガ入門」「私は宇宙人を見た」「私は霊界を見て来た」「超物理学入門」「ナトロジー入門」「テレパシー」No.13、各

適価で(送料半額負担)。往復はがき。

▲鳥野晃行(〒133 東京都目黒区中町一〇二九一七)刊。

▼本誌No.2、4、17を一括95000円で(送料共、ペラは不可)。往復はがきで。

▲鈴木一喜(〒470 静岡県静岡市三番町八〇)刊。

▼「謎のバミューダ海域」6000円、「空飛ぶ円盤の秘密」3500円、「空飛ぶ円盤ミステリー」3800円、「宇宙人について」のマジメな話「870円」「実説大予言」5500円、「超能力ユリ・ゲラー」6500円、「星への帰還」2600円、「宇宙人の謎」人類を作った神々「2600円」、「未来の記憶」2600円、「奇蹟」2600円、「UFO大襲来」6000円、「四次元の科学」7500円、「天体観測ハンドブック」2500円、「探る地球」8000円、「科学パズル」3000円、「歴史パズル」3000円、「図解数学ゲーム」5000円、「年号記憶術」3000円、「宇宙からの脱出」4500円、「新しいパズル」2500円、「ブレイン」3000円、「フーリストレンズ」3000円。また、山本ステレオチャーターTU7700(定価65000円)を適価で、手渡し優先。はがきで希望書と値段(送料別)を書いて。

▲山本年夫(〒711 岡山県真庭郡勝山町大字本郷一九五三)刊。

▼以下の本を無料で。「ジェーン・エア」「赤と黒」「日本の歴史(徳川の誕生)」「オカルトの魔術」「ムトウ文明の発掘」「星を射る人」この目で見た超能力「続かやくごはん」「新かやくごはん」「夜明けの紙風船」

▲柳瀬良生(〒182 高知県香美郡土佐山田町百石町一〇一六)刊。

▼本誌No.5、6、10、13の6冊をまとめて25000円、ペラの場合は1冊5000円で。「世界のUFO」6900円、「空飛ぶ円盤を追って」8900円、「写真で見える空飛ぶ円盤200集」12000円。「UFO入門」9500円、一括の場合は少し安くいたします。連絡はがきで。

▲湯田坂誠(〒311-03 長野県茅野市北山六六三三)刊。

▼本誌刊号No.3の2冊を30000円

▲溝田昌司(〒589 大阪府河内郡秋山

町山本二五 中尾方)  
 ▼本誌№317を。また、心霊やUFO  
 についての意見をお聞かせください。  
 吉永高夫 (〒534 大阪府都島区都島中  
 通三一九三 吉田方)  
 ▼私の持っている本誌№1318を希望  
 の価格で。「UFOの正体」「世界のU  
 FO」「謎の霊界通信」「宇宙人謎の遺  
 産」「謎の霊界通信」「それでも超常現  
 象は実存する」「ダロット占いの秘密」  
 その他ラジオ関係の本数10冊を(高価優  
 先)。天文関係の本との交換も可。また  
 は全部まとめて天体望遠鏡(赤道儀)と  
 の交換も可。連絡ははがきで。  
 大橋政勝 (〒555 大阪府南河内郡千早  
 赤阪村東阪三三四)

### 望遠鏡



▼キング商会の反射望遠鏡(115ミリ)  
 を7000円以上で。講談社コミックス  
 の永井豪著デビルマン(多少キズあり)  
 の2巻15巻、石森章太夫4巻、ソノ  
 ラマ文庫の「宇宙戦艦ヤマト」「暁はた  
 だ銀色」を、1冊2500円で(送料別)  
 譲ります。なるべく手渡しできる方を希  
 望。連絡は往復はがきで。  
 松原達也 (〒370-06 群馬県邑楽郡邑  
 楽町中野四四八一)  
 ▼MOP双眼鏡(20×50)76年式 4月  
 購入新品。付属品、保証書一式付定価1  
 8000円を、送料共11000円で譲  
 ります。連絡は往復はがきで。  
 大野弘人 (〒028-01 岩手県和賀郡東  
 和町北川目四一八)  
 ▼カメラ(キヤノン110Eポケットカメラ  
 F17)、説明書、保証書、ケース付、ア

クセサリなし、故障、キズなし、新品  
 同様。定価27500円を20000円  
 (送料共)で。  
 前田昌三 (〒565 大阪府吹田市千里山  
 西四丁目三二一四 TEL06-38  
 517532)  
 ▼ダウエル製50ミリN.K型反射望遠鏡、  
 付属品一式、新品同様、自作の木製台付。  
 定価9000円をUFOファンの方に  
 大特価1学生30000円、一般人4  
 0000円—で譲ります。早い者勝ち  
 ですが、取りに来られる方のみ。  
 武村義雄 (〒561 大阪府豊中市野田町  
 三〇〇一 TEL06-3344-734  
 1)  
 ▼カメラ(コダック・ポケットインスタ  
 マチック)定価12000円を7000  
 円110000円で。1回使用。故障、  
 キズなし、新品。  
 佐藤勝秋 (〒559-17 新潟県中蒲原郡  
 村松町五三二一六)  
 ▼連続一眼レフカメラ(露出計、セル  
 フタイマー内蔵、ソフトケース付)。レ  
 ンズ日本製、標準55ミリ、F2.8(スカイ  
 ライトフィルター付、望遠55ミリ、F  
 2.8(フイラー、ソフトケース、スカイライ  
 トフィルター付)。定価70000円相  
 当を40000円前後で。また、パチン  
 コの本もの台を、あなたの三菱白黒T  
 Vと交換してください。往復はがきで  
 連絡を。  
 長島真一 (〒653 兵庫県神戸市東灘区  
 住吉町手崎一七二六一二 御影アーバン  
 ライフ(一)号)  
 ▼6センチ屈折望遠鏡と付属品(太陽投  
 影板、アイピース、フラインドール、正立  
 プリズム)42000円で購入したも  
 のを、送料共150000円で。新品同様。  
 ただし、架台部はありません。連絡は往  
 復はがきで願います。  
 桐原博人 (〒233 横浜府港南区下永谷  
 町一四二七八)

▼カメラ(アサヒペンタックスSP)を  
 25000円127000円くらいで。  
 米沢正巳 (〒360 埼玉県熊谷市石原二  
 一四四)  
 ▼カメラ(アサヒペンタックスSP)を  
 25000円127000円くらいで。  
 米沢正巳 (〒360 埼玉県熊谷市石原二  
 一四四)

なるべく手渡しできる方に。  
 三島精一 (〒690 鳥取県松江市藤町六  
 三)  
 ▼新しいカバン9000円を5000  
 円で②0曲入り28000円のカセットテ  
 ープと山口百恵の16曲入り32000円の  
 カセットテープを5000円130000円  
 で(新品)③ポラロイドカメラコルパツ  
 トE8814800円のもの10000  
 0円で④アライのワイヤレスマイク28  
 00円を20000円で⑤赤いヘルメット  
 90000円を50000円で。はがきで。  
 水谷均 (〒511-04 三重県員弁郡北  
 勢町南中津原九二四)  
 ▼本誌№16、P.61の写真3枚1組(カラ  
 ー、光沢)を5000円で譲ります。また  
 はUFO写真をお持ちの方、交換して  
 ください。(詳細明記、トリック不可)  
 小林嘉夫 (〒577 大阪府東大阪市新家  
 三九)



▼超常現象を研究している方々に、次の  
 超心理学実験用機械を譲ります。指や葉  
 か出るオラ、や生体プラズマを撮影す  
 るキルファン、電子写真セット(高周波テ  
 スラコイル式発振器、不透明電極板、撮  
 影用品)35ミリカメラスライド20枚、説  
 明書などを220000円で。また、サ  
 ボテンの歌が聞ける四次元波受信機4D  
 メーター(説明書、回路図付)を3000  
 00円で譲ります。この2点+補本電子  
 研究所製(不透明電極板)スライドは  
 (株)光洋から購入。詳細は電話で。  
 中城基雄 (〒230 神奈川県横浜市鶴見  
 区寺谷二一九一 TEL045-157  
 214150)  
 ▼Technics4チャンネル・コン  
 トロールセンターSH3400と山水

プレーヤーSR12050を譲ります。  
 希望価格をはがきでご連絡ください。  
 小松原直樹 (〒473 愛知県知多市新知  
 西屋敷五七)  
 ▼ラジオ送受信機、マイクروسポーツ  
 5チャンネル3サ1ポ27MHz帯1バンド  
 F(PX15サ1ポ三回使用20回未満、  
 無塵落、新品同様)とパーツ(ポンパ  
 ハンドドリル、送信機台イセル、その他)全部を410000円(送料共)で。  
 なるべくベテランの方。連絡ははがきで。  
 長崎達也 (〒466 愛知県名古屋市中昭和  
 区台町二二二)  
 ▼IC電源(1NHK「みんなの科学」  
 で放映された)のパーツ、プリント基  
 板工作セットを合せて70000円で。U  
 FO関係の本との交換も可。往復はがき。  
 伊藤正美 (〒915 福井県武生市広瀬町  
 一六〇一五二 馬塚住宅A一三三)  
 ▼SONYトランシーバーICB170  
 0A(出力5W、315000円)を20  
 000円250000円で。はがきで連絡を。  
 善積伸夫 (〒577 兵庫県神戸市灘区寺  
 口町八四)  
 ▼アポロ11号の月着陸の模様を詳しく録  
 音してあります。同好の方に録音したし  
 ますから往復はがきでご連絡ください。  
 柴田信男 (〒113 東京都府中市白米台

▼本誌創刊号№4を(新品希望)50  
 00円で譲ってください。  
 吉川博之 (〒136 東京都江東区東砂五  
 一八四 永井方)  
 ▼本誌創刊号、№6を。その他心霊、  
 超能力、異次元、UFO、古代文明、遺  
 跡、大探検、心霊まんがなどに  
 関する本、UFO、心霊写真などを譲って  
 ください。往復はがきで希望価格を書いてお  
 知らせください。  
 深山保一 (〒462 愛知県名古屋市中区  
 上飯田通二五九 寿荘)  
 ▼どんなに汚れても結構ですから、  
 UFOに関する不用になった本などを譲  
 ってください。(送料は当方負担)  
 山藤政夫 (〒501-32 岐阜県関市下有

一六二一四)  
 ▼テレビの音がラジオで聞えるN社製T  
 Vサウンドコンバータを70000円で。  
 手渡し希望。往復はがきで連絡ください。  
 森岡 聡 (〒634 兵庫県神戸市東灘区  
 本山北町四一(一七))  
 ▼新品同様の空手着(5日着用)550  
 0円と、空手の本1冊20000円を3冊  
 まとめて70000円以上(送料共)で譲  
 ります。詳しくは電話で(午後6時~9  
 時)。  
 助川義弘 (〒315-01 茨城県新治郡八  
 郷町小幡中宿三二五六一 TEL02  
 9941313223)  
 ▼デルタ(重力場機関の心臓部、チタバ  
 リとフエライト接合済み、東北金属製、  
 キズ極少)を400000円以上で。また、  
 安立製電子電圧計M.L.43A本体のみ  
 (キズ、ヨゴレ多し)を、300000円  
 程度で。その他、本誌№3、6、ジャン  
 ク類多少あり。連絡ははがきで。  
 吉沢 清 (〒985 宮城県多賀城市笠神  
 二二一四一四)  
 ▼キルファン写真(指とか小石を写した  
 もの)のカラーを30000円以上で譲りま  
 す。連絡は往復はがきで。  
 瀬戸雅一 (〒448 愛知県刈谷市東境町  
 住吉七五一)

知富士堤四〇五一(一)  
 ▼本誌創刊号№4を、35000円前後  
 (送料当方負担)で。1冊だけでも、コ  
 ビーでも結構です。  
 滝沢 肇 (〒214 神奈川県川崎市多摩  
 区菅二二二)  
 ▼本誌創刊号№16までを30000以内  
 で。連絡は往復はがきでお願いします。



荒木聖一 (千49-21 佐賀県杵島郡大町町寺口八班)

▼本誌創刊号No.6を一括2000円以下で。大至急お願いします。

藤本玲子 (千62 京都市伏見区三軒町二一八二五 TEL0756111355)

▼本誌創刊号とNo.4を貸してください。それなりのお礼はいたします。手渡し可能な方、はがきでご連絡ください。

前川隆一 (千453 愛知県名古屋市中村区岩塚町城前九四)

▼左記のもの無料で送ってください。①1970年度以前の少年・少女雑誌②まがきの単行本「あぶさん」これでも結構「あしたのジョー」等、和田慎二、奥島新司、永井豪、松本零士、河あきら大歓迎)③クルマの本(モーターワールド)等、クルマの写真④映画のパンフレット、チラシ、レコード等⑤小さな恋のメロディー」をくに歓迎⑥催眠術、UFO、悪魔、オカルト関係の本⑦本誌何号でも、何冊でも可⑧カラス口、まがが入門書、ポスターなら何でも可。

三川崎 聡 (千243 神奈川県厚木市寿町三二一)

▼本誌創刊号No.8、12、14、16を無料。どれか1冊だけでも可。また、UFOの写真をお持ちの方、本誌No.10と交換してください。

千田孝一 (千021 岩手県一関市青葉一〇一九)

▼本誌創刊号No.5を5000円以内で(汚れ、キズは構いません)。

遠藤春樹 (千132 東京都江戸川区松島一三六二一 大進製作所内)

▼本誌No.16「私は霊界を見て来た」ノスタルジックの大字言「キャベツの葉がしゃべった」等、宇宙やUFO関係の本、また、デニケンの本、レノン・ドガ、エス、クルルベ、レンブラント、ドガ、ムック、ゴヤ、ドラクロワなどの画集を譲ってください。

須賀綾江 (千278 千葉県野田市山崎二一五四)

▼本誌創刊号No.17(ただしNo.3、8、9を除く)をできるだけ安く。少々の傷は可。または高文社「空飛ぶ円盤同乗記」空飛ぶ円盤実見記、ハヤカワ「謎の円盤UFO・1巻」のいずれかと交換も

可。また、光文社カッパコミックス「鉄腕アトム」を全巻送料共2000円以下でお譲りください。連絡は往復はがきに希望価格を書いてください。

井内淳也 (千0101 京都府城陽市大字寺田東の口四九一四八)

▼本誌創刊号No.10のうち、どれでも結構ですから譲ってください。

軽部孝喜 (千991 山形県寒河江市中央二一四一五五)

▼本誌創刊号No.6を送料共、3000円以下(少しぐらいのキズは可)。また、UFOの写真をお持ちの方、僕の描いたまんがと交換して可。先着25名まで。

森井 均 (千23101 神奈川県高座郡寒川町岡田一六三)

▼本誌創刊号No.10を無料もしくは、適価で、かめのジョナサン」を差し上げます。ウルトラセブンに関する資料、レポートなども譲ってください。ウルトラシリーズでも結構です。

小長井亮子 (千410-13 静岡県駿東郡小山町湯船九五一)

▼本誌創刊号及びNo.4、13の何号でも結構です。希望価格をはがきで連絡してください。

黒田豊年 (千510-13 三重県三重郡孤野町小島三六一〇)

▼本誌何号でも結構です。無料で(汚れ、破れは構いません)。

長谷部昌利 (千080 北海道帯広市東十二条南四丁目)

▼本誌創刊号を1000円ぐらいで(なるべく美本を希望)。

的場英男 (千071-02 兵庫県赤穂市塩屋二六九五)

▼本誌創刊号No.6を。希望価格をはがきでご連絡ください。

武田年正 (千355 大阪府大阪市淀川区姫島一十二二六 第二広業文化住宅内)

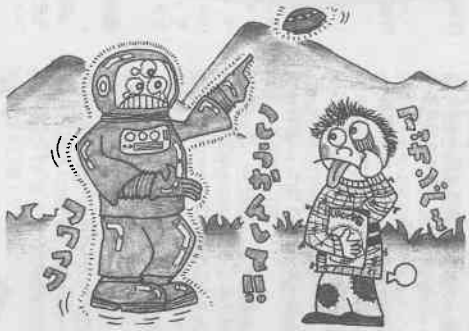
▼本誌創刊号No.16をできるだけ安く、バラでも結構です。手渡し希望。遠方の場合は送料当方負担。はがきで連絡を。中上弘規 (千135 東京都目黒区中町一四六一四)

▼本誌創刊号No.17を無料か1冊1000円以下。

中佐藤均 (千932-02 富山県東砺波郡

井波町松島六二七)

▼「それでも円盤は飛ぶ」「これが空飛ぶ円盤だ」「空飛ぶ円盤とグダムスキー」「空飛ぶ円盤ミステリー」「解明された宇宙機と宇宙人」「空飛ぶ円盤の謎」「奇々怪々なるBICR事件」「地球は狙われている」「宇宙人」着陸す!」「空飛ぶ円盤は宇宙機である」「われわれは円盤に乗った」「宇宙語、宇宙人」「UFO報告書」の研究「土星の恋人」「宇宙人は呼ぶ」「空飛ぶ円盤開史講座(1)」「世界の怪談」「怪獣の謎」「ネオ湖の怪獣」「四次元から来た怪獣」「イースター島の巨石文明」のうち、何でも結構



▲清野意男(画) 山形県山形市

冊でも結構です。連絡ははがきで。矢口ふみ子 (千380 長野県長野市箱清水一四四五 木下方)

▼本誌創刊号を適価で。希望価格をはがきでご連絡ください。

大矢 厚 (千945 新潟県柏崎市関町三一二)

▼本誌創刊号No.3を3000円前後で譲ってください。連絡ははがきで。

御代敬一郎 (千972 福島県いわき市常磐湯本町吹谷八三)

▼本誌創刊号No.15、あるいはNo.7だけでも結構です。適価で。連絡ははがきで。

豊田英俊 (061-21 北海道札幌市南区川沿町三三一一八)

▼大学でお使いにならなくなってしまったUFO関係の本など、どんなにぼろでも結構ですから安く譲ってください。また「宇宙エース」について何かごそんじの方、お教えください。往復はがきで。

吉田正信 (千800-03 福岡県京都郡町田町三三六〇)

▼かなり昔の外国TV映画「謎の円盤UFO」を26話完全集録した「テレビジョンエニジ」(臨時増刊号、700円)を定価で。送料は当方で持ちます。

小谷 幸 (千734 広島県広島市本浦町一一一〇)

▼毎日新聞社が1969年8月に緊急出版した「人類が月を歩いた」を定価で譲ってください。詳しくははがきで。

竹川 淳 (千335 埼玉県蕨市塚越一六八)

▼本誌創刊号を送料と2000円以下。

伊藤順一 (千97-25 宮城県栗原郡花山村座主)

▼本誌No.16を適価で。もしくは「三原市のコンタクト事件」の切り抜きでも可。

山尾 恵 (千88 北九州市若松区古前一一一一五)

▼「われわれは円盤に乗った」「地球は傾く?」「土星の恋人」「宇宙通信機は語る?」「宇宙語、宇宙人」「宇宙の彼方より(正・続)」「宇宙人は呼ぶ」を全冊、またはバラでも結構です。適価で。

三谷秀一 (千111 東京都豊島区要町二一四一一三)

▼本誌何号でも。その他UFOや超能力

に関する本、どんなにいたんでも可。小栗智恵美 (千500 岐阜県岐阜市長森細畑三四四)

▼大陸書房「空飛ぶ円盤製作法」「宇宙人の痕跡」の2冊を2500円。または「聖書とUFO」「奇跡の世界」との交換でも結構です。ご報ください。

原瀬功圭 (千1150 三重県員弁郡藤原町土山七三四)

▼本誌創刊号No.12を。1冊でも結構です。はがきまたは手紙でご連絡を。

坂本千枝美 (千71-14 徳島県板野郡北島町高房 東邦レオン内希望寮)

▼本誌創刊号No.5を適価で。また、UFOの写真も、目撃者、飛行状態、撮影用具などを書き添えて、はがきで連絡を。

金本 浩 (千528 滋賀県甲賀郡水口町京町四一六)

▼大陸書房「地底文明記」「地球空洞説」新潮社「地下王国物語」以外の地球空洞関係の本を高価で。

堀 和夫 (千400-02 北九州市小倉南区朽網日豊原宮住宅四二〇)

▼本誌創刊号No.17と(バラでも可)、「UFO写真集」を無料で。

橋本裕 (千241 神奈川県横浜市旭区左近山団地九一四〇)

▼日本GAP発行「GAPニュース」No.7、17、19③清家新一著「超相対性理論」(原書)を。希望価格をはがきで。

高谷 均 (千332 埼玉県川口市川口五一〇一)

▼UFOに関する資料なら何でも。

高田真史 (千300 福岡県北九州市門司区寺門一五一二)



他

▼UFO写真のネガを貸してください。責任をもってお返しします。また、「UFOの正体」「超能力みつくんれん」(フレール館刊、各480円)を各400円で買って下さい。

▼UFOに興味のある方、体験や円盤情報、UFO写真をお送りください。お札に私の町の48年50年の空撮を円盤と宇宙人の目撃レポートを送ります。

▼星川直樹(〒799-01 愛媛県川之江市生田町二五 川住四十二) ▼UFO写真一枚送ってください。

▼竹房明洋(〒834-12 福岡県八女郡黒木町土樋二一七) ▼UFO写真(トリック不可)、また本誌創刊号№15まで、その他UFO関係の本を無料でお願いします。

▼井上浩一(〒789-08 岡山県赤松郡山陽町二井四四二) ▼UFOの写真や心霊写真を無料で。

▼幅 孝史(〒110 東京都台東区三の輪二一〇一五) ▼阿蘇火口のUFO写真を5000円でぜひとも。

▼須田善春(〒419 静岡県沼津市大岡北小林三七五六) ▼UFO、幽霊に関する資料、写真(とくに日光華嚴の滝、阿蘇火口のもの)を。また、本誌創刊号№4を。連絡は往復はがきご希望価格を記入して。

▼鈴木 篤(〒987-22 宮城県栗原郡築館町新田東三二二) ▼UFO写真(トリック不可)を500円で。できればネガをお貸しください。

▼千田孝一(〒021 岩手県一関市青葉一〇一九) ▼UFO写真、心霊の写真、資料、情報、体験記など、コピーでも結構です。

▼石川正人(〒062 札幌市南区澄川町四七条七丁目 心霊研究会「タナトス」) ▼UFOの写真(トリック不可)、データ、また、心霊写真、不思議な体験を。佐藤 勇(〒960 福島県福島市泉字大仏一五七) ▼UFO写真の焼き増し、白黒1500円、カラー2000円はつきりしたものでなら300円ぐらいで。データ添えて(トリック不可)。また、UFO関係の記事、写真などの切り抜き(コピー可)を無料で。

▼佐藤善夫(〒974 福島県いわき市金山町朝日台一三三) ▼UFO写真のネガを貸してください。必ずお返しします。お借りできない場合は焼き増しを1種類2部ずつ譲ってください。一枚1000円、1500円です。

▼若松ンゲオ(〒804 北九州市戸畑区境川一四一四一四四) ▼ニコソスIIをお持ちの方、20000円以下(含レンズ)で。希望価格、手入れ状態をはがきで(良品、低価格優先)。

▼小川啓次(〒734-21 愛媛県越智郡吉海町大字名甲三七二一四) ▼UFO写真一枚ください。また、ネガをお貸しください。お返しします。

▼篠崎克也(〒761-21 香川県綾歌郡後南町岡五四三三一二) ▼UFO写真のネガを貸してください。必ずお返しします。もしだめならば1枚1000円で(トリック不可)。撮影年月日場所も明記してください。

▼内田隆仁(〒441-33 愛知県岡崎市生平町門八) ▼UFO写真を無料で。

▼神野 卓(〒790 愛媛県松山市道後町二一〇二〇) ▼UFOに関する資料、写真を。貸していただくだけでも結構です。

▼田代茂樹(〒165 東京都中野区沼袋三一七〇一五) ▼UFOの写真一枚、目撃場所、日時を添えて。

▼渡辺丈倫(〒463 愛知県名古屋守山大道守山字塚本四一) ▼アダムスキー型円盤の写真を写された方、焼き増し送料込みでカラー1枚2000円、白黒1500円で。次のデータ添えて。

▼①目撃者(住所、氏名、年齢、職業) ②目撃場所(地名、時刻、天候、目撃継続時間) ③飛行状態(方向、色の変化) ④撮影用具(カメラ名、使用フィルム、レンズ名、絞り、シャッタースピード) ⑤その他のデータ。また、チャタラン酸バリウム、フェライト、球形コンデンサーを適量で(入手方法でも結構です)。

▼宮本吉博(〒683-01 鳥取県米子市大崎三区一四〇) ▼白石正明(〒717 東京都練馬区下石神井四一四一七) ▼本誌№15(切り抜きなし)をあなたの№6と交換して。連絡ははがきで。

▼青木隆次郎(〒424 静岡県清水市月見町二〇八) ▼「宇宙の子孫」「宇宙連の飛来」

▼「世界怪奇ミステリー全集」の驚異をたずねての3冊を、あなたの本誌創刊号№10か、ユバースUFOシリーズ「宇宙からの訪問者」と交換して。

▼伊藤俊也(〒915 福井県武生市広瀬町一六一五一 馬塚住宅A一三) ▼「魔の三角海賊」について、追跡・推理

▼「魔の三角海賊」を№14と交換して。往復はがきで。

▼上岸剛志(〒211 神奈川県川崎市中原区ノ坪二七) ▼本誌創刊号№15、「宇宙の使者」「空飛ぶ円盤とアダムスキー」「UFO写真集」№10か、ユバースUFOシリーズ「宇宙からの訪問者」と交換して。

▼「近代映画」、レコードなどか、またはビートルズのレコード。なるべく近くなどと交換してください。

▼山中忠夫(〒490-11 愛知県海部郡基本寺町新屋郷久淵一〇七) ▼「空飛ぶ円盤製作法」なければ本誌№7、11と交換して。連絡ははがきで。

▼高尾佳宏(〒762 香川県坂出市久米町二一〇三二) ▼未知なる惑星「数億の四次元」

▼「UFO同乗記」「実説大宇宙」を、テレビ番組に関する本「アダムスキー/久保田八郎記のもの希望」か、「生命の科学」と交換してください。連絡ははがきで。

▼宮崎美智子(〒440 愛知県豊橋市西高師町字津森一〇一) ▼「おぼけを探検する」「超能力作戦」「世界の秘密をさぐれ」「四次元ミステリー」を、本誌創刊号№15と交換して



▼木山博史(〒602 京都市上京区長者町浄福寺東入) ▼本誌№17を、只沢藤蔵著「燃ゆる血潮」

▼熊井弥萬子(〒194 東京都町田市本町田七二一〇一五三〇) ▼本誌創刊号№4を、広島県安田ヶ山ビッドの写真と交換して。

▼由窪慶造(〒577 大阪府東大阪市長栄寺一三三九) ▼私の持っている「UFO、目撃者の証言」「宇宙戦争①」「心理テスト」「危機のベルン」

▼「復活の日」「ユバース」を、本誌の何号でも結構です。連絡ははがきで。

▼安大洋輔(〒719-05 岡山県和気郡佐伯町米沢二〇二二) ▼「ぼくの持っている」「タロット占いの秘密」(タロットカード付)、「UFO大襲来」

▼「昔のお札3枚を、あなたの「第一集写真で見える空飛ぶ円盤・宇宙人」集(なければ「第一集・UFO写真集」でも可)と。またUFOの写真一枚送ってください。

▼山本 収(〒670 兵庫県姫路市御立松尾六七五四四五) ▼私のキャンパニユーF.T.F.付を、オリーブSOM1F付と交換してください。

▼沢田耕一(〒188 東京都保谷市北町二三一七) ▼本誌創刊号№18を、あなたの双眼鏡(小型倍率十倍程度、ものにより追加金可)と。手渡し可能な方。

▼森本吉幸(〒712 広島県尾道市東土堂町一九一七) ▼本誌№4、5を持っていきます。宇宙人

▼訂正 本誌二十号P10の写真説明中「テレビ出演中のトリスとハインツ」は「トリスとハインツ」ではなく「トリスとハインツ」です。またP16-GS W側の主張「中の1の8行目。地上から十メートル」は「地上から一メートル」の誤りでした。訂正します。

当社刊行物直接ご注文の皆さまへ 当社刊行の雑誌、書籍等を本社営業部まで直接注文された方の中に誌名・月号、お申し込み者のお名前・住所等を書き落とされたため発送できない方がいます。お当りの方の方は営業部までご連絡ください。 ユニバース出版社営業部

# UFOs & SPACE

No. 22 January-February, 1977  
Price ¥ 430

Published by Universe Publishing Co., Ltd.  
© 1977 All rights reserved

## Captions for Color Photographs

### STONES SCRAPED BY UFO?

Page 1-3

One morning last October, almost all of the stones, small and large, in an area a few kilometers of Misato-machi, Gunma Prefecture, were found severely scraped. These scrapes seem to have been made with a kind of a metallic tool. But, none of the town residents saw any person or heard any dubious noise which may have caused scrapes. They wonder if they were possibly made by UFOs, since many of them had often witnessed an orange object flying above causing a hissing sound.

### UFOs NEAR ZURICH

Page 4-5

This photograph, showing two types of flying saucers hovering low against the evening sun with astonishing clarity, was taken by Bernard Meyer at Hinwill near Canton-Zurich, Switzerland. Meyer insists that he not only saw and photographed these objects, but also met the saucerian who came out of the UFO.

### DARK OBJECT ON LAKE KUTSHARO Page 6

Nobuyoshi Maki, a senior in Shibetsu Commercial Highschool of Hokkaido, went camping to Lake Kutsharo, last summer. On August 2, he went up to the neighboring Lake Mashu and took some pictures of Lake Kutsharo where he camped the previous night. Later, he found a dark object flying low over a mountain in one of his pictures.

### A FLYING OBJECT ABOVE MT. SAKURAJIMA

Page 7

While he was staying at a hotel in Kagoshima City on October 15 of last year, Akihiro Machinaka, a highschool boy from Tokyo, took a photograph of Sakurajima, a famous active volcano, through a window glass of the seventh floor. Later, he found an object resembling that to an UFO flying above Sakurajima in his photograph.

### UFO IN SEATTLE

Page 7

This was taken in Seattle by Shoji Tsukahara, a 46-year-old businessman from Tokyo, on January 4, 1976. In the evening, while taking photographs of Washington Park from Steamneedle Observation Tower, he found through the finder of his camera, a luminous body moving. He took two photographs immediately of which one of them caught the sight.

なお、投稿された原稿、その他は一切お返ししませんので、必要の場合にはあらかじめコピー等をおとりください。写真のネガはご希望により返送しますが、この場合は返送用封筒に切手をはって同封してください。なお、採用原稿には当社規定の原稿料を差し上げます。

本誌編集部ではUFO（未確認飛行物体）に関する原稿、目撃レポート、写真、イラストなどを広く募集しております。原稿はなるべく原稿用紙（タテ書き）をご使用ください。目撃レポートの場合は下記の各項目を参考にしなるべく詳細・正確にお書きください。

## 読者の投稿を歓迎します

★昨年後半は国内であり目立ったUFO事件が聞かれず、今号は多くとり上げることにしました。さて一九七七年、今年には是非とも身近かにUFOの着陸とか宇宙人とかをナマナマしく見たいものです。★カラー頁との組み合わせで掲載した「金髪の女性宇宙人……」はアメリカの本誌特約レポーター、ウエーデル・ステイブンス氏を介してスイスから到着したもので

す。あまりに直接的すぎる写真や記事はかえって疑問視されやすいのですが、もしUFOが眼前に現れたならば、やはりこのくらい鮮明であつてもおかしくないのでは、と思ひますがいかがでしょうか。★次号ではフランスから輸入したアダムスキーのコンタクト事件劇、画、久保田八郎のパロディ訪問記、アダムスキーが撮影した円盤写真のすてきな、などジョージ・アダムスキーの人間と行動を中心に特集を予定しています。(Y)

# UFOと宇宙

発行 宇宙一九七七年二月号 第22号  
発行 昭和五十二年二月一日  
(隔月刊/奇数月二十日発売)  
定価 四三〇円 送料一六〇円  
編集人 矢沢 潔  
発行人 久保田八郎  
発行所 株式会社 ユニバース出版社  
住 所 〒110 東京都台東区上野五―一―  
六 ヤマトビル  
電話 〇三(八三三)―一三四一―四四  
振替 東京一―一九四七八  
印刷所 三晃印刷株式会社  
年々購読料 三三〇〇円(送料含)  
書店で入手できない場合は、本社営業部へ直接ご注文ください。  
本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。  
海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

UFO目撃レポート参考事項  
(1)目撃者の住所・氏名・年齢・学年  
(2)目撃地点の略図・時刻  
(3)飛行物体の形状・飛行状態等  
原稿あて先  
ユニバース出版社UFOと宇宙編集部(目撃レポートの場合)「UFO資料調査部」と明記してください。

# 新発売!!

●無料でご覧になれます

温度計 + 湿度計 + 気圧計

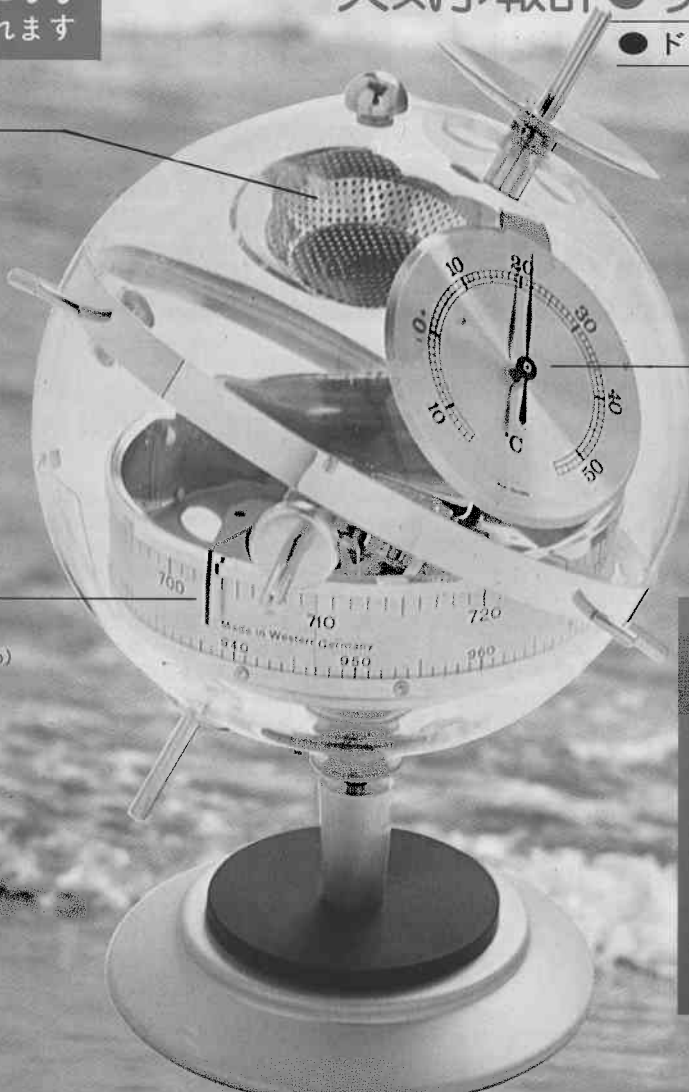
## 天気予報計 ● サテライト・3

●ドイツ製、直輸入品

●湿度計  
(20%~100%)

●温度計  
(-15°C ~ +55°C)

●気圧計  
(700mb-1060mb)



球体直径 130mm  
高さ 205mm  
重量 610g

# 晴れ、のち曇り、一時雨—?

天気予測に最も大きな関係があるのは、気圧の高低ではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧米ではウェザー・バロメーター(天気予報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及していません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候…温度や湿度、気圧に適應する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの“サテライト・3”は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お客様の科学の勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書齋の上に飾るインテリア・アクセサリーに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気予報計“サテライト・3”はぴったりです。

申込先 社団法人 日本割賦協会 事業会員  
フェームスアート・ギャラリー 企画部

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気予報計“サテライト・3”を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気に入りでしたら、そのままご購入ください。

●月つき3,000円×6回払いでOK

いま、お申込みの方は奉仕価格⇒月つき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円)しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。

ご希望の方は右記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京か大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心してお申込みください。

<〒556> 大阪市浪速区大国町1の121の8 ☎(06)649-5508  
<〒170> 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

“サテライト・3” 価格表	
●現金価格 16,800円	●割賦価格 18,000円
(一括払いの場合のみ)	分割払金 3,000円
●梱包送料当社負担 ●製品保証	支払回数 6回
	支払期間 6ヵ月

今、スグ切り取ってポストへ!!

●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

“サテライト・3”購入申込書

■天気予報計“サテライト・3”を購入申込みます。現品到着後に下記の方法で必ず送金します。

●支払方法 (○印をしてください)

1. 月つき 3,000円×6回払い
2. 一括払い 16,800円

(現品に不満の場合は現品受取後5日間以内にご返送し、ご引き取りの際は、購入義務は一切ありません。)

おなまえ	捺印	年令	TEL
	印	オ	

おとところ (郵便番号) \_\_\_\_\_ )

( 番号 ) \_\_\_\_\_

保護者名(18才未満の方は保護者の印が必要) \_\_\_\_\_ 捺印

UF0-1

●印のない場合は無効になりますので必ず捺印してください。

お 待 た せ い た し ま し た

# “ホームビデオゲーム”の決定版 いよいよ販売開始です！

アメリカで大人気!! 今話題のTVゲーム。ご家族そろって、お友達と、子供からお年寄りまで楽しめるゲームマシンです。反射神経のトレーニングに、プレゼントにどなたにも喜ばれます。

## 特長

- GI(ゼネラル インストルメンツ)のTVゲーム用LSI(AY-3-8500-1)使用。
- 電源は電池式(単2電池6本使用)のため安全かつ取扱いが簡単(外部電源使用可能)
- 本器のゲームセレクトスイッチの切替により4ゲーム(テニス・サッカー・スカッシュ・ブラクティス)の使用ができます。LSIは6ゲーム用ですから御自分でちょっと手を加えれば、ライフルゲーム①②が可能になります。
- 一流メーカー製の変調器内蔵のため安定動作します。本器の出力は御家庭のテレビ(VHF 2チャンネル)に映ります。ゲーム音はテレビのスピーカーから出ます。
- FCC規格に準じた切替スイッチボックスが付属しているため隣接TVに電波妨害がありません。またこのスイッチボックスの使用によりテレビで放送をみる場合とゲームを行う場合との切替がワンタッチでできるので本ビデオゲームを常時セットしておくことができますのでゲームを行うごとにTVのANT端子をつなぎかえるわずらわしさがなく従って本ビデオゲームを末長く御愛用頂けます。



サッカーの場合の画面

■ウッディーデラックス ¥38,000 (荷造送料¥800)

(写真の品、上記特長)



タテ 22cm  
ヨコ 45cm  
高さ 7cm

新発売記念価格 ¥35,000  
(荷造送料 ¥800)

■カラーウッディーデラックス ¥48,000 (荷造送料¥800)

インテルが日本で新発売!! 得点、ボール、ラケット、コートに美しい色がついて写る最高級型。

■スポーツキング ¥23,000 (荷造送料¥800) 6種類 テニス(ピンポン) サッカー(ホッケー)、スカッシュ、ペロター(練習用) ライフルI、II (ライフル銃は近日発売予定)



切替スイッチボックス

¥1200

★御注文は現金書留で下記へお申し込み下さい。  
(業者卸の取扱いも致します。お問合せ下さい。)

あて先 (株)インテル 電機事業部U係

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9

☎ 0426-25-7941(代)

お望みの機種が  
お求めになれます  
メーカーから  
ユーザーへ！

## サテライト 天体望遠鏡

★ヤマモトの天体望遠鏡は  
海外(アメリカ、フランス、  
イタリア、ベルギーetc.)  
で絶賛を博しております。

★この他多機種とりそろえてい  
ます。詳しくは 250 円切手同  
封の上カタログをU係へご請  
求ください。

株式会社 **山本製作所**

〒174 東京都板橋区大原町5-3

☎(03)966-2408

**AE-108**

●有効径：108mm

●焦点距離：1600mm



1977・2月号

現代のナゾと驚異を追求する雑誌

# エニグマ

## Enigma 創刊第2号発売中!!

390円

集中研究・異常気象

### キミは氷河期を生きられるか

池田誠也 須田訥雄 中村政雄  
金子史朗 大後美保 飯田隆次郎



静かなる恐怖●細菌兵器 小橋良夫

仰天レポート●60万円で原爆はできる 小隅 黎

●多重人格者 齊藤守弘

新説異論●23日周期で飛行機が墜ちる 井上越夫

雪男を推理する●人目をさけてイエティは生きる 谷口正彦

【2色】

自動車エンジン大革命／明日の自動車は水で走る

### 宇宙動物大図鑑②

豪華景品が当たる＊シンボルマーク大募集！

カラー口絵●接近・地球の美女

●キングコングがやってきた

●矢追純一の不思議写真

●超残酷はお好き？ ほか

ユニバース出版

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル  
☎03(832)1341~1344 振替・東京1-119478

**新発売**

初回金でお手もとへ

お求めやすいクレジット分割払

高性能  
精密器

ニコルス望遠鏡

●たしかな品質  
合理的良心価格  
●ご不満のときは  
交換/解約/返金自由

ニコルスRJ-6092A

注文番号81-056

【特長】

- 225倍屈折型経緯台式望遠鏡
- 有効径60%焦点距離 F=900%
- コリメーターテスト済 高性能対物レンズ使用
- 上下微動装置付
- 二段ドロローチェーブ

ニコルスLS-1149

注文番号81-011

【特長】

- 150倍反射型経緯台式望遠鏡
- コリメーターテスト済 高性能反射鏡
- 有効径114% 焦点距離 F=900%
- 上下、水平微動装置付
- 光軸修正装置付

初心者にも見やすく使いやすい、天体・地上両用望遠鏡

114%大口徑反射式！  
天体入門者用ベストセラー人気機種！



写真撮影可能



二目ドロローチェーブ付

【定 格】

- 対物主鏡 有効径：114% アルミナイズ済 焦点距離：900%
- 集光力：265倍 分解能：1.00秒 極限等級：12.0等星
- 斜鏡 短径23%アルミナイズ済
- 接眼レンズ HM-6% (倍率150×) HM-12.5% (倍率72×)
- 接眼部 ラック&ピニオン繰出装置 ●架台 ヨーク式上下、水平微動装置付 ●三脚/2段伸縮式木脚、脚長70-135cm

【付属品】

- ファイダー(6×24%十字線入合金製)、サングラス、フレキシブルハンドル(1本) 太陽穴付キャップ

初回金5,000円 1,500円  
分割払金(月)3,000円×9回  
分割払価格32,000円  
現金払価格28,500円

【定 格】全長890%

- 対物レンズ 有効径：60% アクロマートコーティング 焦点距離：900% 集光力：73倍(肉眼) 分解能：1.93秒 極限等級：10.7等星
- 接眼レンズ SR-4% (倍率225×) HM-12.5% (倍率72×)
- 接眼部 ラック&ピニオン繰出装置
- 架台 ヨーク式上下微動装置付
- 三脚/二段伸縮式木脚 脚長70-135cm

初回金3,900円 1,200円  
分割払金(月)1,900円×9回  
分割払価格21,000円  
現金払価格18,800円

●カメラアタッチメントF型

どのカメラでも、どの望遠鏡でも使用可能。間接撮影、直接撮影、拡大撮影、星野写真等いずれも可能です。

現金価格 4,000円  
分割価格 4,500円  
〒500円

●60%屈折用赤道儀

(有効径60%の望遠鏡に使用可能)

赤道儀兼経緯台式、赤経赤緯、目盛環付、歯数13、8、フレキシブル2本付

初回金3,400円 1,000円  
分割払金(月)2,300円×7回  
分割払価格19,500円  
現金払価格17,000円

●口径60%、F=420%ガイディングスコープ

注文番号81-009

(取付可能)

コリメーターテスト済高性能対物レンズ、観測しながら同時に写真撮影可能、同時に二人で同じ目標を観測できる。

初回金2,300円 800円 分割払価格11,500円  
分割払金(月)2,300円×4回 現金払価格10,000円

●2倍パローレンズ(アクロマート)

簡単に使用倍率を2倍にすることができます。特に短焦点の望遠鏡には有利です。

現金価格 1,900円  
分割価格 2,100円  
〒200円

カタログ及び注文方法は次のページにあります……

社団法人 日本割賦協会正会員

この協会は通産省の指導により消費者保護を目的とする団体で、当社は会員です。安心してご注文下さい。

お手もとへ

クレジット 分割払

精密器  
望遠鏡

●ご不満のときは無償交換・解約返金保証

新発売

アル R

屈折望遠鏡  
シリーズ



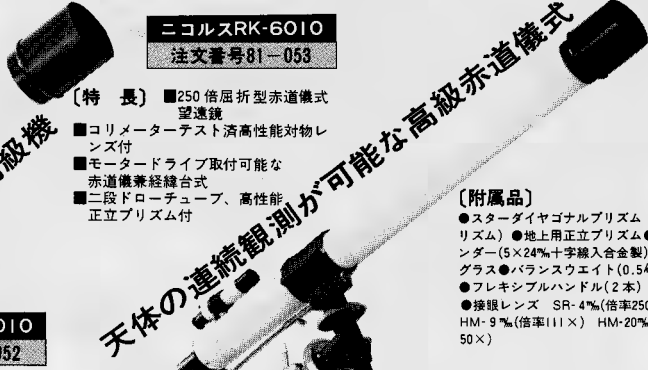
ニコルスRS-6010  
注文番号81-052

【定格】  
●対物レンズ  
有効径：60mm アクロマートコーティング 焦点距離：1,000mm  
集光力：73倍(肉眼) 分解能：1.93秒 極限等級：10.7等星  
●接眼レンズ  
SR-4%(倍率250×)  
HM-9%(倍率111×)  
HM-20%(倍率50×)  
●三脚/二段伸縮式木脚  
脚長70~135cm



【特長】  
■250倍屈折型経緯台式望遠鏡  
■コリメーターテスト済高性能対物レンズ  
■狙った星をのがさない上下水平微動装置付  
■二段ドロークレフ付  
■高性能正立プリズム付

初回金6,800円 1,500円  
分割払金(月)2,800円 × 9回  
分割払価格32,000円  
現金払価格28,800円



ニコルスRK-6010  
注文番号81-053

【特長】  
■250倍屈折型赤道儀式望遠鏡  
■コリメーターテスト済高性能対物レンズ付  
■モータードライブ取付可能な赤道儀兼経緯台式  
■二段ドロークレフ、高性能正立プリズム付

【付属品】  
●スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム) ●地上用正立プリズム ●ファイナダー(5×24mm十字線入合金製) ●サングラス ●バランスウエイト(0.5kg 2個)  
●フレキシブルハンドル(2本)  
●接眼レンズ SR-4%(倍率250×)  
HM-9%(倍率111×) HM-20%(倍率50×)

初回金10,800円 1,500円  
分割払金(月)5,000円 × 9回  
分割払価格55,800円  
現金払価格50,000円



ニコルスRK-7612  
注文番号81-055



【特長】  
■625倍屈折型赤道儀式望遠鏡  
■コリメーターテスト済高性能対物レンズ付  
■モータードライブ取付可能な赤道儀兼経緯台式マウント  
■アクセサリ完備の大型機

【付属品】  
●スターダイヤゴナルプリズム(天頂プリズム) ●地上用正立プリズム ●ファイナダー(6×30mm十字線入合金製) ●サングラス ●ムーングラス ●2倍バローレンズ ●太陽投影板 ●バランスウエイト(1個)  
●フレキシブルハンドル(2本) ●格納用木箱  
●接眼レンズ  
(バローレンズ使用時の倍率)  
OR-4%(倍率312×) [625×]  
HM-6%(倍率208×) [416×]  
HM-20%(倍率62×) [124×]

初回金16,200円 2,000円  
分割払金(月)7,200円 × 9回  
分割払価格81,000円  
現金払価格73,000円



二光カタログハウスチェーン 営業時間 AM10:00~PM7:00 ニコルス

至 上野  
至 秋葉原  
至 新宿  
至 東京

昭和通り  
秋葉原駅

大東 三ツバヤ  
ニコルス  
相互銀行 秋葉原駅前

至 山手  
至 千代田

GS  
エンパイガネ  
ツニー

至 山手  
TOPPAN  
工具  
YKK

秋葉原駅昭和通り口より歩いて8分

TEL 03(832)0713

ニコルス秋葉原店 年中無休

帰りにOK!  
(印鑑をご持参下さい)

広告の商品はビバ店にて販売中! お急ぎの方は、来店下さい。初回金でお持ち

今すぐのご注文は

- ご注文番号か品名を紙に書いて、月賦は初回金と送料を現金書留封筒でお送り下さい。
- 一時払いは同じ方法で現金価格と送料をお送り下さい。

あて先

〒133・東京小岩局48号  
二光通販(株)  
技研事業部  
74係

カタログのお申込は

只今無料進呈中

商品をよりくわしく知りたい方は、カタログをお申込み下さい。下記のカタログ進呈券をハガキのうらにはってお送り下さい。無料でお送りいたします。

カタログ進呈券74係

<苦情相談>

この広告についての商品未着や商品苦情はご遠慮なくお申出ください。  
ニコー消費者相談室 ☎03(672)8558 東京都千代田区外神田3-2-3森ロビル2F

ヤングライフを愛するニコー  
nicoh  
二光通販(株)技研事業部  
東京都江戸川区南小岩6-31-25

TEL  
03(672)9094  
(内線33)

# 新発売

## ニコルスLシリーズ

# 10大特長

- ①大口径、明るく鮮鋭な像**  
コリメーターテスト済高性能反射鏡を使用。集光力、分解能共に充分な性能を発揮します。
- ②光軸修正はダイヤル式でワンタッチ!**  
対物主鏡、斜鏡の光軸修正もつまみを回すだけでできます。
- ③大型接眼部**  
36%ネジ込式広視野接眼鏡、24.5%接眼鏡が兼用できる大型接眼部。ラック&ピニオン式。
- ④広視野大型ファインダー(6×30%)**  
アクromaートレンズ使用、十字線入り。接眼部はケルナー式で広視野を実現。
- ⑤狙った星はのがさない上下、水平微動装置付**  
水平微動装置はフレキシブルハンドル付の高級ウォーム式を採用。
- ⑥筒ぶれを排除/ガツリしたマウント。**  
薄いところでも8%以上のぶ厚い合金製ヨーク式マウント。
- ⑦ビクともしない太くて丈夫な直脚式木脚。**  
望遠鏡をガツリ受けとめ、ビクともしない安定感/金属製石突付。
- ⑧ガイディングスコープ取付ネジ付。**  
いつでもガイディングスコープを取付けられるよう鏡筒に取付ネジをセット。
- ⑨太陽直接観測用絞穴付キャップ**

サングラスだけでも安全に太陽の直接観測ができるよう口径35%の絞穴付。

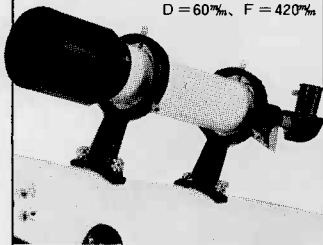
**⑩オール金属製**  
鏡筒、枠、接眼部、ファインダー、微動装置、マウント等は高性能を支えるためにすべて金属製。

### 〔ニコルスLシリーズ定格〕

●口径114%、集点距離900%  
対物主鏡114%アルミナイズ済、焦点距離F=900%、斜鏡短径23%、集光力265倍、分解能1.00秒、極限等級12.0等星、全長880%

### Lシリーズ用 <ガイディングスコープ>

D=60%、F=420%



#### 〔特長〕

- コリメーターテスト済高性能対物レンズ
- 観測しながら同時に写真撮影可能(但し、付属品を要す)
- 同時に二人で同じ目標を観測できる。
- ガイディングスコープ取付脚に星野雲台がついている。
- 反射式Lシリーズの商品にはすべて、ネジ止めで取付できる。(Lシリーズはガイディングスコープ取付ネジ付)

初回金2,300円<sup>〒</sup>800円  
分割払金(月)2,300円×4回  
分割払価格11,500円  
現金払価格10,000円

# エル 反射望遠鏡 シリーズ

# 初回金で

# お求めやすい

# 高性能 ニコルス

どこにも負けないガツリした安定感  
Lシリーズ10大特長を完備!

### ニコルスL-1149

注文番号81-001

#### 〔特長〕

- 225倍反射型経緯台式望遠鏡
- 有効径114%、焦点距離F=900%、集光力265倍
- コリメーターテスト済高性能反射鏡

●接眼レンズ  
SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

#### 〔付属品〕

- ファインダー(6×30%十字線入合金製)
- サングラス
- フレキシブルハンドル(1本)
- 太陽絞穴付キャップ

初回金8,700円<sup>〒</sup>1,500円  
分割払金(月)3,700円×9回  
分割払価格42,000円  
現金払価格38,000円



ガイディングスコープ取付可能



大型接眼部 30%、24.5%両用



写真撮影可能



大型ファインダー(6×30%)

Lシリーズ10大特長を完備!

Lシリーズの中でも傑出した最高級赤道儀式



### ニコルスLG-1149

注文番号81-002

#### 〔特長〕

- 225倍反射型経緯台式望遠鏡
- コリメーターテスト済高性能反射鏡

■有効径114%、焦点距離F=900%、集光力265倍

■有効径60%ガイディングスコープを搭載

#### 〔付属品〕

- スターダイヤコナルプリズム(天頂プリズム)
- ファインダー(6×30%十字線入合金製)
- サングラス
- フレキシブルハンドル(1本)
- 太陽絞穴付キャップ
- 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

初回金10,600円<sup>〒</sup>2,000円  
分割払金(月)4,600円×9回  
分割払価格52,000円  
現金払価格48,000円



写真撮影可能



ガイディングスコープ取付可能



大型接眼部 30%、24.5%両用



大型ファインダー(6×30%)

### ニコルスLKG-1149

注文番号81-004

#### 〔特長〕

- 225倍反射型赤道儀式望遠鏡
- 有効径114%、焦点距離F=900%、集光力265倍
- コリメーターテスト済高性能反射鏡
- 有効径60%ガイディングスコープを搭載
- 赤道儀架経緯台式高級マウント

#### 〔付属品〕

- スターダイヤコナルプリズム(天頂プリズム)
- ファインダー(6×30%十字線入合金製)
- サングラス
- バランスウエイト(0.8g5個)
- フレキシブルハンドル(2本)
- 太陽絞穴付キャップ
- 接眼レンズ SR-4%(倍率225×) HM-9%(倍率100×) HM-20%(倍率45×)

初回金15,500円<sup>〒</sup>2,500円  
分割払金(月)6,500円×9回  
分割払価格74,000円  
現金払価格68,000円

カタログ及び注文方法は次のページにあります……

◆MOP高性能天体望遠鏡 (通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡 (通産省光学検査合格品)

ビックリ価格  
3月20日まで

# 新春特別セール 5年間品質保証書付

## UFOをとらえるのはこれだ!

### MOP M109型



**規格・性能** 焦点距離 900mm 主鏡レンズ有効径100mm(主鏡アルミナイズメッキ) 分解能 1.16秒 極限等級11.8等星 集光力204倍

**装置** 直進ヘリコイド式繰出(接眼レンズ口径24.5mm用) 赤道儀兼経緯台 微動装置ウォームギヤー使用 赤経・赤緯目盛環付

付属品付き  
定価55,000円の品  
**ビックリ価格35,000円**  
(送料2,000円)

チャンス!

### MOP 610型



**規格・性能** 焦点距離 1,000mm 有効径60mm (アクロマートレンズ使用) 分解能1.9秒 極限等級10.7等星 集光力73倍

**付属品** サングラス 6×30mmファインダー 天頂プリズムHM6mm HM12.5mm K20mm バランスウェイト2 フレキシブルハンドル2 木製2段伸縮三脚

研究観測用高級機  
60%屈折赤道儀式

定価55,000円の品  
**ビックリ価格 34,000円**  
(送料2,000円)

チャンス!

### MOP双眼鏡 8×30

スタンダードな小型機



**規格・性能** 倍率8倍 対物レンズ有効径30mm 射出瞳径3.8mm 明るさ 14.1 実視界7.5度 1000m先の視野131m 高さ 11.5cm 重さ550g

定価11,500円の品  
**ビックリ価格7,500円**  
(送料800円)

付属品 ソフトケース  
保証書 使用説明書

チャンス!

### ●ミクロンシリーズ

持ち歩きに便利な  
高性能機!

**規格・性能** 倍率10倍 対物レンズ有効径40mm 射出瞳径4mm 明るさ 16 実視界7度 1000m先の視野123m 高さ12.3cm 重さ490g

10×40  
付属品ハードケース

### MOPミクロン 10×40



チャンス!

定価17,300円の品  
**ビックリ価格 13,000円**  
(送料800円)

### MOP双眼鏡 20×50

高倍率大型機 /



**規格・性能** 倍率20倍 対物レンズ有効径50mm 射出瞳径2.5mm 明るさ 6.3mm 実視界3度 1000m先の視野52m 高さ17cm

**全機種特価**

広告に記載されていない商品も格安にて販売。お気軽にお問い合わせ、またはご一報下さい。

付属品 ハードケース  
保証書 使用説明書

定価18,000円の品  
**ビックリ価格 9,800円**  
(送料800円)

チャンス!

### ●ミクロンシリーズ

ポケットにピッタリ!

**規格・性能** 倍率8倍 対物レンズ有効径20mm 射出瞳径2.5mm 明るさ 6.3 実視界5度 1000m先の視野88m 高さ7.1cm 重さ185g

### MOPミクロン 8×20



チャンス!

8×20  
付属品ソフトケース

定価14,000円の品  
**ビックリ価格 10,500円**  
(送料800円)

### ご注文方法

広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

### あて先

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426-25-7941(代表)  
**(株)インテル 光学事業部UFO係**

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告についてのお問い合わせは当社調査室(TEL0426-25-7941)までお電話でお願い致します。

### カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタログを差し上げます。郵送料切手100円を同封し下の請求券をはってお申し込み下さい。

カタログ請求券  
UFO-02

カメラの有力専門誌 日本カメラ 51年6月号 特集 常用交換レンズ総点検より  
 スリコールLP135、135mm F2.8  
 中心部はコントラストもほぼ良好で、シャープさもじゅうぶんである。周辺部はわずかに画質が低下するが目立つほどではない。全般的に見て各取差がバランスよく補正され画質のよいレンズである。しかも13,000円という普及価格が魅力がある。(原文のまま)



reliance THREEKOR P series

**High** 高品質 **技術力を結集した信頼の交換レンズ** **Low** 低価格

リライアンス **スリコール交換レンズ** Pシリーズ

スリコール交換レンズは出来る限り安くお届けする為にユーザーへの直接販売システムです。天体望遠鏡専門メーカーのスリコール交換レンズの実力をお楽しみ下さい。

●スリコール交換レンズ仕様 (プリセット絞り、絞込み測光、マウント交換式)

●使用できるカメラ (35mm一眼レフ)

品番	LP135	LP200	LP300	LP400	LP500	WP 35
焦点距離	135mm	200mm	300mm	400mm	500mm	35mm
明るさ	F:2.8	F:4.5	F:5.6	F:6.3	F:8	F:2.8
レンズ構成(群/枚)	4/4	3/4	3/4	3/4	3/4	5/6
レンズ口径	47mm	44mm	53mm	62mm	62mm	30mm
全長mm・重量g	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価格	¥13,000	¥14,000	¥18,000	¥21,000	¥24,000	¥12,000
付属品	フード、Pマウント、ケース					マウントケース

アサヒペンタックス(Sシリーズ・Kシリーズ)・ニコン・ニコマート・キャノン(E X除く)・ミノルタ・オリンパスO M・コニカ(新)・フジカ・マミヤ・リコー・ヤシカ(ネジ込み)・ベトリ・ミランダ・

スリコールPシリーズはカメラを買替えた場合、あるいは2台以上メーカーの異なるカメラをお使いの場合でもマウントのみ別に購入すれば、どのカメラでも使用出来ます。

スリコールPマウント 別売価格¥1,500

価格は付属品を含んだ価格です。(35mm一眼レフ用)

スリコール交換レンズは1台3役 ①カメラ用望遠レンズが(300mm・400mm・500mm)



②ズーム式地上望遠鏡に

(別売) 付属品  
 アイビスアダプター ¥1,500  
 ズーム式地上アイビス ¥4,500  
 300mmの倍率: 20倍~50倍  
 400mmの倍率: 27倍~67倍  
 500mmの倍率: 33倍~83倍



③天体望遠鏡に

(別売) 付属品  
 アイビスアダプター ¥1,500  
 天体用アイビス各倍率 ¥1,500  
 300mmの倍率24倍・50倍・60倍・75倍  
 400mmの倍率32倍・50倍・80倍・100倍  
 500mmの倍率40倍・62倍・100倍・125倍

望遠鏡になるのはスリコール交換レンズだけです。他社の交換レンズには使用できません。

〒121 東京都足立区平野3丁目7番17号

株式会社 **スリービーチ UFO係**

電話照会受付時間  
 午前10~12時 午後1~5時  
 日・祭日休業  
 〒東京(03)859-1331  
 (広告有効期間 本誌月号の月末迄)

スリコール交換レンズを購入希望の方は、ハガキにお持ちのカメラ名を書いてカタログ(無料)をお申し込み下さい。急送します。

**NODEN** オーディオ通のキミならなにを選ぶかね、いいもの安く自由な選択。



音がある。

新しいキミのオーディオライフ

サウンドシップ

# Sound-Ship

サウンドシップをご存知ですか。秋葉原、駅そばオノデンがお客さまの心のふれあいをテーマに設けた、オーディオファンのためのショッピングフロア2F・3Fを「サウンドシップ」と名づけています。このフロアはステレオ中心の文字通り、ヤングの人気広場。機種も豊富、価格も割安。いいものを自由に選べ、自由に音を聴けるオノデン独自のスタイル。さあJFOを信ずるキミも今すぐ「オノデン・サウンドシップ」へ行ってみよう！

電器いろいろ秋葉原

**オノデン**

国電秋葉原・万世橋交差点際 TEL 253-3911 (大代)

新刊誌  
2000年  
11月号